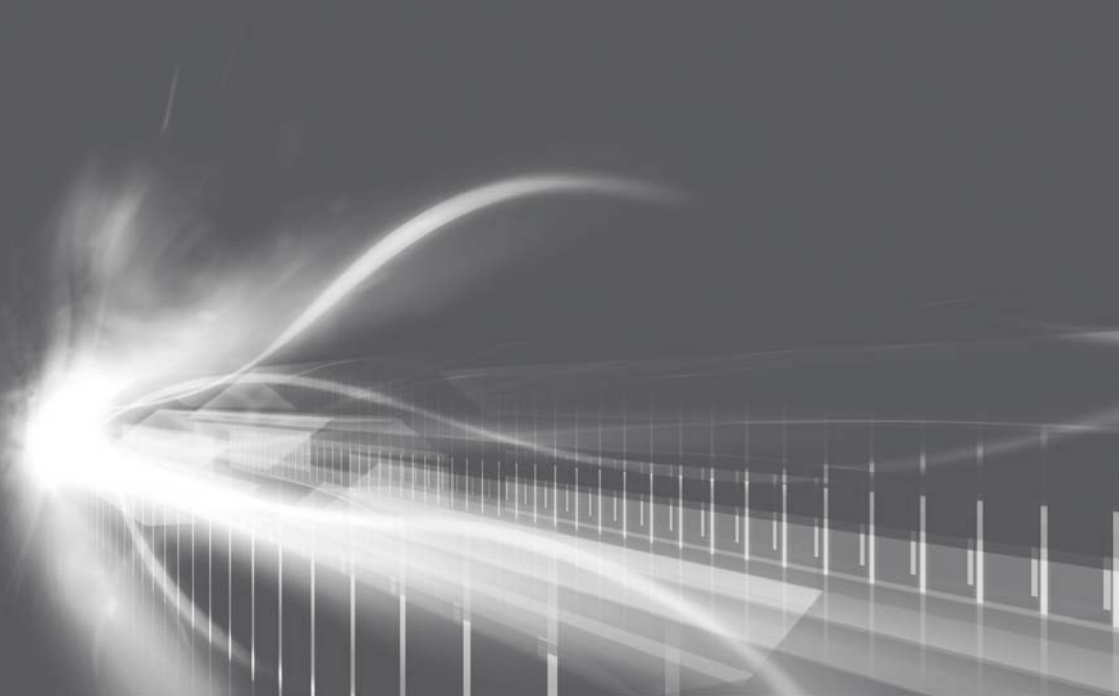




取扱書

よくお読みになってご使用ください。
取扱書は車の中に保管しましょう。

AURIS



イラスト目次

イラストから検索

1 安全・安心のために

お客様に**必ず**お読みいただきたいこと

2 メーターの見方

メーター・警告灯／表示灯の種類・見方など

3 各部の操作

ドア・ドアガラスの開閉や、運転操作前の調整など

4 運転

運転に必要な操作やアドバイス

5 室内装備・機能

室内装備の使い方など

6 お手入れのしかた

車のお手入れ・メンテナンスの方法

7 万一の場合には

故障したときや、緊急時などの対処

8 車両情報

車の仕様やお好みに合わせて選べる機能の情報など

さくいん

症状から検索

音から検索

アルファベットで検索

五十音で検索

知っておいていただきたいこと	6
本書の見方	10
検索のしかた	11
イラスト目次	12

1 安全・安心のために

1-1. 安全にお使いいただくために	
運転する前に	22
安全なドライブのために	24
シートベルト	26
SRS エアバッグ	30
お子さまの安全のために	38
子供専用シート	39
チャイルドシートの 取り付け	47
排気ガスに対する注意	53
1-2. 盗難防止装置	
エンジンイモビライザー システム	54

2 メーターの見方

2. 計器の見方	
警告灯／表示灯	56
メーター（ドライブモニター ディスプレイ）	60
メーター （マルチインフォメーション ディスプレイ）	65
エコドライブ インジケーター	72

3 各部の操作

3-1. キー	
キー	78
3-2. ドアの開閉、 ロックのしかた	
スマートエントリー& スタートシステム	81
ワイヤレスリモコン	91
ドア	93
バックドア	97
3-3. シートの調整	
フロントシート	101
リヤシート	102
ヘッドレスト	104
3-4. ハンドル位置・ミラー	
ハンドル	106
インナーミラー	107
ドアミラー	109
3-5. ドアガラスの開閉	
パワーウィンドウ	112

4 運転

4-1. 運転にあたって	
運転にあたって	116
荷物を積むときの注意	126

4-2. 運転のしかた

エンジン（イグニッション）	
スイッチ（スマート	
エントリー&スタート	
システム非装着車）.....	127
エンジン（イグニッション）	
スイッチ（スマート	
エントリー&スタート	
システム装着車）.....	130
オートマチック	
トランスミッション.....	138
マニュアル	
トランスミッション.....	143
方向指示レバー.....	145
パーキングブレーキ.....	146
ホーン（警音器）.....	147

4-3. ランプのつけ方・

ワイパーの使い方

ランプスイッチ.....	148
オートマチック	
ハイビーム.....	153
フォグランプスイッチ.....	157
ワイパー & ウォッシャー	
（フロント）.....	158
ワイパー & ウォッシャー	
（リヤ）.....	160

4-4. 給油のしかた

給油口の開け方.....	162
--------------	-----

4-5. 運転支援装置について

Toyota Stop & Start	
System	
（SMART STOP）.....	165
4WD オートモード	
スイッチ.....	172
運転を補助する装置.....	173
ヒルスタートアシスト	
コントロール.....	178

4-6. 運転のアドバイス

寒冷時の運転.....	180
-------------	-----

5 室内装備・機能

5-1. エアコンとデフォグガーの使い方

マニュアルエアコン.....	184
オートエアコン.....	189
リヤウインドウ	
デフォグガー&ミラー	
ヒーター（曇り取り）.....	196
フロントワイパー	
デアイサー.....	198

5-2. オーディオの使い方

オーディオの種類.....	199
ラジオの使い方.....	200
CD プレーヤーの使い方.....	202
MP3/WMA ディスクの	
聞き方.....	207
快適に聞くために.....	213
ステアリングスイッチの	
使い方.....	215

5-3. 室内灯のつけ方

室内灯一覧.....	217
・インテリアランプ.....	218
・バニティランプ.....	219
・パーソナルランプ.....	219

5-4. 収納装備

収納装備一覧.....	221
・グローブボックス.....	222
・コンソールボックス.....	223
・ボトルホルダー.....	224
・カップホルダー.....	225
・小物入れ.....	226
ラゲージルーム内装備.....	227

5-5. その他の室内装備の使い方

サンバイザー／ バニティミラー	233
時計	234
外気温度表示	235
アクセサリーソケット	237
リヤアームレスト	238
アシストグリップ	239
パノラマルーフシェード	240

6 お手入れのしかた

6-1. お手入れのしかた

外装の手入れ	244
内装の手入れ	248

6-2. 簡単な点検・部品交換

ボンネット	251
ガレージジャッキ	253
ウォッシュ液の補充	255
タイヤについて	257
電子キーの電池交換	261
ヒューズの点検・交換	264
電球（バルブ）の交換	271
エアコンフィルターの 交換	284

7 万一の場合には

7-1. まず初めに

故障したときは	288
非常点滅灯 （ハザードランプ）	289
発炎筒	290
車両を緊急停止するには	292

7-2. 緊急時の対処法

けん引について	294
警告灯がついたときは	299
警告メッセージが 表示されたときは	305
パンクしたときは （応急用タイヤ装着車）	316
パンクしたときは （タイヤパンク応急 修理キット装着車）	328
エンジンが かからないときは	342
シフトレバーが シフトできないときは	344
電子キーが正常に 働かないときは	345
バッテリーが あがったときは	347
オーバーヒート したときは	351
スタックしたときは	353

8 車両情報

8-1. 仕様一覧

メンテナンスデータ (指定燃料・ オイル量など)	356
--------------------------------------	-----

8-2. カスタマイズ機能

ユーザーカスタマイズ 機能一覧	363
--------------------------	-----

さくいん

こんなときは (症状別さくいん)	366
車から音が鳴ったときは (音さくいん)	371
アルファベット順さくいん	372
五十音順さくいん	373

知っておいていただきたいこと

本書の内容について

本書はオプションを含むすべての装備の説明をしています。

そのため、お客様の車にはない装備の説明が記載されている場合があります。また、車の仕様変更により、内容がお車と一致しない場合がありますのでご了承ください。

トヨタ販売店で取り付けられた装備（販売店オプション）の取り扱いについては、その商品に付属の取扱説明書をお読みください。

イラストは、記載している仕様などの違いにより、お客様の車の装備と一致しない場合があります。

不正改造について

- トヨタが国土交通省に届け出をした部品以外のものを装着すると、不正改造になることがあります。
- 車高を下げたり、ワイドタイヤを装着するなど、車の性能や機能に適さない部品を装着すると、故障の原因となったり、事故を起こし、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ハンドルの改造は絶対にしないでください。ハンドルには SRS エアバッグが内蔵されているため、不適切に扱うと、正常に作動しなくなったり、誤ってふくらみ、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 次の場合はトヨタ販売店にご相談ください。
 - ・ タイヤ・ディスクホイール・ホイール取り付けナットの交換
異なった種類や指定以外のものを使用すると、走行に悪影響をおよぼしたり、不正改造になることがあります。
 - ・ 電装品・無線機の取り付け・取りはずし
電子機器部品に悪影響をおよぼしたり、故障や車両火災など事故につながるおそれがあり危険です。
- フロントウインドウガラス、および運転席・助手席のドアガラスに着色フィルム（含む透明フィルム）などを貼り付けしないでください。視界をさまたげるばかりでなく、不正改造につながるおそれがあります。

車両データの記録について

お車には、車両の制御や操作に関するデータなどを記録するコンピューターが複数装備されており、主に次のようなデータを記録します。

- ・ エンジン回転数
- ・ アクセルの操作状況
- ・ ブレーキの操作状況
- ・ 車速
- ・ シフトポジション（オートマチック車）

グレード・オプション装備により記録されるデータ項目は異なります。なお、コンピューターは会話などの音声や映像は記録しません。

● データの取り扱いについて

トヨタはコンピューターに記録されたデータを車両の故障診断・研究開発・品質の向上を目的に取得・利用することがあります。

なお、次の場合を除き、トヨタは取得したデータを第三者へ開示または提供することはありません。

- ・ お車の使用者の同意（リース車は借主の同意）がある場合
- ・ 警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- ・ 統計的な処理を行う目的で、使用者や車両が特定されないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

イベントデータレコーダー

お車には、イベントデータレコーダー（EDR）が装備されています。EDR は、一定の衝突や衝突に近い状態（SRS エアバッグの作動および路上障害物との接触など）が発生した時に車両システムの作動状況に関するデータを記録します。EDR は車両の動きや安全システムに関するデータを短時間記録するように作られています。

EDR は次のようなデータを記録します。

- ・ 車両の各システムの作動状況
- ・ アクセルペダルおよびブレーキペダルの操作状況
- ・ 車速

これらのデータは、衝突や傷害が発生した状況を把握するのに役立ちます。

注意：EDR は衝突が発生したときにデータを記録します。通常走行時にはデータは記録されません。また、個人情報（例：氏名・性別・年齢・衝突場所）は記録されません。ただし、事故調査の際に法執行機関などの第三者が、通常の手続きとして収集した個人を特定できる種類のデータと EDR データを組み合わせて使用することがあります。EDR で記録されたデータを読み出すには、特別な装置を車両または EDR へ接続する必要があります。トヨタにくわえ、法執行機関などの特別な装置を所有する第三者が車両または EDR に接続した場合でも情報を読み出すことができます。

● EDR データの情報開示

次の場合を除き、トヨタは EDR で記録されたデータを第三者へ開示することはありません。

- ・ お車の使用者の同意（リース車は借主の同意）がある場合
- ・ 警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- ・ トヨタが訴訟で使用する場合

ただし、トヨタは

- ・ データを車両安全性能の研究に使用することがあります。
- ・ 使用者・車両が特定されないデータを調査目的で第三者に開示することがあります。

保証および点検について

保証および点検整備については、別冊「メンテナンスノート」に記載していますので、併せてお読みください。

日常点検整備や定期点検整備は、お客様の責任において実施してください。（法律で義務付けられています）

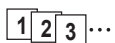
本書の見方



お守りいただかないと、お客様自身と周囲の人々が死亡、または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。



お守りいただかないと、車や装備品の故障や破損につながるおそれがあることを説明しています。



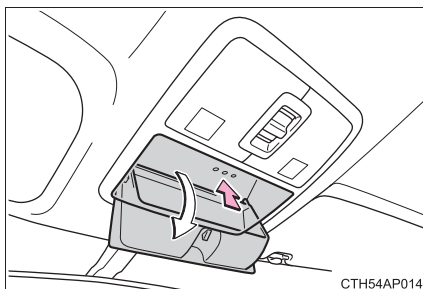
操作・作業の手順を示しています。番号の順に従ってください。



押す・まわすなど、していただきたい操作を示しています。



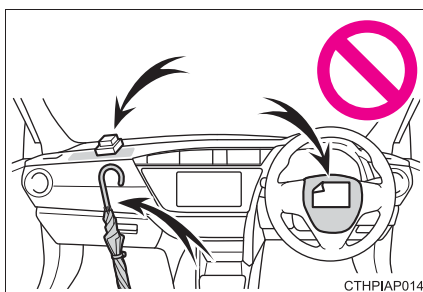
フタが開くなど、操作後の作動を示しています。



説明の対象となるもの・場所を示しています。



“してはいけません” “このようにしないでください” “このようなことを起こさないでください” という意味です。

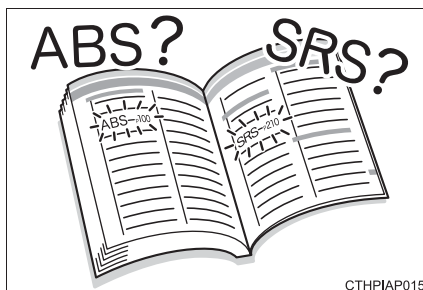


機能や操作方法の説明以外で知っておいていただきたい、知っておくと便利なことを説明しています。

検索のしかた

■ 名称から探す

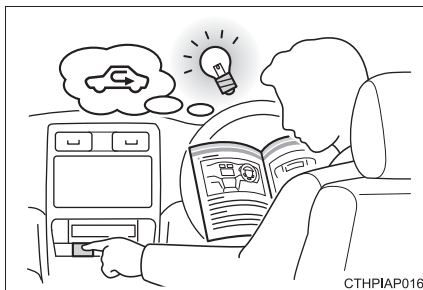
- ・ 五十音順さくいん373
- ・ アルファベット順
さくいん372



CTHPIAP015

■ 取り付け位置から探す

- ・ イラスト目次 12



CTHPIAP016

■ 症状や音から探す

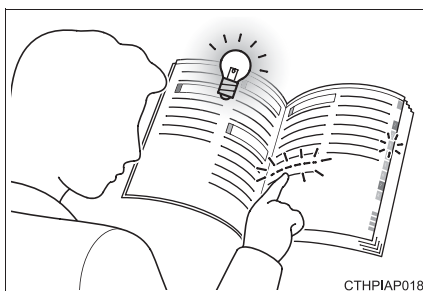
- ・ こんなときは
(症状別さくいん)366
- ・ 車から音が鳴ったときは
(音さくいん)371



CTHPIAP017

■ タイトルから探す

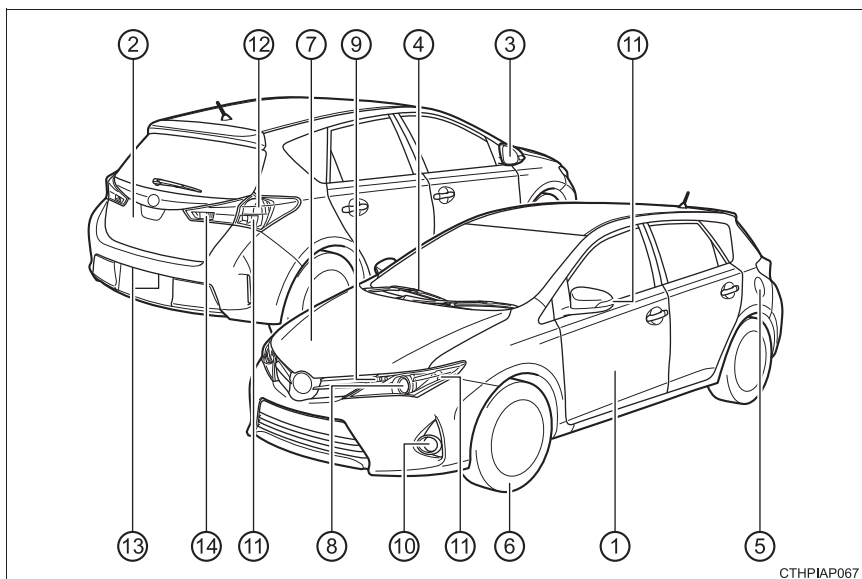
- ・ 目次2



CTHPIAP018

イラスト目次

■ 外観



CTHPIAP067

- ① ドアP. 93
 施錠／解錠 P. 82, 91
 ドアガラスの開閉P. 112
 メカニカルキーでの施錠／解錠★¹P. 345
 警告灯／警告メッセージ★²P. 301, 307
- ② バックドアP. 97
 施錠／解錠 P. 82, 91
 警告灯／警告メッセージ★²P. 301, 307
- ③ ドアミラーP. 109
 鏡面の角度調整.....P. 109
 ミラーの格納P. 109
 曇りを取る（ミラーヒーター）.....P. 196

- ④ **ワイパー**.....P. 158
 冬季の注意P. 180
 凍結防止（フロントワイパーデアイサー）★¹P. 198
- ⑤ **給油口**.....P. 162
 給油方法P. 162
 燃料の種類・燃料タンク容量P. 356
- ⑥ **タイヤ**.....P. 257
 サイズ・空気圧P. 361
 冬用タイヤ・タイヤチェーンP. 180
 点検・ローテーションP. 257
 パンク時の対処P. 316, 328
- ⑦ **ボンネット**.....P. 251
 開け方P. 251
 エンジンオイルP. 357
 オーバーヒート時の対処P. 351

走行に関わる外装のランプバルブ

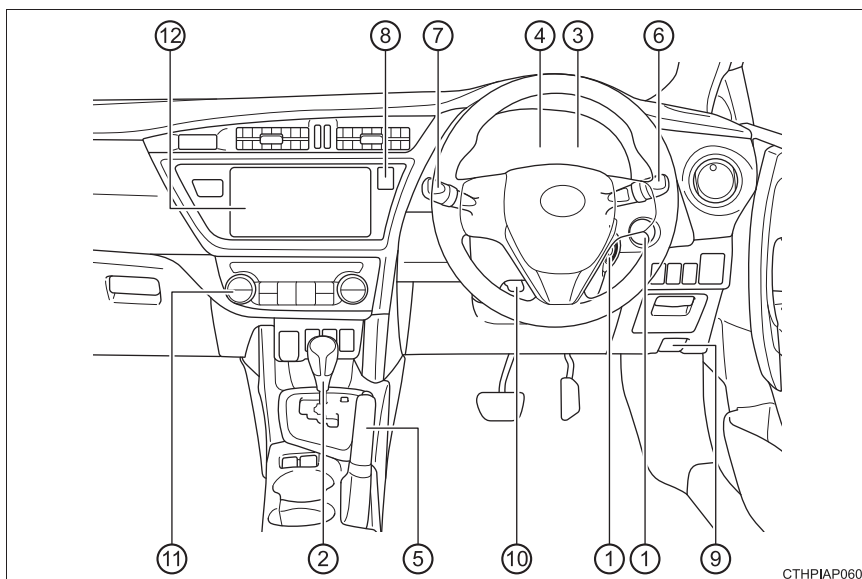
（交換要領：P. 271, ワット数：P. 362）

- ⑧ **ヘッドランプ**P. 148
- ⑨ **車幅灯**.....P. 148
- ⑩ **フロントフォグランプ**★¹P. 157
- ⑪ **方向指示灯**P. 145
- ⑫ **尾灯／制動灯**P. 148
 坂道などでの発進補助★¹P. 178
- ⑬ **番号灯**.....P. 148
- ⑭ **後退灯**
 シフトポジションを R にするP. 138, 143

★¹：仕様により異なる装備やオプション装備

★²：マルチインフォメーションディスプレイ装着車

■インストルメントパネル



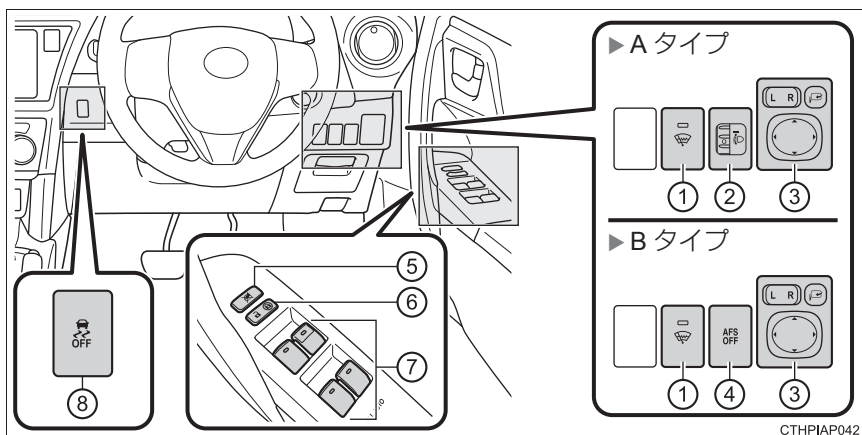
CTHPIAP060

- ① **エンジンスイッチ** P. 127, 130
 エンジンの始動・モード切りかえ P. 127, 130
 エンジンの緊急停止 P. 292
 エンジンが始動できないときの対処 P. 342
 警告メッセージ★¹ P. 309
- ② **シフトレバー** P. 138, 143
 シフトポジションの切りかえ P. 138, 143
 けん引時の注意 P. 294
 シフトレバーが動かないときの対処★² P. 344
- ③ **メーター** P. 60, 65
 見方・明るさの調整 P. 60, 65
 警告灯／表示灯 P. 56
 警告灯点灯時の対処 P. 299

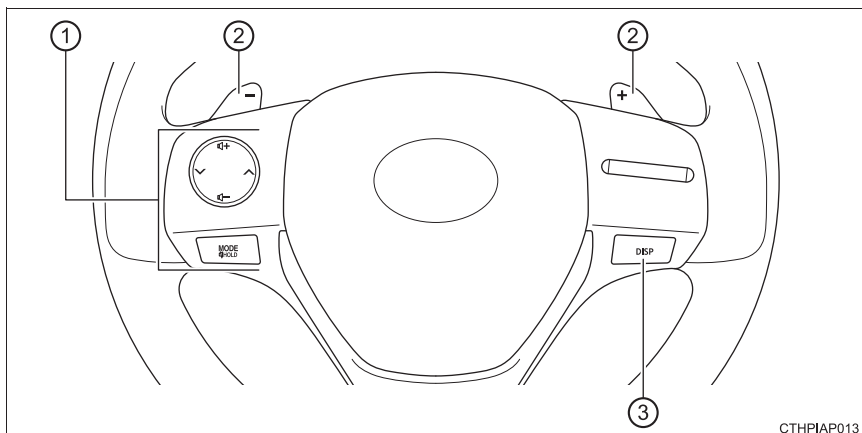
④	ドライブモニターディスプレイ★ ³	P. 60
	マルチインフォメーションディスプレイ★ ³	P. 65
	表示内容	P. 60, 65
	警告メッセージ表示時の対処	P. 305
⑤	パーキングブレーキ	P. 146
	かける・解除する	P. 146
	冬季の注意	P. 181
	警告ブザー／警告メッセージ★ ¹	P. 299, 305
⑥	方向指示レバー	P. 145
	ランプスイッチ	P. 148
	ヘッドランプ・車幅灯・尾灯	P. 148
	フロントフォグランプ★ ³	P. 157
⑦	ワイパー&ウォッシャースイッチ	P. 158
	使い方	P. 158
	ウォッシャー液の補充	P. 255
⑧	非常点滅灯スイッチ	P. 289
⑨	ボンネット解除レバー	P. 251
⑩	ハンドル位置調整レバー	P. 106
	調整方法	P. 106
⑪	エアコン	P. 184, 189
	操作方法	P. 184, 189
	リヤウィンドウの曇り取り（リヤウインドウデフォグガー）...	P. 196
⑫	オーディオ★ ³	P. 199
	音楽を聴く	P. 199

★¹：マルチインフォメーションディスプレイ装着車★²：オートマチック車★³：仕様により異なる装備やオプション装備

■スイッチ類

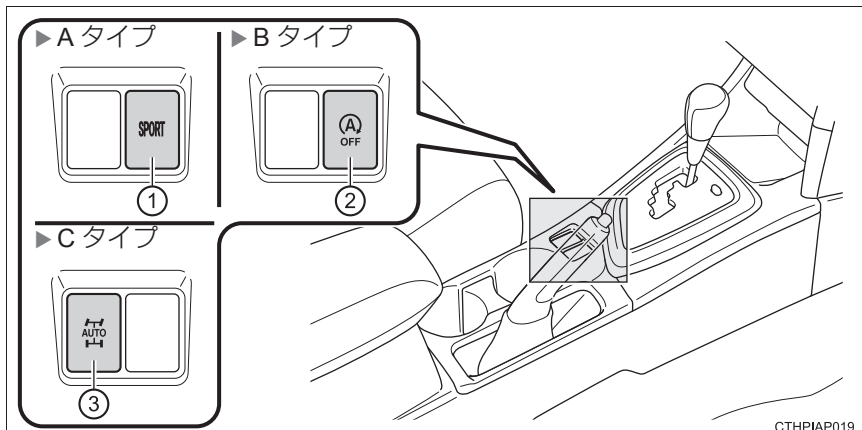


- ① フロントワイパーデアイサースイッチ★.....P. 198
- ② 手動光軸調整ダイヤル★P. 150
- ③ ドアミラースイッチP. 109
- ④ AFS OFF スイッチ★P. 151
- ⑤ ウインドウロックスイッチP. 112
- ⑥ ドアロックスイッチP. 93
- ⑦ パワーウィンドウスイッチP. 112
- ⑧ VSC OFF スイッチP. 174



CTHPIAP013

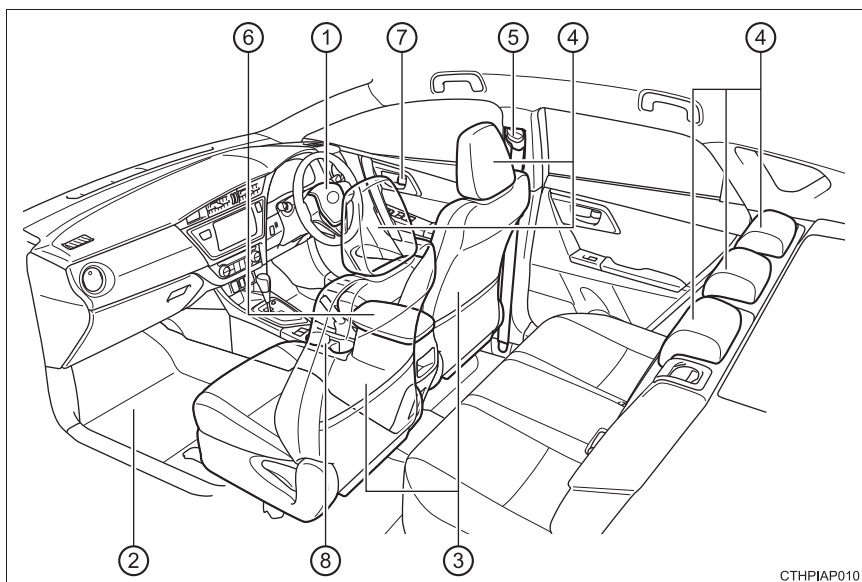
- ① オーディオスイッチP. 215
- ② パドルシフトスイッチ★P. 139
- ③ DISP スイッチ P. 61, 66



CTHPIAP019

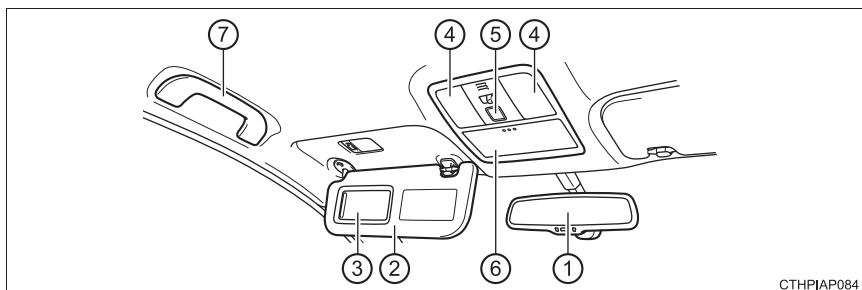
- ① スポーツモードスイッチ★P. 139
- ② Stop & Start キャンセルスイッチ★P. 167
- ③ 4WD オートモードスイッチ★P. 172

■ 室内



CTHPIAP010

- ① SRS エアバッグ P. 30
- ② フロアマット P. 22
- ③ フロントシート P. 101
- ④ ヘッドレスト P. 104
- ⑤ シートベルト P. 26
- ⑥ コンソールボックス P. 223
- ⑦ ロックレバー P. 94
- ⑧ カップホルダー P. 225



CTHPIAP084

- ① インナーミラーP. 107
- ② サンバイザー※P. 233
- ③ バニティミラーP. 233
- ④ インテリアランプ／パーソナルランプP. 218
- ⑤ パノラマルーフシェードスイッチ★P. 240
- ⑥ 小物入れP. 226
- ⑦ アシストグリップP. 239

★：仕様により異なる装備やオプション装備

※：やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合には、チャイルドシートをうしろ向きに取り付けしないでください。重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。（→ P. 52）



安全・安心のために

～必ずお読みください～

1

1-1. 安全にお使いいただくために

運転する前に.....	22
安全なドライブのために	24
シートベルト.....	26
SRS エアバッグ.....	30
お子さまの安全のために	38
子供専用シート.....	39
チャイルドシートの 取り付け.....	47
排気ガスに対する注意	53

1-2. 盗難防止装置

エンジンイモビライザー システム.....	54
--------------------------	----

運転する前に

点検整備

日常点検整備や定期点検整備は、お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。適切な時期に点検整備を実施し、車に異常がないことを確認してください。

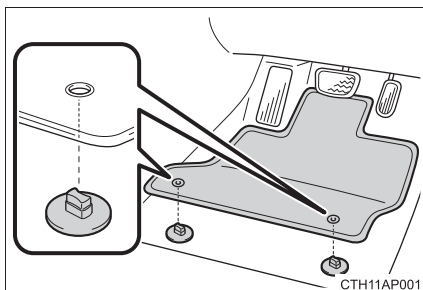
日常点検整備や点検項目などの詳細については、別冊「メンテナンスノート」を参照してください。

異常が見つかった場合は、トヨタ販売店で必ず点検整備を受けてください。

フロアマット

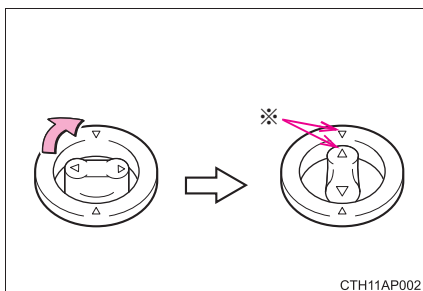
専用のフロアマットを、フロアカーペットの上にしっかりと固定してお使いください。

- 1 固定フック（クリップ）にフロアマット取り付け穴をはめ込む



- 2 固定フック（クリップ）上部のレバーをまわして、フロアマットを固定する

※ △マークを必ず合わせてください。



固定フック（クリップ）の形状はイラストと異なる場合があります。

⚠ 警告

次のことを必ずお守りください。

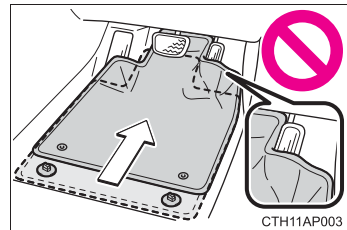
お守りいただかないと、フロアマットがずれて運転中に各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たり車を停止しにくくなるなど、事故の原因になるほか、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■運転席にフロアマットを敷くとき

- トヨタ純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアマットは使用しない
- 運転席専用のフロアマットを使用する
- 固定フック（クリップ）を使って、常にしっかりと固定する
- 他のフロアマット類と重ねて使用しない
- フロアマットを前後逆さまにしたり、裏返して使用しない

■運転する前に

- フロアマットがすべての固定フック（クリップ）で正しい位置にしっかりと固定されていることを定期的に確認し、特に洗車後は必ず確認を行う
- エンジン停止およびシフトレバーが P（オートマチック車）または N（マニュアル車）の状態、各ペダルを奥まで踏み込み、フロアマットと干渉しないことを確認する

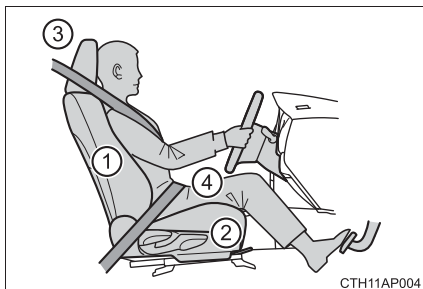


安全なドライブのために

安全に運転するために、走行前にシートやミラーなどを適切に調整してください。

正しい運転姿勢について

- ① まっすぐ座り、運転操作時に体が背もたれから離れないよう、背もたれの角度を調整する
(→ P. 101)
- ② ペダルがしっかりと踏み込め、ハンドルを握ったときにひじが少し曲がるようなシート位置にする
(→ P. 101)
- ③ ヘッドレストの中央が耳のいちばん上のあたりになるようにする
(→ P. 104)
- ④ シートベルトを正しく着用する
(→ P. 26)



シートベルトを正しく着用する

すべての乗員は、走行前に必ずシートベルトを正しく着用してください。
(→ P. 26)

シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、適切な子供専用シートをご用意ください。(→ P. 39)

ミラーを調整する

後方が確実に確認できるように、インナーミラー・ドアミラーを正しく調整してください。(→ P. 107, 109)

 警告

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

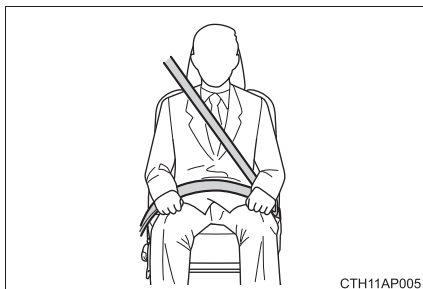
- 走行中は運転席の調整をしないでください。
運転を誤るおそれがあります。
- 背もたれと背のあいだにクッションなどを入れないでください。
正しい運転姿勢がとれないばかりか、衝突したとき、シートベルトやヘッドレストなどの効果が十分に発揮されないおそれがあります。
- フロントシートの下にものを置かないでください。
ものが挟まるとシートが固定されず、思わぬ事故や調整機構の故障の原因になります。
- 他の車や歩行者など、周囲の状況に常に注意を払い、安全運転を心がけてください。
- 飲酒運転は絶対にしないでください。お酒を飲むと注意力と判断力がにぶり、思いがけない事故を引き起こすおそれがあります。また、眠気をもよおす薬を飲んだときも運転を控えてください。
- 運転中に携帯電話を使用したり、装置の調節などをしないでください。周囲の状況などへの注意が不十分になり、大変危険です。ハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を運転中に使用することは法律で禁止されています。
- 長距離ドライブの際は、疲れを感じる前に定期的に休憩してください。
また、運転中に疲労感や眠気を感じたときは、無理に運転せず、すみやかに休憩してください。

シートベルト

走行前にすべての乗員は必ずシートベルトを正しく着用してください。

正しく着用する

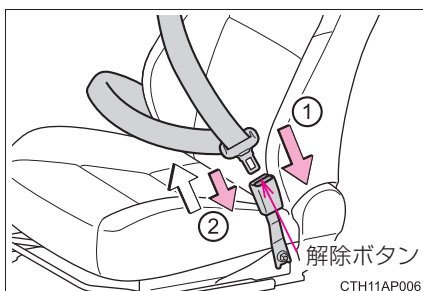
- 肩部ベルトを肩に十分かける
首にかかったり、肩からはすれないようにしてください。
- 腰部ベルトを必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させる
- 背もたれを調整し、上体を起こし、深く腰かけて座る
- ねじれないようにする



CTH11AP005

着け方・はずし方

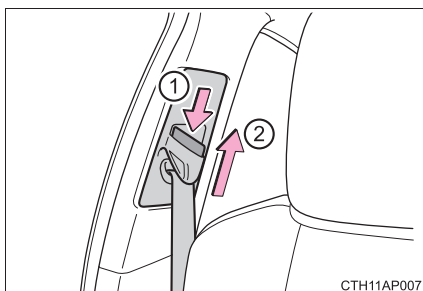
- ① ベルトを固定するには、“カチッ”と音がするまでプレートバックルに挿し込む
- ② ベルトを解除するには、解除ボタンを押す



CTH11AP006

シートベルトの高さ調節（フロント席）

- ① 解除ボタンを押しながら、アジャスターを下げる
- ② アジャスターを上げる
“カチッ”と音がして固定されるところまで動かしてください。



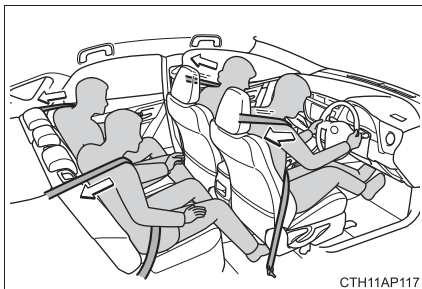
CTH11AP007

シートベルトプリテンショナー（フロント席・リヤ外側席）

前方から強い衝突を受けたとき、シートベルトを引き込むことで適切な乗員拘束効果を確保します。

SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ装着車：フロント席のシートベルトプリテンショナーは、側方から強い衝撃を受けたときも作動します。

前方・側方からの衝撃が弱いときや、うしろからの衝撃、横転のときは通常は作動しません。



知識

■シートベルトロックの解除方法

急停止や衝撃があったときベルトがロックされます。急に体を前に倒したり、シートベルトをすばやく引き出してもロックする場合があります。一度ベルトを強く引いてからゆるめ、ゆっくり動かせば、ベルトを引き出すことができます。

■お子さまのシートベルトの使い方

この車のシートベルトは、シートベルトを装着するのに十分な、大人の体格を持った人用に設計されています。

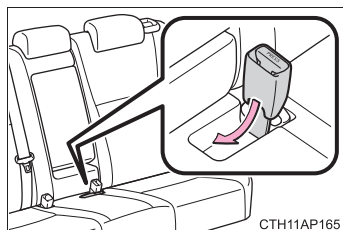
- シートベルトが正しい位置で着用できない小さなお子さまの場合は、お子さまの体に合った子供専用シートを使用してください。（→ P. 39）
- シートベルトが正しい位置で着用できるお子さまの場合は、シートベルトの着用のしかたに従ってください。（→ P. 26）

■シートベルトプリテンショナーについて

シートベルトプリテンショナーは一度しか作動しません。玉突き衝突などで連続して衝撃を受けた場合でも、一度作動したあとは、その後の衝突では作動しません。

■リヤ中央席シートベルトを使用したあとは

バックルを格納してください。



！ 警告

急ブレーキや事故の際のけがを避けるため、次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ シートベルトの着用について

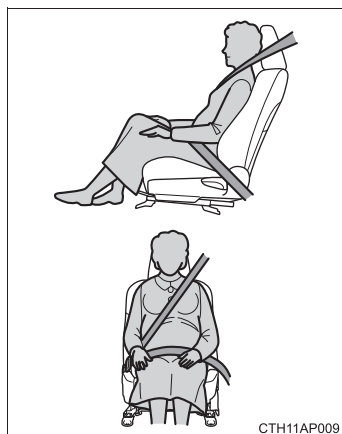
- 全員がシートベルトを着用する
- シートベルトを正しく着用する
- シートベルトは一組につき一人で使用する
お子さまでも一組のベルトを複数の人で使用しない
- お子さまはリヤ席に座らせてシートベルトを着用させる
- 背もたれは必要以上に倒さず、上体を起こし、シートに深く座る
- 肩部ベルトを腕の下に通して着用しない
- 腰部ベルトはできるだけ低い位置に密着させ着用する

■ 妊娠中の女性の場合

医師に注意事項を確認の上、必ず正しく着用してください。(→ P. 26)

通常の着用のしかたと同じように、腰部ベルトが腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにお腹のふくらみの下に、肩部ベルトは確実に肩を通し、お腹のふくらみを避けて胸部にかかるように着用してください。

ベルトを正しく着用していないと、衝突したときなどに、母体だけでなく胎児までが重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



CTH11AP009

■ 疾患のある方の場合

医師に注意事項を確認の上、必ず正しく着用してください。

 警告**■ お子さまを乗せるとき**

お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。

万一ベルトが首に巻き付いた場合、窒息など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

誤ってそのような状態になってしまい、バックルもはずせない場合は、ハサミなどでシートベルトを切断してください。

■ プリテンショナー付きシートベルトについて

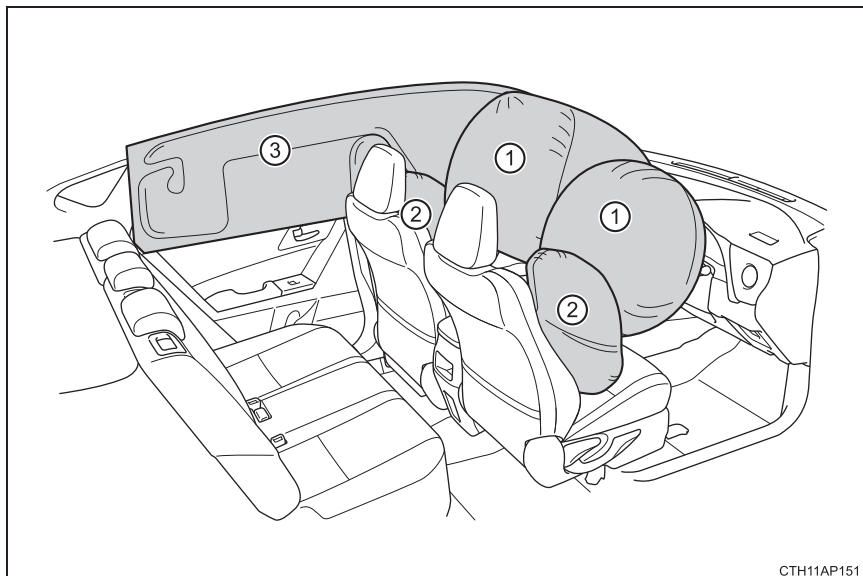
シートベルトプリテンショナーが作動すると、SRS エアバッグ／プリテンショナー警告灯が点灯します。その場合は、シートベルトを再使用することができないため、必ずトヨタ販売店で交換してください。

■ シートベルトの損傷・故障について

- ベルトやプレート・バックルなどは、シートやドアに挟むなどして損傷しないようにしてください。
- シートベルトが損傷したときはシートベルトを修理するまでシートは使用しないでください。
- プレートがバックルに確実に挿し込まれているか、シートベルトがねじれていないかを確認してください。うまく挿し込めない場合はただちにトヨタ販売店に連絡してください。
- もし重大な事故にあったときは、明らかな損傷が見られない場合でも、シート、シートベルトを交換してください。
- プリテンショナー付きシートベルトの取り付けや取りはずし・分解・廃棄などは、トヨタ販売店以外でしないでください。
不適切に扱うと、正常に作動しなくなるおそれがあります。

SRS エアバッグ

SRS エアバッグは乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときにふくらみ、シートベルトが体を拘束する働きと併せて乗員への衝撃を緩和させます。



CTH11AP151

◆ フロント SRS エアバッグ

- ① 運転席 SRS エアバッグ／助手席 SRS エアバッグ
(運転者と助手席乗員の頭や胸などへの衝撃を緩和)

◆ SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ★

- ② SRS フロントサイドエアバッグ
(フロント席乗員の胸などへの衝撃を緩和)
- ③ SRS カーテンシールドエアバッグ
(フロント席とリヤ外側席乗員の主に頭部への衝撃を緩和)

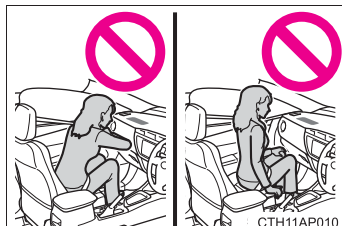
警告

■ SRS エアバッグについて

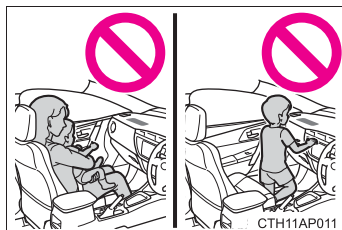
次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

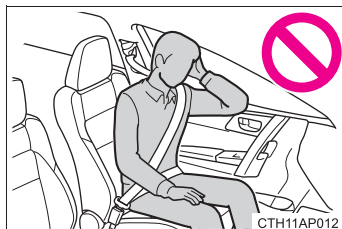
- 運転者と乗員すべてがシートベルトを正しく着用してください。
SRS エアバッグはシートベルトを補助するためのものです。
- 助手席 SRS エアバッグは強い力でふくらむため、シートの背もたれを調整して、シートをできるだけ SRS エアバッグから離し、まっすぐに座ってください。
- お子さまが小さくてシートベルトを使用できないときは、チャイルドシートでしっかり固定してください。お子さまはリヤ席に乘坐、チャイルドシートまたはシートベルトを着用させることをおすすめします。(→ P. 39)
- シートの縁に座ったり、ダッシュボードにもたれかかったりしない



- お子さまを助手席 SRS エアバッグの前に立たせたり、ひざの上に抱いたりしない
- 運転者および助手席乗員は、ひざの上に何も持たない



- SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ装着車：ドアやフロントピラー・センターピラー・リヤピラー・ルーフサイドレールへ寄りかからない



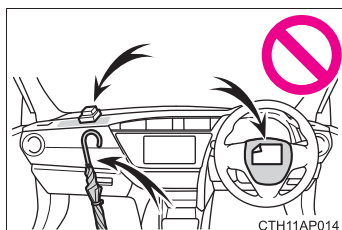
警告

■ SRS エアバッグについて

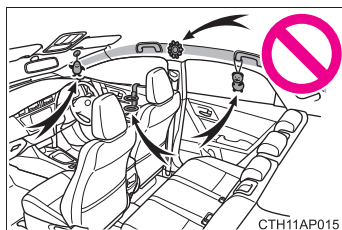
- SRS サイド＆カーテンシールドエアバッグ装着車：助手席やリヤシートでは、ドアに向かってひざをついたり、窓から顔や手を出したりしない



- ダッシュボード・ハンドルのパッド部分などには何も取り付けたり、置いたりしない



- SRS サイド＆カーテンシールドエアバッグ装着車：ドア・フロントガラス・ドアガラス・フロントピラーおよびリヤピラー・ルーフサイドレール・アシストグリップなどには何も取り付けない
(速度制限ラベルを除く：→ P. 332)



- SRS サイド＆カーテンシールドエアバッグ装着車：SRS サイドエアバッグがふくらむ場所を覆うようなシートアクセサリーを使用しないでください。エアバッグが作動する際、アクセサリーが干渉するおそれがあります。そのようなアクセサリーがエアバッグが正常に作動するのをさまたげ、システムを不能にしたり、またはエアバッグが誤って作動したりするおそれがあります。

 警告**■ SRS エアバッグについて**

- SRS エアバッグシステム構成部品の周辺は、強くたたかなど過度の力を加えないでください。
SRS エアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- SRS エアバッグがふくらんだ直後は、構成部品が熱くなっているため、ふれないでください。
- SRS エアバッグがふくらんだあとに、もし呼吸が苦しく感じたら、ドアやドアガラスを開けて空気を入れるか、安全を確認して車外に出てください。皮膚の炎症を防ぐため、残留物はできるだけ早く洗い流してください。
- SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ非装着車：SRS エアバッグが収納されているパッド部に傷が付いていたり、ひび割れがあるときは、そのまま使用せずトヨタ販売店で交換してください。
SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ装着車：SRS エアバッグが収納されているパッド部およびフロントピラーガーニッシュ部に傷が付いていたり、ひび割れがあるときは、そのまま使用せず、トヨタ販売店で交換してください。

■ 改造・廃棄について

トヨタ販売店への相談なしに、次の改造・廃棄をしないでください。
SRS エアバッグが正常に作動しなくなったり、誤ってふくらむなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- SRS エアバッグの取りはずし・取り付け・分解・修理
- ハンドル・インストルメントパネル・ダッシュボード・シート・シート表皮・フロントピラー・センターピラー・リヤピラー・ルーフサイドレール周辺の修理・取りはずし・改造
- フロントフェンダー・フロントバンパー・車内側面部の修理・改造
- グリルガード（ブルバー・カンガルーバーなど）・除雪装置・ウインチなどの取り付け
- サスペンションの改造
- CD プレーヤー・無線機などの電化製品の取り付け

 知識**■ SRS エアバッグが作動するとき**

- SRS エアバッグとの接触により、打撲やすり傷などを受けることがあります。
- 作動音と共に白いガスが発生します。
- SRS カーテンシールドエアバッグ非装着車：フロント席などだけでなく、エアバッグ構成部品（ハンドルのハブ、エアバッグカバー、インフレーター）も数分間熱くなることがあります。エアバッグそのものも熱くなります。
SRS カーテンシールドエアバッグ装着車：フロント席・フロントピラー・センターピラー・リヤピラー・ルーフサイドレールの一部などだけでなく、エアバッグ構成部品（ハンドルのハブ、エアバッグカバー、インフレーター）も数分間熱くなることがあります。エアバッグそのものも熱くなります。
- フロントウインドウガラスが破損することがあります。

■ SRS エアバッグが作動するとき（フロント SRS エアバッグ）

- フロント SRS エアバッグは、衝撃の強さが設定値（移動も変形もしない固定された壁に、車速約 20 ～ 30km/h で正面衝突した場合の衝撃の強さに相当する値）以上の場合に作動します。
ただし、次のような場合はエアバッグが作動する車速は設定値より高くなります。
 - ・ 駐車している車や標識のような衝撃によって移動や変形するものに衝突した場合
 - ・ もぐり込むような衝突の場合（例えば、車両前部がもぐり込む、下に入り込む、トラックの下敷きになるなど）
- 衝突条件によってはシートベルトプリテンショナーのみ作動する場合があります。

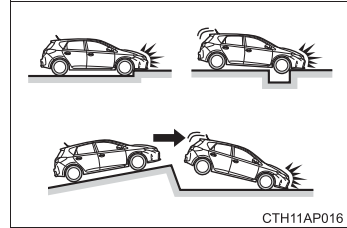
■ SRS エアバッグが作動するとき（SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ★）

- SRS サイド&カーテンシールドエアバッグは、衝撃の強さが設定値（約 1.5 t の車両が約 20 ～ 30km/h の速度で客室へ直角に衝突した場合の衝撃の強さに相当する値）以上の場合に作動します。
- 前面衝突時でも、特に衝撃が大きい場合は左右の SRS カーテンシールドエアバッグが開く場合があります。

■衝突以外で作動するとき

次のような状況で車両下部に強い衝撃を受けたときも、フロント SRS エアバッグが作動する場合があります。

- 縁石や歩道の端など、固いものにぶつかったとき
- 深い穴や溝に落ちたり、乗り越えたとき
- ジャンプして地面にぶつかったり、道路から落下したとき

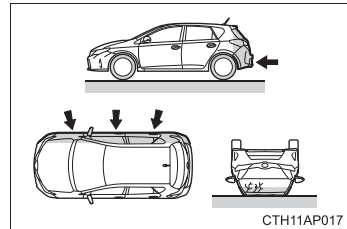


CTH11AP016

■SRS エアバッグが作動しないとき（フロント SRS エアバッグ）

フロント SRS エアバッグは、側面や後方からの衝撃・横転・または低速での前方からの衝撃では、通常は作動しません。ただし、それらの衝撃が前方への減速を十分に引き起こす場合には、フロント SRS エアバッグが作動することがあります。

- 側面からの衝突
- 後方からの衝突
- 横転

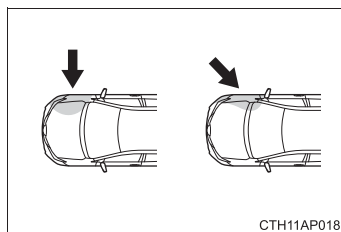


CTH11AP017

■SRS エアバッグが作動しないとき (SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ★)

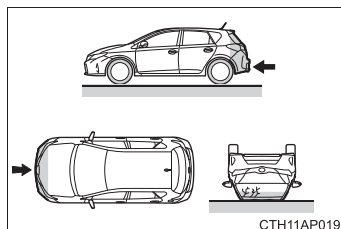
斜めから衝撃を受けた場合や、客室部分以外の側面に衝撃を受けたときには、SRS サイド&カーテンシールドエアバッグが作動しない場合があります。

- 客室部分以外の側面への衝撃
- 斜めからの衝撃



SRS サイド&カーテンシールドエアバッグは、前方や後方からの衝撃・横転・または低速での側面からの衝撃で作動するようには設計されていません。

- 前方からの衝突
- 後方からの衝突
- 横転

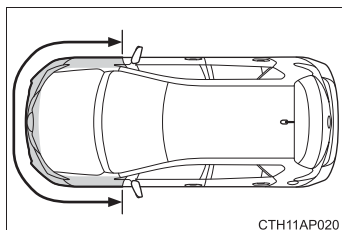


■ トヨタ販売店に連絡が必要な場合

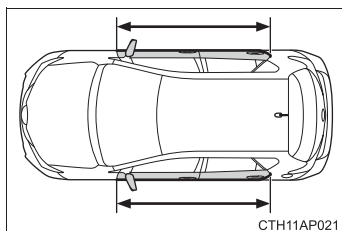
次のような場合には、修理・点検が必要になります。できるだけ早くトヨタ販売店へご連絡ください。

- いずれかの SRS エアバッグがふくらんだとき

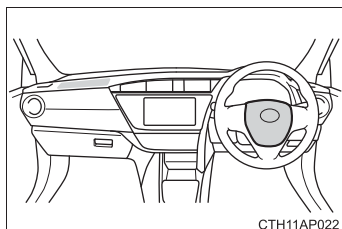
- フロント SRS エアバッグはふくらまなかったが、事故で車両の前部を衝突したとき、または破損・変形などがあるとき



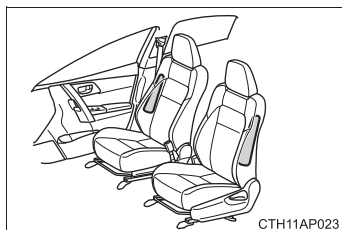
- SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ★はふくらまなかったが、事故でドア部分を衝突したとき、または破損・変形などがあるとき



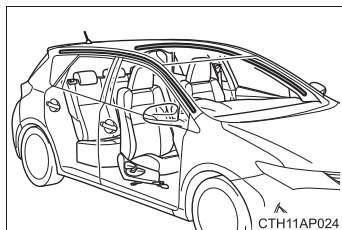
- ハンドルのパッド部分・ダッシュボードの助手席SRSエアバッグ付近が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき



- SRS サイドエアバッグ★が内蔵されているシート表面が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき



- SRS カーテンシールドエアバッグ★が内蔵されているフロントピラー部・リヤピラー部・ルーフサイド部が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき



★：仕様により異なる装備やオプション装備

お子さまの安全のために

お子さまを乗せるときは、次のことをお守りください。

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、適切な子供専用シートをご用意ください。(→ P. 39)
- 運転装置にふれるのを防ぐため、お子さまはリヤシートに乗せることをおすすめします。
- 走行中にドアを開けたり、パワーウィンドウを誤操作したりしないように、チャイルドプロテクター(→ P. 95)・ウィンドウロックスイッチ(→ P. 112)をご使用ください。
- 小さなお子さまには、パワーウィンドウ・ボンネット・バックドアやシートなど、体を挟まれるおそれがある装備類を操作させないでください。

警告

- お子さまを車の中に残したままにしないでください。車内が高温になって熱射病や脱水症状になり、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
また、お子さまが車内の装置を操作し、ドアガラスなどに挟まれたり、発炎筒などでやけどしたり、運転装置を動かして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 車にお子さまを乗せる場合は、お子さまの安全を確保するための注意事項やチャイルドシートの取り付け方をまとめた「チャイルドシートの取り付け」を参照してください。(→ P. 47)

子供専用シート

子供専用シートの固定機構を使用して、子供専用シートを固定することができます。

知っておいていただきたいこと

- 車の仕様やお子さまの年齢・体格に合わせて、適切な子供専用シートをお選びください。
- 子供専用シートの取り付け方法および取りはずし方は、それぞれの子供専用シートに付属の取扱説明書をお読みください。
- この車は2006年10月1日施行の保安基準に適合したISOFIX対応チャイルドシート固定専用バーを標準装備しています。

子供専用シートの適合性一覧表について

■ 質量グループについて

ECE R44 ※の基準に適合する子供専用シートはお子さまの体重により次の5種類に分類されます。

グループ0: 10kg まで

グループ0+: 13kg まで

グループI: 9 ~ 18kg

グループII: 15 ~ 25kg

グループIII: 22 ~ 36kg

この本では代表的な次の3種類の子供専用シートをシートベルトで固定する方法を紹介します。

※ ECE R44 は、子供専用シートに関する国際法規です。

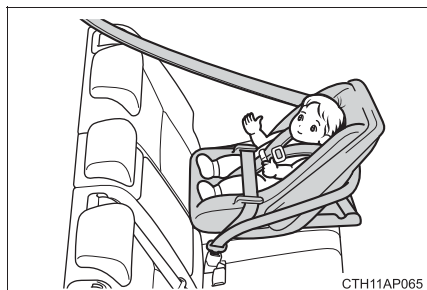
■ サイズ等級、固定具について

子供専用シートに表示される分類記号と、それとともなう取り付け器具の記号になります。

子供専用シートの種類

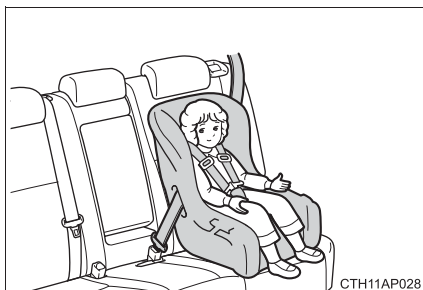
▶ ベビーシート

ECE R44 基準のグループ 0、0⁺に相当



▶ チャイルドシート

ECE R44 基準のグループ 0⁺、I に相当



▶ ジュニアシート

ECE R44 基準のグループ II、III に相当



シート位置別子供専用シート適合性一覧表 (シートベルトでの取り付け)

質量グループ	着席位置（または他の場所）		
	フロントシート	リヤシート	
	助手席	左右席	中央席
0（10kg まで）	×	U	U
0 ⁺ （13kg まで）	×	U	U
I（9～18kg）	前向き UF ※	U	U
	うしろ向き×		
II（15～25kg）	UF ※	U	U
III（22～36kg）	UF ※	U	U

● 上表に記入する文字の説明

U：この質量グループでの使用を許可された汎用（ユニバーサル）カテゴリーの子供専用シートに適しています。

UF：この質量グループでの使用を許可された汎用（ユニバーサル）カテゴリーの前向きの子供専用シートに適しています。

×：子供専用シートを取り付けることはできません。

※ フロントシートの背もたれを直立状態にする。
フロントシートをいちばんうしろに下げる。

表に記載されていない子供専用シートを使用する場合は、子供専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。

子供専用シートの装着に関しては子供専用シートの取扱説明書もご確認ください。

シート位置別子供専用シートの適合性一覧表 (ISOFIX 対応トップテザーアンカーでの取り付け)

質量グループ	サイズ等級	固定具	車両 ISOFIX 位置
			リヤシート左右席
キャリコット	F	ISO/L1	×
	G	ISO/L2	×
0 (10kg まで)	E	ISO/R1	IL1, IL2
0+ (13kg まで)	E	ISO/R1	IL1, IL2
	D	ISO/R2	IL2
	C	ISO/R3	IL2
I (9 ~ 18kg)	D	ISO/R2	×
	C	ISO/R3	×
	B	ISO/F2	IUF, IL2
	B1	ISO/F2X	IUF, IL2
	A	ISO/F3	IUF, IL2
II (15 ~ 25kg)		(1)	×
III (22 ~ 36kg)		(1)	×

● 上表に記入する文字の説明

(1) : サイズ等級表示 (A から G) のない子供専用シートの各シート位置での ISOFIX 対応子供専用シート固定機構の取り扱いについては、子供専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。

IUF : この質量グループでの使用を許可された汎用 (ユニバーサル) カテゴリーの ISOFIX 対応の前向き子供専用シートに適しています。

IL1 : この質量グループでの使用を許可された「トヨタ純正 NEO G-Child ISO baby」に適しています。

IL2 : この質量グループでの使用を許可された「トヨタ純正 NEO G-Child ISO leg」に適しています。

× : ISOFIX 子供専用シートを取り付けることはできません。

子供専用シートの装着に関しては子供専用シートの取扱説明書もご確認ください。

 知識**■ ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バーについて**

この車に標準装備されているISOFIX対応チャイルドシート固定専用バーは、ECE R44 に適合している子供専用シート取り付け専用です。それ以外のものを使用することはできません。

■ 子供専用シートの選択、使用について

- お子さまに最適な子供専用シートについては、子供専用シート製造業者、または販売業者にご相談ください。
- お子さまが成長し、適切にシートベルトが着用できるようになるまでは、お子さまに合った子供専用シートを使用してください。
- 体が十分大きく、子供専用シートが不必要なお子さまは、リヤシートに乗せて車のシートベルトを使用してください。

■ シートベルトで取り付けるタイプの子供専用シートの選択について

「シート位置別子供専用シート適合性一覧表」(→ P. 41) を参照し、子供専用シートを取り付け可能な位置と、対応する子供専用シートの種類(記号)をご確認の上、適したものを選択してください。

■ ECE R44 適合の ISOFIX 対応子供専用シートの選択について

「シート位置別子供専用シートの適合性一覧表」(→ P. 42) を確認して、適切なシートを選択してください。

1 お子さまの体重から、該当する「質量グループ」を確認する

(例 1) : 体重が 12kg の場合、質量グループは「O⁺」になります。

(例 2) : 体重が 15kg の場合、質量グループは「I」になります。

2 サイズ等級を選択する

手順**1**で確認した「質量グループ」から該当するサイズ等級を確認します。※

(例 1) : 質量グループが「O⁺」の場合、サイズ等級は「C」・「D」・「E」が該当します。

(例 2) : 質量グループが「I」の場合、サイズ等級は「A」・「B」・「B1」・「C」・「D」が該当します。

※ ただし、該当のサイズ等級でも適合性一覧表の「車両 ISOFIX 位置」に「×」と記載されているものは選択できません。

- ③ 子供専用シートに表示されているマーク／ラベルを確認して、基準に適合したシートであることを確認する

汎用（ユニバーサル）子供専用シートには、次に示すマーク・ラベル類が表示されています。

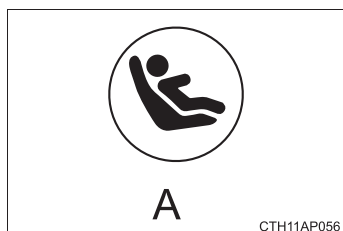
※ 表示されている位置・記号などは、商品により異なります。



- ① ISOFIX 対応子供専用シートであることを示す表示

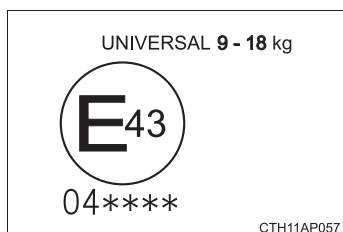
サイズ等級が示されています。（表示される文字は、製品により異なります）

手順②で確認したサイズ等級に適合しているものを選択してください。



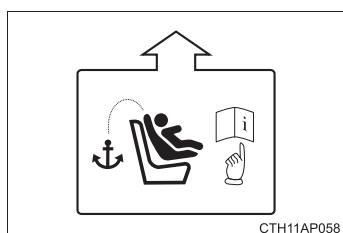
- ② 汎用（ユニバーサル）子供専用シートの認可マーク

UNIVERSAL は汎用品の認可であることを表し、併せて、対象となるお子さまの体重の範囲が記載されています。



- ③ トップテザー（→ P. 47）を示すマーク

商品の取り付け装置の位置により、意匠は異なります。



■ ISOFIX 対応子供専用シートの種類（サイズ等級別）

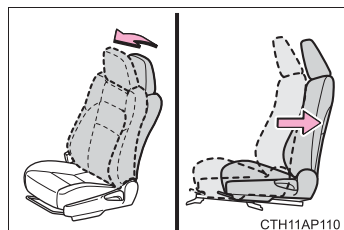
A-ISO/F3	全高前向き幼児用チャイルドシート
B-ISO/F2	低型前向き幼児用チャイルドシート
B1-ISO/F2X	低型前向き幼児用チャイルドシート (B-ISO/F2 と別形状のもの)
C-ISO/R3	大型後向き幼児用チャイルドシート
D-ISO/R2	小型後向き幼児用チャイルドシート
E-ISO/R1	後向き乳児用チャイルドシート
F-ISO/L1	左向き位置用チャイルドシート（キャリコット）
G-ISO/L2	右向き位置用チャイルドシート（キャリコット）

■ 助手席に子供専用シートを取り付けるとき

やむを得ず助手席に子供専用シートを取り付ける場合には、助手席シートを次のように調整し、子供専用シートを前向きに取り付けてください。

- 背もたれを直立状態にする
- シートをいちばんうしろに下げる

子供専用シートが、内装やヘッドレストにあたるなどしてうまく取り付けできない場合は、シートの前後位置や背もたれの角度を調節、またはヘッドレストを取りはずしてください。



■ キャリコットについて

キャリコットは横向きに取り付けることのできるベビーシートのことです。詳しくは子供専用シート製造業者または販売業者にお尋ねください。

 警告**■ 子供専用シートを使用しない場合**

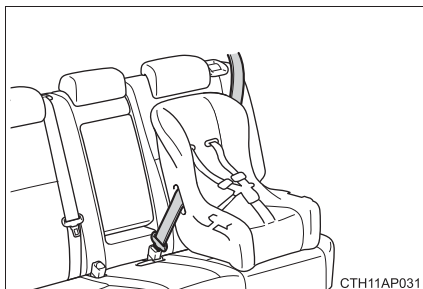
- 子供専用シートを使用しないときであっても、シートに適切にしっかりと取り付けられた状態にしてください。ゆるめた状態で客室内に置くことは避けてください。
- 子供専用シートの取りはずしが必要な場合は、車両からはずして保管するか、ラゲージルーム内に容易に動かないように収納してください。
また、取付けの際にヘッドレストを外した場合は、運転する前にヘッドレストを取り付けてください。

チャイルドシートの取り付け

シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、チャイルドシートをお使いください。お子さまの安全のために、チャイルドシートはリヤシートに取り付けてください。

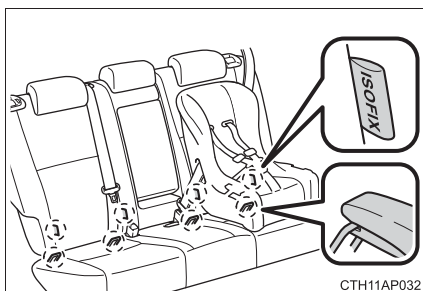
取り付け方法は、商品に付属の取扱説明書に必ず従ってください。

シートベルトによる取り付け
(→ P. 48)



ISOFIX 対応チャイルドシート固定
専用バー (→ P. 49)

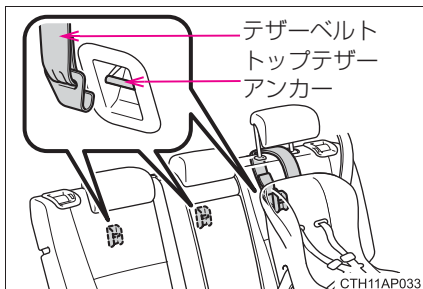
リヤ外側シートに装備されています。
(固定専用バーが装備されていること
を示すタグがシートに付いています)



トップテザーアンカー (→ P. 50)

テザーベルトを固定するときに使います。

トップテザーアンカーはリヤシートの
それぞれの座席に装備されています。



シートベルトで固定する

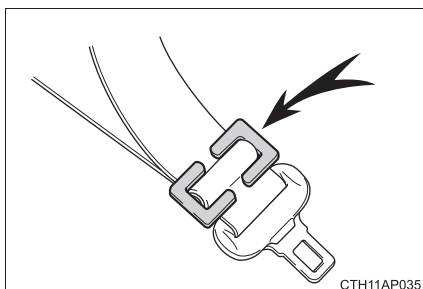
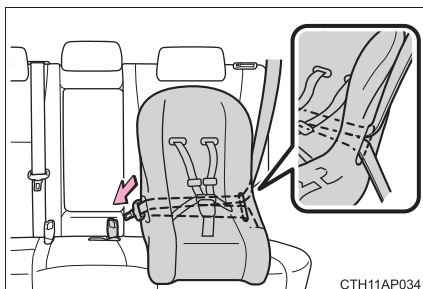
- 1 チャイルドシートにシートベルトを取り付け、プレートをバックルに“カチッ”と音がするまで挿し込む。ベルトがねじれていないようにする

チャイルドシートに付属の取扱説明書に従い、シートベルトをチャイルドシートにしっかりと固定させてください。

チャイルドシートが、ヘッドレストにあたりうまく取り付けできない場合は、ヘッドレストを取りはずしてください。

- 2 チャイルドシートにシートベルトの固定装置が備わっていない場合は、ロッキングクリップ（別売）を使用して固定する

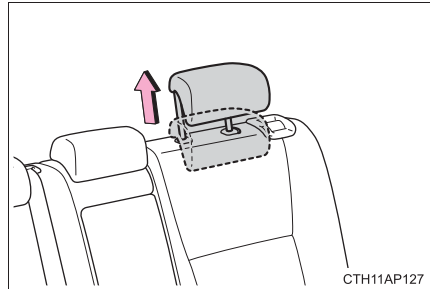
ロッキングクリップの購入にあたっては、トヨタ販売店にご相談ください。（ロッキングクリップ品番：73119-22010）



取り付け後はチャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかりと固定されていることを確認してください。

ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バー&トップテザーアンカーで固定する

- 1 ヘッドレストをいちばん上まで上げる



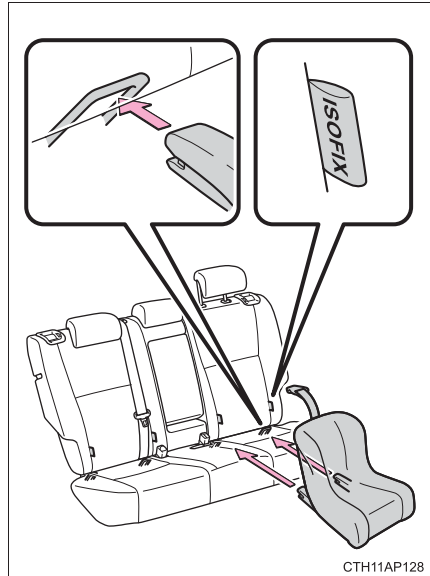
- 2 ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バーの位置を確認して、チャイルドシートをシートに取り付ける

固定専用バーは、シートクッションの奥にあります。

チャイルドシートの取り付け金具をチャイルドシート固定専用バーに取付けます。

取り付け方法は、それぞれのチャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。

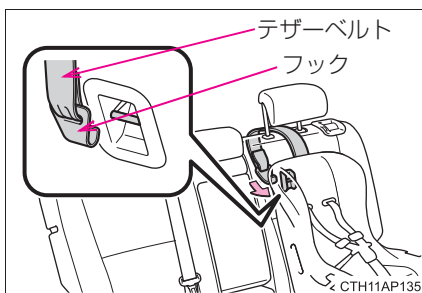
チャイルドシートが、ヘッドレストにあたりうまく取り付けできない場合は、ヘッドレストを取りはずしてください。



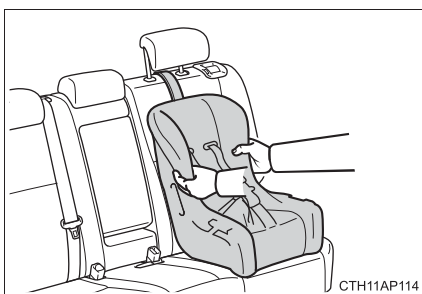
- 3 パッケージトレイを取りはずす (→ P. 231)

- 4 トップテザーアンカーにフックを固定し、テザーベルトを締める
テザーベルトはヘッドレストの下を通してください。

テザーベルトをピンと張り、フックがしっかり固定されていることを確認します。



- 5 取り付けしたチャイルドシートを前後左右にゆすり、固定されていることを確認する



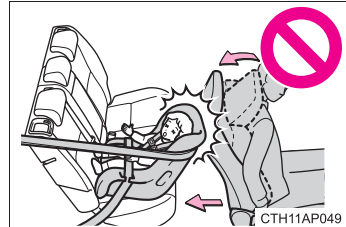
⚠ 警告

■チャイルドシートについて

- 事故や急停止の際、効果的にお子さまを保護するために、必ずお子さまの年齢や体の大きさに合ったシートベルトまたはチャイルドシートを使用してください。お子さまを腕の中に抱くのはチャイルドシートのかわりにはなりません。事故の際、お子さまがフロントガラスや乗員、車内の装備にぶつかり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- お子さまの年齢や体の大きさに合ったチャイルドシートを使用して、リヤシートに取り付けてください。
- SRS サイド & カーテンシールドエアバッグ装着車：チャイルドシートに座らせている場合でも、ドア・シート・フロントピラー・リヤピラー・ルーフサイドレール付近にお子さまの頭や体のどの部分ももたれかけないようにしてください。SRS エアバッグがふくらんだ場合、大変危険であり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- チャイルドシートによっては、取り付けができない、または取り付けが困難な場合があります。必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書をよくお読みの上、確実に取り付け、使用方法をお守りください。使用方法を誤ったり、確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突時などに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

警告**■チャイルドシートを取り付けるとき**

- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。万一ベルトが首に巻き付いた場合、窒息など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
誤ってそのような状態になってしまい、バックルもはずせない場合は、ハサミなどでシートベルトを切断してください。
- シートベルトのプレートとバックルがしっかり固定されて、ベルトがねじれていないか確認してください。
- チャイルドシートを前後左右にゆすって、しっかり固定されているか確認してください。
- チャイルドシートを固定したあとは、シートを調整しないでください。
- 運転席とチャイルドシートが干渉し、チャイルドシートが正しく取り付けられない場合は、助手席側のリヤ席に取り付けてください。
- 助手席シートとチャイルドシートが干渉しないように、助手席シートを調整してください。



警告

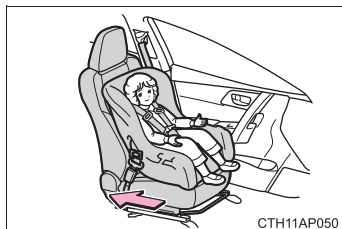
■チャイルドシートを取り付けるとき

- やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合には、チャイルドシートをうしろ向きに取り付けないでください。
うしろ向きに取り付けていると、事故などで助手席 SRS エアバッグがふくらんだとき、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 助手席側のサンバイザーに、同内容のラベルが貼られています。併せて参照してください。



CTH11AP123

- やむを得ず助手席に前向きにチャイルドシートを取り付ける場合には、助手席シートをいちばんうしろにさげて取り付けてください。
助手席 SRS エアバッグはかなりの速度と力でふくらむので、お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



CTH11AP050

- ジュニアシートを使用している場合は、肩部ベルトが常にお子さまの肩の中心にくるようにしてください。ベルトを首から離すと共に肩から落ちないようにしてください。お守りいただかないと、事故や急ブレーキの際に重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バーを使用するときは、周辺に障害物がないか、シートベルトが挟まっていないかなどを確認してください。

排気ガスに対する注意

排気ガスには吸引すると人体に有害な物質が含まれています。

警告

排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素（CO）が含まれているため、次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、排気ガスが車内に侵入し、多量の排気ガスが眠気を招き事故の原因となるほか、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 走行中の留意事項

バックドアを閉じてください。

バックドアが閉じているのに車内で排気ガス臭がするときは、ドアガラスを開けて空気を入れかえ、すみやかにトヨタ販売店で点検整備を受けてください。

■ 駐車するとき

- 車庫内など換気が悪い場所や囲まれた場所では、エンジンを停止してください。
- 長時間エンジンをかけたままにしないでください。
やむを得ないときは、開かれた場所に車を止め、排気ガスが車内に入ってこないことを確認してください。
- 降雪時や雪が積もった場所では、エンジンをかけたままにしないでください。
まわりに積もった雪で排気ガスが滞留して、車内に侵入するおそれがあります。

■ 排気管について

排気管は定期的に点検する必要があります。排気管等の腐食などによる穴や亀裂、および継ぎ手部の損傷、また、排気音の異常などに気付いた場合は、必ずトヨタ販売店で点検を受けてください。

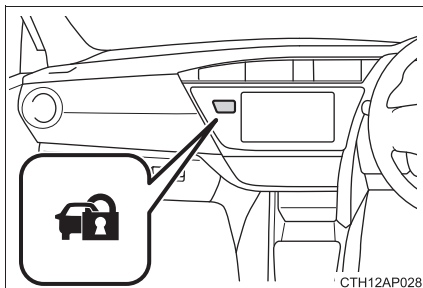
エンジンモビライザーシステム

キーに信号発信機が内蔵しており、あらかじめ登録されたキー以外ではエンジンを始動できません。

車両から離れる場合は、車内にキーを残さないでください。

エンジンスイッチをOFFにすると、システムの作動を知らせるためにインジケーターが点滅します。

登録されたキーを携帯し、エンジンスイッチをアクセサリモードまたはイグニッション ON モードにするとシステムが解除され、インジケーターが消灯します。



知識

■ メンテナンスについて

エンジンモビライザーシステムのメンテナンスは不要です。

■ システムが正常に作動しないとき

- キーが金属製のものに接したり、覆われているとき
- キーが他の車両のセキュリティシステム用キー（信号発信機内蔵キー）と重なっているときや接近しているとき

注意

■ エンジンモビライザーシステムを正常に作動させるために

システムの改造や取りはずしをしないでください。システムが正常に作動しないおそれがあります。

メーターの見方

2

2. 計器の見方

警告灯／表示灯 56

メーター（ドライブモニター
ディスプレイ） 60

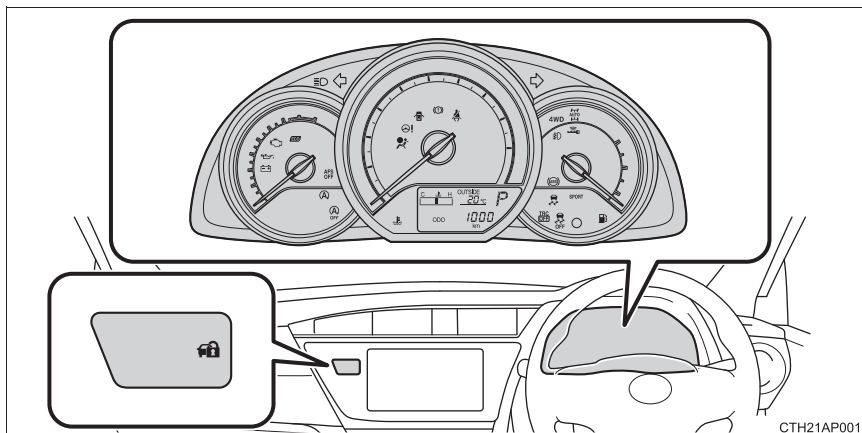
メーター
（マルチインフォメーション
ディスプレイ） 65

エコドライブ
インジケーター 72

警告灯／表示灯

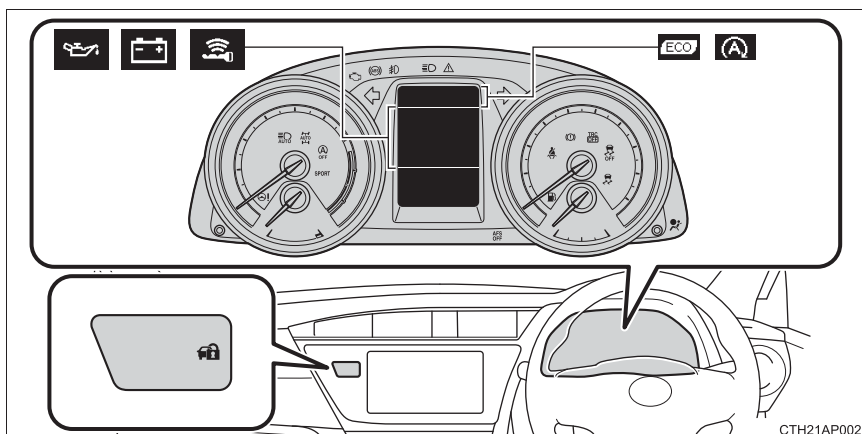
メーター内の警告灯／表示灯でお車の状況をお知らせします。
次のイラストは、説明のためすべての警告灯／表示灯を示しています。

▶ ドライブモニターディスプレイ装着車



CTH21AP001

▶ マルチインフォメーションディスプレイ装着車



CTH21AP002

警告灯

システム異常などを警告します。

※ 	ブレーキ警告灯 (→ P. 299)	※ 	AFS OFF 表示灯★ (→ P. 300) (点滅)
※ 	充電警告灯★ (→ P. 299)	※ 	4WD 警告灯★ (→ P. 172)
※ 	油圧警告灯★ (→ P. 299)	※ 	Stop & Start キャンセル表示灯★ (→ P. 300) (点滅)
※ 	高水温警告灯★ (→ P. 299)	※ 	スマートエントリー&スタートシステム表示灯★ (→ P. 300) (黄色点滅)
※ 	エンジン警告灯 (→ P. 300)		半ドア警告灯★ (→ P. 301)
※ 	SRS エアバッグ/プリテンショナー警告灯 (→ P. 300)		燃料残量警告灯 (→ P. 301)
※ 	ABS & ブレーキアシスト警告灯 (→ P. 300)		シートベルト非着用警告灯 (→ P. 301)
※ 	パワーステアリング警告灯 (→ P. 300)	※ 	マスターウォーニング★ (→ P. 301)
※ 	スリップ表示灯 (→ P. 300) (点灯)		

※ 作動確認のためにエンジンスイッチを“ON”★またはエンジンスイッチをイグニッション ON モード★にすると点灯し、数秒後またはエンジンをかけると消灯します。点灯しない場合や点灯したままのときは、システム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

★：仕様により異なる装備やオプション装備

表示灯

システムの作動状況を表示します。

	方向指示表示灯 (→ P. 145)		Stop & Start 表示灯★ (→ P. 165)
	ハイビーム表示灯 (→ P. 148)		Stop & Start キャンセル 表示灯★ (→ P. 167)
	オートマチックハイビーム 表示灯★ (→ P. 153)		TRC OFF 表示灯 (→ P. 174)
	フロントフォグランプ 表示灯★ (→ P. 157)		スリップ表示灯 (→ P. 174, 178) (点滅)
	スマートエントリー&ス タートシステム表示灯★ (緑色) (→ P. 130)		VSC OFF 表示灯 (→ P. 174)
	4WDオートモード表示灯★ (→ P. 172)		シフトポジション・シフト レンジ表示灯★(→P. 138)
	スポーツモード表示灯★ (→ P. 139)		シフトポジション・シフト レンジ表示灯★(→P. 138)
	エコドライブインジケー ターランプ★ (→ P. 72)		エンジンイモビライザーシ ステム表示灯 (→ P. 54)
	AFS OFF 表示灯★ (→ P. 151)		

※ 作動確認のためにエンジンスイッチを“ON” ★またはエンジンスイッチをイグニッション ON モード★にすると点灯し、数秒後またはエンジンをかけると消灯します。点灯しない場合や点灯したままのときは、システム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

★：仕様により異なる装備やオプション装備

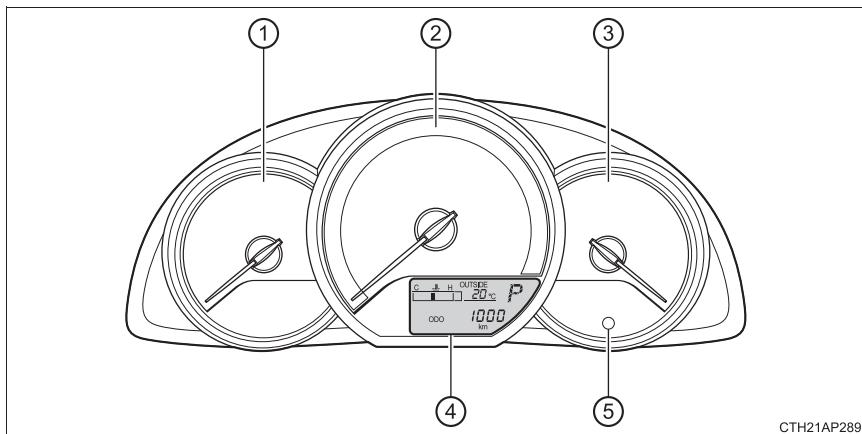
 警告**■安全装置の警告灯が点灯しないとき**

ABS や SRS エアバッグなど安全装置の警告灯がエンジンスイッチを“ON”★またはエンジンスイッチをイグニッション ON モード★にしても点灯しない場合や点灯したままの場合は、事故にあったときに正しく作動せず、重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

メーター（ドライブモニターディスプレイ）

メーターの種類により表示内容が異なります。

- マルチインフォメーションディスプレイ（→ P. 65）
- メーターに関する警告・注意（→ P. 75）

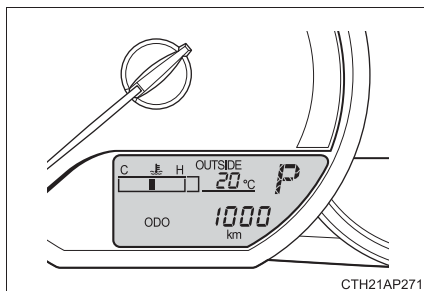


- ① タコメーター
毎分のエンジン回転数を示します。
- ② スピードメーター
車両の走行速度を示します。
- ③ 燃料計
燃料残量を示します。

④ ドライブモニターディスプレイ

外気温や走行に関する様々な情報を表示します。

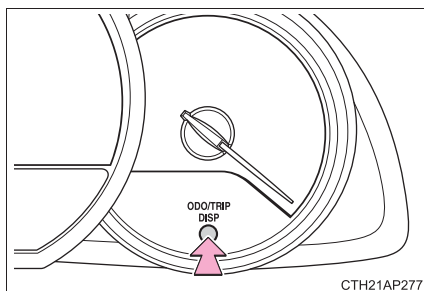
- ・ 水温計表示
エンジン冷却水の温度を示します。
- ・ エコドライブインジケータゾーン表示★ (→ P. 73)
- ・ 外気温表示 (→ P. 235)
- ・ シフトポジション表示灯★ (→ P. 138)
- ・ トリップインフォメーション (→ P. 62)



⑤ 表示切りかえボタン

トリップインフォメーション表示の切りかえができます。

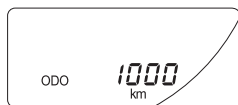
ハンドル右側にある DISP スイッチでも、同じようにトリップインフォメーション表示を切りかえることができます。(→ P. 17)



トリップインフォメーション

航続可能距離、平均燃費など、走行に関する情報を表示します。表示切りかえボタンを押すごとに、表示が切りかわります。

■ オドメーター



走行した総距離を表示します。

表示中に表示切りかえボタンを長押しすることで、エコドライブインジケータランプユーザーカスタマイズ画面に切りかわります。(→ P. 74)

■ トリップメーター A※



リセットしてからの走行距離を表示します。

リセットするには、トリップメーター A の表示中に表示切りかえボタンを 1 秒以上押し続けます。

■ トリップメーター B※



リセットしてからの走行距離を表示します。

リセットするには、トリップメーター B の表示中に表示切りかえボタンを 1 秒以上押し続けます。

※ 区間距離は、トリップ A、トリップ B の 2 種類で使い分けることができます。

■ アイドリングストップ時間★



エンジンを始動してから OFF にするまでのアイドリングストップ時間 (Stop & Start システムによるエンジン停止時間) を表示します。

■ 総アイドリングストップ時間★



リセットしてからのアイドリングストップ時間 (Stop & Start システムによるエンジンの停止時間) を通算で表示します。

リセットするには、総アイドリングストップ時間表示中に表示切りかえボタンを 1 秒以上押し続けます。

■ 平均燃費



リセットしてからの平均燃費を表示します。

- ・ リセットするには、平均燃費表示中に表示切りかえボタンを 1 秒以上押し続けます。
- ・ 表示される平均燃費は、参考として利用してください。
- ・ オートマチック車：平均燃費表示中は、エコドライブインジケーターゾーン表示が表示されます。

■ 航続可能距離



現在の燃料残量で走行できるおよその距離を表示します。

- ・ 表示される距離は過去の平均燃費をもとに算出されるため、表示される距離を実際に走行できない場合があります。
- ・ 燃料給油量が少量の場合、表示が更新されないことがあります。

給油の際はエンジンスイッチを OFF にしてください。万一、エンジンスイッチを OFF にせず給油した場合、表示が更新されないことがあります。

■ 照度調整



車幅灯点灯時にメーターの照度を表示します。

調整するには、照度調整表示中に表示切りかえボタンを 1 秒以上押します。

知識

■ メーター・ディスプレイの作動条件

スマートエントリー&スタートシステム非装着車：

エンジンスイッチが“ON” のとき

スマートエントリー&スタートシステム装着車：

エンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

■ バッテリー端子の脱着をしたとき

バッテリー端子の脱着を行うとき、次のデータはリセットされます。

- 平均燃費
- 航続可能距離

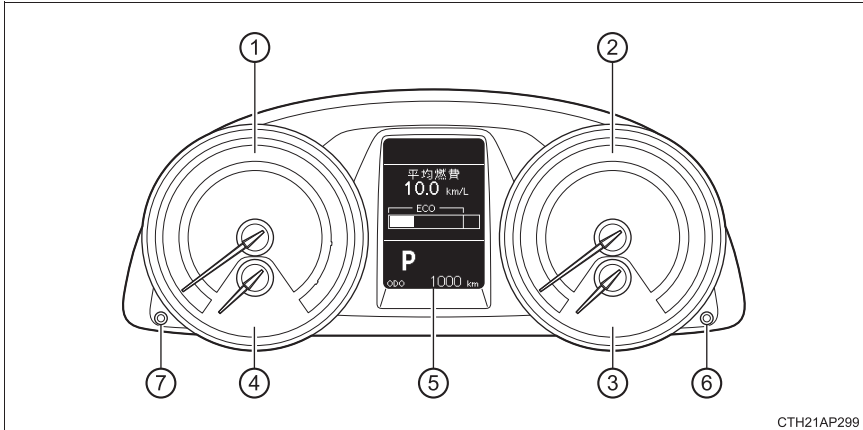
■ カスタマイズ機能

エコドライブインジケータランプの設定を変更できます。(→ P. 74)

メーター（マルチインフォメーションディスプレイ）

メーターの種類により表示内容が異なります。

- ドライブモニターディスプレイ（→ P. 60）
- メーターに関する警告・注意（→ P. 75）



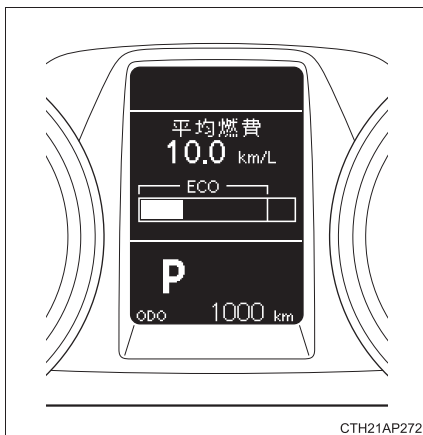
CTH21AP299

- ① タコメーター
毎分のエンジン回転数を示します。
- ② スピードメーター
車両の走行速度を示します。
- ③ 燃料計
燃料残量を示します。
- ④ 水温計
エンジン冷却水の温度を示します。

⑤ マルチインフォメーションディスプレイ

外気温や走行に関する様々な情報を表示します。

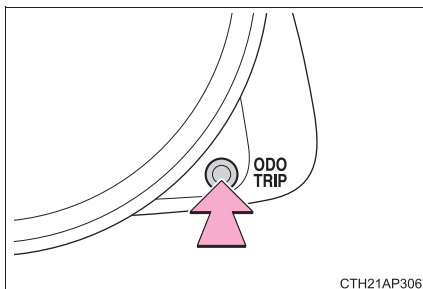
- ・ ドライビングモニター (→ P. 68)
- ・ エコドライブインジケーターゾーン表示★ (→ P. 73)
- ・ 警告メッセージ (→ P. 305)
- ・ シフトポジション表示灯★ (→ P. 138)
- ・ 外気温表示 (→ P. 235)
- ・ トリップインフォメーション (→ P. 67)



CTH21AP272

⑥ 表示切りかえボタン

トリップインフォメーション表示の切りかえができます。

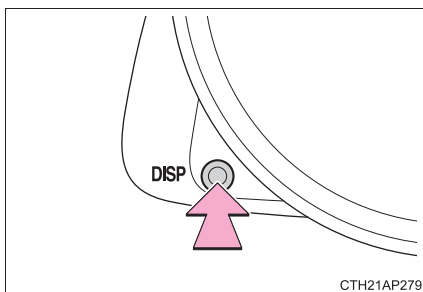


CTH21AP306

⑦ DISP ボタン

ドライビングモニター表示の切りかえができます。

ハンドル右側にある DISP スイッチでも、同じようにトリップインフォメーション表示を切りかえることができます。(→ P. 17)



CTH21AP279

トリップインフォメーション

オドメーター、トリップメーターなど、走行に関する情報を表示します。表示切りかえボタンを押すごとに、表示が切りかわります。

■ オドメーター



走行した総距離を表示します。

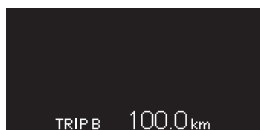
■ トリップメーター A ※



リセットしてからの走行距離を表示します。

リセットするには、トリップメーター A の表示中に表示切りかえボタンを 1 秒以上押し続けます。

■ トリップメーター B ※



リセットしてからの走行距離を表示します。

リセットするには、トリップメーター B の表示中に表示切りかえボタンを 1 秒以上押し続けます。

※ 区間距離は、トリップ A、トリップ B の 2 種類で使い分けることができます。

■ アイドリングストップ時間★



エンジンを始動してから OFF にするまでのアイドリングストップ時間 (Stop & Start システムによるエンジン停止時間) を表示します。

■ 総アイドリングストップ時間★



リセットしてからのアイドリングストップ時間 (Stop & Start システムによるエンジンの停止時間) を通算で表示します。

リセットするには、総アイドリングストップ時間表示中に表示切りかえボタンを 1 秒以上押し続けます。

■ 照度調整



車幅灯点灯時にメーターの照度を表示します。

調整するには、照度調整表示中に表示切りかえボタンを 1 秒以上押し続けます。

ドライブリングモニター

航続可能距離、平均燃費など、走行に関する情報を表示します。DISP ボタンを押すごとに、表示が切りかわります。

■ 平均燃費／瞬間燃費



① 平均燃費をリセットしてからの平均燃費を表示します。

- ・リセットするには、平均燃費表示中に DISP ボタンを 1 秒以上押し続けます。
- ・表示される平均燃費は、参考として利用してください。

② 現在の瞬間燃費を表示します。

■ 航続可能距離



現在の燃料残量で走行できるおよその距離を表示します。

- ・ 表示される距離は過去の平均燃費をもとに算出されるため、表示される距離を実際に走行できない場合があります。
- ・ 燃料給油量が少量の場合、表示が更新されないことがあります。

給油の際はエンジンスイッチを OFF にしてください。万一、エンジンスイッチを OFF にせず給油した場合、表示が更新されないことがあります。

■ 始動後平均車速



エンジンを始動してから、または始動後平均車速をリセットしてからの平均車速を表示します。

リセットするには、始動後平均車速表示中に DISP ボタンを 1 秒以上押し続けます。

■ 始動後走行時間



エンジン始動後の走行時間を表示します。

■ セッティング画面



表示中に DISP ボタンを長押しすることで、ユーザーカスタマイズ画面に切りかわります。
(→ P. 70)

■ 平均燃費／エコドライブインジケータゾーン表示（オートマチック車）



① 平均燃費をリセットしてからの平均燃費を表示します。

- ・リセットするには、平均燃費表示中に DISP ボタンを 1 秒以上押し続けます。
- ・表示される平均燃費は、参考として利用してください。

② エコ運転の範囲を表示します。（→ P. 73）

設定を変更する

平均燃費の表し方や、エコドライブインジケータランプの ON/OFF が選択できます。

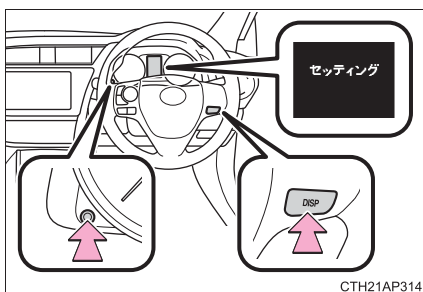
■ 変更できる項目

項目	初期設定	変更後
単位	km/L	L/100km
エコインジケータ	ON	OFF

■ 設定変更のしかた

- 1 停車した状態で、「セッティング」画面が表示されるまで DISP ボタンを押す

DISP ボタンを押し続けると、変更画面に切りかわります。

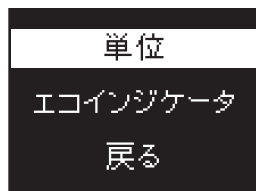


CTH21AP314

- 2 設定変更を行う項目を選択し、DISP ボタンを押し続ける

DISP ボタンを押すごとに、カーソルが次の項目へ移動します。

目的の項目にカーソルを合わせ、DISP ボタンを押し続けると、その項目の設定画面が表示されます。



CTH21AP026

3 設定を変更する

DISP ボタンを押すごとに、カーソルが次の項目へ移動します。

目的の項目にカーソルを合わせ、DISP ボタンを押し続けると、設定が変更され、手順 **2** の画面にもどります。

**4 「戻る」にカーソルをあわせ、DISP ボタンを押し続ける**

手順 **1** の画面にもどります。
 (「戻る」の確定操作を行わなくても、6 秒間 DISP ボタンを操作しないと自動で、手順 **1** の画面にもどります)

**知識****■メーター・ディスプレイの作動条件**

スマートエントリー&スタートシステム非装着車：
 エンジンスイッチが“ON” のとき

スマートエントリー&スタートシステム装着車：
 エンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

■バッテリー端子の脱着をしたとき

バッテリー端子の脱着を行うとき、次のデータはリセットされます。

- 平均燃費
- 航続可能距離
- 始動後平均車速
- 始動後走行時間

■液晶ディスプレイについて

ディスプレイに小さな斑点や光点が表示されることがあります。これは液晶ディスプレイ特有の現象でそのまま使用しても問題ありません。

エコドライブインジケーター（オートマチック車）

エコドライブインジケーターランプ

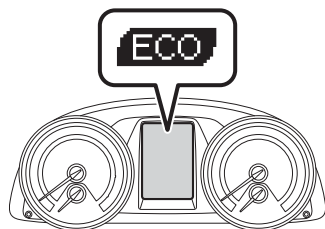
環境に配慮した運転をしているとき、エコドライブインジケーターランプが点灯します。

必要以上にアクセルペダルを踏んだときや停車中は消灯します。

▶ ドライブモニターディスプレイ



▶ マルチインフォメーションディスプレイ



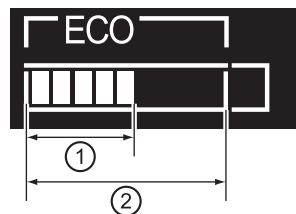
CTH21AP280

エコドライブインジケータゾーン表示

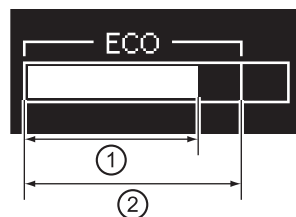
エコ運転の範囲と現状のアクセル開度を表示します。

- ① 現状のアクセル開度
現状のアクセル開度がエコ運転の範囲をこえたとき、エコドライブインジケータゾーン表示の右側が点滅します。
このとき、エコランプインジケータランプは消灯します。
- ② エコ運転の範囲

▶ ドライブモニターディスプレイ



▶ マルチインフォメーションディスプレイ



CTH21AP281

エコドライブインジケータランプユーザーカスタマイズ

▶ ドライブモニターディスプレイ



エコドライブインジケータランプの点灯／消灯をキャンセルするには、エコドライブインジケータランプユーザーカスタマイズ画面表示中に表示切りかえボタンを押します。



エコドライブインジケータランプユーザーカスタマイズ画面を表示させるには、オドメーター表示中に表示切りかえスイッチを5秒以上押し続けます。

カスタマイズ後は表示切りかえスイッチを2秒以上押して、オドメーター画面にもどります。

▶ マルチインフォメーションディスプレイ

DISP ボタンを操作することで、設定を切りかえることができます。
(→ P. 70)

知識

■ エコドライブインジケータの作動について

次の場合、エコドライブインジケータは作動しません。

- シフトポジションがD以外のとき
- パドルシフトスイッチ★を操作しているとき
- 走行モードがスポーツモードのとき
- 車速が約 100km/h 以上のとき

 警告**■ 低温時の画面表示について**

画面の温度が極めて低いときは、画面表示の切りかえが遅れる場合がありますので、車室内を暖めてからご使用ください。

例えばギヤ段表示を使用した場合、シフト操作をしてもすぐにギヤ段の表示が切りかわらないことで運転者がシフトダウンしなかったと誤解し、再度シフトダウンすることによって急激に過度のエンジンブレーキがかかり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ ディスプレイの設定を変更するとき

エンジンがかかった状態で操作を行うため、車庫内など囲まれた場所では、十分に換気をしてください。換気をしないと、排気ガスが充満し、排気ガスに含まれる一酸化炭素 (CO) により、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 注意**■ エンジンや構成部品への損傷を防ぐために**

- タコメーターの針がレッドゾーン（エンジンの許容回転数をこえている範囲）に入らないようにしてください。
- 次の場合は、オーバーヒートのおそれがあるので、ただちに安全な場所に停車してください。完全に冷えたあと、エンジンを確認してください。(→ P. 351)
 - ・ 高水温警告灯が点灯したとき（ドライブモニターディスプレイ）
 - ・ 水温計の一番右側の表示が点灯したとき（ドライブモニターディスプレイ）
 - ・ 水温計の針がレッドゾーンに入ったとき（マルチインフォメーションディスプレイ）

3-1. キー	
キー	78
3-2. ドアの開閉、 ロックのしかた	
スマートエントリー& スタートシステム	81
ワイヤレスリモコン	91
ドア	93
バックドア	97
3-3. シートの調整	
フロントシート	101
リヤシート	102
ヘッドレスト	104
3-4. ハンドル位置・ミラー	
ハンドル	106
インナーミラー	107
ドアミラー	109
3-5. ドアガラスの開閉	
パワーウインドウ	112

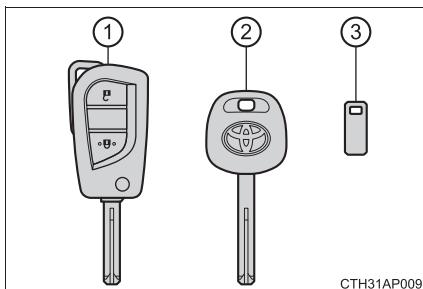
キー

キーについて

お客様へ次のキーをお渡しします。

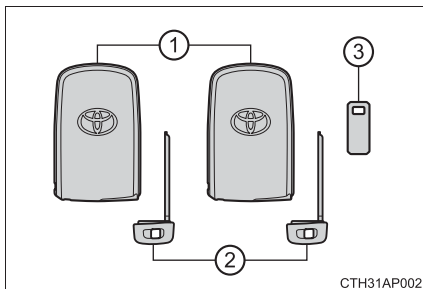
▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

- ① キー（ワイヤレス機能装着）
・ ワイヤレス機能の作動（→P. 91）
- ② キー（ワイヤレス機能非装着）
- ③ キーナンバープレート



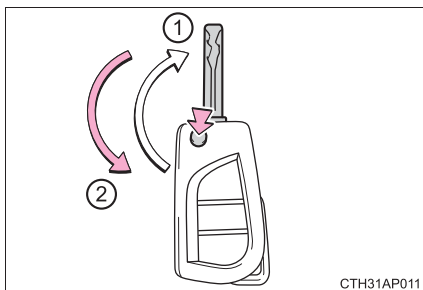
▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車

- ① 電子キー
・ スマートエントリー&スタートシステムの作動（→P. 81）
・ ワイヤレス機能の作動（→P. 91）
- ② メカニカルキー
- ③ キーナンバープレート



キーを使うには（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）

- ① 取り出す
キー本体を取り出すには、ボタンを押してください。
- ② 収納する
キー本体を収納するには、ボタンを押しながら収納してください。

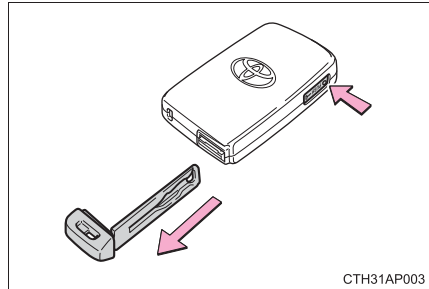


メカニカルキーを使うには（スマートエントリー&スタートシステム装着車）

メカニカルキーを取り出すには、解除ボタンを押してキーを取り出してください

メカニカルキーは挿し込み方向に指定のある片溝キーです。キーシリンダーに挿し込めないときは、キー溝面の向きをかえて挿し込んでください。

使用後はもとにもどし、電子キーと一緒に携帯してください。電子キーの電池が切れたときやスマートエントリー&スタートシステムが正常に作動しないとき、メカニカルキーが必要になります。（→ P. 345）



知識

■ キーを紛失したとき

キーナンバープレートに打刻されたキーナンバーと残りのキー（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）またはメカニカルキー（スマートエントリー&スタートシステム装着車）から、トヨタ販売店でトヨタ純正品の新しいキーを作ることができます。

キーナンバープレートは車の中以外の安全な場所（財布の中など）に保管してください。

■ 航空機に乗るとき

航空機にキーを持ち込む場合は、航空機内でキーのスイッチを押さないでください。また、かばんなどに保管する場合でも、簡単にスイッチが押されないように保管してください。スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。

 注意**■ キーの故障を防ぐために**

- 落としたり、強い衝撃を与えたり、曲げたりしない
- 湿度の高いところに長時間放置しない
- めらしたり超音波洗浄器などで洗ったりしない
- キーに金属製または磁気を帯びた製品を取り付けたり、近付けたりしない
- 分解しない
- 電子キー表面にシールなどを貼らない
- テレビやオーディオ・電磁調理器などの磁気を帯びた製品や、低周波治療器などの電気医療機器の近くに置かない

■ 電子キー取り扱いの注意

ワイヤレスキー・電子キーは電波法の認証に適合しています。必ず次のことをお守りください。

- 電池交換時以外は不用意に分解しないでください。
分解・改造したものを使用することは法律で禁止されています。
- 必ず日本国内でご使用ください。

■ キーを携帯するとき（スマートエントリー&スタートシステム装着車）

電源を入れた状態の電化製品とは10cm以上離して携帯してください。10cm以内にあると電化製品の電波と干渉し正常に機能しない場合があります。

■ スマートエントリー&スタートシステムの故障などで販売店に車両を持っていくとき（スマートエントリー&スタートシステム装着車）

車両に付属しているすべての電子キーをお持ちください。

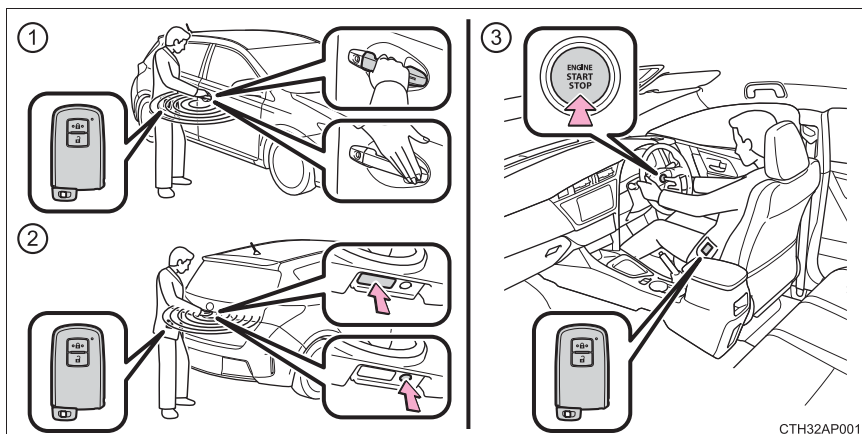
■ 電子キーを紛失したとき（スマートエントリー&スタートシステム装着車）

電子キーを紛失した状態で放置すると、盗難の危険性が極めて高くなります。車両に付属している残りの電子キーをすべてお持ちのうえ、ただちにトヨタ販売店にご相談ください。

スマートエントリー&スタートシステム★

機能概要

電子キーをポケットなどに携帯すると、次の操作が行えます。(必ず運転者が携帯してください)



- ① ドアを解錠・施錠する (→ P. 82)
- ② バックドアを解錠・施錠する (→ P. 82)
- ③ エンジンを開始する (→ P. 130)

知識

■作動の合図

ドアの施錠・解錠を、ブザーと非常点滅灯の点滅で知らせます。(施錠は 1 回、解錠は 2 回)

■解錠操作のセキュリティ機能

解錠操作後、約 30 秒以内にドアを開けなかったときは、盗難防止のため自動的に施錠されます。

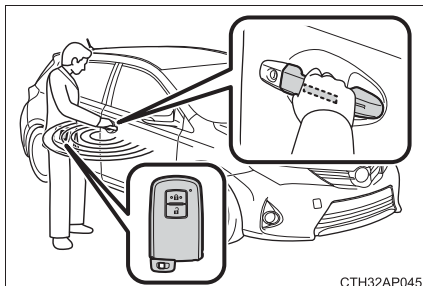
セキュリティ機能で施錠されたとき、電子キーの位置によって室内の作動範囲内に電子キーがあると検知されると、再度解錠されることがあります。

ドアの解錠・施錠（フロント席ドアハンドルのみ）

ハンドルを握って解錠する

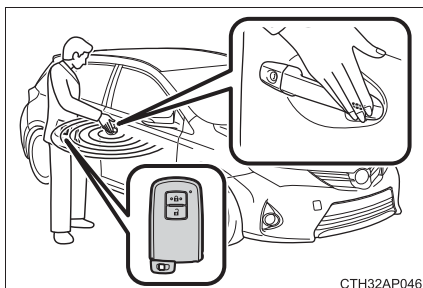
ハンドル裏面のセンサー部に確実に触れてください。

施錠操作後 3 秒間は解錠できません。



CTH32AP045

ドアハンドル表面のロックセンサー部（ハンドルのくぼみ部）にふれ施錠する

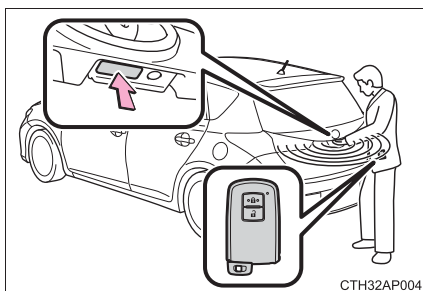


CTH32AP046

バックドアの解錠・施錠

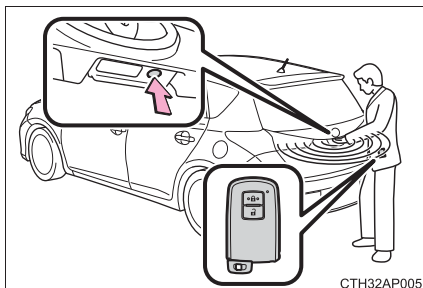
バックドアオープンスイッチを押して解錠する

施錠操作後 3 秒間は解錠できません。



CTH32AP004

ロックスイッチを押して施錠する

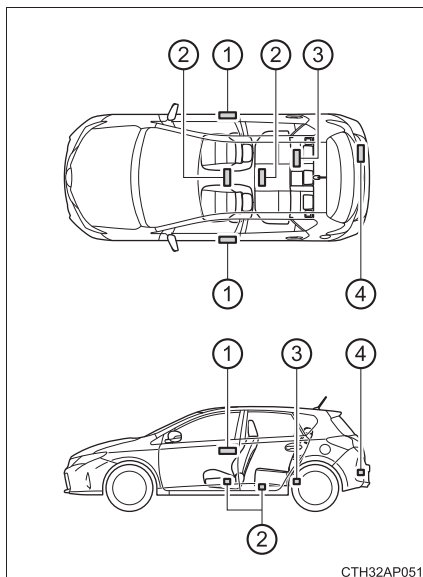


CTH32AP005

アンテナの位置と作動範囲

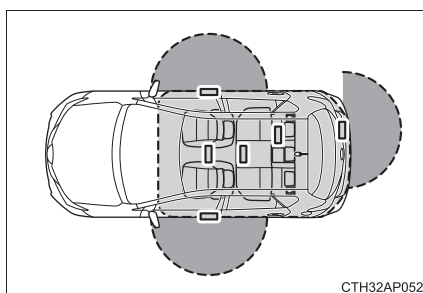
■ アンテナの位置

- ① 車外アンテナ
- ② 車内アンテナ
- ③ ラゲージルーム内アンテナ
- ④ ラゲージルーム外アンテナ



■ 作動範囲（電子キーの検知エリア）

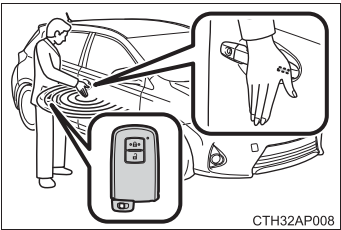
-  : ドアの施錠・解錠時
 フロント席ドアハンドル／バックドアオープン・ロックスイッチから周囲約 70cm 以内で電子キーを携帯している場合に作動します。（電子キーを検知しているドアハンドルのみ作動します）
-  : エンジン始動時またはエンジンスイッチ切りかえ時
 車内で電子キーを携帯している場合に作動します。



 知識

■ ドアハンドル表面のロックセンサーで施錠できないとき

ドアハンドル表面のロックセンサー部に指でふれても施錠できないときは、てのひらでロックセンサー部にふれてください。



■ 警告音と警告表示について

誤操作などによる予期せぬ事故や盗難を防ぐため、警告音が鳴ったり、マルチインフォメーションディスプレイ★に警告が表示されることがあります。警告が表示されたときは、ディスプレイの表示をもとに適切に対処してください。
(→ P. 309)

警告音のみが鳴る場合の状況と対処方法は次の通りです。

警告音	状況	対処方法
車内から“ピー”と 1 回鳴る 車外から“ピー”と 5 秒間鳴る※ ¹	車内に電子キーを置いたまま、フロントドアを開き、ドアロックレバーを施錠側にしてドアハンドルを引いたままドアを閉めて施錠しようとした	車内から電子キーを取り出したあと、再度施錠する
車外から“ピー”と 5 秒間鳴る	いずれかのドアが開いているときにスマートエントリー&スタートシステムもしくは、ワイヤレス機能で施錠しようとした	全ドアを閉めたあと、再度施錠する
車内から“ピー”と 鳴り続ける	運転席ドアが開いている状態でエンジンスイッチをアクセサリーモードにした（エンジンスイッチがアクセサリーモードのとき運転席ドアを開いた）	エンジンスイッチを OFF にしたあと、運転席ドアを閉める

★：仕様により異なる装備やオプション装備

警告音	状況	対処方法
車内から“ピー”と鳴り続ける※ ¹ 、※ ²	シフトレバーが P 以外の状態で、エンジンスイッチを OFF にせずに運転席ドアが開いた	シフトレバーを P にする

※¹ ドライブモニターディスプレイ装着車

※² オートマチック車

■ 節電機能

長期駐車時に電子キーの電池と車両のバッテリーあがりを防止するため、節電機能が働きます。

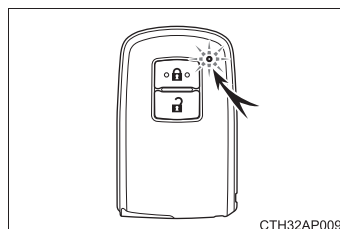
- 次の状況では、スマートエントリー&スタートシステムによる解錠に時間がかかる場合があります。
 - ・ 車の外約 2m 以内に電子キーを 10 分以上放置した
 - ・ 5 日間以上スマートエントリー&スタートシステムを使用しなかった
- 14 日間以上スマートエントリー&スタートシステムを使用しなかった場合、運転席以外での解錠ができなくなります。この場合は、運転席のドアハンドルを握る、もしくは、ワイヤレス機能、メカニカルキーで解錠してください。

■ 電子キーの節電モードについて

節電モードに設定すると、電子キーによる、電波の受信待機を停止し、電子キーの電池の消耗を抑えることができます。

電子キーの  を押しながら、 を 2 回押し、電子キーのインジケータが 4 回光ることを確認してください。

節電モード中は、スマートエントリー & スタートシステムを使用できません。節電モードを解除するには、電子キーのいずれかのスイッチを押してください。



■機能が正常に働かないおそれのある状況

スマートエントリー&スタートシステムは微弱な電波を使用しています。次のような場合は電子キーと車両間の通信をさまたげ、スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコン、エンジンイモビライザーシステムが正常に作動しない場合があります。(対処方法：→ P. 345)

- 電子キーの電池が消耗しているとき
- 近くにテレビ塔や発電所・ガソリンスタンド・放送局・大型ディスプレイ・空港があるなど、強い電波やノイズの発生する場所にいるとき
- 無線機や携帯電話・コードレス式電話などの無線通信機器を携帯しているとき
- 電子キーが、次のような金属製のものに接していたり、覆われたりしているとき
 - ・アルミ箔などの金属の貼られたカード
 - ・アルミ箔を使用したタバコの箱
 - ・金属製の財布やかばん
 - ・小銭
 - ・カイロ
 - ・CD や DVD などのメディア
- 近くで他の電波式ワイヤレスリモコンを使用しているとき
- 電子キーを、次のような電波を発信する製品と同時に携帯しているとき
 - ・他の車の電子キーや電波式ワイヤレスリモコン
 - ・パソコンや携帯情報端末（PDA など）
 - ・デジタルオーディオプレーヤー
 - ・ポータブルゲーム機器
- リヤガラスに金属を含むフィルムなどが貼ってあるとき
- 充電器など電子機器の近くに電子キーを置いたとき

■ご留意いただきたいこと

- 電子キーが作動範囲内（検知エリア内）にあっても、次のような場合は正しく作動しないことがあります。
 - ・ドアの施錠・解錠時に電子キーがドアガラスやドアハンドルに近付きすぎる、または地面の近くや高い場所にある場合
 - ・バックドアを開けるときに電子キーが地面の近くや高い場所にある、またはリヤバンパー中央に近付きすぎた場合
 - ・エンジン始動時またはエンジンスイッチの切りかえ時に電子キーがインストルメントパネルやフロア上・リヤシート後方のパッケージトレイ上・ドアポケット、またはグローブボックス内などに置かれていた場合
- インストルメントパネル上面・ドアポケット付近に電子キーを置いたまま車外に出ると、電波の状況によっては車外アンテナに検知されて車外からのドアロックが可能になる場合があります、電子キーが車内に閉じ込められるおそれがあるため注意してください。
- 電子キーが作動範囲内にあれば、電子キーを携帯している人以外でも施錠・解錠できます。ただし、電子キーを検知しているドア以外では、解錠できません。
- 車外でもドアガラスに近い位置に電子キーがあるときは、エンジンの始動が可能になる場合があります。
- 電子キーが作動範囲内にある場合、洗車や大雨などでドアハンドルに大量の水がかかると、ドアが施錠・解錠することがあります。（解錠された場合でも、ドアの開閉操作がなければ約 30 秒後に自動的に施錠されます）
- 車両に近い位置に電子キーがあるときにワイヤレスリモコンなどで施錠を行うと、スマートエントリー&スタートシステムによる解錠ができなくなることがあります。（ワイヤレスリモコンで解錠すると復帰します）

■施錠時の留意事項

- 手袋を着けてロックセンサーにふれた場合、施錠が遅れたり、施錠されなかったりすることがあります。その場合、手袋をはずしてロックセンサーにふれてください。
- ロック操作は、連続で2回まで有効で、3回目以降はロック動作しません。
- キーを携帯して洗車などで水をドアハンドルにかけた場合、施錠／解錠動作をくり返すことがあります。その場合は次のような処置をして、洗車などをしてください。
 - ・電子キーを車両から2m以上離れた場所に保管する（電子キーの盗難に注意してください）
 - ・電子キーを節電モードに設定し、スマートエントリー&スタートシステムの作動を停止する（→P. 85）
- 車内にキーがあるときに、洗車機で洗車するなどして水をドアハンドルにかけた場合、警報がマルチインフォメーションディスプレイ★に表示され、車外のブザーが吹鳴することがあります。その場合は全ドアを施錠すれば警報は表示されなくなります。
- ロックセンサーの表面に氷や雪、泥が付着した場合、センサーが反応しない場合があります。反応しない場合は表面に付着した氷や雪、泥を取り除いて再度操作してください。
- ドアハンドルを操作するときに、爪がドアにあたる場合があります。ドアを傷付けたり、爪を割ったりしないよう注意してください。

■解錠時の留意事項

- 急なドアハンドル操作や、車外アンテナの作動範囲内へ急に入ってドアハンドルを操作したときは、解錠されない場合があります。その場合は、ドアハンドルを一度もとの位置にもどし、解錠されたことを確認してからドアハンドルを引いてください。
- 手袋を着けてドアハンドルを握った場合は、解錠が遅れたり、解錠されなかったりすることがあります。その場合、手袋をはずしてハンドル裏面のセンサー部にふれてください。
- キーを携帯して洗車などで水をドアハンドルにかけた場合、施錠／解錠動作をくり返すことがあります。その場合は次のような処置をして、洗車などをしてください。
 - ・電子キーを車両から2m以上離れた場所に保管する（電子キーの盗難に注意してください）
 - ・電子キーを節電モードに設定し、スマートエントリー&スタートシステムの作動を停止する（→P. 85）
- 作動範囲内に他の電子キーがあるときは、ドアハンドルを握ってから解錠するまでの時間が少し長くなる場合があります。
- ドアハンドルを操作するときに、爪がドアにあたる場合があります。ドアを傷付けたり、爪を割ったりしないよう注意してください。

★：仕様により異なる装備やオプション装備

■長期間運転しないとき

- 盗難防止のため、電子キーを車両から 2m 以上離しておいてください。
- あらかじめスマートエントリー&スタートシステムを非作動にすることができます。(→ P. 363)

■システムを正しく作動させるために

電子キーを必ず携帯した上で作動させてください。また、車外から操作する場合は電子キーを車両に近付けすぎないようにしてください。

作動時の電子キーの位置や持ち方によっては、電子キーが正しく検知されず、システムが正しく作動しないことがあります。(誤って警報が鳴ったり、キー閉じ込み防止機能が働かないこともあります。：→ P. 84)

■スマートエントリー&スタートシステムが正常に作動しないとき

- ドアの施錠・解錠：→ P. 345
- エンジンの始動：→ P. 345

■電池の消耗について

- 電池の標準的な寿命は 1 ～ 2 年です。
- 電池残量が少なくなると、エンジンを停止した際に車内から警告音が鳴ります。(→ P. 313)
- 電子キーは常に電波を受信しているため、使用していないあいだでも電池が消耗します。次のような状態になったときは、電池が消耗している可能性があります。新しい電池に交換してください。
 - ・スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコンが作動しない
 - ・作動範囲が狭くなった
 - ・電子キーの LED が点灯しない
- 電池の著しい消耗を防ぐため、次のような磁気を発生する電化製品の 1m 以内に電子キーを置かないでください。
 - ・ TV
 - ・ パソコン
 - ・ 携帯電話やコードレス電話機、および充電器
 - ・ 電気スタンド
 - ・ 電磁調理器

■電池が切れたとき

→ P. 261

■カスタマイズ機能

スマートエントリー&スタートシステムを非作動にするなどの変更ができます。
(カスタマイズ一覧：→ P. 363)

■カスタマイズ機能でスマートエントリー&スタートシステムを非作動にしたとき

- ドアの施錠・解錠：ワイヤレス機能、またはメカニカルキーを使ってドアの施錠・解錠ができます。(→ P. 91, 345)
- エンジンの始動・エンジンスイッチのモード切り替え：→ P. 345
- エンジンの停止：→ P. 131

⚠ 警告**■電波がおよぼす影響について**

- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、室内アンテナ・車外アンテナ(→ P. 83) から約 22cm 以内に近付かないようにしてください。電波により植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。
- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用電気機器をお使いの方は、電波による影響について医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波が医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

スマートエントリー&スタートシステムを非作動にすることもできます。
詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

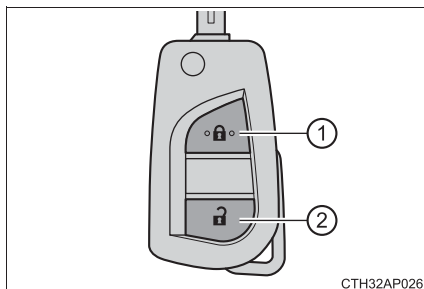
ワイヤレスリモコン

機能概要

ドアを施錠・解錠できます。

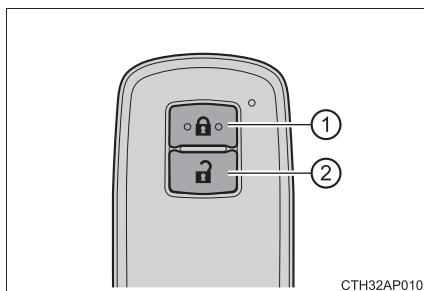
▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

- ① 全ドアを施錠する
- ② 全ドアを解錠する



▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車

- ① 全ドアを施錠する
- ② 全ドアを解錠する



知識

■作動の合図

▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

非常点滅灯の点滅で知らせます。(施錠は1回、解錠は2回)

▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車

ブザーと非常点滅灯の点滅で知らせます。(施錠は1回、解錠は2回)

■半ドア警告ブザー（スマートエントリー&スタートシステム装着車）

ドアが完全に閉まっていない状態でドアを施錠しようとする、ブザーが鳴ります。

ドアを完全に閉めてから、もう一度施錠してください。

■解錠操作のセキュリティ機能

▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車

解錠操作後、約 30 秒以内にドアを開けなかったときは、盗難防止のため自動的に施錠されます。

▶スマートエントリー&スタートシステム装着車

→ P. 81

■機能が正常に働かないおそれのある状況

▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車

次のような場合、ワイヤレス機能が正常に働かないおそれがあります。

●ワイヤレスキーの電池が消耗しているとき

●近くにテレビ塔や発電所・ガソリンスタンド・放送局・大型ディスプレイ・空港があるなど、強い電波やノイズの発生する場所にいます

●無線機や携帯電話・コードレス電話などの無線通信機器を携帯しているとき

●複数のワイヤレスキーが近くにあるとき

●ワイヤレスキーが金属製のものに接したり、覆われているとき

●近くで電波式ワイヤレスキーを使用しているとき

●ワイヤレスキーをパソコンなどの電化製品の近くに置いているとき

●リヤガラスに金属を含むフィルムなどが貼ってあるとき

▶スマートエントリー&スタートシステム装着車

→ P. 86

■ワイヤレスリモコンが正常に作動しないとき（スマートエントリー&スタートシステム装着車）

ドアの施錠・解錠：→ P. 345

■電池の消耗について

→ P. 89

■電池が切れたとき

→ P. 261

■キー登録本数の確認について

車両に登録されたキーの本数を確認することができます。詳しくはトヨタ販売店へご相談ください。

■カスタマイズ機能

ワイヤレスリモコンを非作動にするなどの変更ができます。

（カスタマイズ一覧：→ P. 363）

ドア

ドアの解錠／施錠

スマートエントリー&スタートシステム★やワイヤレス機能、ドアロックスイッチを使って施錠・解錠できます。

◆ スマートエントリー&スタートシステム★

→ P. 81

◆ ワイヤレス機能

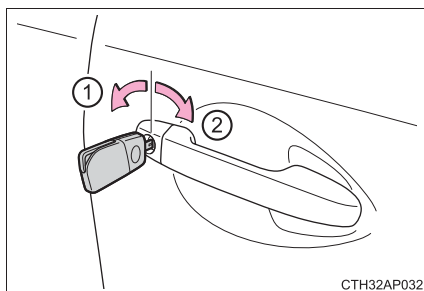
→ P. 91

◆ キー

キーを操作すると、ドアが下記のように作動します。

▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

- ① 全ドアを解錠する
- ② 全ドアを施錠する

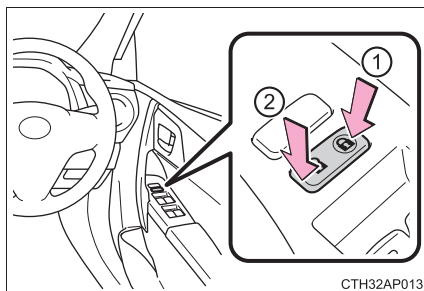


▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車

メカニカルキーを使ってドアを施錠・解錠できます。(→ P. 345)

◆ ドアロックスイッチ

- ① 全ドアを施錠する
- ② 全ドアを解錠する

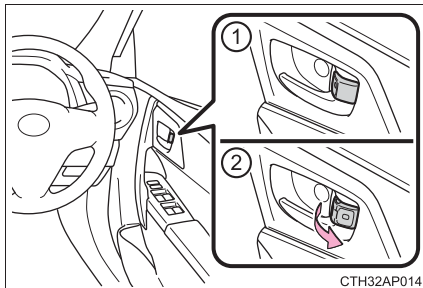


◆ ロックレバー

① ドアを施錠する

② ドアを解錠する

運転席ドアは、ロックレバーが施錠側になっていても、車内のドアレバーを引くと開きます。

**キーを使わずに外側からフロント席を施錠するとき**

① ロックレバーを施錠側にする

② ドアハンドルを引いたままドアを閉める

スマートエントリー&スタートシステム非装着車：

キーがエンジンスイッチに差し込まれているときは施錠されません。

スマートエントリー&スタートシステム装着車：

エンジンスイッチがアクセサリモードまたはイグニッション ON モードのときや、車内に電子キーが放置されているときは施錠されません。

キーが正しく検知されずに施錠される場合があります。

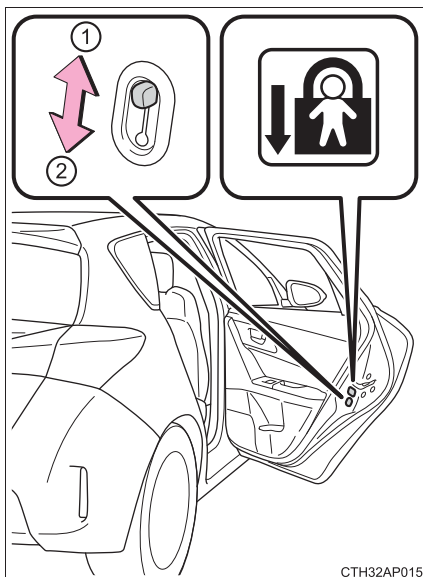
チャイルドプロテクター

施錠側にすると、リヤ席ドアが車内から開かなくなります。

① 解錠

② 施錠

お子さまが車内からリヤ席ドアを開けられないようにできます。両側のリヤ席ドアを施錠側にしてください。



知識

■ チャイルドプロテクター使用時のドアの開け方

ドアを解錠して車外のドアハンドルを引くと開きます。万一、車内から開ける場合は、ドアガラスを下げて手を出し、車外のドアハンドルを引いてください。

■ 不正キーの使用について

指定のキー以外のキーを使用すると、キーシリンダーが空まわりして解錠できません。

 警告**■ 事故を防ぐために**

運転中は次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、不意にドアが開き車外に放り出されるなど、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- すべてのドアを確実に閉め、施錠する
- 走行中はドア内側のドアレバーを引かない
特に、運転席はロックレバーが施錠側になっていてもドアが開くため、注意してください。
- お子さまをリヤ席に乗せるときは、チャイルドプロテクターを使用して車内からドアが開かないようにする

■ ドアを開閉するときの留意事項

傾斜地・ドアと壁などのあいだが狭い場所・強風など、周囲の状況を確認し、予期せぬ動きにも対処できるよう、ドアハンドルを確実に保持してドアを開閉してください。

バックドア

バックドアは次の方法で施錠解錠および開けることができます。

バックドアの解錠／施錠

スマートエントリー&スタートシステム★やワイヤレス機能、ドアロックスイッチを使って施錠・解錠できます。

◆ スマートエントリー&スタートシステム★

→ P. 81

◆ ワイヤレス機能

→ P. 91

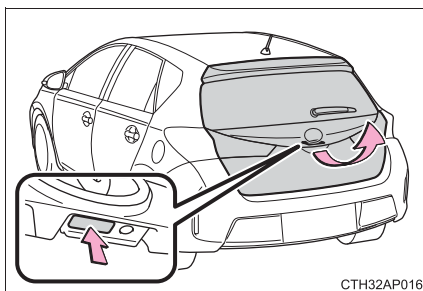
◆ ドアロックスイッチ

→ P. 93

バックドアを開ける

バックドアオープンスイッチを押したまま、バックドアを持ち上げる

バックドアオープンスイッチを押した直後はバックドアを閉めることができません。



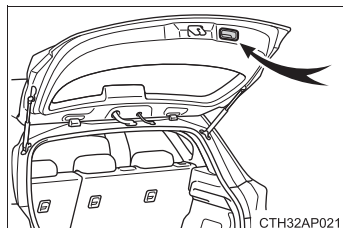
 知識

■ ラゲージルームランプ

バックドアを開けたとき、ラゲージルームランプが点灯します。

■ バックドアを閉めるときは

バックドアハンドルを持って、横方向に力をかけないように引き下げ、必ず外から押して閉めてください。

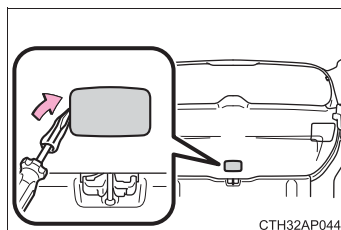


■ バックドアが開かないときは

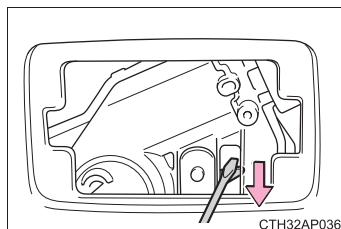
バックドアを内側から開けることができます。

1 カバーをはずす

傷がつくのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。



2 レバーを押す



警告

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 走行する前に

- 走行前にバックドアが閉まっていることを確認してください。
完全に閉まっていないと走行中に突然開き、車外のものにあたったり、荷物が投げ出されたりして思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ラゲージルームの中でお子さまを遊ばせないでください。
誤って閉じ込められた場合、熱射病などを引き起こすおそれがあります。
- お子さまにはバックドアの開閉操作をさせないでください。
不意にバックドアが動いたり、閉めるときに手・頭・首などを挟んだりするおそれがあります。

■ 走行中の留意事項

ラゲージルームには絶対に人を乗せないでください。

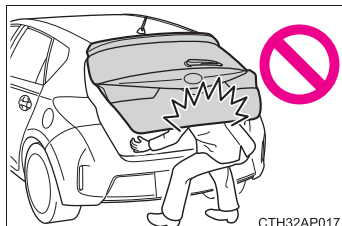
急ブレーキ・急旋回をかけたときや衝突したときなどに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ バックドアの操作にあたって

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、体を挟むなどして重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

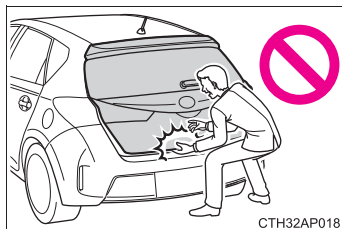
- バックドアを開ける前に、バックドア上の雪や氷などの重量物を取り除いてください。開いたあとに重みでバックドアが突然閉じるおそれがあります。
- バックドアを開閉するときは、十分に周囲の安全を確かめてください。
- 人がいるときは、安全を確認し動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。
- 強風時の開閉には十分注意してください。
バックドアが風にあおられ、勢いよく開いたり閉じたりするおそれがあります。
- 半開状態で使用すると、バックドアが突然閉じて重大な傷害を受けるおそれがあります。特に傾斜地では、平坦な場所よりもバックドアの開閉がしにくく、急にバックドアが開いたり閉じたりするおそれがあります。必ずバックドアが全開で静止していることを確認して使用してください。



CTH32AP017

警告

- バックドアを閉めるときは、バックドアで指などを挟まないよう十分注意してください。
- バックドアは必ず外からバックドア上面を軽く押して閉めてください。バックドアハンドルで直接バックドアを閉めると、手や腕を挟むおそれがあります。
- バックドアダンパーステーを持ってバックドアを閉めたり、ぶらさがったりしないでください。
手を挟んだり、バックドアダンパーステーが破損したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- バックドアにキャリアなどの重いものを取り付けると、開けたあとにドアが突然閉じて、手・頭・首などを挟むおそれがあります。バックドアへのアクセサリ用品の取り付けは、トヨタ純正品を使用することをおすすめします。

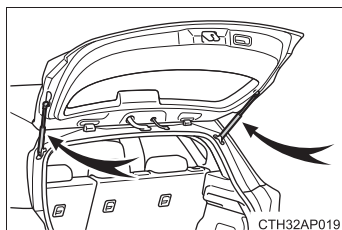


注意

■ダンパーステーについて

バックドアにはバックドアを支えるためのダンパーステーが取り付けられています。ダンパーステーの損傷や作動不良を防ぐため次のことをお守りください。

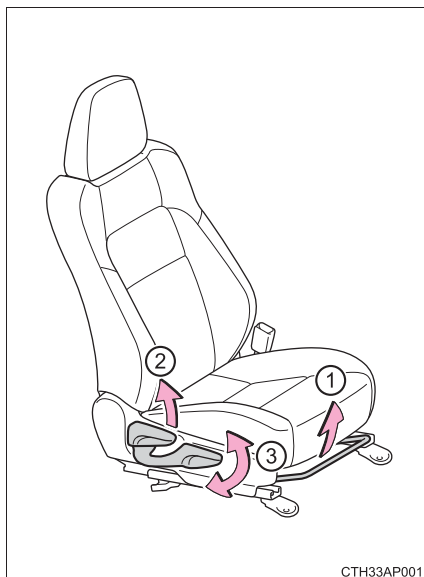
- ビニール片・ステッカー・粘着材などの異物をステーのロッド部（棒部）に付着させない
- ロッド部を軍手などでふれない
- バックドアにトヨタ純正品以外のアクセサリ用品をつけない
- ステーに手をかけたり、横方向に力をかけたりしない



フロントシート

調整のしかた

- ① 前後位置調整
- ② リクライニング調整
- ③ クッション全体の上下調整（運転席のみ）



CTH33AP001

⚠ 警告

■ シートを調整するとき

- 同乗者がシートにあたっけがをしないように注意してください。
- シートの下や動いている部分に手を近付けないでください。
指や手を挟み、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

■ リクライニング調整について

- 背もたれは必要以上に倒さないでください。
必要以上に倒しすぎると、事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けたり肩部ベルトが首にかかるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- シート調整後はシートがきちんと固定されていることを確認してください。

■ 前後調整をするとき

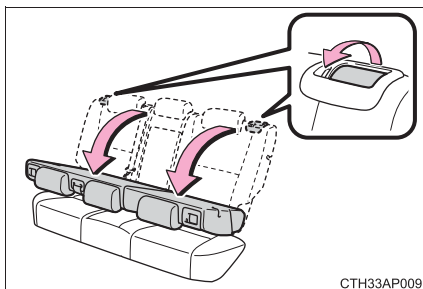
- 足元のスペースを確保し足を挟まないように注意してください。

リヤシート

リヤシートは折りたたむことができます。

背もたれを前に倒す

- 1 ヘッドレストをいちばん下まで下げる (→P. 104)
- 2 ロック解除レバーを引きながら、背もたれを前方に倒す
ロックが確実に解除されるまで、レバーを引いてください。



警告

■ リヤシートを操作するときは

次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

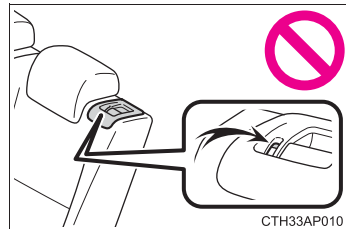
- 走行中にリヤシートを操作しない
- 平坦な場所でパーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバーをオートマチック車では P、マニュアル車では N にする
- 操作をするときに、可動部や結合部に手や足などを挟まないように注意する
- 倒した背もたれの上やラゲージルームに人を乗せて走行しない
- お子さまがラゲージルームに入らないよう注意する

■ 背もたれをもとにもどしたあとは

次のことを必ずお守りください。

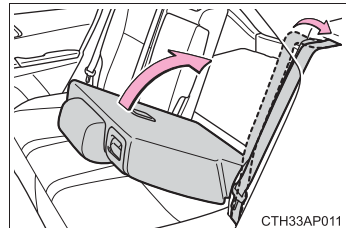
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- シートを前後に軽くゆさぶり、確実に固定する
シートが確実に固定されていないときは、レバーの横に赤ラベルが見えます。赤ラベルが見えていないことを確認してください。



CTH33AP010

- シートベルトを挟み込まないように背もたれをもとにもどしてください。
シートベルトが背もたれ固定フックに挟まり、シートベルトを損傷させるおそれがあります。



CTH33AP011

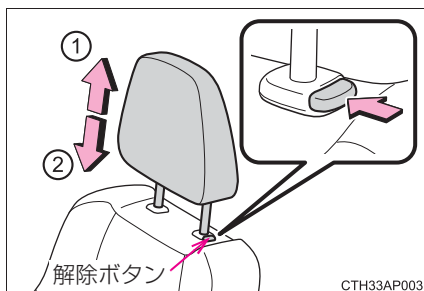
ヘッドレスト

上下調整

① 上げる

② 下げる

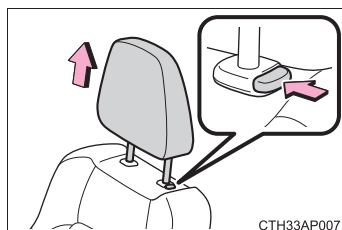
下げるときは、解除ボタンを押しながら操作します。



知識

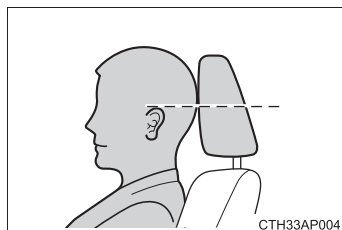
■ヘッドレストを取りはずすとき

解除ボタンを押しながらヘッドレストを引き上げます。



■ヘッドレストの高さについて

必ずヘッドレストの中心が両耳のいちばん上のあたりになるよう調整してください。



■リヤ席のヘッドレストについて

使用するときには、常に格納位置から一段上げた位置にしてください。

 警告**■ヘッドレストについて**

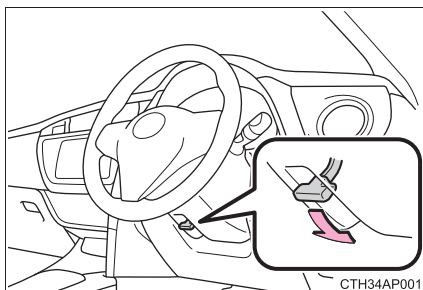
次のことをお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ヘッドレストは、それぞれのシート専用のものを使用する
- ヘッドレストを必ず正しい位置に調整する
- ヘッドレストを調整したあとは、固定されていることを確認する
- ヘッドレストをはずしたまま走行しない

ハンドル

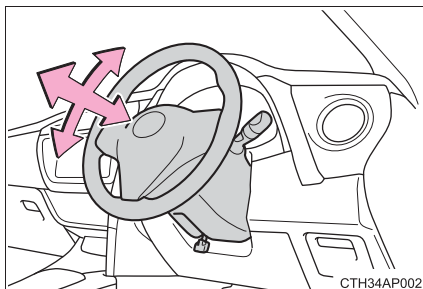
調整のしかた

- 1 ハンドルを持ち、レバーを下げる



- 2 ハンドルを上下・前後に動かし、適切な位置にする

位置が決定したら、レバーを上げて
ハンドルを固定してください。



⚠ 警告

■ 走行中の警告

走行中はハンドル位置の調整をしないでください。
運転を誤って、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ ハンドル位置を調整したあとは

ハンドルが確実に固定されていることを確認してください。
固定が不十分だと、ハンドルの位置が突然変わり、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

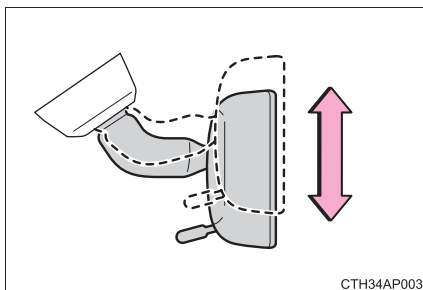
インナーミラー

後方を十分に確認できるようにミラーの位置を調整することができます。

上下調整のしかた

運転姿勢に合わせてインナーミラーの高さを調整することができます。

インナーミラー本体を持って、上下方向に調整する

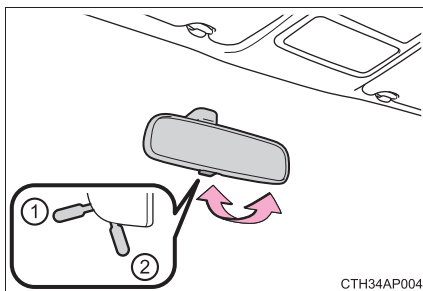


防眩機能

▶ 手動防眩タイプ装着車

レバーを操作することで、後続車のヘッドランプによる反射光を減少させます。

- ① 通常使用時
- ② 防眩時



▶ 自動防眩タイプ装着車

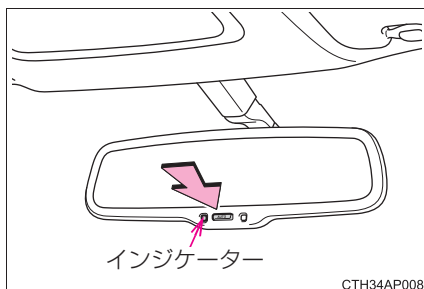
後続車のヘッドランプのまぶしさに応じて反射光を自動的に減少させます。

自動防眩機能の切りかえ

ON / OFF

ON のときはインジケータが点灯します。

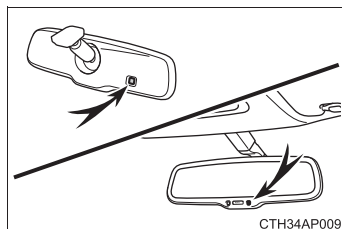
エンジンスイッチをイグニッション ON モードにしたときは、ミラーは常に自動防眩機能が ON になっています。ボタンを押すと OFF になりインジケータが消灯します。



 知識

■ センサーの誤作動防止（自動防眩タイプ装着車）

センサーの誤作動を防ぐため、センサーにふれたりセンサーを覆ったりしないでください。



 警告

走行中はミラーの調整をしないでください。

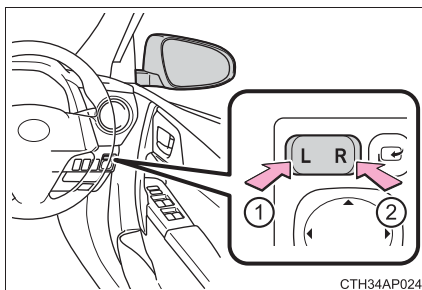
運転を誤って、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

ドアミラー

調整のしかた

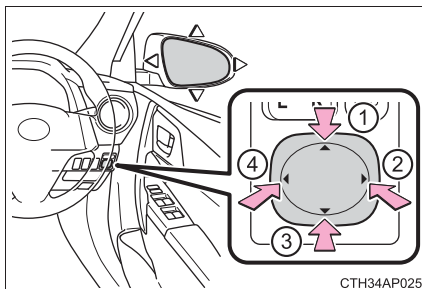
- 1 調整するミラーを選ぶには、スイッチを押す

- ① 左
- ② 右



- 2 ミラーの鏡面を調整するにはスイッチを押す

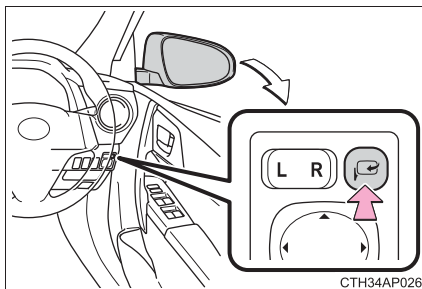
- ① 上
- ② 右
- ③ 下
- ④ 左



ドアミラーを格納する

ボタンを押す

もう一度押すと、もとの位置にもどります。



オート作動★

スマートエントリー&スタートシステム★やワイヤレスリモコンによるドアの施錠・解錠に連動して、ドアミラーが自動的に格納・復帰します。

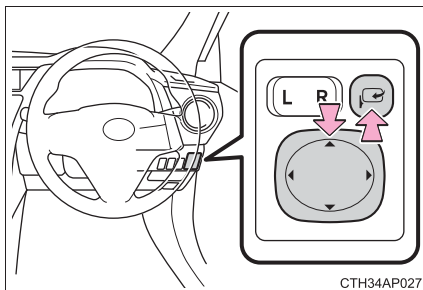
以下の手順でオート作動を停止できます。

- 1 スマートエントリー&スタートシステム非装着車：エンジンスイッチを“LOCK”にする

スマートエントリー&スタートシステム装着車：エンジンスイッチをOFFにする

- 2 電動格納スイッチと鏡面調整スイッチの▲を、同時に2秒以上押す

もう一度同じ操作をすると、オート作動が復帰します



CTH34AP027

知識

■鏡面調整の作動条件

スマートエントリー&スタートシステム非装着車：
エンジンスイッチが“ACC”または“ON”のとき

スマートエントリー&スタートシステム装着車：
エンジンスイッチがアクセサリモードまたはイグニッションONモードのとき

■ミラーが曇ったとき

リヤウインドウデフォグガーを作動させると、ミラーヒーターが同時に作動し、曇りを取り除くことができます。

■寒冷時に「オート作動」で使用するとき

寒冷時に「オート作動」で使用しているとき、ドアミラーが凍結すると、自動で格納・復帰ができないことがあります。この場合、ドアミラーに付着している氷や雪などを取り除いたあと、「マニュアル作動」で作動させるか、手で動かしてください。

 警告**■ 走行中の留意事項**

走行中は次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、運転を誤って重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ミラーの調整をしない
- ドアミラーを格納したまま走行しない
- 走行前に必ず、運転席側および助手席側のミラーをもとの位置にもどして、正しく調整する

■ ミラーが動いているとき

手をふれないでください。

手を挟んでけがや、ミラーの故障などの原因になるおそれがあります。

■ ミラーヒーターが作動しているとき

鏡面が熱くなるのでふれないでください。

パワーウィンドウ

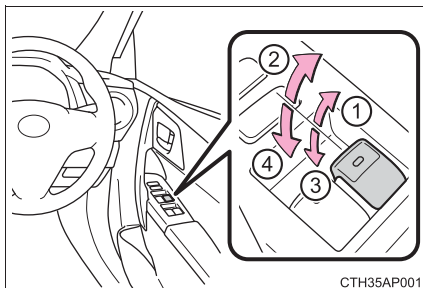
開閉のしかた

スイッチでドアガラスを開閉できます。

スイッチを操作すると、ドアガラスを次のように動かします。

- ① 閉める
- ② 自動全閉※
- ③ 開ける
- ④ 自動全開※

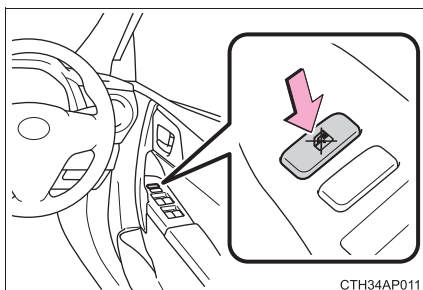
※途中で停止するときは、スイッチを反対側へ操作します。



ウィンドウロックスイッチ

スイッチを押すと、運転席以外のドアガラスが作動不可になります。

お子さまが誤ってドアガラスを開閉することを防止できます。



 知識

■ 作動条件

スマートエントリー&スタートシステム非装着車：
エンジンスイッチが“ON” のとき

スマートエントリー&スタートシステム装着車：
エンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

■ エンジン停止後の作動

スマートエントリー&スタートシステム非装着車：
エンジンスイッチを“ACC” または“LOCK” にしたあとでも、約 45 秒間はドアガラスを開閉できます。ただし、そのあいだに運転席ドアを開閉すると作動しなくなります。

スマートエントリー&スタートシステム装着車：
エンジンスイッチをアクセサリモードまたは OFF にしたあとでも、約 45 秒間ドアガラスを開閉できます。ただし、そのあいだに運転席ドアを開閉すると作動しなくなります。

■ 挟み込み防止機能

ドアガラスを閉めているときに、窓枠とドアガラスのあいだに異物が挟まると、作動が停止し、少し開きます。

■ ドアガラスを閉めることができないとき

挟み込み防止機能が異常に作動してしまい、ドアガラスを閉めることができないときは、閉めることができないドアのパワーウィンドウスイッチで、次の操作を行ってください。

- 車を停止し、エンジンスイッチを“ON”（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）またはエンジンスイッチをイグニッション ON モード（スマートエントリー&スタートシステム装着車）の状態、パワーウィンドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続けることでドアガラスを閉めることができます。
- 上記の操作を行ってもドアガラスが閉まらない場合、挟み込み防止機能の初期化を次の手順で実施してください。
 - ① パワーウィンドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続け、ドアガラスを閉めたあと、さらにスイッチを 6 秒間引き続ける
 - ② パワーウィンドウスイッチを「自動全開」の位置で押し続け、ドアガラスを全開にしたあと、さらにスイッチを 2 秒間押し続ける
 - ③ 再度、パワーウィンドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続け、ドアガラスを閉めたあと、さらにスイッチを 2 秒間引き続ける

ドアガラス作動途中でスイッチから手を離すと、最初からやり直しとなります。以上の操作を行っても反転して閉じ切らない場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

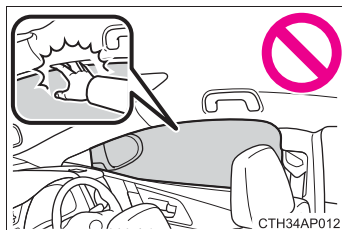
⚠ 警告

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ ドアガラスを開閉するとき

- ドアガラスを開閉するときは、乗員の手・腕・頭・首などを挟んだり巻き込んだりしないようにしてください。特にお子さまへは手などを出さないよう声かけをしてください。
- お子さまには、ドアガラスの操作をさせないでください。
ドアガラスに挟まれたり巻き込まれたりするおそれがあります。

**■ 挟み込み防止機能**

- 挟み込み防止機能を故意に作動させるため、乗員の手・腕・頭・首などを挟んだりしないでください。
- 挟み込み防止機能は、ドアガラスが完全に閉まる直前に異物を挟むと作動しない場合があります。また、挟み込み防止機能は、スイッチを引き続けた状態では作動しません。指などを挟まないように注意してください。

運転

4

4-1. 運転にあたって

運転にあたって	116
荷物を積むときの注意	126

4-2. 運転のしかた

エンジン（イグニッション）	
スイッチ（スマート	
エントリー&スタート	
システム非装着車）	127
エンジン（イグニッション）	
スイッチ（スマート	
エントリー&スタート	
システム装着車）	130
オートマチック	
トランスミッション	138
マニュアルト	
ランスミッション	143
方向指示レバー	145
パーキングブレーキ	146
ホーン（警音器）	147

4-3. ランプのつけ方・ ワイパーの使い方

ランプスイッチ	148
オートマチック	
ハイビーム	153
フォグランプスイッチ	157
ワイパー & ウォッシャー	
（フロント）	158
ワイパー & ウォッシャー	
（リヤ）	160

4-4. 給油のしかた

給油口の開け方	162
---------------	-----

4-5. 運転支援装置について

Toyota Stop & Start	
System	
（SMART STOP）	165
4WD オートモード	
スイッチ	172
運転を補助する装置	173
ヒルスタートアシスト	
コントロール	178

4-6. 運転のアドバイス

寒冷時の運転	180
--------------	-----

運転にあたって

安全運転を心がけて、次の手順で走行してください。

エンジンをかける

→ P. 127, 130

発進する

▶ オートマチック車

- 1 ブレーキペダルを踏んだまま、シフトレバーを D にする (→ P. 138)
- 2 パーキングブレーキを解除する (→ P. 146)
- 3 ブレーキペダルから徐々に足を離し、アクセルペダルをゆっくり踏み発進する

▶ マニュアル車

- 1 クラッチペダルを踏んだまま、シフトレバーを 1 速にする (→ P. 143)
- 2 パーキングブレーキを解除する (→ P. 146)
- 3 クラッチペダルから徐々に足を離し、同時にアクセルペダルをゆっくり踏み発進する

停車する

▶ オートマチック車

- 1 シフトレバーは D のまま、ブレーキペダルを踏む
- 2 必要に応じて、パーキングブレーキをかける
長時間停車する場合は、シフトレバーを P または N にします。 (→ P. 138)

▶ マニュアル車

- 1 クラッチペダルを踏んだまま、ブレーキペダルを踏む
- 2 必要に応じて、パーキングブレーキをかける
長時間停車する場合は、シフトレバーを N にします。

駐車する

▶ オートマチック車

- 1 シフトレバーはDのまま、ブレーキペダルを踏む
- 2 パーキングブレーキをかける
- 3 シフトレバーをPにする (→ P. 138)

坂道の途中で駐車をする場合は、必要に応じて輪止め[※]を使用してください。

[※] 輪止めはトヨタ販売店で購入することができます。

- 4 スマートエントリー & スタートシステム非装着車
エンジンスイッチを“LOCK”にしてエンジンを停止する
スマートエントリー & スタートシステム装着車
エンジンスイッチを OFF にしてエンジンを停止する
- 5 キーを携帯していることを確認し、ドアを施錠する

▶ マニュアル車

- 1 クラッチペダルを踏んだまま、ブレーキペダルを踏む
- 2 パーキングブレーキをかける (→ P. 146)
- 3 シフトレバーをNにする (→ P. 143)

坂道の途中で駐車をする場合は、必要に応じてシフトレバーを1速またはRにし、輪止め[※]を使用してください。

[※] 輪止めはトヨタ販売店で購入することができます。

- 4 スマートエントリー & スタートシステム非装着車
エンジンスイッチを“LOCK”にしてエンジンを停止する
スマートエントリー & スタートシステム装着車
エンジンスイッチを OFF にしてエンジンを停止する
- 5 キーを携帯していることを確認し、ドアを施錠する

上り坂の発進のしかた

▶ オートマチック車

- 1 パーキングブレーキをかけ、シフトレバーを D にする
- 2 アクセルペダルをゆっくり踏む
- 3 車が動き出す感触を確認したら、パーキングブレーキを解除し発進する

▶ マニュアル車

- 1 パーキングブレーキをしっかりかけ、シフトレバーを 1 速にする
- 2 アクセルペダルを軽く踏み、同時にクラッチペダルから徐々に足を離す
- 3 車が動き出す感触を確認したら、パーキングブレーキを解除し発進する

知識

■ 上り坂発進について

ヒルスタートアシストコントロール★を使用することができます。(→ P. 178)

■ 雨の日の運転について

- 雨の日は視界が悪くなり、またガラスが曇ったり、路面がすべりやすくなった
りするので、慎重に走行してください。
- 雨の降りはじめは路面がよりすべりやすいため、慎重に走行してください。
- 雨の日の高速走行などでは、タイヤと路面のあいだに水膜が発生し、ハンドル
やブレーキが効かなくなるおそれがあるので、スピードは控えめにしてくだ
さい。

■ 走行中のエンジン回転数について（オートマチック車）

次の場合、走行中にエンジン回転数が高くなることがあります。これは走行状況に合わせてシフトアップの制限、またはシフトダウンの実施を自動的に行うため、急加速を示すものではありません。

- 車両が上り坂、または下り坂を走行していると判断したとき
- アクセルペダルを離したとき
- スポーツモード★選択時に、ブレーキペダルを踏んだとき

■ 運転標識の取り付け

磁石式の初心運転者標識や高齢運転者標識などを樹脂バンパーやアルミ部分に取り付けることはできません。

★：仕様により異なる装備やオプション装備

■オーバーヒートについて

次のようなきびしい走行状況ではオーバーヒートになるおそれがあります。

- 暑い日に長い上り坂を走行する
- 高速走行直後に急減速や急停止をする

警告

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■発進するとき（オートマチック車）

エンジンがかかったまま停車しているときは、常にブレーキペダルを踏んでください。クリープ現象で車が動き出すのを防ぎます。

■運転するとき

- 踏み間違いを避けるため、ブレーキペダルとアクセルペダルの位置を十分把握した上で運転してください。
 - ・アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏むと、車が急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - ・後退するときは体をひねった姿勢となるため、ペダルの操作がしにくくなります。ペダル操作が確実にできるよう注意してください。
 - ・車を少し移動させるときも正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。
 - ・ブレーキペダルは右足で操作してください。左足でのブレーキ操作は緊急時の反応が遅れるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 燃えやすいものの上を走行したり、可燃物付近に車を止めたりしないでください。
排気管や排気ガスは高温になり、可燃物が近くにあると火災になるおそれがあり危険です。
- 通常走行時は、走行中にエンジンを停止しないでください。走行中にエンジンを停止してもハンドルやブレーキの操作は可能ですが、操作力補助がなくなります。その場合はハンドルとブレーキの操作が困難になるため、安全を確認した上で、すみやかに道路脇に停車してください。
なお、通常の方法で車両を停止することができないような緊急時は、P. 292を参照してください。
- 急な下り坂では、エンジンブレーキを使用してスピードを下げてください。フットブレーキを連続して使いすぎると、ブレーキが過熱して正常に機能しなくなります。（→ P. 138）

 警告

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■運転するとき

- 走行中はハンドル・シート・ドアミラー・インナーミラーの調整をしないでください。
運転を誤るおそれがあります。
- すべての乗員は頭や手、その他の体の一部を車から出さないようにしてください。
- 4WD 車：オフロード走行をしないでください。
本格的なオフロード走行を目的とした 4WD 車ではありません。やむを得ずオフロードを走行するときは、慎重に運転してください。
- 渡河などの水中走行はしないでください。
電装品のショートやエンジンの破損など、重大な車両故障の原因になるおそれがあります。

■すべりやすい路面を運転するとき

- 急ブレーキ・急加速・急ハンドルはタイヤがスリップし、車両の制御ができなくなるおそれがあります。
- 急激なアクセル操作、シフトチェンジによるエンジンブレーキやエンジン回転数の変化は、車が横すべりするなどのおそれがあります。
- 水たまり走行後はブレーキペダルを軽く踏んでブレーキが正常に働くことを確認してください。ブレーキパッドがぬれるとブレーキの効きが悪くなったり、ぬれていない片方だけが効いたりしてハンドルをとられるおそれがあります。

■シフトレバーを操作するとき

- オートマチック車では、シフトレバーを前進側のシフトポジションに入れたまま惰性で後退したり、R に入れたまま惰性で前進することは絶対にやめてください。
エンジンが停止し、ブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが重くなったりして、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。
- オートマチック車では、車両が動いているあいだは、シフトレバーを P に入れないでください。
トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- 車両が前進しているあいだは、シフトレバーを R に入れないでください。
トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。

 警告

- 車両が後退しているあいだは、シフトレバーを D（オートマチック車）または 1（マニュアル車）に入れないでください。
トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- 走行中にシフトレバーを N にすると、トランスミッションとエンジンの動力伝達が解除され、エンジンプレーキが効かなくなります。
- オートマチック車では、アクセルペダルを踏み込んだまま操作しないように気を付けてください。
シフトレバーが P または N 以外にあると、車が急発進して思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

■ 継続的にブレーキ付近から警告音（キーキー音）が発生したとき

できるだけ早くトヨタ販売店で点検を受け、ブレーキパッドを交換してください。

必要なときにパッドの交換が行われないと、ディスクローターの損傷につながる場合があります。

パッドやローターなどの部品は、役割を果たすと共に摩耗していきます。摩耗の限度をこえて走行すると故障を引き起こすばかりでなく、事故につながるおそれがあります。

■ 停車するとき

- 空ぶかしをしないでください。
シフトレバーが P（オートマチック車）または N 以外にあると、車が急発進して思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- オートマチック車では、車が動き出すことによる事故を防ぐため、エンジン回転中は常にブレーキペダルを踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- 坂道で停車するときは、前後に動き出して事故につながることを防ぐため、常にブレーキペダルを踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- 停車中に空ぶかしをしないでください。
排気管が過熱し、可燃物が近くにあると火災につながるおそれがあり危険です。

 警告**■ 駐車するとき**

- 炎天下では、メガネ・ライター・スプレー缶や炭酸飲料の缶などを車内に放置しないでください。
放置したまましていると、次のようなことが起こるおそれがあり危険です。
 - ・ライターやスプレー缶からガスがもれたり、出火する
 - ・プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネが、変形またはひび割れを起こす
 - ・炭酸飲料の缶が破裂して車内を汚したり、電気部品がショートする原因になる
- ライターを車内に放置したままにしないでください。ライターをグローブボックスなどに入れておいたり、車内に落としたままにしておくと、荷物を押し込んだりシートを動かしたときにライターの操作部が誤作動し、火災につながるおそれがあり危険です。
- ウインドウガラスなどには吸盤を取り付けしないでください。また、インストルメントパネルやダッシュボードの上に芳香剤などの容器を置かないでください。
吸盤や容器がレンズの働きをして、車両火災につながるおそれがあり危険です。
- シルバー色などの金属蒸着フィルムを曲面ガラスに貼った場合は、ドアやウインドウを開けたまま放置しないでください。
直射日光が曲面ガラスの内側に反射し、レンズの働きをして火災につながるおそれがあり危険です。
- 車から離れるときは、必ずパーキングブレーキをかけ、シフトレバーをP（オートマチック車）に入れ、エンジンを停止し、施錠してください。
エンジンがかかっているあいだは、車から離れないでください。
- エンジン回転中またはエンジン停止直後は排気管にふれないでください。
やけどをするおそれがあります。

■ 仮眠するとき

必ずエンジンを停止してください。

エンジンをかけたまま仮眠すると、無意識にシフトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、事故やエンジンの異常過熱による火災が発生するおそれがあります。さらに、風通しの悪い場所に停めると、排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 警告**■ ブレーキをかけるとき**

- ブレーキがぬれているときは、普段よりも注意して走行してください。
ブレーキがぬれていると、制動距離が長くなり、ブレーキのかかりに、左右の違いが出るおそれがあります。また、パーキングブレーキがしっかりとかからないおそれもあります。
- ブレーキ倍力装置が機能しないときは、他の車に近付いたりしないでください。また、下り坂や急カーブを避けてください。
この場合ブレーキは作動しますが、通常よりも強く踏む必要があります。また制動距離も長くなります。
- 万一エンジンが停止したときは、ブレーキペダルをくり返し踏まないでください。
ペダルを踏むたびに、ブレーキのアシスト力の蓄えを使い切ってしまいます。
- ブレーキシステムは二つの独立したシステムで構成されており、一方の油圧システムが故障しても、もう一方は作動します。この場合、ブレーキペダルを通常より強く踏む必要があり、制動距離が長くなります。一方のブレーキシテムしか作動していない状態で走行しないでください。ただちにブレーキの修理を受けてください。

■ 万一脱輪したとき

いずれかのタイヤが宙に浮いているときは、むやみに空転させないでください。駆動系部品の損傷や、車両の飛び出しによる思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 注意**■運転しているとき（オートマチック車）**

- 運転中にアクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏むと、駆動力を抑制する場合があります。
- 坂道で停車するために、アクセルペダルを使ったり、アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだりしないでください。

■運転しているとき（マニュアル車）

- 運転中にアクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏むと、駆動力を抑制する場合があります。
- クラッチペダルを確実に踏み込んでいない状態で、シフトレバーを操作しないでください。クラッチやトランスミッションが損傷するおそれがあります。
- クラッチの損傷を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・クラッチペダルに足を乗せたまま走行しない
 - ・1 速以外での発進は避ける
 - ・坂道発進時など、必要以上に半クラッチのままで走行しない
- 車がまだ動いているときに R に入れないでください。クラッチ・トランスミッション・ギアに損傷を受けるおそれがあります。

■駐車するとき（オートマチック車）

必ずシフトレバーを P にしてください。P にしておかないと、車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込んだときに急発進するおそれがあります。

 注意**■ 部品の損傷を防ぐために**

- パワーステアリングモーターの損傷を防ぐため、ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けないでください。
- ディスクホイールなどの損傷を防ぐため、段差などを通過するときは、できるだけゆっくり走行してください。

■ 走行中にタイヤがパンクしたら

次のようなときはタイヤのパンクや損傷が考えられます。ハンドルをしっかりとって徐々にブレーキをかけ、スピードを落としてください。

- ハンドルがとられる
- 異常な音や振動がある
- 車両が異常に傾く

タイヤがパンクした場合の対処法は P. 316, 328 を参照してください。

■ 冠水路走行に関する注意

大雨などで冠水した道路では、次のような重大な損傷を与えるおそれがあるため、走行しないでください。

- エンストする
- 電装品がショートする
- 水を吸い込んでのエンジン破損

万一、冠水した道路を走行し、水中に浸かってしまったときは必ずトヨタ販売店で次の点検をしてください。

- ブレーキの効き具合
- エンジン・オートマチックトランスミッション・トランスファー（4WD 車）・ディファレンシャルなどのオイルやフルードの量および質の変化
- プロペラシャフト（4WD 車）・各ベアリング・各ジョイント部などの潤滑不良

荷物を積むときの注意

安全で快適なドライブをするために、荷物を積むときは次のことをお守りください。

⚠ 警告

■ 積んではいけないもの

次のようなものを積むと引火するおそれがあり危険です。

- 燃料が入った容器
- スプレー缶

■ 荷物を積むとき

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、クラッチペダル（マニュアル車）・ブレーキペダル・アクセルペダルを正しく操作できなかったり、荷物が視界をさえぎったり、荷物が乗員に衝突したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- できるだけ荷物はラゲージルームに積んでください。
- 次の場所には荷物を積まないでください。
 - ・ 運転席足元
 - ・ 助手席やリヤ席（荷物を積み重ねる場合）
 - ・ パッケージトレイ
 - ・ インストルメントパネル
 - ・ ダッシュボード
- 室内に積んだ荷物はすべてしっかりと安定させてください。
- シート背もたれより高いものをラゲージルームに積まないでください。
- 後席のシート背もたれを折りたたんで、寸法が長い荷物を積むときは、できるだけ前席シート背もたれの真うしろには積まないでください。
- ラゲージルームに人を乗せないでください。乗員用には設計されていません。乗員は、適切にシートベルトを着用させ、座席に座らせてください。

■ 荷物の重量・荷重のかけ方について

- 荷物を積み過ぎないでください。
- 荷重を不均等につけないようにしてください。

これはタイヤに負担をかけるだけでなく、ハンドル操作性やブレーキ制御の低下により思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

エンジン（イグニッション）スイッチ（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）

エンジンのかけ方

- 1 正しい運転姿勢（→P. 24）がとれるようにシートの位置を調整し、ペダルの各位置を確認する
- 2 パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- 3 シフトレバーが P（オートマチック車）もしくは N（マニュアル車）の位置にあることを確認する
- 4 オートマチック車：ブレーキペダルをしっかりと踏む
マニュアル車：クラッチペダルとブレーキペダルをしっかりと踏む
- 5 エンジンスイッチを“START”の位置にまわす

エンジンスイッチの位置

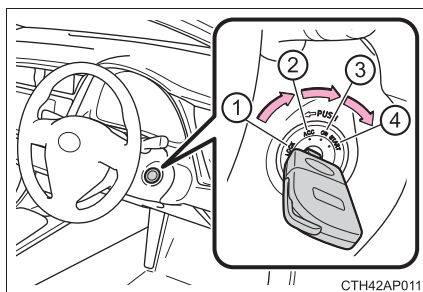
- ① “LOCK”（OFF）
 - ・ ステアリングロックがかかります。
 - ・ キーを抜き挿しすることができます。

（オートマチック車は、シフトレバーの位置が P のとき、キーを抜き挿しできます）
- ② “ACC”

オーディオなどの電装品が使用できます。
- ③ “ON”

すべての電装品が使用できます。
- ④ “START”

エンジンが始動できます。

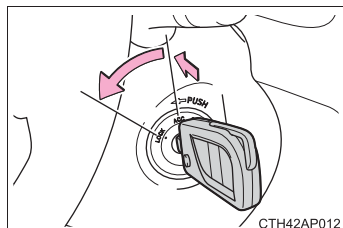


CTH42AP011

知識

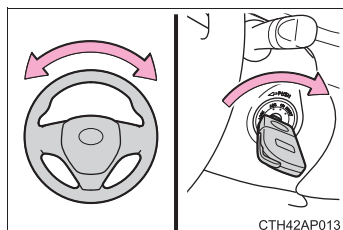
■キーを“ACC”から“LOCK”にまわすには

- 1 シフトレバーがP（オートマチック車）もしくはN（マニュアル車）の位置にあることを確認する
- 2 キーを押し込みながら“LOCK”までまわす



■ステアリングロックを解除するには

ハンドルを左右に動かしながら、エンジンスイッチをまわしてください。



■キー抜き忘れ警告ブザー

キーが差してあり、エンジンスイッチが“ACC”または“LOCK”のとき、運転席ドアを開けると警告音が鳴ります。

警告

■エンジンを始動するときは

必ず運転席に座っておこなってください。このとき決してアクセルペダルは踏まないでください。思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■走行中の警告

走行中はエンジンスイッチを“LOCK”にしないでください。緊急時は走行中にエンジンを切り、“ACC”にしてください。走行中にエンジンが停止すると思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 注意**■ バッテリーあがりを防止するために**

エンジンがかかっていないときは、エンジンスイッチを“ACC”または“ON”にしたまま長時間放置しないでください。

■ エンジンを開始するとき

- 一度に 30 秒以上スターターをまわさないでください。
- エンジンが冷えた状態で空ぶかししないでください。
- もしエンジンが始動しにくかったり、頻繁にエンストする場合は、ただちにエンジンの点検を受けてください。

エンジン（イグニッション）スイッチ（スマートエントリー&スタートシステム装着車）

電子キーを携帯して次の操作を行うことで、エンジンの始動またはエンジンスイッチのモードを切りかえることができます。

エンジンのかけ方

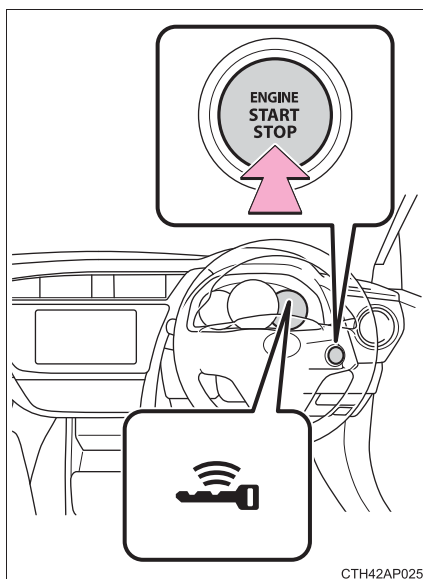
- 1 正しい運転姿勢（→P. 24）がとれるようにシートの位置を調整し、ペダルの各位置を確認する
- 2 パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- 3 シフトレバーが P（オートマチック車）もしくは N（マニュアル車）の位置にあることを確認する
 - ▶ ドライブモニターディスプレイ装着車
- 4 オートマチック車：ブレーキペダルをしっかりと踏み
マニュアル車：クラッチペダルとブレーキペダルをしっかりと踏み
スマートエントリー & スタートシステム表示灯が緑色に点灯します。
緑色に点灯していないと、エンジンは始動しません。
- 5 エンジンスイッチを押す

エンジンが始動するまで最大 30 秒間
スターターが回転します。

オートマチック車：完全にエンジン
が始動するまでブレーキペダ
ルを踏み続けてください。

マニュアル車：完全にエンジンが
始動するまで各ペダルを踏み続
けてください。

エンジンスイッチのどのモードからで
もエンジンを始動できます。



▶ マルチインフォメーションディスプレイ装着車

- 4** オートマチック車：ブレーキペダルをしっかりと踏む
 マニュアル車：クラッチペダルとブレーキペダルをしっかりと踏む

マルチインフォメーションディスプレイに  が表示されます。

表示されないと、エンジンはかかりません。

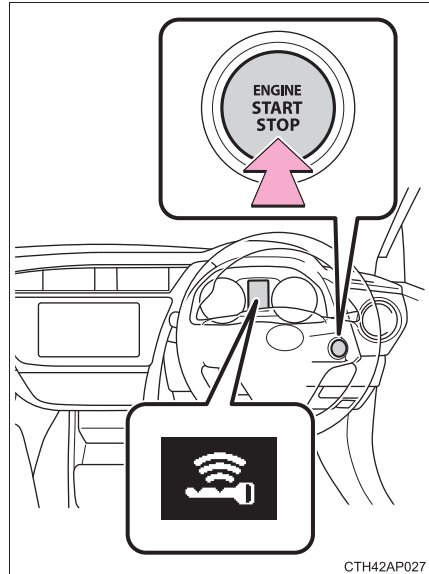
- 5** エンジンスイッチを押す

エンジンが始動するまで最大 30 秒間
 スターターが回転します。

オートマチック車：完全にエンジン
 が始動するまでブレーキペダ
 ルを踏み続けてください。

マニュアル車：完全にエンジンが
 始動するまで各ペダルを踏み続
 けてください。

エンジンスイッチのどのモードからで
 もエンジンを始動できます。



CTH42AP027

エンジンの停止のしかた

- 1** 車両を完全に停止させる
- 2** シフトレバーを P（オートマチック車）もしくは N（マニュアル車）の位置にする
- 3** パーキングブレーキをかける（→ P. 146）
- 4** エンジンスイッチを押す
- 5** ドライブモニターディスプレイ装着車：各ペダルから足を離れた状態にして、スマートエントリー & スタートシステム表示灯が消灯していることを確認する
 マルチインフォメーションディスプレイ装着車：各ペダルから足を離れた状態にして、マルチインフォメーションディスプレイの「電源 ON」の表示が消灯していることを確認する

エンジンスイッチ切りかえ

ブレーキペダル（オートマチック車）もしくはクラッチペダル（マニュアル車）を踏まずにエンジンスイッチを押すと、モードを切りかえることができます。（スイッチを押すごとにモードが切りかわります）

▶ ドライブモニターディスプレイ装着車

OFF ※

非常点滅灯が使用できます。

スマートエントリー&スタートシステム表示灯が消灯します。

アクセサリーモード

アクセサリーソケットなどの電装品が使用できます。

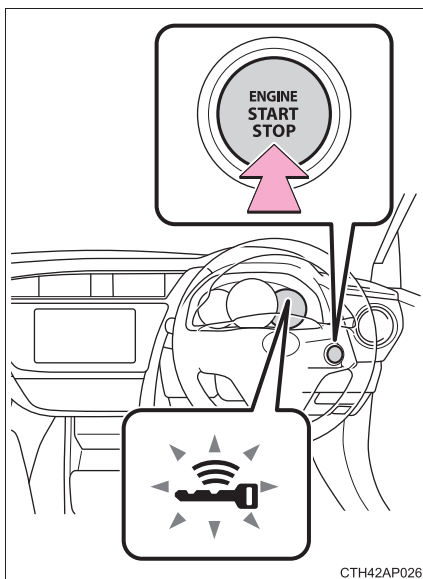
スマートエントリー&スタートシステム表示灯が緑色にゆっくりと点滅します。

イグニッション ON モード

すべての電装品が使用できます。

スマートエントリー&スタートシステム表示灯が緑色にゆっくりと点滅します。

※ シフトレバーが P 以外のときはアクセサリーモードになり、OFF になりません。



▶ マルチインフォメーションディスプレイ装着車

OFF ※

非常点滅灯が使用できます。

アクセサリモード

オーディオなどの電装品が使用できません。

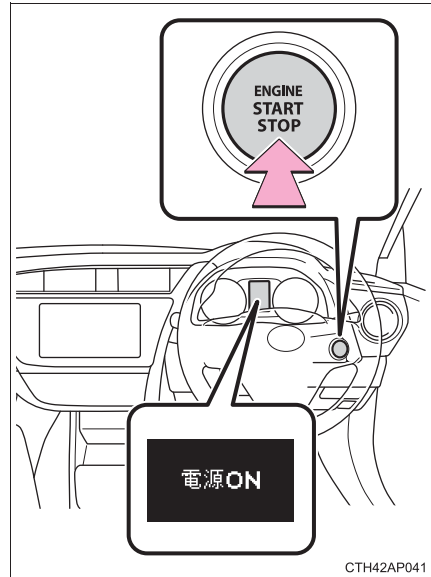
マルチインフォメーションディスプレイに「電源 ON」が表示されます。

イグニッション ON モード

すべての電装品が使用できます。

マルチインフォメーションディスプレイに「電源 ON」が表示されます。

※ シフトレバーが P 以外のときはアクセサリモードになり、OFF になりません。(オートマチック車)



CTH42AP041

シフトレバーが P 以外でエンジンを停止したとき (オートマチック車)

シフトレバーが P 以外でエンジンを停止させた場合、エンジンは停止しますが、エンジンスイッチのモードは OFF になりません。次の手順で OFF にしてください。

- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- 2 シフトレバーを P の位置にする
 - ▶ ドライブモニターディスプレイ装着車
- 3 スマートエントリー& スタートシステム表示灯が緑色にゆっくりと点滅していることを確認し、エンジンスイッチを 1 回押す
- 4 スマートエントリー& スタートシステム表示灯が消灯していることを確認する
 - ▶ マルチインフォメーションディスプレイ装着車
- 3 マルチインフォメーションディスプレイに「電源 ON」と「電源を OFF して下さい」が交互に表示されていることを確認し、エンジンスイッチを 1 回押す
- 4 マルチインフォメーションディスプレイの「電源 ON」と「電源を OFF して下さい」の表示が消灯していることを確認する

 知識**■自動電源 OFF 機能**

オートマチック車：シフトレバーが P にあるとき、20 分以上アクセサリーモードか 1 時間以上イグニッション ON モード（エンジンがかかっていない状態）にしたままにしておくと、エンジンスイッチが自動で OFF になります。

ただし、自動電源 OFF 機能は、バッテリーあがりを完全に防ぐものではありません。エンジンがかかっていないときは、エンジンスイッチをアクセサリーモード、またはイグニッション ON モードにしたまま長時間放置しないでください。

マニュアル車：20 分以上アクセサリーモードか 1 時間以上イグニッション ON モード（エンジンがかかっていない状態）にしたままにしておくと、エンジンスイッチが自動で OFF になります。

ただし、自動電源 OFF 機能は、バッテリーあがりを完全に防ぐものではありません。エンジンがかかっていないときは、エンジンスイッチをアクセサリーモード、またはイグニッション ON モードにしたまま長時間放置しないでください。

■電子キーの電池の消耗について

→ P. 89

■スマートエントリー&スタートシステムが正常に働かないおそれのある状況

→ P. 86

■ご留意いただきたいこと

→ P. 87

■エンジンが始動しないとき

- エンジンイモビライザーシステムが解除されていない可能性があります。

（→ P. 54）

トヨタ販売店へご連絡ください。

- オートマチック車はシフトレバーが P の位置にあるか確認してください。エンジンを始動するときに、シフトレバーが傾いたり、P 以外の位置にするとステアリングロック機能が作動しエンジンを始動することができないことがあります。

ドライブモニターディスプレイ装着車：

スマートエントリー & スタートシステム表示灯が緑色に速く点滅します。

マルチインフォメーションディスプレイ装着車：

マルチインフォメーションディスプレイに「始動時は P レンジに入れて下さい」が表示されます。

■ステアリングロックについて

エンジンスイッチを OFF にしたあとにドアを開閉すると、ステアリングロック機能によりハンドルが固定されます。エンジンスイッチを操作すると、ステアリングロックは自動で解除されます。

■ステアリングロックが解除できないとき

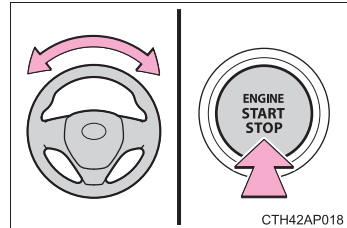
ドライブモニターディスプレイ装着車：

スマートエントリー & スタートシステム表示灯が緑色に速く点滅します。

マルチインフォメーションディスプレイ装着車：

マルチインフォメーションディスプレイに「ステアリングロック未解除」が表示されません。

シフトレバーが P の位置にあることを確認して（オートマチック車）、ハンドルを左右にまわしながら再操作してください。



■ステアリングロックモーターのオーバーヒート防止について

短時間にエンジンの始動・停止をくり返すと、モーターのオーバーヒート防止のために作動制限することがあります。その場合は操作を控えてください。10 秒程度でもとの状態にもどります。

■システムに異常があるときは

→ P. 300, 306

■電子キーの電池が切れたときは

→ P. 261

■ エンジンスイッチの操作について

- エンジンスイッチを操作する際は、短く確実に押してください。確実に押せてない場合は、モードの切りかえやエンジンの始動ができない場合があります。また、確実に操作すれば押し続ける必要はありません。
- エンジンスイッチ OFF 後、すぐに再始動した場合は、エンジンが始動しない場合があります。エンジンスイッチ OFF 後の再始動は、数秒待ってから操作してください。

■ カスタマイズ機能でスマートエントリー&スタートシステムを非作動にしたときは

→ P. 363

警告

■ エンジンを始動するとき

必ず運転席に座って行ってください。このとき決してアクセルペダルは踏まないでください。

思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 走行中の警告

エンジンの停止などで車両滑走状態になったときは、車両が安全な状態で停止するまでドアを開けたり、ロック操作をしたりしないでください。ステアリングロック機能が作動し、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 緊急時のエンジン停止方法

走行中にエンジンを緊急停止したい場合には、エンジンスイッチを 2 秒以上押し続けるか、素早く 3 回以上連続で押してください。(→ P. 292)

ただし、緊急時以外は走行中にエンジンスイッチにふれないでください。走行中にエンジンを停止してもハンドルやブレーキの操作は可能ですが、操作力補助がなくなります。その場合はハンドルとブレーキの操作が困難になるため、安全を確認した上で、すみやかに道路脇に停車してください。

 注意**■ バッテリーあがりを防止するために**

- エンジンがかかっていないときは、エンジンスイッチをアクセサリモードまたはイグニッション ON モードにしたまま長時間放置しないでください。
- ドライブモニターディスプレイ装着車：スマートエントリー & スタートシステム表示灯が消灯していない場合、エンジンスイッチが OFF になっていません。エンジンスイッチを OFF にしてから車両を離れてください。
マルチインフォメーションディスプレイ装着車：エンジンがかかっていないときに、マルチインフォメーションディスプレイの「電源 ON」の表示が消灯していない場合、エンジンスイッチが OFF になっていません。エンジンスイッチを OFF にしてから車両を離れてください。
- オートマチック車はシフトレバーが P 以外でエンジンを停止させないでください。シフトレバーが P 以外でエンジンを停止させた場合、エンジンスイッチがアクセサリモードとなるため、そのまま放置するとバッテリーあがりの原因となります。

■ エンジンを始動するとき

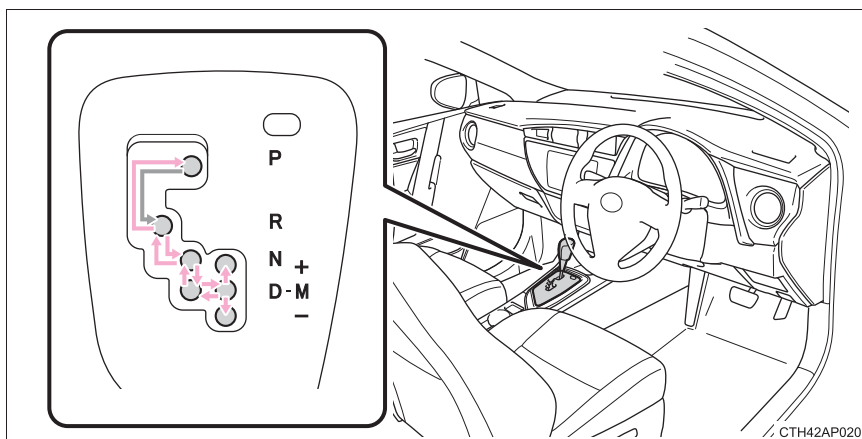
- エンジンが冷えた状態で空ぶかししないでください。
- もしエンジンが始動しにくかったり、ひんぱんにエンストする場合は、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■ エンジンスイッチの操作について

エンジンスイッチ操作時に引っかかりなどの違和感があるときは、故障のおそれがあります。すみやかにトヨタ販売店にご連絡ください。

オートマチックトランスミッション★

シフトレバーの動かし方



← エンジンスイッチが“ON”（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）、またはエンジンスイッチがイグニッション ON モード（スマートエントリー&スタートシステム装着車）の状態
で、ブレーキペダルを踏んだまま操作します。

P と D のあいだの操作は、ブレーキペダルを踏み、車を完全に止めてから行ってください。

シフトポジションの使用目的

シフトポジション	目的および状態
P	駐車またはエンジンの始動
R	後退
N	動力が伝わらない状態
D	通常走行※ レンジの選択（→ P. 139） （パドルシフトスイッチ★操作時）
M	7速スポーツシーケンシャルシフトマチックモード走行 （→ P. 140）

※ 燃費向上や騒音の低減のために、通常は D ポジションを使用してください。

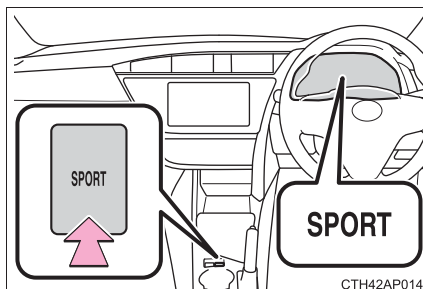
★：仕様により異なる装備やオプション装備

走行モードの選択（パドルシフトスイッチ装着車）

スイッチを押す

カーブの多い山道や高速で走行するときに適しています。スイッチを押すと、メーター内の SPORT モード表示灯が点灯します。

もう一度スイッチを押すと通常走行モードへもどります。



一時的な 7 速スポーツシーケンシャルシフトマチックモードについて（パドルシフトスイッチ装着車）

シフトレバーを D の位置で走行中、パドルシフトスイッチを操作することにより任意の変速段を選択することができます。この場合、シフトポジション・シフトレンジ表示灯に D が点灯し、変速段が表示されます。

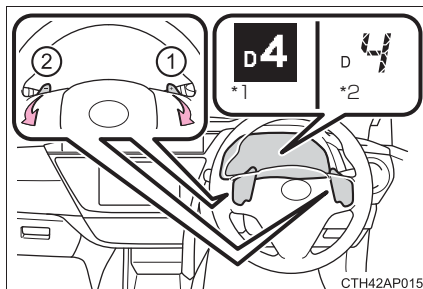
- ① シフトアップ
- ② シフトダウン

D1 から D7 のあいだで選択されている変速段がメーターに表示されます。

通常走行にもどすときは、パドルシフトスイッチの“+”側を一定時間以上保持します。

*1：マルチインフォメーションディスプレイ装着車

*2：ドライブモニターディスプレイ装着車



7速スポーツシーケンシャルシフトマチックモードでの変速段切りかえ

シフトレバーを M ポジションにすると、7速スポーツシーケンシャルシフトマチックモードに切りかわります。シフトレバーまたはパドルシフトスイッチ（パドルシフトスイッチ装着車）の操作で思い通りの変速段を選択し、運転することができます。シフトレバーまたはパドルシフトスイッチの“-”側または“+”側の操作で変速段を選択することができます。

① シフトアップ

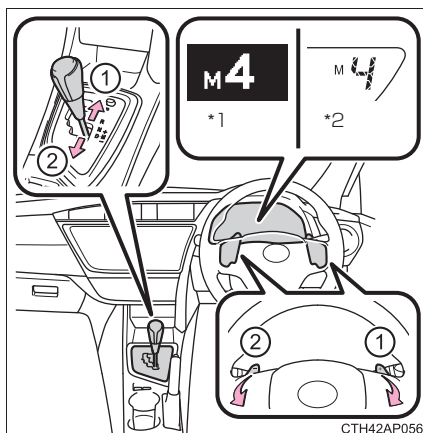
② シフトダウン

シフトレバーまたはパドルシフトスイッチを操作するごとに1速ずつ変速します。

M1 から M7 の中で選択した変速段がメーターに表示されます。

*1: マルチインフォメーションディスプレイ装着車

*2: ドライブモニターディスプレイ装着車



M ポジションで走行しているときでも、エンジン回転数が上がりすぎそうなとき、または下がりすぎそうなときは、自動的に変速段が切りかわる場合があります。

 知識

■ 変速段機能

- エンジンブレーキ力は、7 段階から選択が可能です。
- シフトレンジの数字が小さい方がエンジンブレーキ力は大きくなり、エンジン回転数も高くなります。

■ D ポジションでの一時的な 7 速スポーツシーケンシャルシフトマチックモードの解除（パドルシフトスイッチ装着車）

次のとき、自動的に D ポジションでの一時的な 7 速スポーツシーケンシャルシフトマチックモードが解除されます。

- 停車状態のとき
- 同一変速段で、アクセルペダルを一定時間以上踏み続けたとき
- パドルシフトスイッチの“+”側を一定時間以上押し続けたとき
- アクセルペダルを大きく踏み込んだとき
- シフトレバーを D 以外にしたとき

■ M ポジションで走行中に停車したときは

- 停車すると自動的に M1 にシフトダウンされます。
- 停止後走行するときは M1 からの発進となります。
- 停車後は M1 に固定されます。

■ シフトダウン制限警告ブザー（7 速スポーツシーケンシャルシフトマチックモード走行時）

安全や走行性能を確保するため、シフトダウン操作には制限があり、シフトレバーを操作してもシフトダウンできない場合があります。（このときブザーが 2 回鳴ります）

■ スポーツモードの自動解除（2ZR-FAE エンジン搭載車）

スポーツモードを選択して走行後、エンジンを停止すると、自動的に通常走行モードに切りかわります。

■ リバース警告ブザー

シフトレバーを R に入れるとブザーが鳴り、R にあることを運転者に知らせます。

■ シフトレバーを P からシフトできないとき

→ P. 344

- シフトレバーを M にしても、M 表示灯が点灯しないときまたは点滅したときはシステム異常のおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

この場合、シフトレバーを D にしているときと同じ制御になります。

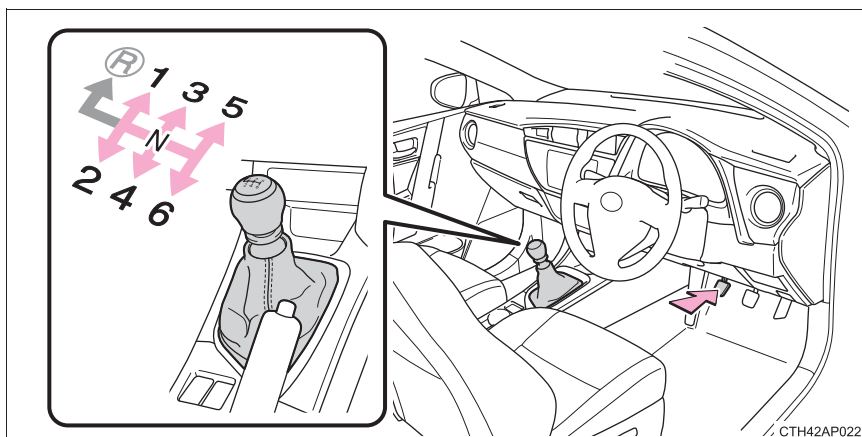
警告

■ すべりやすい路面を走行するとき

急なアクセル操作や、シフト操作を行わないでください。エンジンブレーキ力の急激な変化が横すべりやスピンの原因になりますので注意してください。

マニュアルトランスミッション★

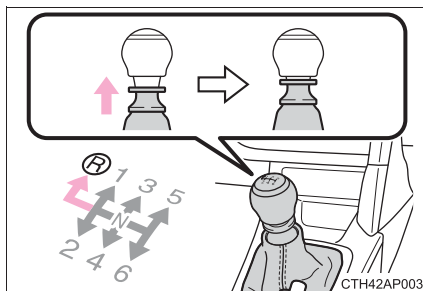
■ シフトレバーの動かし方



クラッチペダルをしっかりと踏み、シフトレバーをゆっくり操作します。

■ R へのシフト操作

ブルカラーを引き上げながら、R に入れます。



 知識

■各シフトの速度限界

エンジンを過回転させないために各シフト位置での速度が次に記載してある数値をこえないようにしてください。

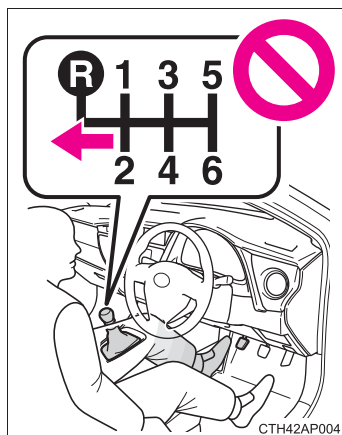
(km/h)

シフト位置	最高速度
1	45
2	84
3	115
4	156
5	180

 注意

■トランスミッションの損傷を防ぐために

- クラッチペダルを踏まずにシフトレバーをRに入れないでください。

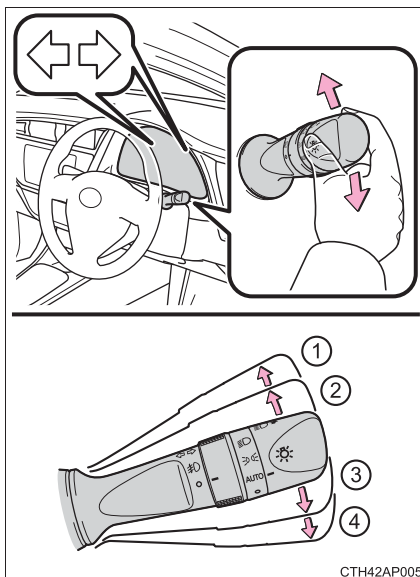


- Rへシフトするとき以外は、プルカラーを上へ引かないでください。
- Rへシフトするときは、車が停止した状態でおこなってください。

方向指示レバー

操作のしかた

- ① 左折
- ② 左側へ車線変更
(レバーを途中で保持)
レバーを離すまで左側方向指示灯が点滅します。
- ③ 右側へ車線変更
(レバーを途中で保持)
レバーを離すまで右側方向指示灯が点滅します。
- ④ 右折



CTH42AP005

知識

■ 作動条件

スマートエントリー&スタートシステム非装着車：エンジンスイッチが“ON”の位置のとき

スマートエントリー&スタートシステム装着車：エンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

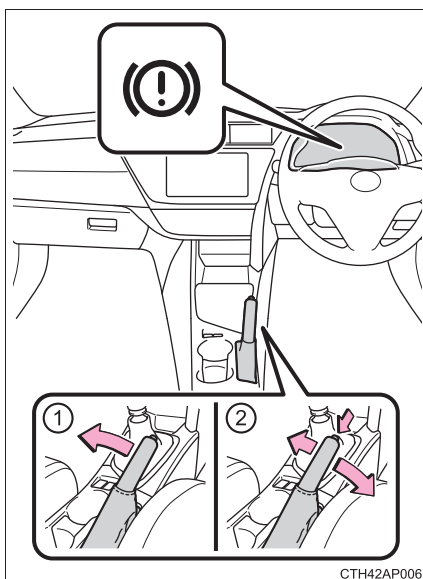
■ 表示灯の点滅が異常に速くなったとき

方向指示灯の電球が切れていないか確認してください。

パーキングブレーキ

操作のしかた

- ① パーキングブレーキをかけるにはブレーキペダルを踏みながら、パーキングブレーキレバーをいっぱいまで引く
- ② パーキングブレーキを解除するには、レバーを少し引き上げ、ボタンを押しながら完全に下までもどす



知識

■ パーキングブレーキ未解除警告ブザー

パーキングブレーキをかけたまま、車速が5 km/h をこえたとき、警告ブザーが鳴ります。(→ P. 299, 307)

■ 冬季のパーキングブレーキの使用について

→ P. 181

⚠ 注意

■ 駐車するとき

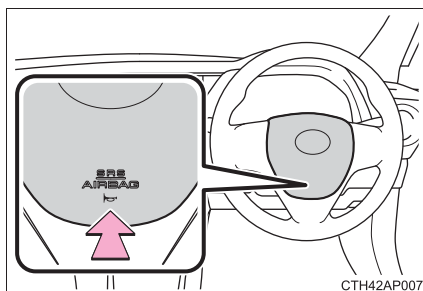
車から離れるときは、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーを P (オートマチック車) にし、車が動かないことを確認してください。

■ 走行前の注意

パーキングブレーキを完全に解除してください。
パーキングブレーキがかかったまま走行すると、ブレーキ部品が過熱し、ブレーキの効きが悪くなったり、早く摩耗したりするおそれがあります。

ホーン（警音器）

ハンドルの  周辺部を押すと
ホーンが鳴ります。



知識

■ハンドル位置を調整したあとは

ハンドルが確実に固定されていることを確認してください。
固定が不十分だとホーンが鳴らない場合があります。（→ P. 106）

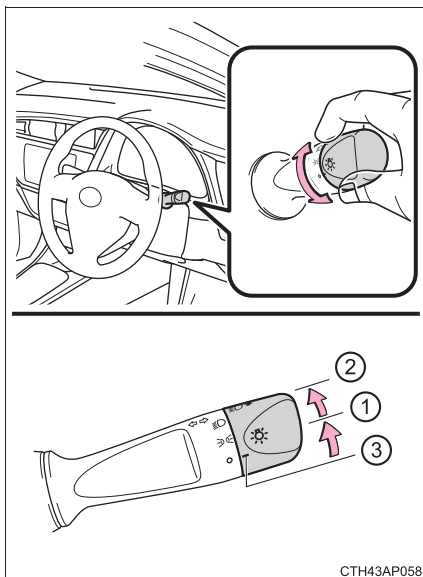
ランプスイッチ

自動または手動でヘッドランプなどを点灯できます。

操作のしかた

▶ A タイプ

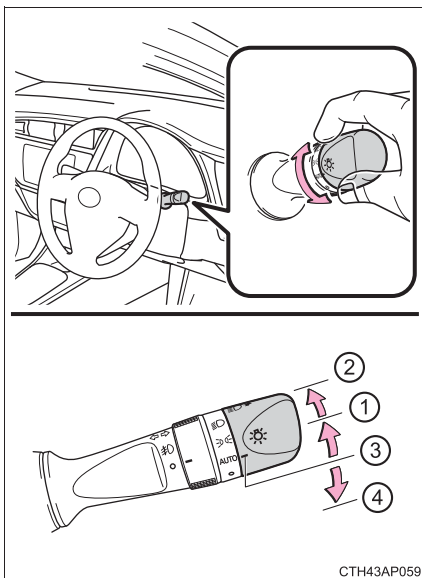
- ①  車幅灯・尾灯・番号灯・インストルメントパネルランプを点灯
- ②  上記ランプとヘッドランプを点灯
- ③  消灯



CTH43AP058

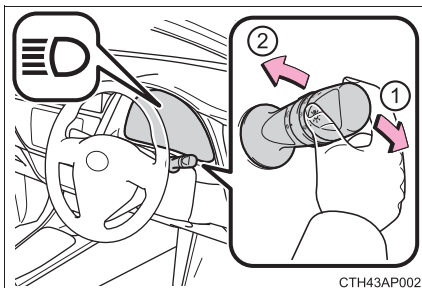
▶ Bタイプ

- ①  車幅灯・尾灯・番号灯・インストルメントパネルランプを点灯
- ②  上記ランプとヘッドランプを点灯
- ③ **AUTO** ヘッドランプ・車幅灯などを自動点灯・消灯
(エンジンスイッチが“ON”(スマートシステム&スタートシステム非装着車) またはエンジンスイッチがイグニッションONモード(スマートシステム&スタートシステム装着車) のとき)
- ④  消灯



ハイビームにする

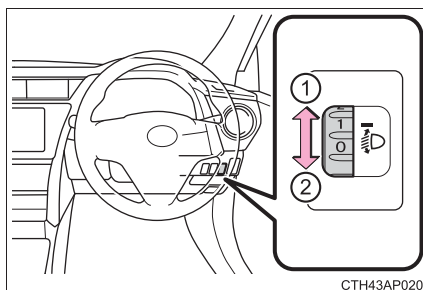
- ① ヘッドランプ点灯時ハイビームに切りかえ
レバーをもとの位置へもどすとロービームにもどります。
- ② レバーを引いているあいだ、ハイビームを点灯
ランプが消灯していても、ハイビームが点灯します。レバーを離すと、ロービームにもどる、または消灯します。



手動光軸調整ダイヤル★

乗車人数や荷物の量などによる車の姿勢の変化に合わせて、ヘッドランプの光軸を調整することができます。

- ① 上向きに調整
- ② 下向きに調整



CTH43AP020

■ 目盛り設定の目安

乗員と荷物の条件		ダイヤル位置
乗員	荷物	
運転者	なし	0
運転者と助手席乗員	なし	0
全乗員	なし	1.5
全乗員	ラゲージルーム 満載時	2
運転者	ラゲージルーム 満載時	3

AFS (アダプティブフロントライティングシステム) ★

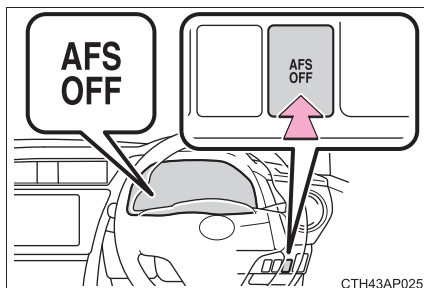
AFS は、交差点やカーブで優れた視認性を確保するため、ハンドル操作によって変化するタイヤの角度や車速に応じて、ヘッドランプの光軸を自動で調整します。

車速が 10km/h 以上のときに作動します。

■ AFS を OFF にするには

AFS OFF スイッチを押す

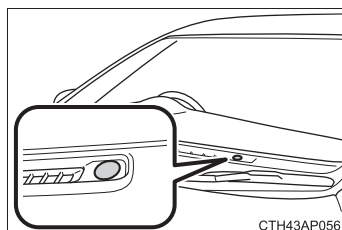
AFS を OFF にすると AFS OFF 表示灯が点灯します。



知識

■ ライトセンサー（ランプ自動点灯・消灯システム装着車）

センサーの上にものを置いたり、センサーをふさぐようなものをウインドウガラスに貼らないでください。周囲からの光がさえぎられると、自動点灯・消灯機能が正常に働かなくなります。



■ ランプ消し忘れ防止機能

スマートエントリー&スタートシステム非装着車：

エンジンスイッチを“LOCK”にして運転席ドアを開けると、すべてのランプが消灯します。

再びランプを点灯する場合は、エンジンスイッチを“ON”にするか、一度ランプスイッチを OFF にもどし、再度  または  の位置にします。

スマートエントリー&スタートシステム装着車：

エンジンスイッチを OFF にして運転席ドアを開けると、すべてのランプが消灯します。

再びランプを点灯する場合は、エンジンスイッチをイグニッション ON モードにするか、一度ランプスイッチを OFF にもどし、再度  または  の位置にします。

■ オートレベリングシステム（ディスチャージヘッドランプ装着車）

通行人や対向車がまぶしくないように、乗車人数・荷物の量などによる車の姿勢の変化に合わせて、ヘッドランプの光軸を自動で調整します。

■ AFS OFF 表示灯が点滅したとき（AFS 装着車）

システムに異常があるおそれがあります。トヨタ販売店に連絡してください。

■ カスタマイズ機能

ライトセンサーの感度の設定などを変更できます。

（カスタマイズ一覧：→ P. 363）

注意

■ バッテリーあがりを防止するために

エンジンを停止した状態でランプ類を長時間点灯しないでください。

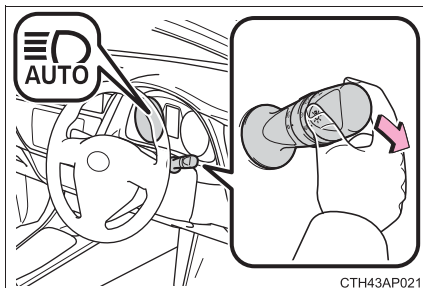
オートマチックハイビーム★

オートマチックハイビームは、インナーミラーに設置されたカメラセンサーにより対向車または先行車のランプや街路灯などの明るさを判定し、自動的にハイビームとロービームを切りかえます。

オートマチックハイビームの使い方

- 1 ランプスイッチを **AUTO** にし、レバーを前方へ押す

オートマチックハイビームが作動すると、オートマチックハイビーム表示灯が点灯します。



ハイビームとロービームの自動切り換え条件

次の条件をすべて満たすと、ハイビームを点灯します。

- 車速が約 30km/h 以上
- 車両前方が暗い
- 対向車または先行車が存在しない、またはランプを点灯していない
- 前方の道路沿いの街路灯の光が少ない

次の条件のいずれかのときはロービームが点灯します。

- 車速が約 25km/h 以下
- 車両前方が明るい
- 対向車または先行車がランプを点灯している
- 前方の道路沿いの街路灯の光が多い

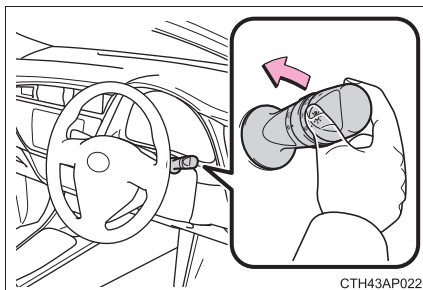
手動切りかえのしかた

■ ロービームへの切りかえ

レバーをもとの位置にもどす

オートマチックハイビーム表示灯が
消灯します。

オートマチックハイビームにもどす
には、再度レバーを前方に押します。

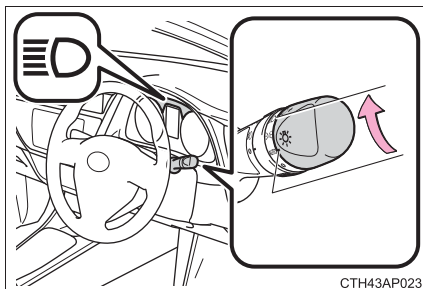


CTH43AP022

■ ハイビームへの切りかえ

ランプスイッチを  にする

オートマチックハイビーム表示灯が
消灯し、ハイビーム表示灯が点灯し
ます。



CTH43AP023

知識

■ 作動条件

エンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

■ オートマチックハイビームについて

- 次の状況では、ハイビームが自動でロービームに切りかわらない場合があります。
 - ・ 見通しの悪いカーブで対向車と突然すれ違ったとき
 - ・ 他車が前方を横切ったとき
 - ・ 連続するカーブや中央分離帯、街路樹などで対向車や先行車が見え隠れするとき
- 対向車のフォグランプにより、ハイビームがロービームに切りかわる場合があります。

- 街路灯や信号・広告などの照明、または標識・看板などの反射物によりハイビームがロービームに切りかわる場合や、ロービームが継続する場合があります。
- 次の原因により、ハイビームとロービームの切りかえのタイミングが変化する場合があります。
 - ・ 対向車または先行車のランプの明るさ
 - ・ 対向車または先行車の動きや向き
 - ・ 対向車または先行車のランプが片側のみ点灯しているとき
 - ・ 対向車または先行車が二輪車のとき
 - ・ 道路の状態（勾配やカーブ、路面状況など）
 - ・ 乗車人数や荷物の量
- オートマチックハイビームは車両前方にあるランプの明るさなどで周囲の状況を認識します。従って、ハイビームとロービームが運転者の感覚に合わず切りかわる場合があります。
- 自転車などの軽車両は検知しない場合があります。
- 次の状況では、周囲の明るさが正確に検知されず、ハイビームが対向車や先行車の迷惑になる場合や、ロービームが継続する場合があります。このような場合は、手動でハイビームとロービームを切りかえてください。
 - ・ 悪天候時（霧・雪・砂嵐・大雨など）
 - ・ フロントウィンドウガラスが汚れているときや、曇っているとき
 - ・ フロントウィンドウガラスにひび割れや破損があるとき
 - ・ インナーミラーやカメラセンサーが変形しているときや、汚れているとき
 - ・ 周囲にヘッドランプや尾灯などに似た光があるとき
 - ・ 対向車または先行車のランプが無灯火のときや、ランプに汚れや変色があったり光軸がずれているとき
 - ・ 急激な明るさの変化が連続するとき
 - ・ 起伏や段差が多い道路を走行しているとき
 - ・ カーブが多い道路を走行しているとき
 - ・ 車両前方に標識やミラーのように光を強く反射するものがあるとき
 - ・ コンテナなど、先行車両の後部が光を強く反射するとき
 - ・ 自車のヘッドランプが破損または汚れているとき
 - ・ パンクやけん引などにより車両が傾いているとき

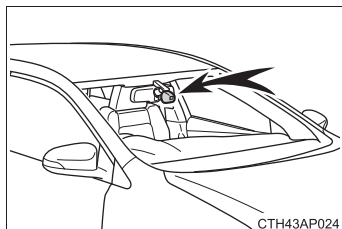
警告

■ 安全にお使いいただくために

オートマチックハイビームを過信しないでください。運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、安全運転を心がけ、必要に応じて手動でハイビームとロービームを切りかえてください。

 注意**■ オートマチックハイビームを正しく作動させるために**

オートマチックハイビームを正しく作動させるために次のことをお守りください。

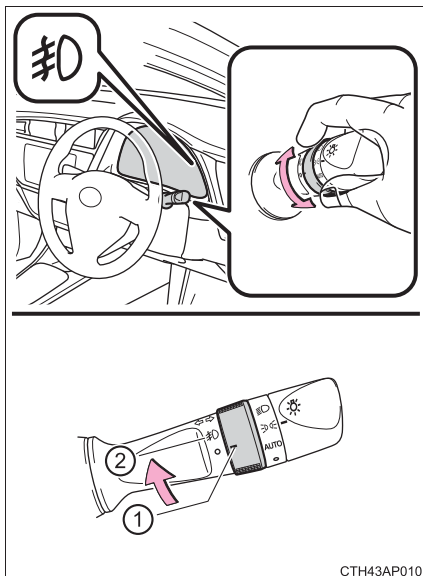


- カメラセンサーのレンズにふれない
- インナーミラーやカメラセンサーに強い衝撃を与えない
- カメラセンサーを分解しない
- インナーミラーやカメラセンサーに液体をかけない
- カメラセンサーの近くの前窓ガラスにステッカーを貼らない
- ダッシュボードの上にものを置かない
- インナーミラーやカメラセンサー周囲にアクセサリーを取り付けない
- 荷物を積み過ぎない
- 車両を改造しない
- トヨタ純正品以外のフロントウィンドウガラスに交換しない

フォグランプスイッチ★

雨や霧などの悪天候下での視界を確保します。

- ① ○ 消灯する
- ② ㊦ 点灯する



CTH43AP010

知識

■点灯条件

ヘッドランプまたは車幅灯が点灯しているときに使用できます。

★：仕様により異なる装備やオプション装備

ワイパー & ウォッシャー（フロント）

操作のしかた

次のようにレバーを操作して、ワイパーの作動を選択します。

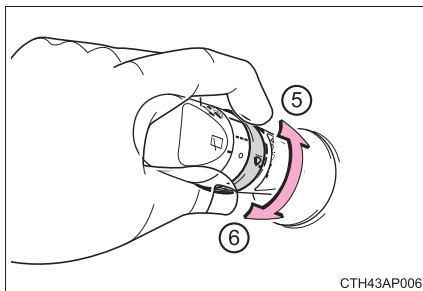
- ①  間欠作動（INT）
- ②  低速作動（LO）
- ③  高速作動（HI）
- ④  一時作動（MIST）



CTH43AP005

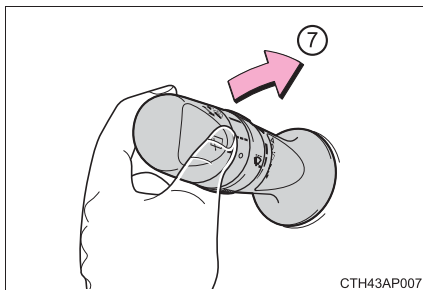
間欠作動を選択しているとき、間欠時間を調整することができます。

- ⑤ 間欠ワイパーの作動頻度（増）
- ⑥ 間欠ワイパーの作動頻度（減）



CTH43AP006

- ⑦ ウォッシャー液を出す
ワイパーが連動して作動します。



CTH43AP007

 知識

■ 作動条件

スマートエントリー&スタートシステム非装着車：エンジンスイッチが“ON”の位置のとき

スマートエントリー&スタートシステム装着車：エンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

■ ウォッシャー液が出ないとき

ウォッシャー液量が不足していないのにウォッシャー液が出ないときは、ノズルのつまりを点検してください。

 警告

■ ウォッシャー使用時の警告

寒冷時はフロントウインドウガラスが暖まるまでウォッシャー液を使用しないでください。ウォッシャー液がフロントウインドウガラスに凍りつき、視界不良を起こして思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 注意

■ フロントウインドウガラスが乾いているとき

ワイパーを使わないでください。
ガラスを傷付けるおそれがあります。

■ ウォッシャー液が出ないとき

ウォッシャースイッチを操作し続けしないでください。
ポンプが故障するおそれがあります。

■ ノズルがつまったとき

ノズルがつまったときはトヨタ販売店へご連絡ください。
ピンなどで取り除かないでください。
ノズルが損傷するおそれがあります。

ワイパー & ウォッシャー（リヤ）

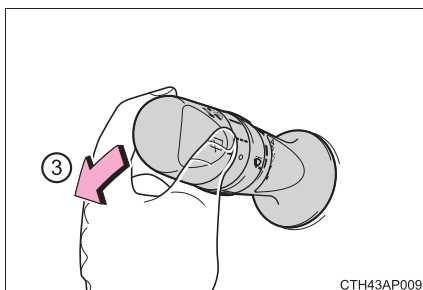
操作のしかた

次のようにレバーをまわしてワイパーの作動を選択します。

- ①  間欠作動（LO）
- ②  通常作動（HI）



- ③ ウォッシャー液を出す
ワイパーが連動して作動します。



知識

■ 作動条件

スマートエントリー&スタートシステム非装着車：

エンジンスイッチが“ON” のとき

スマートエントリー&スタートシステム装着車：

エンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

■ ウォッシャー液が出ないときは

ウォッシャー液量が不足していないのにウォッシャー液が出ないときは、ノズルのつまりを点検してください。

 注意**■ 窓ガラスが乾いているときは**

ワイパーを使わないでください。
ガラスを傷付けるおそれがあります。

■ ウォッシャー液が出ないときは

ウォッシャースイッチを操作し続けしないでください。
ポンプが故障するおそれがあります。

■ ノズルがつまったときは

ノズルがつまったときはトヨタ販売店へご連絡ください。
ピンなどで取り除かないでください。
ノズルが損傷するおそれがあります。

給油口の開け方

給油する前に

- ドアとドアガラスを閉め、エンジンスイッチを OFF にしてください。
- 燃料の種類を確認してください。

知識

■ 燃料の種類

オートマチック車：無鉛レギュラーガソリン

マニュアル車：無鉛プレミアムガソリン（無鉛ハイオク）

■ エタノール混合燃料について

エタノール混合燃料（エタノールの混合率 3% 以下、含酸素化合物の含酸素率 1.3% 以下）も使用することができます。

警告

■ 給油するときは

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと火災を引き起こすなど、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 給油前にボデーなどの金属部分にふれて体の静電気を除去してください。除去したあとは給油が完了するまで、車内にもどったり、他の人やものにふれないでください。また、給油口に静電気を除去していない人を近付けないでください。

静電気を帯電した人が給油口に近付くと、放電による火花で燃料に引火するおそれがあります。

- キャップはツマミ部分を持ち、ゆっくりと開けてください。また、キャップをゆるめるときに、“シュー” という音がする場合は、その音が止まるまでキャップを保持してください。

すぐに開けると、気温が高いときなどに、給油口から燃料が噴き出るおそれがあります。

警告

- 気化した燃料を吸わないようにしてください。
燃料の成分には、有害物質を含んでいるものもあります。
- 喫煙しないでください。
- ふきこぼれを防ぐため次の点に注意してください。
 - ・ 給油口にノズルを確実に挿入する
 - ・ 継ぎ足し給油をしない
- 正常に給油できない場合は、スタンドの係員を呼んで指示に従ってください。

注意**■ 給油するとき**

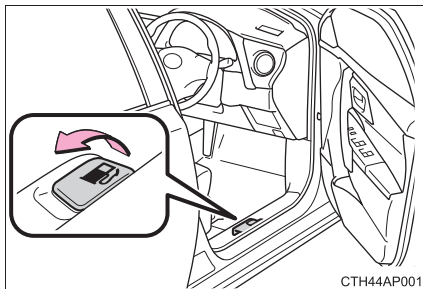
指定のガソリンを使用してください。

指定以外のガソリンや他の燃料（粗悪ガソリン・軽油・灯油・高濃度アルコール含有燃料）を使用したり、燃料をこぼしたりしないでください。
次のような状態になるおそれがあります。

- エンジンの始動性が悪くなる
- エンジンからの異音や振動など（ノッキング）が発生する
- エンジン出力が低下する
- 排気制御システムが正常に機能しない
- 燃料系部品が損傷する
- 塗装が損傷する

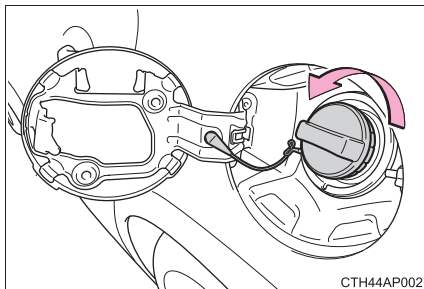
給油口の開け方

- 1 オープナーを上げて、給油口を開ける

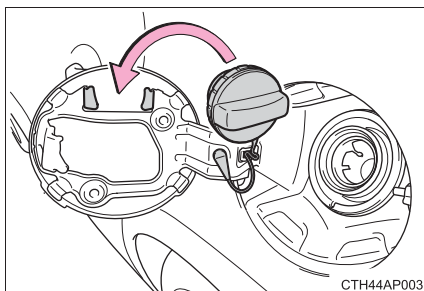


CTH44AP001

- 2 キャップをゆっくりまわして開ける



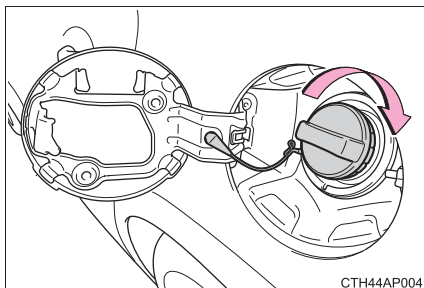
- 3 キャップをハンガーにかける



給油口の閉め方

キャップを“カチッ”と音がするまでまわして閉める

手を離すと、キャップが逆方向に少しもどります。



⚠ 警告

■ キャップが正常に閉まらないとき

必ずトヨタ販売店へご連絡ください。

正常に閉まらないキャップをそのまま使用したり、純正品以外のキャップを使用すると、火災などを引き起こし、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

Toyota Stop & Start System (SMART STOP) ★

赤信号や交差点などの一時的な停車中、燃費向上やアイドリング騒音低減のため、エンジンスイッチを操作することなく、ブレーキペダルまたはシフトレバーの操作によってエンジンを停止・再始動させるシステムです。

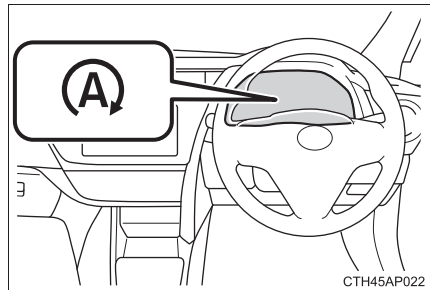
D・Mレンジアイドリングストップ

■ エンジンが停止する

シフトレバーをDまたはMで走行中、ブレーキペダルを踏み車両を完全に停止させると、エンジンが自動的に停止する

ドライブモニターディスプレイ装着車：エンジンが停止し、**(A)** が点灯します。

マルチインフォメーションディスプレイ装着車：エンジンが停止し、マルチインフォメーションディスプレイに **(A)** が表示されます。



■ エンジンが再始動する

ブレーキペダルから足を離すと、エンジンが再始動する

エンジンが再始動し、**(A)** が消えます。

P・Nレンジアイドリングストップ

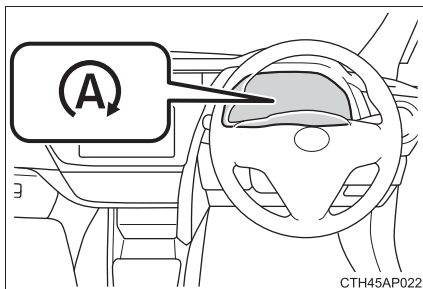
■ エンジンが停止する

- 1 ブレーキペダルを踏み、車両を完全に停止させる
- 2 シフトレバーを P または N にすると、エンジンが自動的に停止する (→P. 138)

ドライブモニターディスプレイ装着車：エンジンが停止し、 が点灯します。

マルチインフォメーションディスプレイ装着車：エンジンが停止し、マルチインフォメーションディスプレイに

 が表示されます。



■ エンジンが再始動する

シフトレバーを D・M・R のいずれかにすると、エンジンが再始動する (→P. 138)

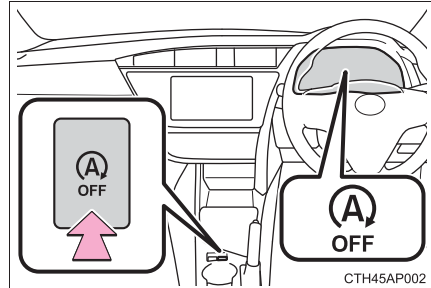
エンジンが再始動し、 が消えます。

Stop & Start システムを非作動にするには

Stop & Start システムを非作動にするにはスイッチを押す

Stop & Start キャンセル表示灯が点灯します。

もう一度スイッチを押すと、作動可能状態にもどります。



■ Stop & Start キャンセルスイッチを押したとき

- Stop & Start システムによるエンジン停止中、Stop & Start キャンセルスイッチを押すとエンジンが再始動します。
- Stop & Start システムが非作動のとき、もう一度 Stop & Start キャンセルスイッチを押すと、Stop & Start システムが作動可能状態にもどりますが、エンジンは停止しません。
次に車両が停止したときに（Stop & Start システムが作動可能状態にもどる）、Stop & Start システムによって、エンジンが停止します。

坂道発進補助機能（D・Mレンジアイドリングストップ）

Stop & Start システムによって坂道でエンジン停止後の発進の際、ブレーキペダルを離してエンジンを再始動し駆動力が発生するまでのあいだ、ブレーキ油圧（ブレーキの効き）を一時的に保持して車両が後退するのを抑制し坂道発進を容易にします。

駆動力が発生すると、保持していたブレーキ油圧（ブレーキの効き）を自動的に解除します。

 知識

■ 作動条件

- 次の条件がすべて満たされたとき、Stop & Start システムが作動可能状態になります。
 - ・ エンジンが十分暖まっているとき
 - ・ バッテリー状態（充電・温度など）が良好であるとき
 - ・ 運転席ドアが閉まっているとき
 - ・ 運転席シートベルトを着用しているとき
 - ・ ボンネットが閉まっているとき
 - ・ アクセルペダルを踏んでいないとき
 - ・ シフトレバーが R 以外のとき
 - ・ 外気温度が 0℃以上のとき
- 次の状況では、Stop & Start システムによるエンジン停止が行われない場合がありますが、異常ではありません。
 - ・ エンジン冷却水温やトランスミッション油温が低いとき、または高すぎるとき
 - ・ 車内温度が高いときに、エアコンを使用しているとき
 - ・ バッテリーが十分に充電されていないとき、および定期的な充電中
 - ・ 渋滞などで、断続的に停車するとき
 - ・ ブレーキペダルを踏む力が弱いとき
 - ・ ブレーキペダルを強く踏み込み、急減速で停車したとき
 - ・ 勾配が急な坂道で停車したとき
 - ・ ブレーキ倍力装置の負圧が低下したとき
 - ・ 消費電力が大きいとき
 - ・ 標高が高いとき
- Stop & Start システムによるエンジン停止中、次のときはエンジンが自動的に再始動する場合があります。
 - ・ ポンピングブレーキをする、またはブレーキペダルをさらに強く踏み込んだとき
 - ・ エアコンを使用しているとき、またはオンにしたとき
 - ・ バッテリーが十分に充電されていないとき
 - ・ 傾斜などで車両が動き出したとき
 - ・ アクセルペダルを踏んだとき
 - ・ 消費電力が大きいとき
 - ・ 運転席ドアを開けたとき
 - ・ 運転席シートベルトをはずしたとき

- 次の状況では、Stop & Start システムが作動するまでに時間がかかる場合があります。
 - ・ バッテリーが放電しているとき
 - ・ バッテリー交換などにより、バッテリー端子をはずしたあと
 - ・ エンジン冷却水温が低いとき

■ Stop & Start システムの自動再開

Stop & Start システムを Stop & Start キャンセルスイッチによって非作動にしても、一度エンジンスイッチを OFF にして 3 秒以上経過してからイグニッション ON モードにすることによって、Stop & Start システムは自動的に作動可能状態にもどります。

■ Stop & Start システム保護機能

大音量でオーディオを使用しているとき、Stop & Start システムを保護するためにオーディオを自動的にオフにする場合があります。

そのような状態になった場合は、エンジンスイッチを OFF にして 3 秒以上経過してからアクセサリモードまたはイグニッション ON モードにすることによってオーディオを再開させてください。

■ ボンネットを開けたときは（D・M レンジアイドリングストップ）

Stop & Start システムによるエンジン停止中にボンネットを開けた場合、エンジンは自動で再始動しません。エンジンスイッチでエンジンを始動させてください。

■ 坂道発進補助機能について（D・M レンジアイドリングストップ）

- 勾配が急な上り坂では、坂道発進補助機能が解除されたあと、車両が後退することがあります。このような場所では、パーキングブレーキをかけたり、ブレーキペダルを操作して発進してください。
- 坂道だけでなく、平坦な場所でも作動します。
- Stop & Start システムによるエンジン停止中に、ブレーキペダルの踏力がかわる場合がありますが、異常ではありません。

■ Stop & Start システムについて

Stop & Start システムは赤信号や交差点などの一時的な停車のときに使用し、長時間停車する場合などには、エンジンを停止してください。

■警告ブザーについて

Stop & Start システムによるエンジン停止中、シフトレバーが D または M で運転席ドアが開くと、警告ブザーが鳴ると同時に  が点滅し、エンジンが再始動します。

■Stop & Start キャンセル表示灯が点滅したままのときは

システムに異常があるおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

■Stop & Start システムによるエンジン停止中のエアコンについて

Stop & Start システムによるエンジン停止中、エアコン（冷房・暖房・除湿機能）がオフになり、送風または無風になります。エアコンがオフにならないようにするには、Stop & Start キャンセルスイッチを押し、Stop & Start システムを非作動にしてください。

■Stop & Start システムによるエンジン停止中、ウインドウガラスが曇ったとき

Stop & Start キャンセルスイッチを押してエンジンを再始動してください。そしてエアコンを作動させ、曇りを取ってください。（→P. 185、191）
断続的にウインドウガラスが曇るときは、Stop & Start キャンセルスイッチを押し、Stop & Start システムを非作動にしてください。

■アイドリングストップ時間表示と総アイドリングストップ時間表示

→P. 63

■バッテリーを交換するとき

装着されているバッテリーは、Stop & Start システム専用品です。同等の性能のものと交換してください。

詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

 警告**■ Stop & Start システムが作動しているとき**

- Stop & Start システムによるエンジン停止中は、ブレーキペダルを踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください（ が点灯もしくは表示されているあいだ）。
エンジンが自動的に始動するため、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- Stop & Start システムによるエンジン停止中、車から離れないでください（ が点灯もしくは表示されているあいだ）。
エンジンが自動的に始動するため、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 換気が悪い場所では、Stop & Start システムを非作動にしてください。
エンジンが自動的に再始動するため、排気ガスが充満し、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 注意**■ Stop & Start システムを正常に作動させるために**

次のようなときは Stop & Start システムが正常に作動しないおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

- 運転席シートベルトを着用しているときに、メーター内のシートベルト非着用警告灯が点滅するとき
- 運転席シートベルトをはずしているときに、メーター内のシートベルト非着用警告灯が点灯しないとき
- 運転席ドアを閉めているときに、メーター内の半ドア警告灯が点灯する、またはインテリアランプスイッチがドアポジションのときにインテリアランプが点灯するとき
- 運転席ドアを開けているときに、メーター内の半ドア警告灯が点灯しない、またはインテリアランプスイッチがドアポジションのときにインテリアランプが点灯しないとき

4WD オートモードスイッチ★

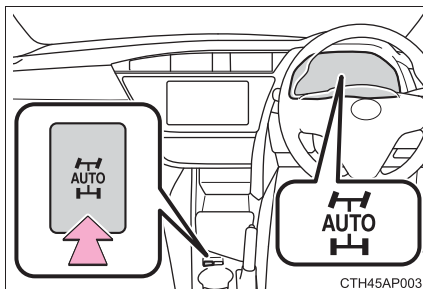
走行安定性や運転性能を高めるため、走行状況に応じて FF（前輪駆動）走行と 4WD（4 輪駆動）走行を自動的に切りかえます。

操作のしかた

4WD オートモードスイッチを押す

4WD オートモード表示灯が数回点滅後、点灯します。

再度押すと解除されます。



知識

■ 4WD オートモード表示灯について

- 4WD オートモードで走行中、前後輪の回転速度の差が大きい状態が長時間続いた場合などには、4WD オートモード表示灯が消灯し、4WD 警告灯が点滅します。（→P. 301）

警告灯の点滅中は駆動系部品の保護のため、後輪への駆動力配分を休止し、FF モードとなります。

この場合は、エンジンをかけたまま次の対応を行ってください。

- ・ 警告灯が消灯するまで車速を落とす
- ・ 警告灯が消灯するまで停車する（エンジンは停止しない）
- 4WD システムに異常が発生したときには、4WD ウォーニングランプが点灯することがあります。この場合には、4WD オートモードスイッチの状態にかかわらず FF モードとなります。

■ 4WD オートモードを使用しないときは

スイッチを押し、FF モードにしてください。FF モードにすることにより燃費性能を高めます。

運転を補助する装置

走行の安全性や運転性能を高めるため、走行状況に応じて次の装置が自動で作動します。ただし、これらのシステムは補助的なものなので、過信せずに運転には十分に注意してください。

◆ ABS（アンチロックブレーキシステム）

急ブレーキ時やすべりやすい路面でのブレーキ時にタイヤのロックを防ぎ、スリップを抑制します。

◆ ブレーキアシスト

急ブレーキ時などに、より大きなブレーキ力を発生させます。

◆ VSC（ビークルスタビリティコントロール）

急なハンドル操作や、すべりやすい路面で旋回するときに横すべりを抑え、車両の姿勢維持に寄与します。

◆ TRC（トラクションコントロール）

すべりやすい路面での発進時や加速時に後輪の空転を抑え、駆動力を確保します。

◆ ヒルスタートアシストコントロール★

→ P. 178

◆ 坂道発進補助機能★

坂道での発進性を補助するため、駆動力が発生するまでのあいだブレーキ油圧（ブレーキの効き）を一時的に保持して、車両が後退するのを抑制し、坂道発進を容易にします。（→P. 167）

◆ EPS（エレクトリックパワーステアリング）

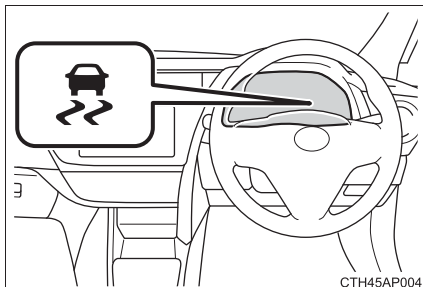
電気式モーターを利用して、ハンドル操作を補助します。

◆ 緊急ブレーキシグナル

急ブレーキ時に非常点滅灯を自動的に点滅させることにより、後続車に注意をうながし、追突される可能性を低減させます。

TRC・VSC が作動しているとき

TRC・VSC が作動しているときは、スリップ表示灯が点滅します。



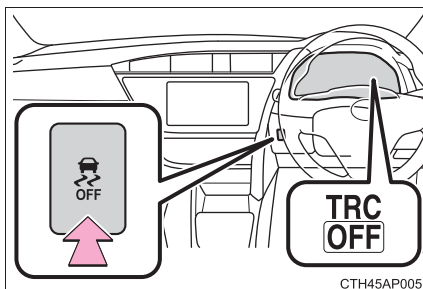
TRC を停止するには

ぬかるみや砂地、雪道などから脱出するときに、TRC が作動していると、アクセルペダルを踏み込んでもエンジンの出力が上がらず、脱出が困難な場合があります。このようなときに VSC OFF スイッチを押すことにより、脱出しやすくなる場合があります。

TRC を停止するにはスイッチを押す

TRC OFF 表示灯が点灯します。

もう一度スイッチを押すと、システム作動可能状態にもどります。



 知識**■ TRC と VSC を停止するには**

TRCとVSCを停止するには停車時にスイッチを押し3秒以上保持してください。

TRC OFF 表示灯と VSC OFF 表示灯が点灯します。

もう一度スイッチを押すと、システム作動可能状態にもどります。

■ ABS・ブレーキアシスト・VSC・TRC の作動音と振動

- エンジン始動時や発進直後、エンジンルームから作動音が聞こえることがありますが、異常ではありません。
- 上記のシステムが作動すると、次のような現象が発生することがありますが、異常ではありません。
 - ・ 車体やハンドルに振動を感じる
 - ・ 車両停止後もモーター音が聞こえる
 - ・ ABS の作動時に、ブレーキペダルが小刻みに動く
 - ・ ABS の作動終了後、ブレーキペダルが少し奥に入る

■ EPS モーターの作動音

ハンドル操作を行ったとき、モーターの音（“ウィーン” という音）が聞こえることがありますが、異常ではありません。

■ TRC や VSC の自動復帰について

TRC や VSC を作動停止にしたあと、以下のときはシステム作動可能状態に戻ります。

- スマートエントリー&スタートシステム非装着車：エンジンスイッチを“LOCK”にしたとき
スマートエントリー&スタートシステム装着車：エンジンスイッチを OFF にしたとき
- (TRC のみを作動状態にしている場合) 車速が高くなったとき
但し、TRC と VSC の作動を停止している場合は、車速による自動復帰はありません。

■ TRC OFF の作動制限

TRC のみ作動を停止している場合は、車速が高くなると TRC は作動を再開します。

ただし、TRC と VSC の作動を停止している場合は、車速による作動再開はありません。

■EPS の効果が下がる時

停車中か極低速走行中に長時間ハンドルをまわし続けると、EPS システムのオーバーヒートを避けるため、EPS の効果が下がりハンドルが重く感じられるようになります。

その場合は、ハンドル操作を控えるか、停車し、エンジンを停止してください。10 分程度でもとの状態にもどります。

■緊急ブレーキシグナルの作動条件

次のときシステムが作動します。

- 非常点滅灯が点滅していないこと
- 車速 55km/h 以上
- ブレーキペダルが踏み込まれ、車両の減速度から急ブレーキだと判断された

■緊急ブレーキシグナルの自動解除

次のいずれかのときシステムが解除されます。

- 非常点滅灯を点滅させた
- ブレーキペダルを離れた
- 車両の減速度から急ブレーキではないと判断された

⚠ 警告

■ABS の効果を発揮できないとき

- タイヤのグリップ性能の限界をこえたとき(雪に覆われた路面を過剰に摩耗したタイヤで走行するときなど)
- 雨でぬれた路面やすべりやすい路面での高速走行時に、ハイドロプレーニング現象が発生したとき

■ABS が作動することで、制動距離が通常よりも長くなる可能性があるとき

ABS は制動距離を短くする装置ではありません。特に次の状況では、常に速度を控えめにして前車と安全な車間距離をとってください。

- 泥・砂利の道路や積雪路を走行しているとき
- タイヤチェーンを装着しているとき
- 道路のつなぎ目など、段差をこえたとき
- 凹凸のある路面や石だたみなどの悪路を走行しているとき

■TRC の効果を発揮できないとき

すべりやすい路面では、TRC が作動していても、車両の方向安定性や駆動力が得られないことがあります。車両の方向安定性や駆動力を失うような状況では、特に慎重に運転してください。

 警告**■ スリップ表示灯が点滅しているとき**

VSC が作動中であることを知らせています。常に安全運転を心がけてください。無謀な運転は思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。表示灯が点滅したら特に慎重に運転してください。

■ TRC や VSC を OFF にするとき

TRC や VSC は駆動力や車両の方向安定性を確保しようとするシステムです。そのため、必要なとき以外は TRC 機能、VSC 機能を作動停止状態にしないでください。TRC や VSC を作動停止状態にしたときは、路面状況に応じた速度で、特に慎重な運転を心がけてください。

■ タイヤを交換するとき

4 輪とも指定されたサイズで、同じメーカー・銘柄・トレッドパターン（溝模様）のタイヤを使用し、推奨された空気圧にしてください。（→ P. 361）
異なったタイヤを装着すると、ABS・TRC・VSC が正常に作動しません。
タイヤ、またはホイールを交換するときは、トヨタ販売店に相談してください。

■ タイヤとサスペンションの取り扱い

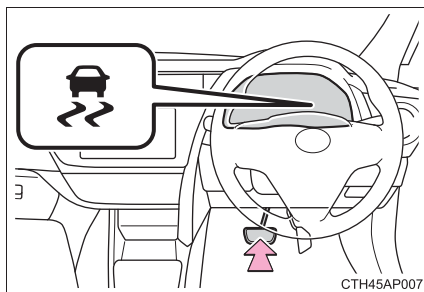
問題があるタイヤを使用したり、サスペンションを改造したりすると、運転を補助するシステムに悪影響をおよぼし、システムの故障につながるおそれがあります。

ヒルスタートアシストコントロール★

上り坂やすべりやすい丘面での発進時に、ブレーキペダルから足を離しても一時的に制動力を保持し、発進操作を補助します。

車両が完全に停止している状態で、さらにブレーキペダルを踏み込むとヒルスタートアシストコントロールは作動します。

“ピッ”とブザーが鳴り、スリップ表示灯が点滅します。



知識

■ヒルスタートアシストコントロールの作動条件

- 次の状態のときに、ヒルスタートアシストコントロールは作動します。
 - ・ シフトレバーが P 以外のとき
 - ・ パーキングブレーキがかかっていないとき
 - ・ アクセルペダルを踏んでいないとき
- スリップ表示灯が点灯しているときは、ヒルスタートアシストコントロールは作動しません。

■ヒルスタートアシストコントロールについて

- ヒルスタートアシストコントロールが作動しているときは、ブレーキペダルを踏んでいなくても制動灯とハイマウントストップランプが点灯します。
- ヒルスタートアシストコントロールの作動時間は、ブレーキペダルから足を離して約 2 秒間です。
- ブレーキペダルを踏み込んでもスリップ表示灯が点滅せず、ブザーが鳴らないときは、一度ブレーキペダルを踏む力を弱めてください（車両が後退しない程度）。そのあともう一度ブレーキペダルを踏み込んでください。それでも作動しないときは上記の作動条件を確認してください。

■ヒルスタートアシストコントロール制御ブザーについて

- ヒルスタートアシストコントロールが制御可能状態になると、“ピッ”とブザーが1回鳴ります。(シフトレバーがRの位置以外)
- ヒルスタートアシストコントロールが作動中に次の状態になると、制御終了状態になり“ピッピッ”とブザーが2回鳴ります。(シフトレバーがRの位置以外)
 - ・ブレーキペダルから足を離して、約2秒間運転操作を行わなかったとき
 - ・シフトレバーをPの位置にしたとき
 - ・パーキングブレーキをかけたとき
 - ・ブレーキペダルを再度踏み込んだとき
 - ・ブレーキペダルから足を離さずに約3分以上経過したとき

■スリップ表示灯が点灯したとき

システムに異常があるおそれがあります。トヨタ販売店に連絡してください。

警告

■ヒルスタートアシストコントロールについて

- ヒルスタートアシストコントロールを過信しないでください。急勾配の坂や、凍った路面ではヒルスタートアシストコントロールが効かないことがあります。
- ヒルスタートアシストコントロールはパーキングブレーキのように車を長時間駐停車するための機能ではありませんので、同機能を坂道での駐停車のために使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

寒冷時の運転

寒冷時に備えて、準備や点検など正しく処置していただいた上で適切に運転してください。

冬を迎える前の準備

- 次のものはそれぞれ外気温に適したものをお使いください。
 - ・ エンジンオイル
 - ・ 冷却水
 - ・ ウォッシャー液
- バッテリーの点検を受けてください。
- 冬用タイヤ（4 輪）やタイヤチェーン（前部タイヤ用）を使用してください。

タイヤは 4 輪とも指定サイズで同一銘柄のものを、タイヤチェーンはタイヤサイズに合ったものを使用してください。

（タイヤについて：→ P. 257）

運転する前に

状況に応じて次のことを行ってください。

- ドアやワイパーが凍結したときは無理に開けたり動かしたりせず、ぬるま湯をかけるなどして氷を溶かし、すぐに水分を十分にふき取ってください。
- フロントウインドウガラス前の外気取り入れ口に雪が積もっているときは、エアコンのファンを正常に作動させるために、雪を取り除いてください。
- 外装ランプ・車両の屋根・タイヤの周辺やブレーキ装置に雪や氷が付いているときは、取り除いてください。
- 乗車する前に靴底に付いた雪をよく落としてください。

運転するとき

ゆっくりスタートし、車間距離を十分にとって控えめな速度で走行してください。

駐車するとき

パーキングブレーキをかけると、ブレーキ装置が凍結して解除できなくなるおそれがあります。パーキングブレーキはかけずに、シフトレバーをPに入れて駐車し、輪止め※をしてください。

※ 輪止めは、トヨタ販売店で購入することができます。

知識

■ タイヤチェーンについて

- 17 インチタイヤにはタイヤチェーンを装着できません。
- 17 インチタイヤ以外のタイヤを装着している場合：取り付け・取りはずし・取り扱い方法については次の指示に従ってください。
 - ・ 安全に作業できる場所で行う
 - ・ 前2輪に取り付ける
 - ・ タイヤチェーンに付属の取扱説明書に従う
 - ・ 取り付け後 0.5 ～ 1.0 km 走行したら締め直しを行う

■ 寒冷地用ワイパーブレードについて

- 降雪期に使用する寒冷地用ワイパーブレードは、雪が付着するのを防ぐために金属部分をゴムで覆ってあります。トヨタ販売店で各車指定のブレードをお求めください。
- 高速走行時は、通常のワイパーブレードよりガラスがふき取りにくくなる場合があります。その場合には速度を落としてください。

 警告**■ 冬用タイヤ装着時の警告**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、車両のコントロールが不能となり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡事故につながるおそれがあります。

- 指定サイズのタイヤを使用する
- 空気圧を推奨値に調整する
- 装着する冬用タイヤの最高許容速度や制限速度をこえる速度で走行しない
- 冬用タイヤを装着する際は、必ず 4 輪とも装着する

■ タイヤチェーン装着時の警告

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、安全に車を運転することができずに、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 装着したチェーンに定められた制限速度、もしくは 30km/h のどちらか低い方をこえる速度で走行しない
- 路面の凹凸や穴を避ける
- 急加速・急ハンドル・急ブレーキやシフト操作による急激なエンジンブレーキの使用は避ける
- カーブの入り口手前で十分減速して、車のコントロールを失うのを防ぐ

■ 駐車時の警告

パーキングブレーキをかけずに駐車するときは、必ず輪止めをしてください。輪止めをしないと、車が動き思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 注意**■ タイヤチェーンの使用について**

トヨタ純正タイヤチェーンのご使用をおすすめします。

トヨタ純正品以外のタイヤチェーンの中には、使用すると車体にあたり、走行のさまたげとなるおそれがあるものもあります。

詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

■ フロントウインドウガラスに付いた氷を除去するとき

たたいて割らないでください。

ウインドウガラスの内側（車内側）が割れるおそれがあります。

室内装備・機能

5

5-1. エアコンとデフォグガーの
使い方

マニュアルエアコン.....	184
オートエアコン	189
リヤウインドウ デフォグガー&ミラー ヒーター（曇り取り）.....	196
フロントワイパー デアイサー	198

5-2. オーディオの使い方

オーディオの種類	199
ラジオの使い方	200
CD プレーヤーの使い方.....	202
MP3/WMA ディスクの 聞き方	207
快適に聞くために	213
ステアリングスイッチの 使い方	215

5-3. 室内灯のつけ方

室内灯一覧.....	217
・インテリアランプ	218
・バニティランプ	219
・パーソナルランプ	219

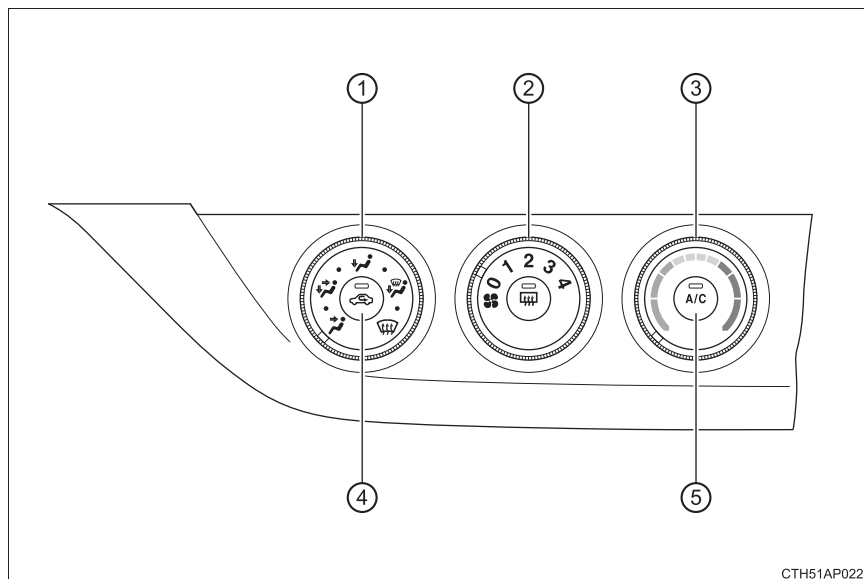
5-4. 収納装備

収納装備一覧.....	221
・グローブボックス	222
・コンソールボックス	223
・ボトルホルダー	224
・カップホルダー	225
・小物入れ.....	226
ラゲージルーム内装備.....	227

5-5. その他の室内装備の使い方

サンバイザー／ バニティミラー	233
時計	234
外気温度表示.....	235
アクセサリーソケット	237
リヤアームレスト.....	238
アシストグリップ	239
パノラマルーフシェード	240

マニュアルエアコン★



CTH51AP022

- ① 吹き出し口切りかえダイヤル ④ 外気導入・内気循環切りかえ
- ② 風量調節ダイヤル ⑤ 冷房・除湿機能 ON・OFF ボタン
- ③ 温度調節ダイヤル

エアコンの設定

- 1 風量を調節するには、風量調節ダイヤルを右（増）か左（減）へまわす
送風を止めるときはダイヤルを 0 の位置に合わせてください。
- 2 温度設定を変更するには温度調節ダイヤルを右（暖）か左（冷）へまわす



が押されていない場合は、送風または暖房で使用できます。

- 3 吹き出し口を切りかえるには、吹き出し口切りかえダイヤルをまわして吹き出し口を選ぶ

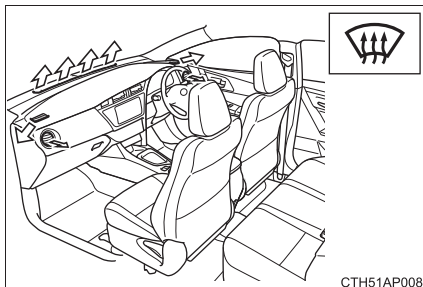
フロントウィンドウガラスの曇りを取るには

- 1 吹き出し口切りかえダイヤルを



の位置にする

自動的に外気導入に切りかわります。



CTH51AP008

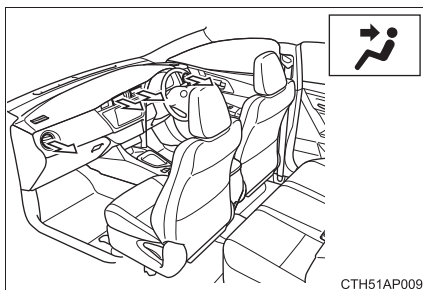
- 2 状況に応じて次の操作を行う

- 風量調節ダイヤルで風量を調節する
- 温度調節ダイヤルで温度を調節する
- 除湿機能が作動していないときは  を押して作動させる

風量を強くし、送風温度を上げると、より早く曇りを取ることができます。

吹き出し口と送風について

上半身に送風する

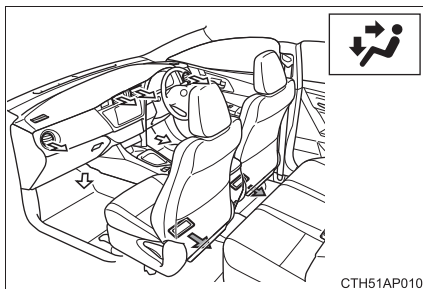


CTH51AP009

上半身と足元に送風する



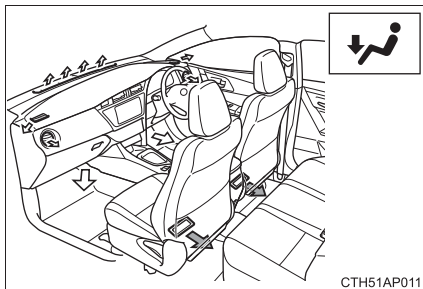
：仕様により設定の有無あり



CTH51AP010

足元に送風する

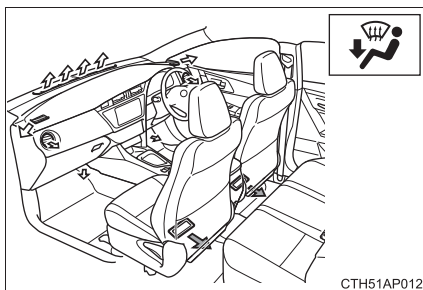
← : 仕様により設定の有無あり



CTH51AP011

足元に送風・ガラスの曇りを取る

← : 仕様により設定の有無あり



CTH51AP012

外気導入・内気循環を切りかえるには



を押す

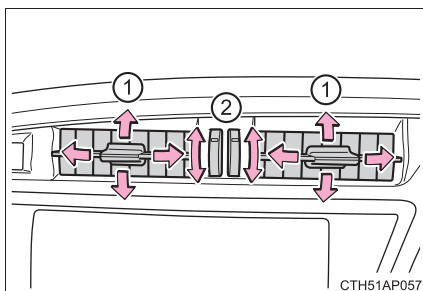
ボタンを押すたびに外気導入・内気循環に切りかわります。

内気循環を選択しているときは、の表示灯が点灯します。

風向きの調整と吹き出し口の開閉

■ 中央吹き出し口

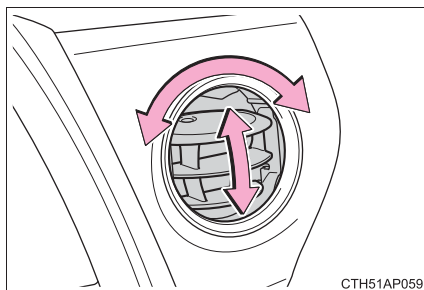
- ① 風向きの調整
- ② 吹き出し口の開閉



CTH51AP057

■ 左右吹き出し口

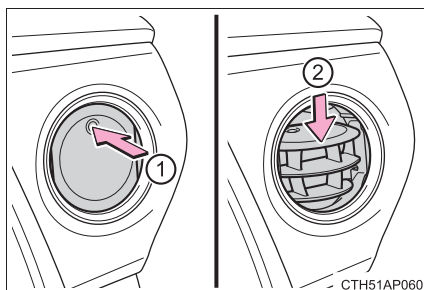
風向きの調整



CTH51AP059

吹き出し口の開閉

- ① 開ける
- ② 閉じる



CTH51AP060

□ 知識

■ ガラスの曇りについて

- 車室内の湿度が高いときはガラスが曇りやすくなります。その場合は、



を ON にすると、吹き出し口から除湿された風が出るため、効果的に曇りを取ることができます。



- を ON から OFF にすると、ガラスが曇りやすくなります。

- 内気循環を使うとガラスが曇る場合があります。

■ 外気導入・内気循環について

トンネルや渋滞などで、汚れた外気を車内に入れたくないときや、外気温度が高いときに冷房効果を高めたい場合は、内気循環にすると効果的です。

■ 外気温度がひくいとき



を押しても除湿効果が働かない場合があります。

■エアコンの臭いについて

- エアコン使用中に、車室内外のさまざまな臭いがエアコン装置内に取り込まれて混ざり合うことにより、吹き出し口からの風に臭いがすることがあります。
- エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、駐車時は外気導入にしておくことをおすすめします。

■エアコンフィルターについて

→ P. 284



警告

■フロントウインドウガラスの曇りを防止するために

外気の湿度が高いときにエアコンを低い設定温度で作動させているときは、吹き出し口切りかえダイヤルを  の位置に合わせないでください。外気とガラスの温度差でガラスの外側が曇り、視界をさまたげる場合があります。



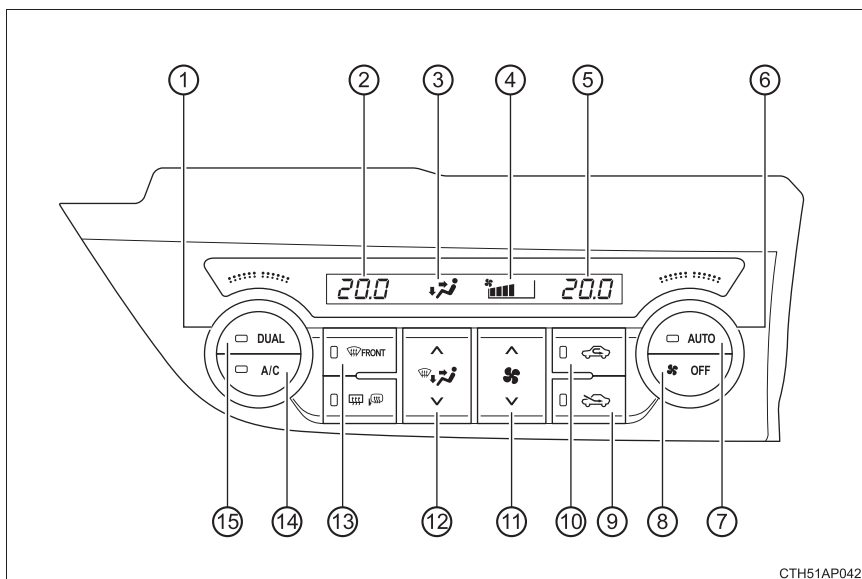
注意

■バッテリーあがりを防ぐために

エンジン停止中は、必要以上にエアコンを使用しないでください。

オートエアコン★

設定温度に合わせて吹き出し口と風量を自動で調整します。



CTH51AP042

- | | |
|-------------|----------------------|
| ① 助手席設定温度調整 | ⑨ 外気導入切りかえ |
| ② 助手席設定温度表示 | ⑩ 内気循環切りかえ |
| ③ 吹き出し口表示 | ⑪ 風量調整 |
| ④ 風量表示 | ⑫ 吹き出し口切りかえ |
| ⑤ 運転席設定温度表示 | ⑬ フロントウィンドウガラス曇り取り |
| ⑥ 運転席設定温度調整 | ⑭ 冷房・除湿機能 ON・OFF ボタン |
| ⑦ オート設定 | ⑮ 独立／連動モード切りかえ |
| ⑧ 送風停止 | |

オートエアコンを使うには

■ 連動モード

運転席と助手席の設定温度を同じにします。( インジケーターは点灯しません。)

- 1  を押す

吹き出し口と風量が自動で調整されます。

- 2 設定温度を上げるときは  を右へ、下げるときは左へまわす

- 3  を押す

ボタンを押すたびに冷房・除湿機能の ON・OFF が切りかわります。

■ 独立モード

運転席と助手席の設定温度を独立してかえることができます。

- 1  を押す

 インジケーターが点灯します。

- 2  を押す

吹き出し口と風量が自動で調整されます。

- 3 設定温度を上げるときは  または  を右へ、下げるときは左へまわす

再び  を押すと、連動モードになり、 インジケーターが消灯します。

- 4  を押す

ボタンを押すたびに冷房・除湿機能の ON・OFF が切りかわります。

お好みの設定で使うとき

- 1 風量をかえるには、 の“Λ”（増）か“V”（減）を押す

送風を止めるときは  を押す

- 2 設定温度をかえるには、温度を上げるときは  または  を右へ、下げるときは左へまわす

連動モード使用時、 をまわす、または  を押すと独立モードに切りかわります。

- 3 吹き出し口を切りかえるには、 の“Λ”側か“V”側を押す

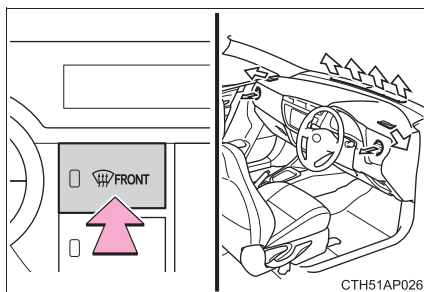
押すたびに吹き出し口が切りかわります。

フロントウィンドウガラスの曇りを取るには

 を押す

除湿機能が作動し、風量が増えます。
内気循環にしている場合は、外気導入にしてください。（自動的に切りかわる場合もあります）

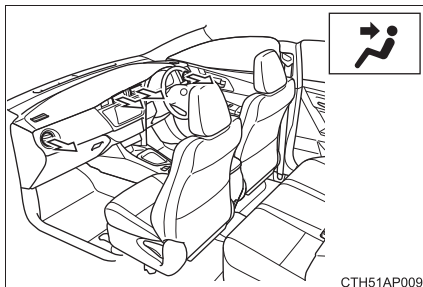
風量を強くし、設定温度を上げると、より早く曇りを取ることができます。



CTH51AP026

吹き出し口と送風について

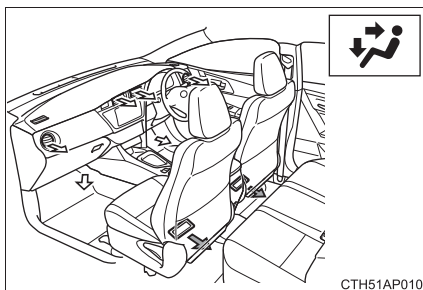
上半身に送風



CTH51AP009

上半身と足元に送風

← : 仕様により設定の有無あり

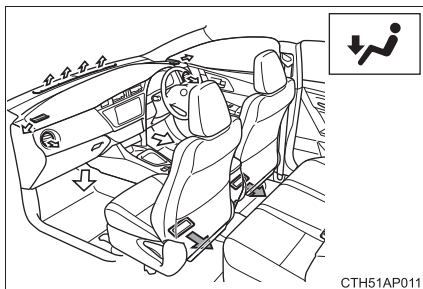


CTH51AP010

足元に送風

暖房時は足元だけでなく、上半身の暖房効果を高めるため、上半身へも送風されます。

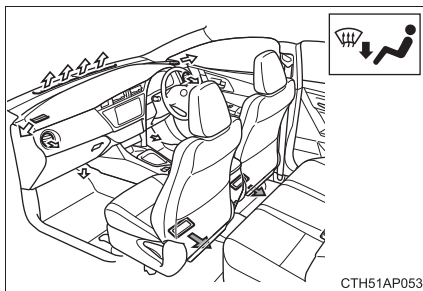
← : 仕様により設定の有無あり



CTH51AP011

足元に送風・ガラスの曇りを取る

← : 仕様により設定の有無あり



CTH51AP053

外気導入・内気循環を切りかえるには

内気循環に切りかえるには、 を押す

外気導入に切りかえるには、 を押す

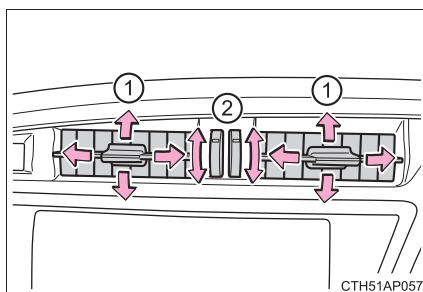
内気循環を選択しているときは 、外気導入を選択しているときは

 の表示灯が点灯します。

風向きの調整と吹き出し口の開閉

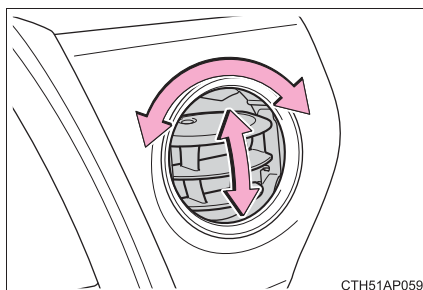
▶ 中央吹き出し口

- ① 風向きの調整
- ② 吹き出し口の開閉



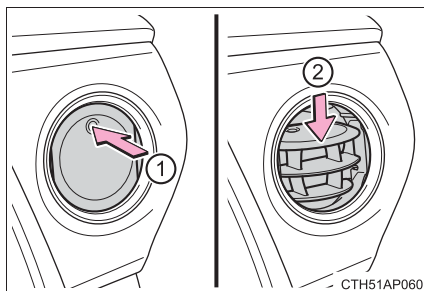
▶ 左右吹き出し口

風向きの調整



吹き出し口の開閉

- ① 開ける
- ② 閉じる


 知識

■オート設定の作動について

風量は温度設定と外気の状態により自動で調整されるため、 を押した直後、温風や冷風の準備ができるまでしばらく送風が停止する場合があります。

■ガラスの曇りについて

- 車室内の湿度が高いときはガラスが曇りやすくなります。その場合は、 を ON にすると、吹き出し口から除湿された風が出るため、効果的に曇りを取ることができます。
-  を ON から OFF にすると、ガラスが曇りやすくなります。
- 内気循環を使うとガラスが曇る場合があります。

■外気導入・内気循環について

- トンネルや渋滞などで、汚れた外気を車内に入れたくないときや、外気温度が高いときに冷房効果を高めたい場合は、内気循環にすると効果的です。
- 設定温度や室内温度などにより、自動的に切りかわる場合があります。

■外気温度がひくいとき

 を押しても除湿機能が働かない場合があります。

■エアコンの臭いについて

- エアコン使用中に、車室内外のさまざまな臭いがエアコン装置内に取り込まれて混ざり合うことにより、吹き出し口からの風に臭いがすることがあります。
- エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、駐車時は外気導入にしておくことをおすすめします。
- エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、オート設定での使用時にはエアコン始動直後、しばらく送風が停止する場合があります。

■ Stop & Start システム★によるエンジン停止中のエアコンについて

Stop & Start システムによるエンジン停止中、エアコン（冷房・暖房・除湿機能）がオフし、送風になり、さらに無風になる場合があります。エアコンがオフにならないようにするには、Stop & Start キャンセルスイッチを押し、Stop & Start システムを非作動にしてください。

■ Stop & Start システム★によるエンジン停止中、ウインドウガラスが曇ったとき

Stop & Start キャンセルスイッチを押し、エンジンを再始動してください。そ

して  を ON にして曇りを取ってください。尚、 を押せばエンジンが再始動し、曇りを取ることができます。

断続的にウインドウガラスが曇るときは、Stop & Start システムキャンセルスイッチを押し、Stop & Start システムを非作動にしてください。

■ Stop & Start システム★によるエンジン停止中、臭いが発生したとき

Stop & Start キャンセルスイッチを押し、エンジンを再始動してください。

■ エアコンフィルターについて

→P. 284

⚠ 警告

■ フロントウインドウガラスの曇りを防止するために

外気の湿度が非常に高いときにエアコンを低い設定温度で作動させているときは、 を押さないでください。外気とガラスの温度差でガラスの外側が曇り、視界をさまたげる場合があります。

⚠ 注意

■ バッテリーあがりを防ぐために

エンジン停止中は、エアコンを必要以上に使用しないでください。

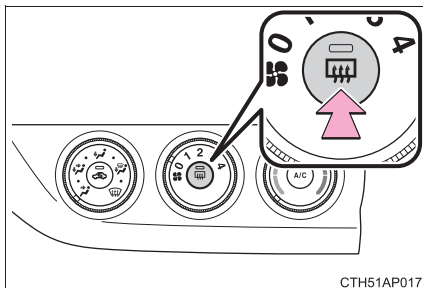
リヤウインドウデフォッガー&ミラーヒーター（曇り取り）

リヤウインドウの曇りを取るときや、ドアミラーから雨滴や霜を取るときに使用ください。

▶ マニュアルエアコン装着車

オン／オフ

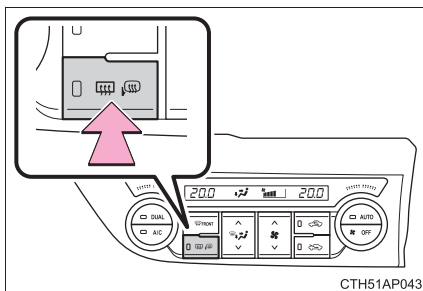
リヤウインドウデフォッガーは、約 15 分で自動的にオフになります。



▶ オートエアコン装着車

オン／オフ

リヤウインドウデフォッガーは、約 15 分で自動的に OFF になります。ただし、外気温や車速など、条件により最大 60 分間作動することがあります。



知識

■ 作動条件

▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

エンジンスイッチが“ON” のとき

▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車

“エンジンスタートストップ”スイッチがイグニッション ON モードのとき

■ ミラーヒーターについて

リヤウインドウデフォッガーをオンにするとミラーヒーターも同時に作動します。

 警告**■ミラーヒーター作動中の警告**

ドアミラー表面が熱くなります。やけどをするおそれがあるのでふれないでください。

 注意**■バッテリーあがりを防ぐために**

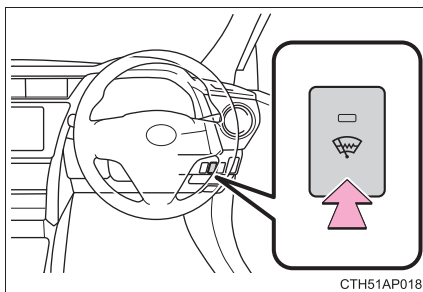
連続して長時間使用すると、バッテリーあがりの原因となります。

フロントワイパーデアイサー★

フロントウィンドウガラスとワイパーブレードの凍結を防ぐためにお使いください

オン／オフ

フロントワイパーデアイサーは約 15 分で自動的にオフになります。



知識

■ 作動条件

▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

エンジンスイッチが“ON” のとき

▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車

“エンジンスタートストップ” スイッチがイグニッション ON モードのとき

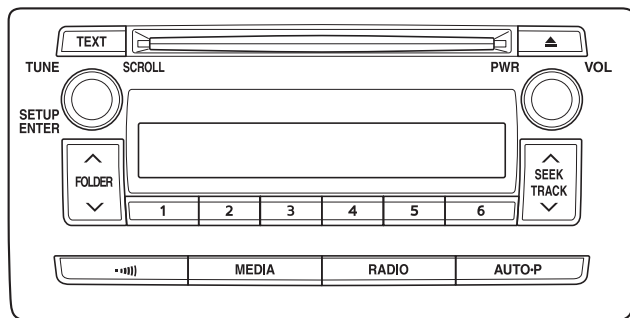
警告

■ 作動中の警告

フロントウィンドウガラス下部および運転席側フロントピラー横の表面が熱くなっており、やけどをするおそれがあるのでふれないでください。

オーディオの種類★

CD プレーヤー、AM/FM ラジオ



CTH52AP028

タイトル	参照ページ
ラジオの使い方	P. 200
CD プレーヤーの使い方	P. 202
MP3 / WMA ディスクの聞き方	P. 207
快適に聞かために	P. 213
ステアリングスイッチの使い方	P. 215

知識

■携帯電話の使用

オーディオを聞いているときに、車内または車の近くで携帯電話を使用した場合、オーディオのスピーカーから雑音が聞こえることがあります。

⚠ 注意

■バッテリーあがりを防止するために

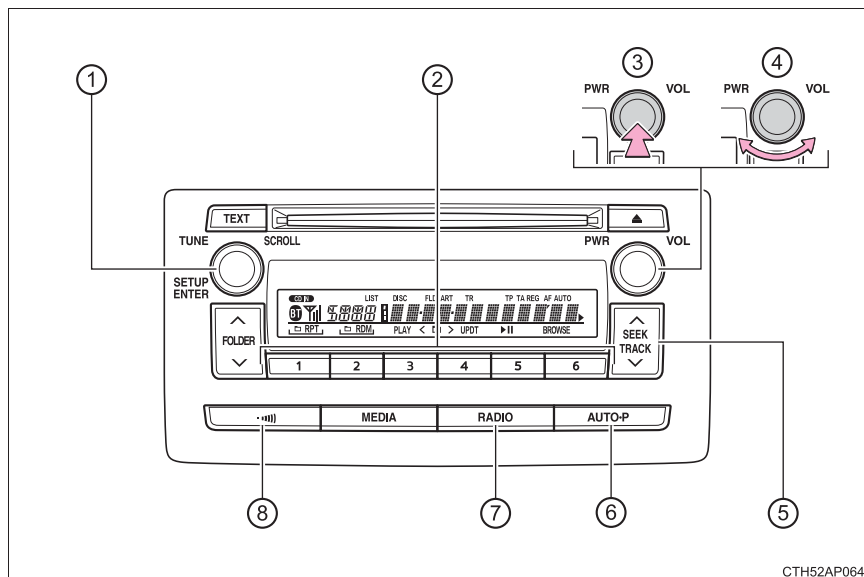
エンジン停止中にオーディオを長時間使用しないでください。

■オーディオの取り扱いについて

オーディオに飲み物などをこぼさないように注意してください。

★：仕様により異なる装備やオプション装備

ラジオの使い方



CTH52AP064

- | | |
|------------|-----------------|
| ① 周波数の調整 | ⑤ 周波数の探索 |
| ② 選局 | ⑥ 放送局の自動設定 |
| ③ 電源のオン／オフ | ⑦ AM / FM の切りかえ |
| ④ 音量の調整 | ⑧ 交通情報 |

放送局を記憶させる

■ 手動設定

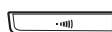
- 1 をまわして、または の“^”（高い周波数）または“V”（低い周波数）を押して、お好みの放送局を探す
- 2 記憶させたいスイッチ ～ を“ピッ”と音が鳴るまで押す

■ 自動設定

を“ピッ”と音が鳴るまで押す

受信感度の良い順に 6 局まで記憶されます。記憶が終了すると“ピッピッ”と音が鳴ります。

交通情報を受信する



を押す

もう一度押すと解除されます。



知識

■ について

- 新車時は、1620kHz にセットしてあります。
- AM ラジオモードのとき を “ピッ” と音が鳴るまで押し続けると、その周波数を に記憶させることができます。ただし、バッテリーとの接続が断たれたときは、1620kHz にもどります。

- を 押して、ラジオを受信しているときは、



～ ・ を操作しても、周波数は切りかわりません。

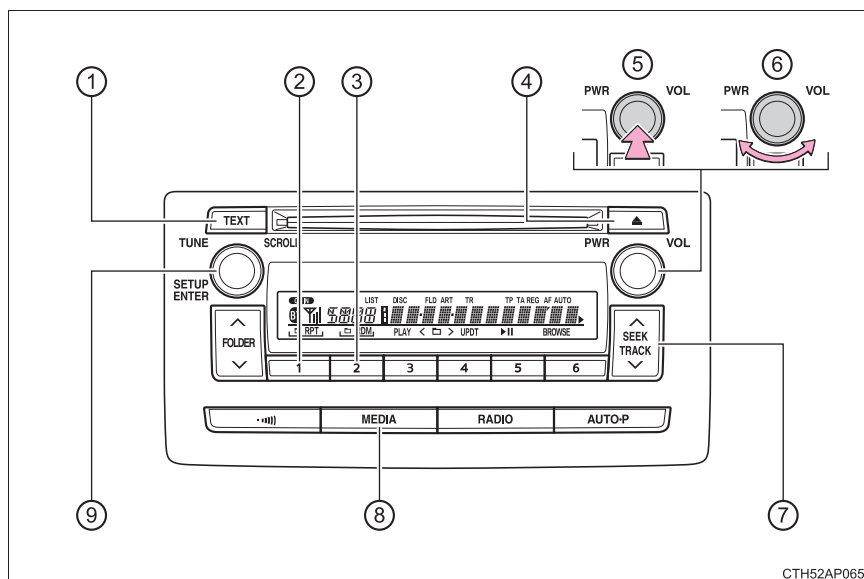
■ バッテリーとの接続が断たれたときは

自動設定で記憶されていた放送局は消去されます。

■ 受信感度について

- アンテナの位置がそのときどきでかわるため、電波の強さがかわったり、障害物や電車、信号機などの影響により良好な受信状態を保つことが難しい場合があります。
- を使っているとき、自動選局や自動記憶ができないことがあります。
- ラジオ用アンテナはルーフ後方にあります。(→P. 244)

CD プレーヤーの使い方



- | | |
|------------|---------------|
| ① 表示の切りかえ | ⑤ 電源のオン／オフ |
| ② リPEAT再生 | ⑥ 音量の調整 |
| ③ ランダム再生 | ⑦ 選曲／早もどし／早送り |
| ④ CD の取り出し | ⑧ 再生 |
| | ⑨ 選曲 |

CD を挿入する

CD を 1 枚、挿入する

CD を取り出す

 を押して CD を取り出す

曲を選ぶ



をまわして、または  の “^”（次曲）または “v”（前曲）を押して聞きたい曲の番号を表示させる

早もどし、早送りする

早もどし、早送りするには、 の “^” または “v” を押し続ける

リピート（RPT）再生する

 （RPT）を押す

もう一度押すまで同じ曲が再生されます。

ランダム（RDM）再生する

 （RDM）を押す

もう一度押すまで無作為な順序で曲が再生されます。

表示を切りかえる

 を押す

押すごとに、次のように表示が切りかわります。

曲番および経過時間 → CD タイトル → 曲名 → アーティスト名

 知識

■ 表示について

ディスプレイに一度に表示できるのは 12 文字までです。
CD タイトル、または曲名が 13 文字以上の場合は、 を 1 秒以上押し続けることにより、13 文字目以降を表示できます。
表示できるのは最大で 24 文字です。

 をもう一度長押しする、または約 6 秒以上操作をしないまま放置すると、元の 12 文字目までの表示にもどります。
記録されている内容によっては、正しく表示されなかったり、表示自体されないことがあります。

■ エラー表示

表示	エラーの内容
"CD CHECK"	ディスクが汚れている、裏表逆などで読み取りができない
"ERROR3" "ERROR4"	プレーヤー内部に異常がある
"WAIT"	プレーヤーの温度異常を検出すると、表示部に次の表示が出て自動的にプレーヤーの機能が停止します。この場合、しばらくしてプレーヤーの温度が常温に復帰すると表示が消えて使用可能になります。

■ 再生可能な CD

以下のマークのついたディスクが再生できます。
記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、劣化により再生できないことがあります。



コピープロテクト機能付 CD などとは使用できません。

■ CD プレーヤー保護機能

プレーヤー内部を保護するため、使用中に異常が生じたときは自動的に再生を停止します。

■ CDをプレーヤー内部に、またはプレーヤーから飛び出した状態のままで長時間放置すると

CD が傷つき使用できなくなるおそれがあります。

■ レンズクリーナー

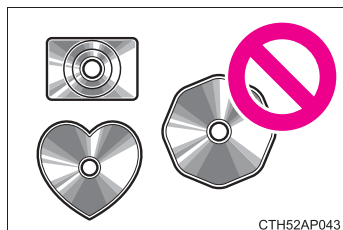
レンズクリーナーを使用しないでください。使用すると、プレーヤーが故障するおそれがあります。

⚠ 注意

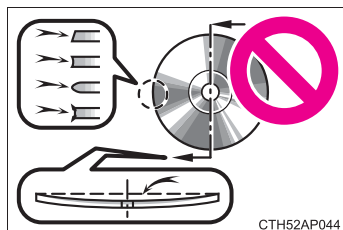
■ 使用できない CD、アダプター

以下のようなCD、8cm CD アダプター、Dual Discを使用しないでください。使用すると、プレーヤーが故障したり、CD の出し入れができなくなるおそれがあります。

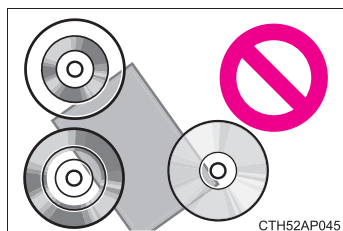
- 直径 12cm の円形以外の CD



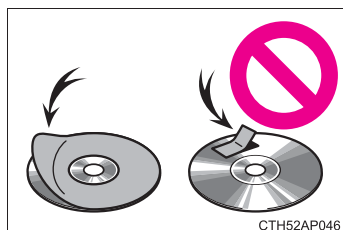
- 低品質または変形している CD



- 記録部分が透明または半透明の CD



- セロハンテープ、シール、CD-R 用ラベルなどを貼った CD や、はがしたあとのある CD

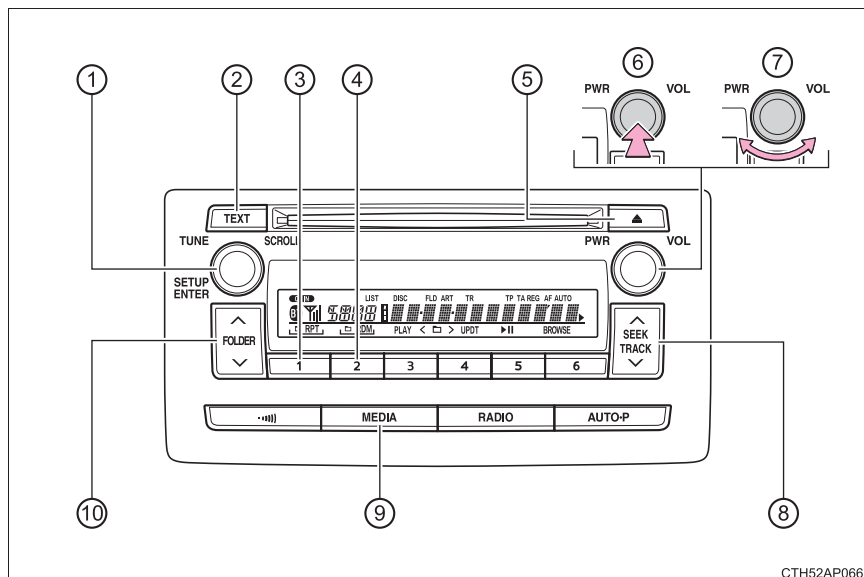


 注意**■ CD プレーヤーの取り扱いについて**

以下のことをお守りいただかないと、CD が聞けなくなったり、CD プレーヤーが正常に働かなくなるおそれがあります。

- CD 挿入口に CD 以外のものをいれない
- CD プレーヤーにオイルを塗ったりしない
- CD は直射日光を避けて保管する
- CD プレーヤーを分解しない

MP3/WMA ディスクの聞き方



CTH52AP066

- | | |
|------------|--------------------|
| ① ファイルの選択 | ⑥ 電源のオン／オフ |
| ② 表示の切りかえ | ⑦ 音量の調整 |
| ③ リピート再生 | ⑧ ファイルの選択／早もどし／早送り |
| ④ ランダム再生 | ⑨ 再生 |
| ⑤ CD の取り出し | ⑩ フォルダの選択 |

MP3/WMA ディスクを挿入する、または取り出す

→P. 202

早もどし、早送りする

→P. 203

フォルダを選ぶ・最初のフォルダにもどる



の“Λ”（次フォルダ）または“V”（前フォルダ）を押して聞きたいフォルダを選ぶ

最初のフォルダにもどるには、“V”を“ピッ”と音が鳴るまで押します。

ファイルを選択する



をまわして、または  の“Λ”（次ファイル）または“V”（前ファイル）を押して、聞きたいファイルを探す

リピート（RPT）再生する



（RPT）を押すごとに、次のようにモードが切りかわります。

ファイルリピート → フォルダリピート※ → 解除



※ ランダム（RDM）再生時以外

ランダム（RDM）再生する



（RDM）を押すごとに、次のようにモードが切りかわります。

フォルダランダム → ディスクランダム → 解除



表示を切りかえる



を押す

押すごとに、次のように表示が切りかわります。

フォルダ番号・ファイル番号・経過時間 → フォルダタイトル → ファイル名
→ ディスクタイトル（MP3のみ）→ 曲名 → アーティスト名

知識

■ 表示について

ディスプレイに一度に表示できるのは 12 文字までです。

CD タイトル、または曲名が 13 文字以上の場合、 を 1 秒以上押し続けることにより、13 文字目以降を表示できます。

表示できるのは最大で 24 文字です。

 をもう一度長押しする、または約 6 秒以上操作をしないまま放置すると、元の 12 文字目までの表示にもどります。

記録されている内容によっては、正しく表示されなかったり、表示自体されないことがあります。

■ ランダム再生、リピート再生の解除

 (RPT) または  (RDM) を押す、または  の “V” を長押しします。

■ エラー表示

表示	エラーの内容
“CD CHECK”	ディスクが汚れている、裏表逆などで読み取りができない
“ERROR3” “ERROR4”	プレーヤー内部に異常がある
“WAIT”	プレーヤーの温度異常を検出すると、表示部に次の表示が出て自動的にプレーヤーの機能が停止します。この場合、しばらくしてプレーヤーの温度が常温に復帰すると表示が消えて使用可能になります。
“NO SUPPORT”	ディスク内に MP3/WMA ファイルが収録されていないときに表示されます。

■ 再生可能な CD

以下のマークのついたディスクが再生できます。

記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、劣化により再生できないことがあります。



■CD プレーヤー保護機能

プレーヤー内部を保護するため、使用中に異常が生じたときは自動的に再生を停止します。

■CDをプレーヤー内部に、またはプレーヤーから飛び出した状態のまま長時間放置すると

CD が傷つき使用できなくなるおそれがあります。

■レンズクリーナー

レンズクリーナーを使用しないでください。使用すると、プレーヤーが故障するおそれがあります。

■MP3/WMA ファイルについて

MP3 (MPEG Audio LAYER3) は、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

MP3 を使用すれば、元のファイルを約 1/10 のサイズに圧縮することができます。

WMA (Windows Media Audio) は、Microsoft Corporation の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも小さいサイズに圧縮することができます。

使用できる MP3/WMA ファイルの規格やそれを記憶したメディア、フォーマットには制限があります。

●再生可能な MP3 ファイルの規格について

- ・ 対応規格
MP3 (MPEG1 LAYER3、MPEG2 LSF LAYER3)
- ・ 対応サンプリング周波数
MPEG1 LAYER3 : 32、44.1、48 (kHz)
MPEG2 LSF LAYER3 : 16、22.05、24 (kHz)
- ・ 対応ビットレート
MPEG1 LAYER3 : 64、80、96、112、128、160、192、224、256、320 (kbps)
MPEG2 LSF LAYER3 : 64、80、96、112、128、144、160 (kbps)
※ VBR に対応しています。
- ・ 対応チャンネルモード : ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

●再生可能な WMA ファイルの規格について

- ・ 対応規格
WMA Ver.7、8、9
- ・ 対応サンプリング周波数
32、44.1、48 (kHz)
- ・ 対応ビットレート
Ver.7、8 : CBR48、64、80、96、128、160、192 (kbps)
Ver.9 : CBR48、64、80、96、128、160、192、256、320 (kbps)
※ 2ch 再生のみ対応しています。

●使用できるメディアについて

MP3/WMA ファイルの再生に使用できるメディアは CD-R および CD-RW です。

CD-R、CD-RW の状態によっては再生できないことがあります。また、ディスクに傷や指紋をつけた場合、再生できないことや、音飛びすることがあります。

●使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは下記の通りです。

- ・ ディスクフォーマット : CD- ROM Mode1 および Mode2、CD- ROM XA、Mode2 Form1 および Form2

- ・ ファイルフォーマット : ISO9660 レベル 1、レベル 2 (Romeo, Joliet)

上記フォーマット以外で書き込まれた MP3/WMA ファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されないことがあります。

規格ならびに制限事項は次の通りです。

- ・ 最大ディレクトリ階層 : 8 階層
- ・ 最大フォルダ名／ファイル名文字数 : 半角 32 文字 (全角文字で記録された情報をこのオーディオで表示することはできません)
- ・ 最大フォルダ数 : 192 (ルート含む)
- ・ ディスク内最大ファイル数 : 255

●ファイル名について

MP3/WMA と認識し再生するファイルは、MP3/WMA の拡張子 “.mp3” または “.wma” がついたものだけです。

●マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3/WMA ファイルを追加したディスクの再生が可能です。ただし、ファーストセッションのみ再生します。

● ID3 タグ /WMA タグについて

MP3 ファイルには、ID3 タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを記録することができます。

ID3 Ver.1.0、1.1、ID3 Ver.2.2、2.3 のタグに対応しています。（文字数は ID3 Ver.1.0、1.1 に準拠します。）

WMA ファイルには、WMA タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3 タグと同様に曲のタイトル、アーティスト名を記録することができます。

● MP3/WMA の再生について

MP3/WMA ファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初の MP3/WMA ファイルを再生します。

ディスク内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMA ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

音楽データと MP3、または WMA 形式のデータが混在しているディスクは、音楽データのみ再生できます。

● 拡張子について

MP3/WMA 以外のファイルに “.mp3” または “.wma” の拡張子がついていると、MP3/WMA ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損することがあります。

● 再生について

- ・ 安定した音質で再生するために、MP3 の場合、128kbps の固定ビットレート、44.1 kHz のサンプリング周波数を推奨します。
- ・ CD-R、CD-RW はディスクの特性により再生できないことがあります。
- ・ MP3/WMA は市場にフリーウェアなど多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質が劣化したり再生開始時にノイズが発生したりするおそれがあります。また、再生できないことがあります。
- ・ ディスクに MP3/WMA 以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できないことがあります。Microsoft、Windows、Windows Media は米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標および商標です。

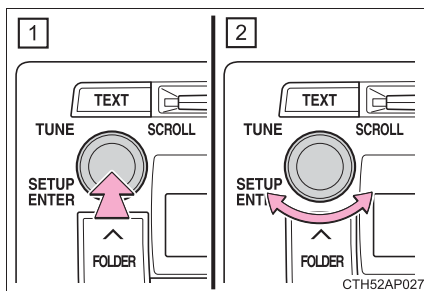
 注意

■ 使用できない CD、アダプター (→P. 205)

■ CD プレーヤーの取り扱いについて (→P. 206)

快適に聞くために

- 1 ダイアルを押してモードを表示させる
- 2 ダイアルをまわして音質と音量バランスを変更する
最適な音質と音量バランスで聞くために設定を変更することができます。



設定を変更するには

■ 音質モードの切りかえ



を押すごとに次のように切りかわります。

FAD → BAS → TRE → BAL → ASL



■ 音質の調整



をまわして、音質のレベルを調整します。

調整モード	表示	レベル	左にまわす	右にまわす
低音※ ¹	BAS	-5 ~ 5	弱	強
高音※ ¹	TRE	-5 ~ 5		
前後音量 バランス	FAD	R7 ~ F7	後側大	前側大
左右音量 バランス	BAL	L7 ~ R7	左側大	右側大
音量補正	ASL	OFF	右へまわす	
		LOW		
		MID	OFF ← LOW → MID → HIGH	
		HIGH		
			左へまわす	

※¹ 音質レベルは、ラジオまたはCD プレーヤーそれぞれで調整できます。

 知識

■ ASL ※²（音量補正）について

車速に応じて音量・周波数特性を自動的に制御し、いつも最適な音量・音質を実現するシステムです。

HIGH・MID・LOWの順に補正量が小さくなります。

※² ASLはAutomatic Sound Levelizerの略です。

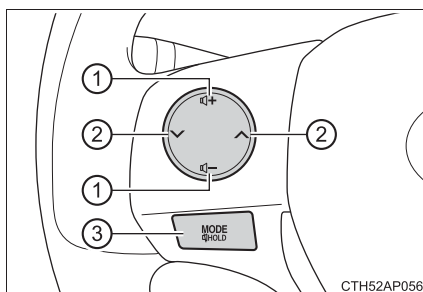
ステアリングスイッチの使い方

ハンドル左側にあるスイッチで、オーディオを操作することができます。

モードの切り替えや、CD、ラジオなどの操作については、装着されたオーディオ・ナビゲーションシステムにより異なる場合や、操作できない場合があります。

- 販売店オプションのナビゲーションシステムや、オーディオの操作方は、各取扱書をご覧ください。

- ① 音量を調節する
- ② ラジオ：選局する
CD：曲／ファイル、フォルダを選ぶ
- ③ 電源を入れる、モードを切りかえる



電源を入れる

 を押す

モードを切りかえる

 を押す（オーディオの電源がオンのとき）

押すごとに次のように切りかわります。

AM→FM→CD

CD が挿入されていないときは、CD を選択できません。

音量を調整する

 を＋側、または一側に押す

スイッチを押し続けると、音量を連続して調整できます。

消音するには

 を“ピッ”と音が鳴るまで押す

解除するには、もう一度“ピッ”と音が鳴るまで押します。

放送局を選択するには

1  を押して AM または FM を選択する

2 (↵) を“Λ”側、または“V”側に押す

スイッチを押すごとに、記憶させている周波数を選択します。

“ピッ”と音がするまで押し続けると、自動で受信可能な周波数を選択します。

CD の操作

1  を押して CD を選択する

2 (↵) を“Λ”側、または“V”側に押して、希望の曲を選択する

MP3 / WMA の操作

■ ファイルを選択するには

1  を押して CD (MP3 / WMA) を選択する

2 (↵) を“Λ”側、または“V”側に押して、希望の曲を選択する

■ フォルダを選択するには

1  を押して CD (MP3 / WMA) を選択する

2 (↵) を“Λ”側、または“V”側に“ピッ”と音がするまで押して、希望のフォルダを選択する

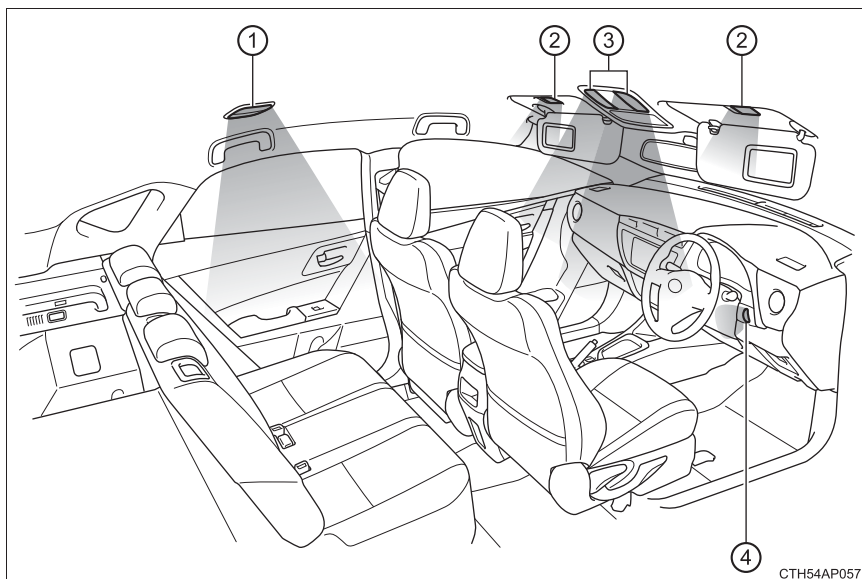


警告

■ 事故を防ぐために

運転中にステアリングスイッチを操作するときは、十分注意してください。

室内灯一覧



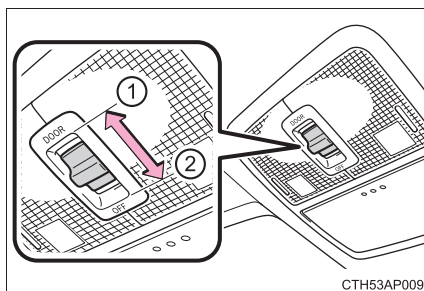
- ① インテリア/リヤパーソナルランプ (→ P. 218, 219)
- ② バニティランプ (→ P. 219)
- ③ インテリア/フロントパーソナルランプ (→ P. 218, 219)
- ④ エンジンスイッチ照明 (スマートエントリー&スタートシステム装着車)

インテリアランプ

■ フロント

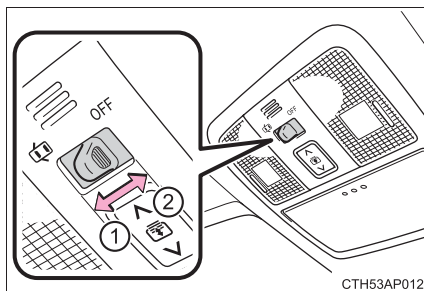
▶ A タイプ

- ① ドアポジション（ドア連動）
- ② ランプを消灯する



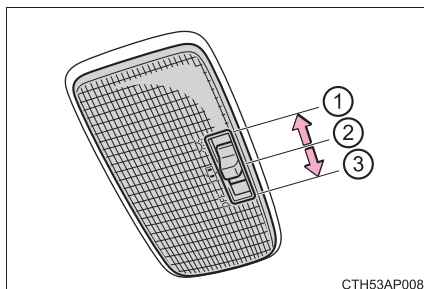
▶ B タイプ

- ① ドアポジション（ドア連動）
- ② ランプを消灯する



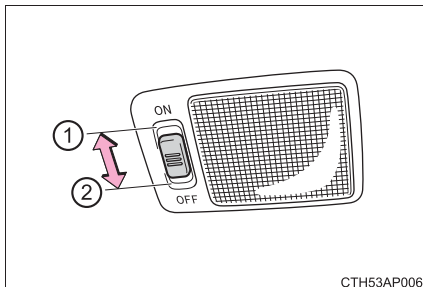
■ リヤ★

- ① ランプを点灯する
- ② ドアポジション（ドア連動）
- ③ ランプを消灯する



バニティランプ★

- ① ON (点灯)
- ② OFF



CTH53AP006

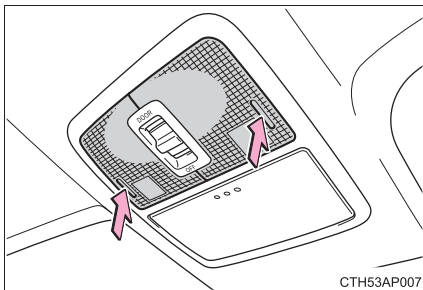
パーソナルランプ

■ フロント

▶ A タイプ

ランプを点灯・消灯する

ドア連動スイッチによって点灯しているときは、レンズを押しても消灯しません。

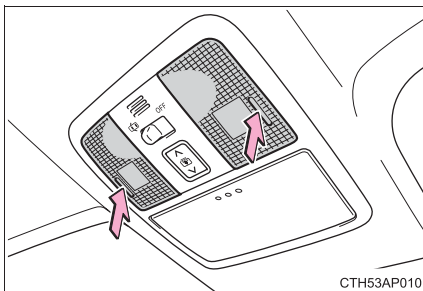


CTH53AP007

▶ B タイプ

ランプを点灯・消灯する

ドア連動スイッチによって点灯しているときは、レンズを押しても消灯しません。

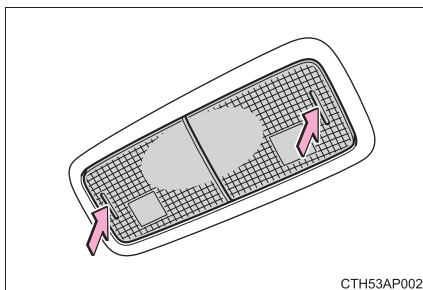


CTH53AP010

■ リヤ★

ランプを点灯・消灯する

フロントインテリアランプドア連動スイッチによって点灯しているときは、レンズを押しても消灯しません。



CTH53AP002

□ 知識

■ イルミネーテッドエントリーシステム

▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

インテリアランプスイッチのドアポジションが ON のとき、ドアの施錠・解錠／開閉、エンジンスイッチの位置により、インテリアランプが自動的に点灯、消灯します。

▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車

インテリアランプスイッチのドアポジションが ON のとき、電子キーの検知、ドアの施錠・解錠／開閉、エンジンスイッチのモードにより、インテリアランプとエンジンスイッチ照明が自動的に点灯、消灯します。

■ バッテリーあがりを防ぐために

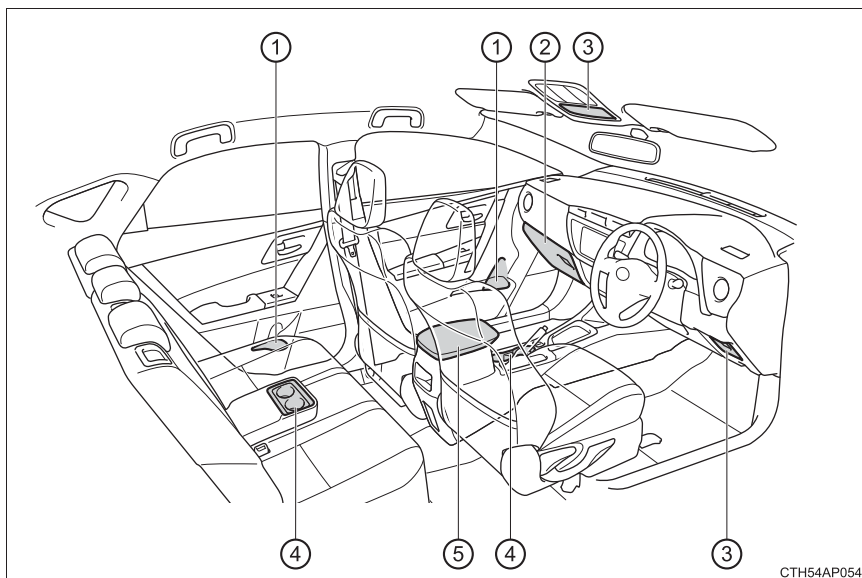
以下のランプが点灯したままの場合、約 20 分後に自動消灯します。

- パーソナル／インテリアランプ
- ラゲージルームランプ
- バニティランプ

■ 販売店で設定可能な機能

室内灯の消灯までの時間などの設定を変更できます。
(カスタマイズ一覧：→P. 363)

収納装備一覧



- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ① ボトルホルダー (→ P. 224) | ④ カップホルダー (→ P. 225) |
| ② グローブボックス (→ P. 222) | ⑤ コンソールボックス (→ P. 223) |
| ③ 小物入れ (→ P. 226) | |

警告**■ 収納装備に放置してはいけないもの**

メガネ・ライターやスプレー缶を収納装備内に放置したままにしないでください。

放置したまましていると、次のようなことが起こるおそれがあり危険です。

- 室温が高くなったときの熱や、他の収納物との接触などにより、メガネが変形やひび割れを起こす
- 室温が高くなったときにライターやスプレー缶が爆発したり、他の収納物との接触でライターが着火したりスプレー缶のガスがもれるなどして火災につながる

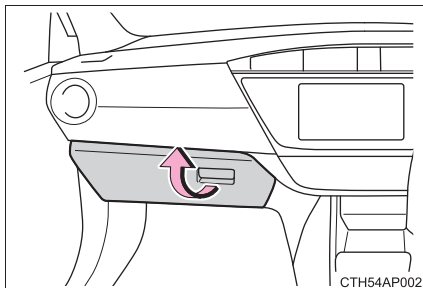
■ 収納装備を使わないときや走行中の留意事項

フタを必ず閉じてください。

急ブレーキ時などに、開いたフタに体があたったり、収納していたものが飛び出したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

グローブボックス

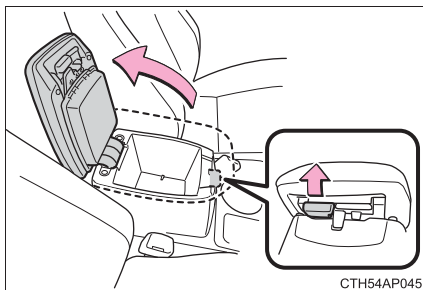
レバーを引き上げる



コンソールボックス

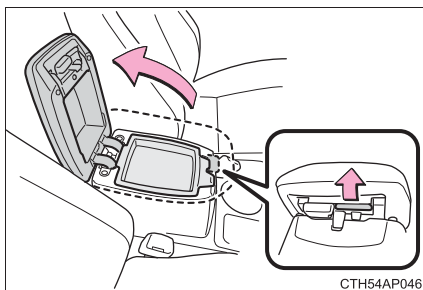
▶ コンソールボックス

右側のレバーを引いてフタを持ち上げる



▶ 上段ボックス

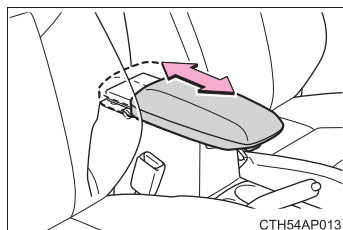
左側のレバーを引いてフタを持ち上げる



知識

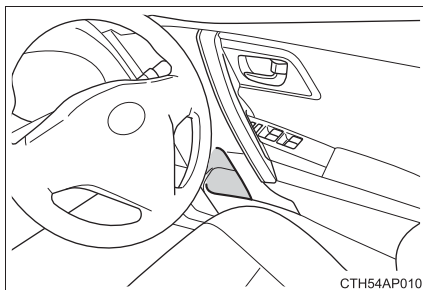
■ コンソールボックスのフタについて

フタを前後にスライドさせることができます。(スライド機能装着車)

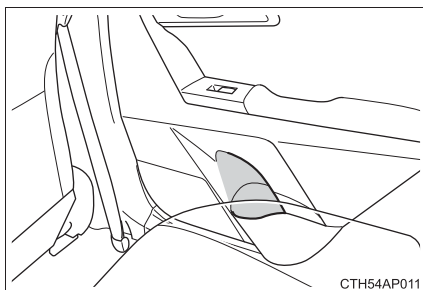


ボトルホルダー

■ フロント



■ リヤ



知識

■ ボトルホルダーとして使用するとき

- ペットボトルのフタを必ず閉めてから収納してください。
- ペットボトルの大きさ・形によっては収納できないことがあります。

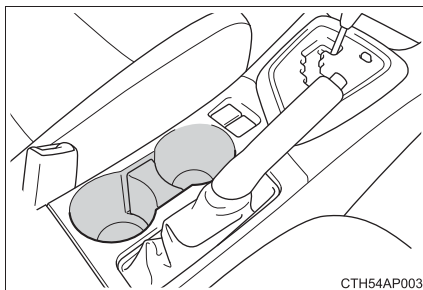
⚠ 注意

■ 収納してはいけないもの

ボトルホルダーには、ジュースなどが入っている紙コップ・ガラス製のコップなどを収納しないでください。ジュースなどがこぼれたり、ガラス製品が割れたりするおそれがあります。

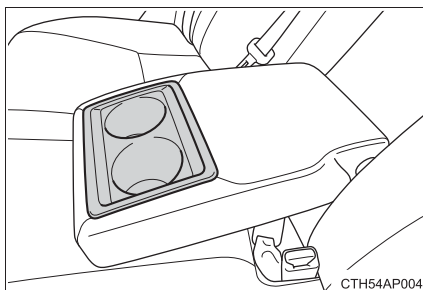
カップホルダー

■ フロント



■ リヤ

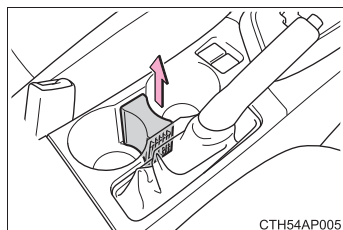
アームレストを手前に倒す



知識

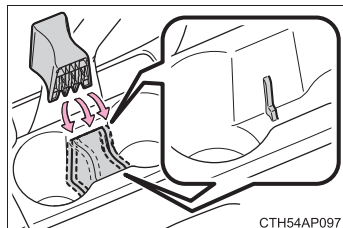
■ 仕切りの取りはずし（フロントカップホルダー）

カップホルダー内を清掃するために、仕切りを取りはずすことができます。



■仕切りの位置調整（フロントカップホルダー）

仕切りの位置を前後に移動することができます。



CTH54AP097

⚠ 警告

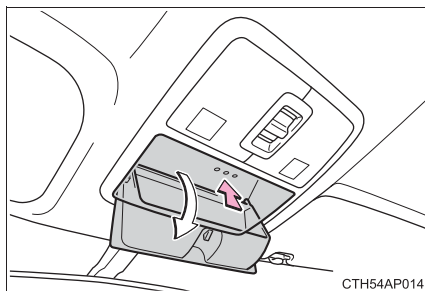
■収納してはいけないもの

カップホルダーにはカップや缶以外のものを置かないでください。急ブレーキや事故により落ちてけがをするおそれがあります。やけどを防ぐために温かい飲み物にはフタを閉めておいてください。

小物入れ

▶ A タイプ

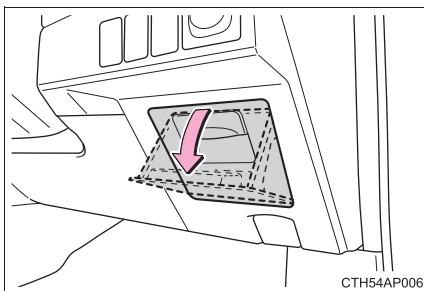
フタを押す



CTH54AP014

▶ B タイプ

ツマミを引いて開ける



CTH54AP006

⚠ 警告

■走行中の警告

小物入れを必ず閉じてください。急ブレーキ時などに、開いたフタが体にあたったり、収納していたものが飛び出したりして、思わぬ事故につながりけがをするおそれがあります。

■収納してはいけないもの（A タイプのみ）

200 g 以上のものを入れないでください。200 g 以上のものを入れるとホルダーが開き収納されているものが飛び出したりして思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

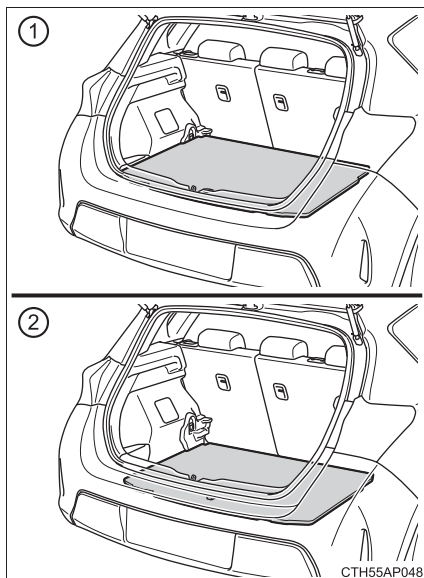
ラゲージルーム内装備

■ アジャスタブルデッキボード★

① 上段

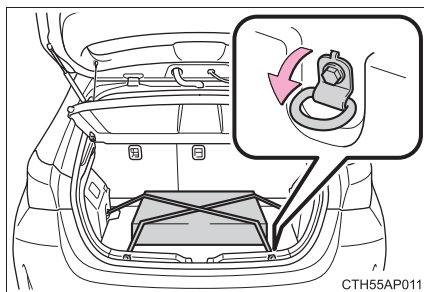
② 下段

アジャスタブルデッキボードをフロアボードの上に置くことで、下段の位置で使用できます。



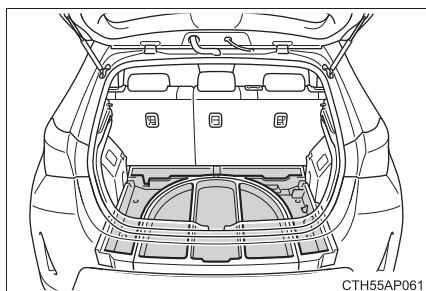
■ デッキフック★

フックを使って荷物を固定することができます。

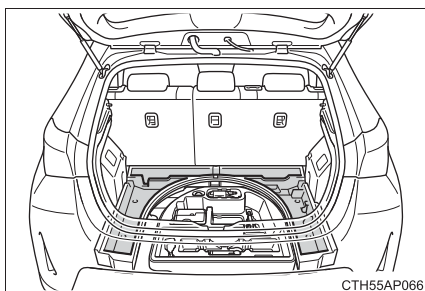


■ ラゲージアンダートレイ★

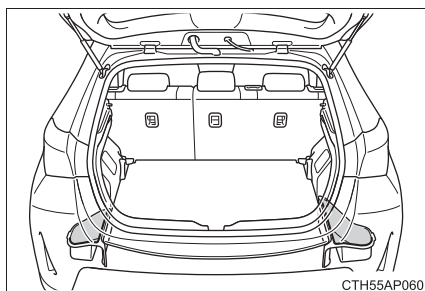
▶ Aタイプ



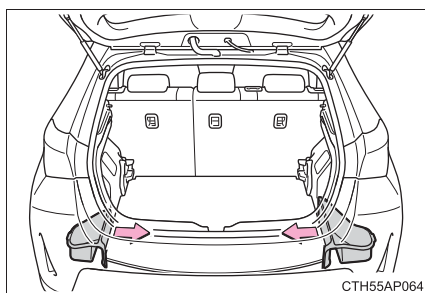
▶ Bタイプ



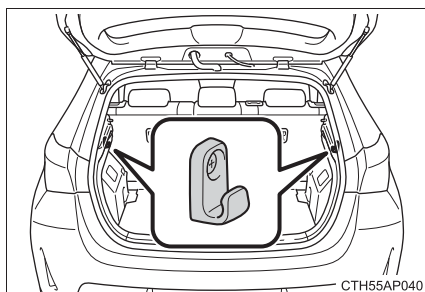
■ ラゲージサイドトレイ★



アジャスタブルデッキボードが下段の位置のとき、取りはずすことができます。



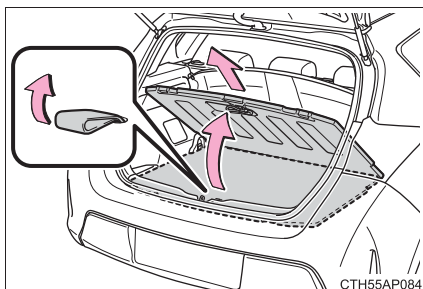
■ 買い物フック



★：仕様により異なる装備やオプション装備

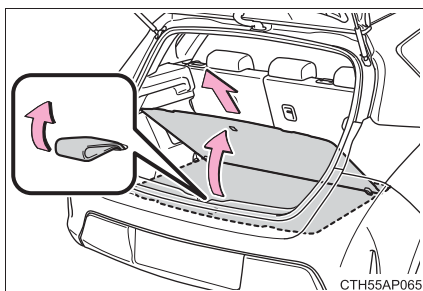
アジャスタブルデッキボードを取りはずすときは

ストラップを持ってアジャスタブルデッキボードを持ち上げ、手前に引いて取りはずす。



フロアボードを取りはずすときは

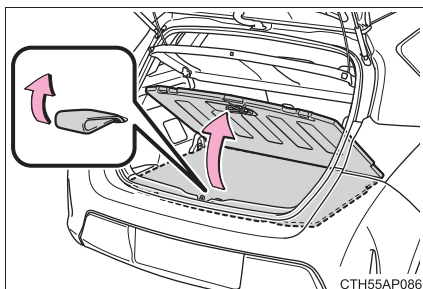
ストラップを持ってフロアボードを持ち上げ、手前に引いて取りはずす。



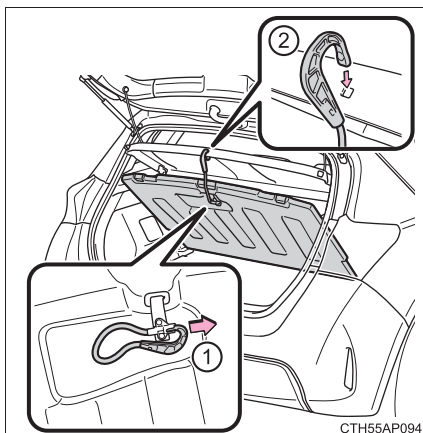
アジャスタブルデッキボードの留め方

▶ パッケージトレイ未収納時

- 1 アジャスタブルデッキボードを持ち上げる

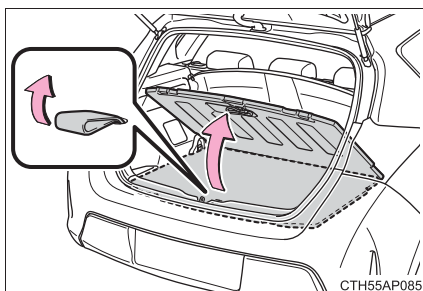


- 2 アジャスタブルデッキボードを固定する
- ① アジャスタブルデッキボード裏面のフックを取りはずす
- ② フックをパッケージトレイの差込口にかけて固定する

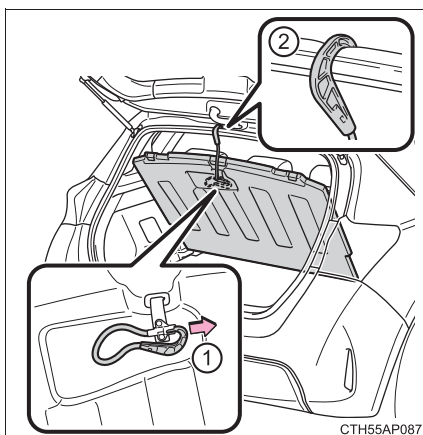


▶ パッケージトレイ収納時

- 1 アジャスタブルデッキボードを持ち上げる

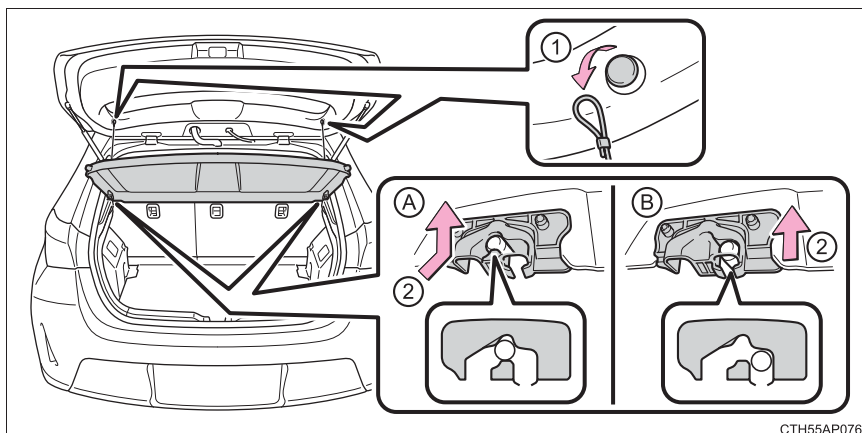


- 2 アジャスタブルデッキボードを固定する
- ① アジャスタブルデッキボード裏面のフックを取りはずす
- ② フックをバックドア開口部の上端に引っかけて固定する



知識

■ パッケージトレイの取りはずし



① 止めヒモを左右のフックからはずす

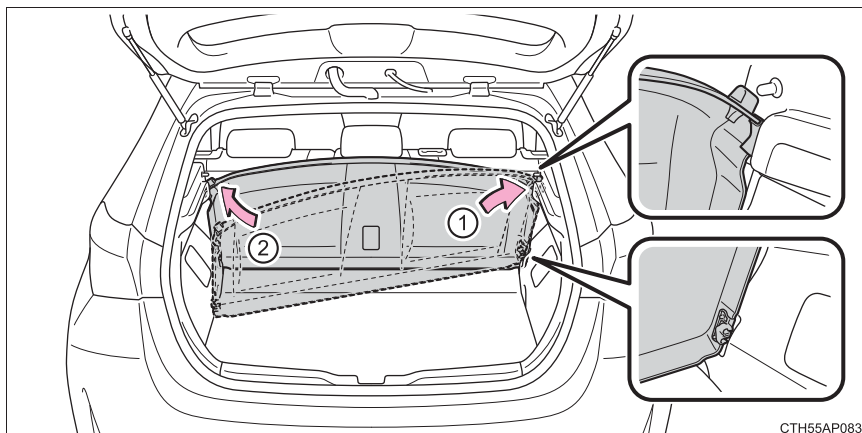
② トレイを取りはずす

通常は“A”の矢印の方向にトレイを動かして取りはずします。

ただし、トレイを“A”の矢印の方向に動かすことができないときは、“B”の矢印の方向にトレイを動かして取りはずします。

■ パッケージトレイの収納

はずしたパッケージトレイをリヤシート裏側へ収納することができます。



- ① パッケージトレイの片側をリヤシート裏側とデッキサイドトリムの間に差し込む
- ② パッケージトレイを回転させながら反対側に押し込む
パッケージトレイが固定されていることを確認する
取り外すときは、収納したときと逆の手順で取り外す。

 警告**■ アジャスタブルデッキボードを操作するときは**

荷物を載せた状態で操作しないでください。

指をはさんだり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ デッキフックを使用しないときは

けがをしないように、必ずもとの位置にもどしてください。

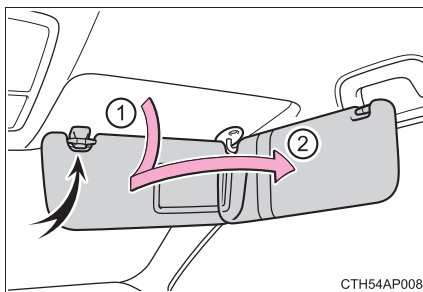
 注意**■ 破損を防ぐために**

- 4kg 以上のものや大きいものを買い物フックに吊り下げないでください。
- 収納しているパッケージトレイに強い衝撃が加わらないようにしてください。パッケージトレイが破損するおそれがあります。
- デッキボードのフックをパッケージトレイ及び、バックドア開口部に引っかけてままバックドアを閉めないでください。内装部品が破損する恐れがあります。

サンバイザー／バニティミラー

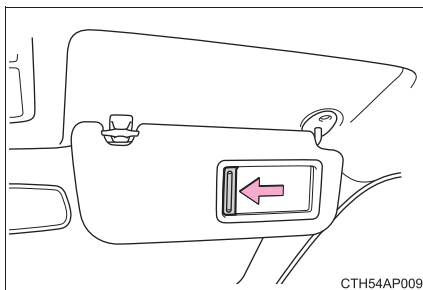
サンバイザー

- ① 前方をさえぎるには、バイザーを下ろす
- ② 側方をさえぎるには、バイザーを下ろした状態でフックからはずし、横へまわす



バニティミラー

カバーをスライドして開ける



時計

ボタンを押して時刻を調整することができます。

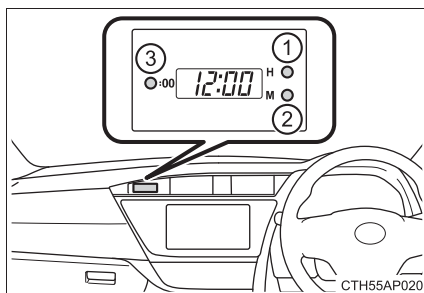
① “時” を調整する

② “分” を調整する

③ “分” を 00 にする※

※ (例) 1:00 ~ 1:29 → 1:00

1:30 ~ 1:59 → 2:00



知識

■時刻が表示されるとき

▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車

エンジンスイッチが“ACC” または “ON” のとき

▶スマートエントリー&スタートシステム装着車

エンジンスイッチがアクセサリまたはイグニッション ON モードのとき

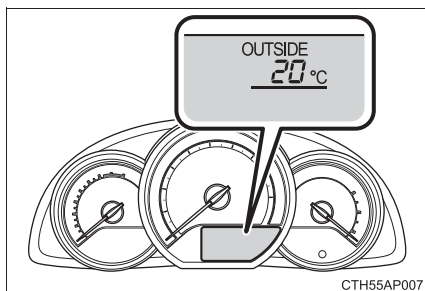
■バッテリー端子の脱着をしたとき

バッテリー端子の脱着を行うと、時計のデータはリセットされます。

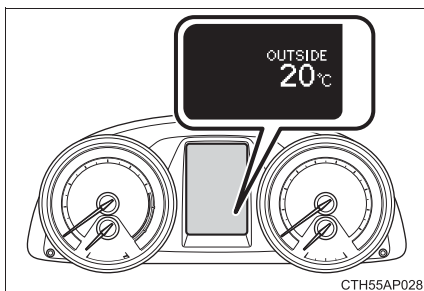
外気温度表示

-40℃から50℃のあいだで表示されます。

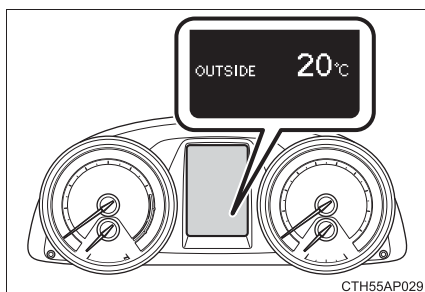
▶ Aタイプ



▶ Bタイプ



▶ Cタイプ



 知識

■ 外気温度が表示されるとき

▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

エンジンスイッチが ON のとき

▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車

エンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

■ 表示について

次の場合は、正しい外気温度が表示されなかったり、温度表示の更新が遅くなったりすることがありますが、故障ではありません。

● 停車しているときや、低速走行（約 15 km/h 以下）のとき

● 外気温度が急激に変化したとき（車庫・トンネルの出入り口付近など）

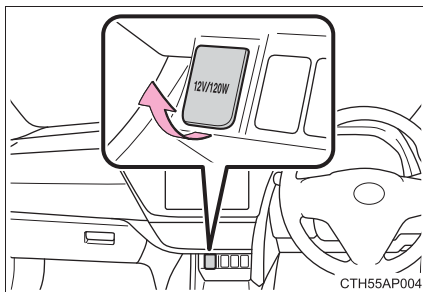
■ “-” が表示されたときは

システム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

アクセサリースOCKET

12 V 10 A 未満の電気製品を使うときの電源としてお使いください。

ふたを開ける。



知識

■使用条件

- ▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車
エンジンスイッチが“ACC” または“ON” のとき
- ▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車
エンジンスイッチがアクセサリーまたはイグニッション ON モードのとき

⚠ 注意

■ ヒューズが切れるのを防ぐために

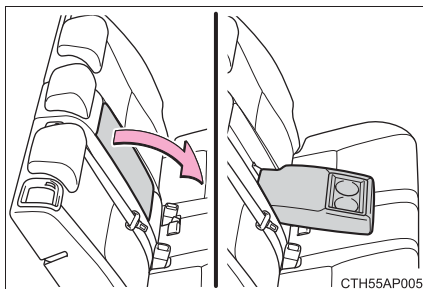
12 V 10 A をこえないようにしてください。

■ バッテリーあがりを防止するために

エンジンが停止した状態で、アクセサリースOCKETを長時間使用しないでください。

リヤアームレスト

手前に倒して使用します。

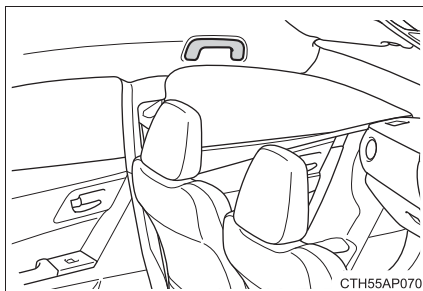


注意

- アームレストの破損を防ぐために
過度の負荷をかけないでください。

アシストグリップ

天井に取り付けられているアシストグリップは、シートに座っている状態で体を支えるときにお使いください。



⚠ 警告

■ アシストグリップについて

アシストグリップは、乗降時やシートから立ち上がるときなどに使用しないでください。

⚠ 注意

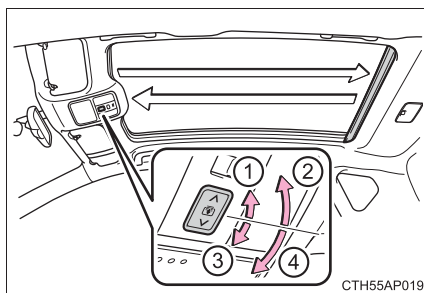
■ 破損を防ぐために

アシストグリップに重いものをかけたり、過度の負荷をかけたりしないでください。

パノラマーフシェード★

頭上のスイッチでパノラマーフシェードを開閉できます。

- ① 開ける
 - ② 自動全開（長押し）※
 - ③ 閉める
 - ④ 自動全閉（長押し）※
- ※ 途中で止めるには、スイッチをもう一度押します。



知識

■ 作動条件

エンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

■ 挟み込み防止機能

パノラマーフシェードを閉めるときに、パノラマーフシェードが異物の挟み込みを感知すると、作動が停止し少し開きます。

■ 自動全開／自動全閉機能が働かない場合

- 1 開ける側を押してパノラマーフシェードを開く
- 2 パノラマーフシェードが全開位置まで開き、その後わずかに閉まる（閉じ方向に動く）まで、開ける側を押し続ける

操作後、自動全開／自動全閉機能が作動することを確認してください。

以上の操作を行っても自動全開／自動全閉機能が働かない場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

 警告

以下のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ **パノラマルーフシェードを開閉するときは**

- パノラマルーフシェードを開閉するときは、乗員の手、腕、頭、首を挟んだり巻きこんだりしないように注意してください。
- お子さまには、パノラマルーフシェードの操作をさせないでください。
パノラマルーフシェードに挟まれたり巻きこまれたりするおそれがあります。

■ **挟み込み防止機能**

- 挟み込み防止機能を故意に作動させるため、乗員の手、腕、頭、首などを挟んだりしないでください。
- 挟み込み防止機能は、パノラマルーフシェードが完全に閉まる直前に異物を挟むと作動しない場合があります。また、挟み込み防止機能は、スイッチを押し続けた状態では作動しません。指などを挟まないように注意してください。

お手入れのしかた

6

6-1. お手入れのしかた

外装の手入れ.....244

内装の手入れ.....248

6-2. 簡単な点検・部品交換

ボンネット251

ガレージジャッキ.....253

ウォッシャー液の補充255

タイヤについて.....257

電子キーの電池交換261

ヒューズの点検・交換264

電球（バルブ）の交換271

エアコンフィルターの
交換284

外装の手入れ

お手入れは、次の項目を実施してください。

- 水を十分かけながら車体・足まわり・下まわりの順番に上から下へ汚れを洗い落とす
- 車体はスポンジやセーム皮のようなやわらかいもので洗う
- 汚れがひどいときはカーシャンプーを使用し、水で十分洗い流す
- 水をふき取る
- 水のはじきが悪くなったときは、ワックスがけを行う

ボデーの表面の汚れを落としても水が玉状にならないときは、車体の温度が冷えているときにワックスをかける（およそ体温以下を目安としてください）

なお、ボデーコート・ホイールコート・ガラスコートなど、トヨタケミカル商品を施工された場合は、お手入れ方法が異なります。

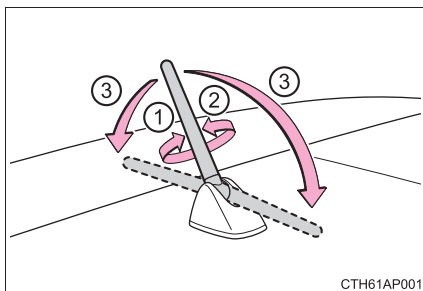
詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

アンテナの取り扱いについて

洗車時には、アンテナを取りはずしたり格納することができます。

- ① 取りはずす
- ② 取り付け
- ③ 格納する

ラジオ受信時は、節度感のあるところまで立てて使用してください。



CTH61AP001

 知識

■ 自動洗車機を使うとき

- ドアミラーを格納し、アンテナを取りはずした状態にして、車両前側から洗車してください。また、走行前は必ずアンテナをもとどおりに取り付けて、ドアミラーを復帰状態にもどしてください。
- ブラシで車体に傷が付き、塗装を損なうことがあります。

■ 高圧洗浄機を使うとき

- 室内に水が入るおそれがあるため、ノズルの先端をドアガラスやドア枠付近に近付けすぎないでください。
- 洗車の前に給油口が確実に閉まっていることを確認してください。
- 駆動系部品（ディファレンシャルギヤなど）のベアリングやオイルシール部品に近付けすぎないでください。
近付けすぎると、水圧が高いため、内部への水入りやグリス流出により、性能が劣化するおそれがあります。

■ 洗車などで車に水をかけたとき（スマートエントリー& スタートシステム装着車）

電子キーを携帯して洗車などで水をドアハンドルにかけた場合、施錠・解錠動作をくり返すことがあります。その場合は次のような処置をして、洗車などをしてください。

- 電子キーを車両から 2m 以上離れた場所に保管する
（電子キーの盗難に注意してください）
- 電子キーを節電モードに設定し、スマートエントリー & スタートシステムの作動を停止する（→ P. 85）

■ アルミホイール★

- 中性洗剤を使用し、早めに汚れを落としてください。研磨剤の入った洗剤や硬いブラシは塗装を傷めますので使用しないでください。
- 夏場の長距離走行後などでホイールが熱いときは、洗剤は使用しないでください。
- 洗剤を使用したあとは早めに十分洗い流してください。

■ バンパーについて

研磨剤入りの洗剤でこすらないようにしてください。

■ フロントドアガラスの撥水コーティングについて

- 撥水効果を長持ちさせるため、次のことに注意してください。
 - ・ フロントドアガラス表面の泥などの汚れを落とす
 - ・ 汚れは早めにやわらかい湿った布などで清掃する
 - ・ コンパウンド（磨き粉）が入ったガラスクリーナーやワックスを使用しない
 - ・ 金属製の道具で霜取りをしない
- 水滴のはじきが悪くなったときは補修することができます。
詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

警告

■ 洗車をするとき

エンジンルーム内に水をかけないでください。
電気部品などに水がかかると、車両火災につながるおそれがあり危険です。

■ 排気管について

排気管は排気ガスにより熱くなりますので、エンジン停止直後などに触れないでください。やけどをするおそれがあります。

 注意**■ 塗装の劣化や車体・部品（ホイールなど）の腐食を防ぐために**

- 次のような場合は、ただちに洗車してください。
 - ・ 海岸地帯を走行したあと
 - ・ 凍結防止剤を散布した道路を走行したあと
 - ・ コールタール・花粉・樹液・鳥のふん・虫の死がいなどが付着したとき
 - ・ ばい煙・油煙・粉じん・鉄粉・化学物質などの降下が多い場所を走行したあと
 - ・ ほこり・泥などで激しく汚れたとき
 - ・ 塗装にベンジンやガソリンなどの有機溶剤が付着したとき
- 塗装に傷が付いた場合は、早めに補修してください。
- ホイール保管時は、腐食を防ぐために汚れを落とし、湿気の少ない場所へ保管してください。

■ ランプの清掃

- 注意して洗ってください。有機溶剤や硬いブラシは使用しないでください。ランプを損傷させるおそれがあります。
- ランプにワックスがけを行わないでください。レンズを損傷するおそれがあります。

■ アンテナの損傷を防ぐために

以下のようなときはアンテナを格納してください。

- 車庫の天井などにアンテナがあたるとき
- カーカバーをかけるとき

■ アンテナの取りはずしについて

- 通常走行時には、必ずアンテナを取り付けてください。
- 自動洗車機などアンテナを取りはずしたときは、アンテナを紛失しないように注意してください。また、走行前には必ずもとどおりに取り付けてください。

内装の手入れ

お手入れは、次の要領で実施してください。

室内の手入れ

掃除機などでほこりを取り除き、水またはぬるま湯を含ませた布でふき取る

本革部分の手入れ

- 掃除機などでほこりや砂を取り除く
- うすめた洗剤をやわらかい布に含ませ、汚れをふき取る
ウール用の中性洗剤を約 5% の水溶液までうすめたものを使用してください。
- 真水をひたした布を固くしぼり、表面に残った洗剤をふき取る
- 乾いたやわらかい布で表面の水分をふき取り、風通しのよい日陰で乾燥させる

合成皮革部分の手入れ

- 掃除機をかけて、大まかな汚れを取る
- スポンジややわらかい布を使用して合成皮革部分に刺激の少ない洗剤を付ける
- 数分間洗剤につけておいてから汚れを落とし、固くしぼったきれいな布で洗剤をふき取る

 知識

■ 本革部分のお手入れの目安

品質を長く保つため、年に2回程度の定期的なお手入れをおすすめします。

■ カーペットの洗淨

カーペットは常に乾いた状態を保つことをおすすめします。洗淨には、市販の泡タイプクリーナーがご利用になれます。

スポンジまたはブラシを使用して泡をカーペットに広げ、円を描くように塗り込んでください。直接水をかけたりせず、ふき取ってから乾燥させてください。

■ シートベルト

刺激の少ない洗剤とぬるま湯で、布やスポンジを使って洗ってください。シートベルトのすり切れ・ほつれ・傷などを定期的に点検してください。

■ スーパー UV カットガラス★について

- ドアガラスが汚れているときは、早めに水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふいて清掃してください。
- ドアガラスの汚れがひどいときは、ドアガラスの開閉をくり返さないでください。

 警告

■ 車両への水の浸入

- 車内に水をかけたり液体をこぼしたりしないでください。
電気部品などに水がかかると、故障や車両火災につながるおそれがあります。
- SRS エアバッグの構成部品や電気配線をぬらさないでください。(→ P. 30)
電気の不具合により、SRSエアバッグが作動したり、正常に機能しなくなり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 内装の手入れをするときは（特にインストルメントパネル）

艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。インストルメントパネルがフロントウィンドウガラスへ映り込み、運転者の視界をさまたげ思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 注意**■ 清掃するとき使用する溶剤について**

- 変色・しみ・塗装はがれの原因になるため、次の溶剤は使用しないでください。
 - ・ シート以外の部分：ベンジン・ガソリンなどの有機溶剤や酸性またはアルカリ性の溶剤・染色剤・漂白剤
 - ・ シート部分：シンナー・ベンジン・アルコール、その他の酸性やアルカリ性の溶剤
- 艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。インストルメントパネルやその他内装の塗装のはがれ・溶解・変形の原因になるおそれがあります。

■ 革の傷みを避けるために

皮革の表面の劣化や損傷を避けるために、次のことをお守りください。

- 革に付着したほこりや砂はすぐに取り除く
- 直射日光に長時間さらさないようにする
特に夏場は日陰で車を保管する
- ビニール製・プラスチック製・ワックス含有のものは、車内が高温になると革に張り付くおそれがあるため、革張りの上に置かない

■ 床に水がかかると

水で洗わないでください。

オーディオやフロアカーペット下にある電気部品に水がかかると、車の故障の原因となったり、ボデーが錆びるおそれがあります。

■ リヤウインドウガラスの内側を掃除するときは

- 熱線を損傷するおそれがあるため、ガラスクリーナーなどを使わず、熱線にそって水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふいてください。
- 熱線を引っかいたり、損傷させないように気を付けてください。

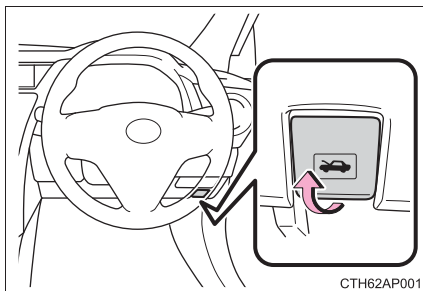
■ スーパー UV カットガラス★を掃除するときは

ドアガラスを清掃するときは、コンパウンドまたは研磨剤入り用品（ガラスクリーナー・洗剤・ワックスなど）を使用しないでください。コーティングを損傷させるおそれがあります。

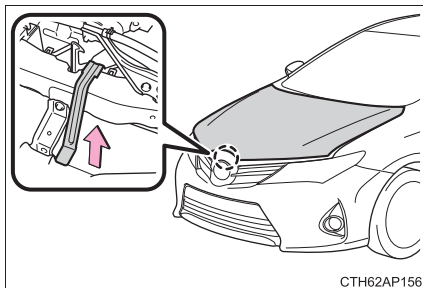
ボンネット

室内からロックを解除して、ボンネットを開けます。

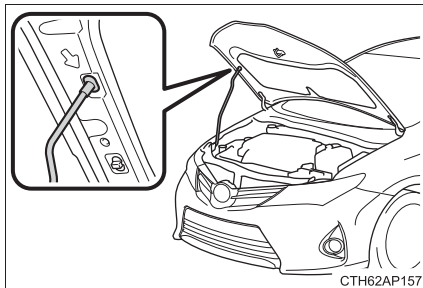
- 1 ボンネット解除レバーを引く
ボンネットが少し浮き上がります。



- 2 レバーを引き上げて、ボンネットを開ける



- 3 ボンネットステーをステー穴に差し込む



知識

■ バッテリー端子をはずすときは

バッテリー端子をはずすとコンピューターに記憶されている情報が消去されます。バッテリー端子をはずすときはトヨタ販売店にご相談ください。

警告**■ 走行前の確認**

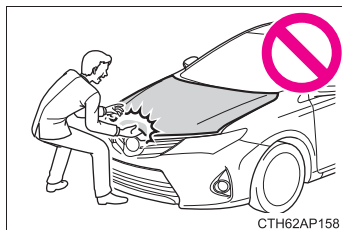
ボンネットがしっかりロックされていることを確認してください。
ロックせずに走行すると、走行中にボンネットが突然開いて、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ エンジンルーム点検後の確認

エンジンルーム内に工具や布を置き忘れていないことを確認してください。
点検や清掃に使用した工具や布などをエンジンルーム内に置き忘れてしまうと、故障の原因になったり、また、エンジンルーム内は高温になるため車両火災につながるおそれがあります。

■ ボンネットを閉めるとき

手などを挟まないように注意してください。
重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

**■ ボンネットステーをステー穴に差し込んだあとは**

ボンネットが頭や体の上に落ちてこないように、正しく差し込まれているか確認してください。

注意**■ ボンネットへの損傷を防ぐために**

ボンネットを閉めるときは、体重をかけるなどして強く押さないでください。
ボンネットがへこむおそれがあります。

■ ボンネットを閉めるときは

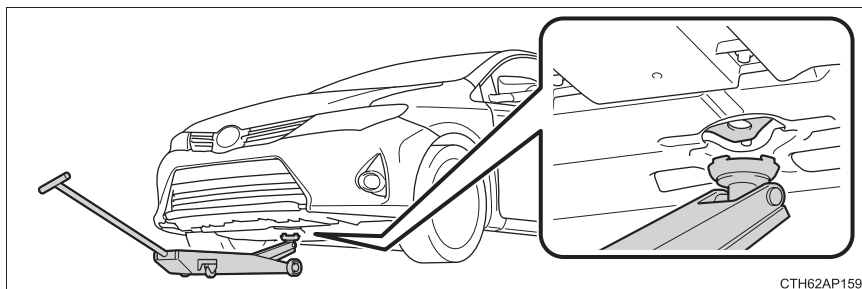
ボンネットステーをステー穴から取りはずし、クリップに正しくもどしてください。ボンネットステーが差し込まれた状態で閉めると、ボンネットが損傷するおそれがあります。

ガレージジャッキ

ガレージジャッキを使用して車両を持ち上げるときは、正しい位置にガレージジャッキをセットしてください。

正しい位置にセットしないと、車両が損傷したり、けがをするおそれがあります。

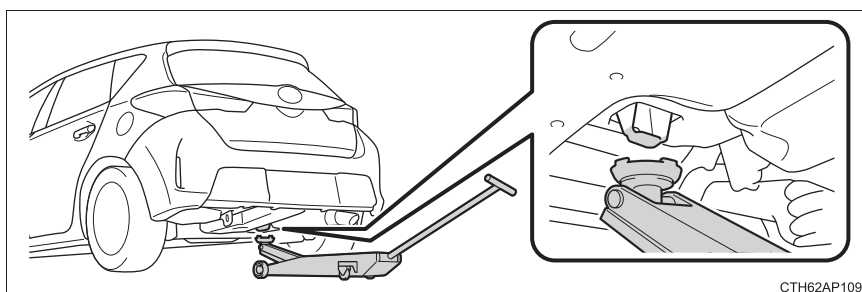
◆ フロント側



CTH62AP159

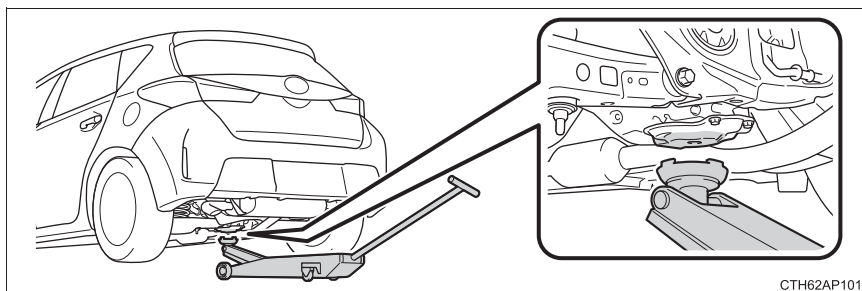
◆ リヤ側

▶ FF 車（前輪駆動）



CTH62AP109

▶ 4WD 車（4輪駆動）

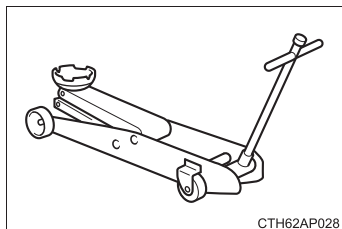


CTH62AP101

警告**■車両を持ち上げるとき**

次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 図のようなガレージジャッキを使用して車両を持ち上げる



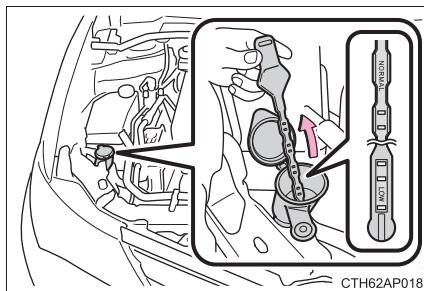
CTH62AP028

- ガレージジャッキを使用するときは、必ずガレージジャッキ付属の取扱説明書を十分に確認の上、使用する
- 車に搭載されているジャッキを使用しない
車両が落下するおそれがあります。
- ガレージジャッキのみで支えられた車両の下に体の一部を入れたり、もぐり込んだりしない
- ガレージジャッキおよび、自動車用ジャッキスタンドをしっかりとした傾きのない平坦な床面で使用する
- 車両がジャッキアップされた状態でエンジンを始動しない
- 平らで硬い地面に停車させ、しっかりとパーキングブレーキをかけ、オートマチック車はシフトレバーを P、マニュアル車はシフトレバーを R にする
- ガレージジャッキは、必ずジャッキポイントに正しくセットする
ガレージジャッキを正しくセットせずに車両を持ち上げると、車両が損傷します。また、車両がガレージジャッキから落下するおそれがあります。
- 車内に乗員がいるときは車両を持ち上げない
- 車両を持ち上げるときは、ガレージジャッキの上下にものを置かない

ウォッシャー液の補充

補充のしかた

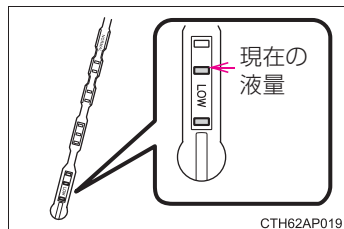
液面が LOW の位置に近づいたらウォッシャー液を補給してください。



知識

■ ゲージの使い方

ウォッシャー液の膜が張っているゲージの穴部の位置を確認して、ウォッシャー液の残量を判断します。
残量がゲージの先端から 2 つめの穴部より下まわった (LOW の位置まで低下した) ら、ウォッシャー液を補給してください。



 警告**■ウォッシャー液を補充するとき**

エンジンが熱いときやエンジンがかかっているときは、ウォッシャー液を補充しないでください。

ウォッシャー液にはアルコール成分が含まれているため、エンジンなどにかかると出火するおそれがあり危険です。

 注意**■ウォッシャー液について**

ウォッシャー液のかわりに、せっけん水やエンジン不凍液などを入れないでください。塗装にしみが付くおそれがあります。

■ウォッシャー液のうすめ方

必要に応じて水でうすめてください。水とウォッシャー液の割合は、ウォッシャー液の容器に表示してある凍結温度を参考にしてください。

タイヤについて

タイヤの点検は、法律で義務付けられています。日常点検として必ずタイヤを点検してください。

タイヤの摩耗を均等にし寿命をのばすために、タイヤローテーション(タイヤ位置交換)を 5,000km ごとに行ってください。

タイヤの点検項目

タイヤは次の項目を点検してください。

点検方法は別冊「メンテナンスノート」を参照してください。

- タイヤ空気圧

空気圧の点検は、タイヤが冷えているときに行ってください。

- タイヤの亀裂・損傷の有無

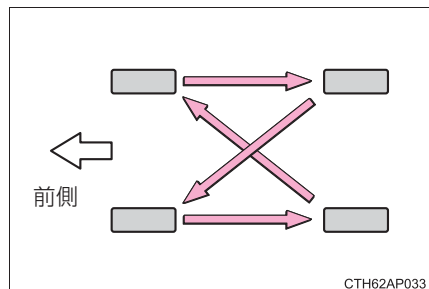
- タイヤの溝の深さ

- タイヤの異常摩耗（極端にタイヤの片側のみが摩耗していたり、摩耗程度が他のタイヤと著しく異なるなど）の有無

タイヤローテーションのしかた

図で示すようにタイヤのローテーションを行います。

タイヤの摩耗状態を均一にし、寿命をのばすために、トヨタは定期点検ごとのタイヤローテーションをおすすめします。



 知識

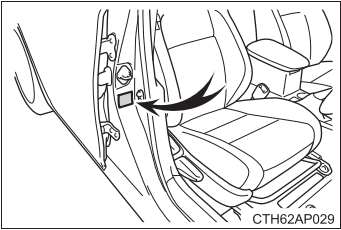
■ **タイヤ空気圧の数値**

タイヤサイズ	エンジン	空気圧※ kPa (kg/cm ²)
195/65R15 91S	1NZ-FE, 2ZR-FAE	230 (2.3)
205/55R16 91V	1NZ-FE, 2ZR-FAE	
225/45R17 91W	2ZR-FAE	

応急用タイヤ★：420kPa (4.2kg/cm²) ※

タイヤの指定空気圧は、運転席側のタイヤ空気圧ラベルで確認することができます。

※ タイヤが冷えているときの空気圧



■ **タイヤ関連の部品を交換するとき**

タイヤ・ディスクホイール・ホイール取り付けナットを交換するときは、トヨタ販売店にご相談ください。

■ **低扁平タイヤについて (225/45R17 91W 装着車)**

雪道や凍結路では、普通のタイヤとくらべてグリップ力が低下します。冬用タイヤを使用し、道路状態に応じた速度で注意深く運転するようにしてください。

■ **低扁平タイヤの空気圧点検 (225/45R17 91W 装着車)**

低扁平タイヤは、走行性能を優先したタイヤです。特に空気圧は定期的に点検してください。2週間に1回 (最低でも1ヶ月に1回)、または長距離ドライブの前には、必ず空気圧を点検してください。

★：仕様により異なる装備やオプション装備

警告**■点検・交換時の警告**

必ず次のことをお守りください。

お守りいただかないと、駆動系部品の損傷や不安定な操縦特性により、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- タイヤはすべて同一メーカー・同一銘柄・同一トレッドパターンで、摩耗差のないタイヤを使用する
- メーカー指定サイズ以外のタイヤやホイールを使用しない
- ラジアルタイヤ・バイアスベルテッドタイヤ・バイアスプライタイヤを混在使用しない
- サマータイヤ・オールシーズンタイヤ・冬用タイヤを混在使用しない

■異常があるタイヤの使用禁止

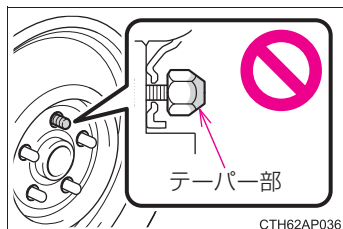
異常があるタイヤをそのまま装着していると、走行時にハンドルをとられたり、異常な振動を感じることがあります。また、次のような事態になり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- 破裂などの修理できない損傷を与える
- 車両が横すべりする
- 車両の本来の性能（燃費・車両の安定性・制動距離など）が発揮されない

■タイヤ交換時の注意

- 必ずナットのテーパー部を内側にして取り付けてください。

テーパー部を外側にして取り付けると、ホイールが破損しはずれてしまい、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



- ねじ部にオイルやグリースをぬらないでください。
ナットを締めるときに必要な以上に締め付けられ、ボルトが破損したり、ディスクホイールが損傷するおそれがあります。
またナットがゆるみホイールが落下して、重大な事故につながるおそれがあります。
オイルやグリースがねじ部についている場合はふき取ってください。

 注意**■ 低扁平タイヤについて（225/45R17 91W 装着車）**

低扁平タイヤのホイールは、路面から衝撃を受けたとき、ホイールに通常より大きなダメージを与えることがあります。そのため次のことに注意してください。

- 適切なタイヤ空気圧で使用する
空気圧が低すぎると簡単に損傷することがあります。
- 段差や凹凸のある路面、路上に空いた穴、平らでない舗道・縁石や他の障害物を避ける
タイヤおよびホイールがひどく損傷することがあります。

■ 走行中に空気もれが起こったら

走行を続けしないでください。
タイヤまたはホイールが損傷することがあります。

■ 悪路走行に対する注意

段差や凹凸のある路上を走行するときは注意してください。
タイヤの空気が抜けて、タイヤのクッション作用が低下します。また、タイヤ・ホイール・車体などの部品も損傷するおそれがあります。

電子キーの電池交換

電池が消耗しているときは、新しい電池に交換してください。

用意するもの

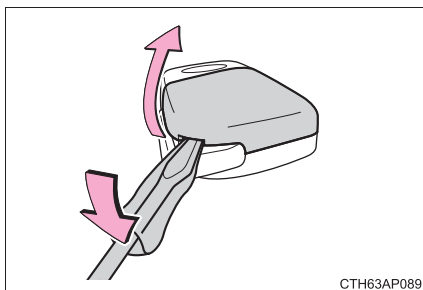
- マイナスドライバー
- 小さいマイナスドライバー
- リチウム電池
 - ・ CR1620（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）
 - ・ CR2032（スマートエントリー&スタートシステム装着車）

電池交換のしかた

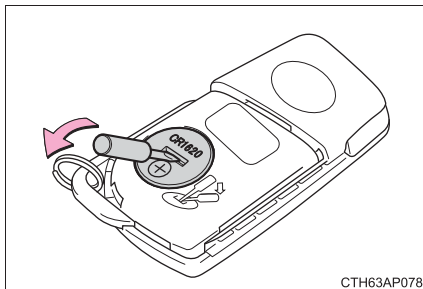
- ▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

1 カバーをはずす

傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。

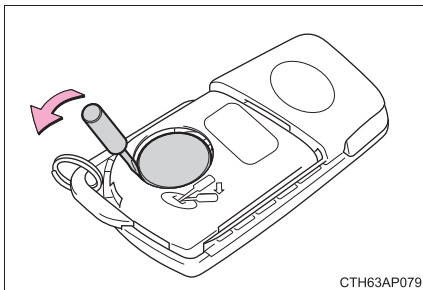


2 電池カバーを取りはずす



3 消耗した電池を取り出す

新しい電池は、+極を上にして取り付けます。

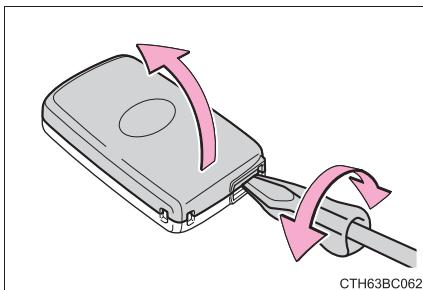


CTH63AP079

4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車

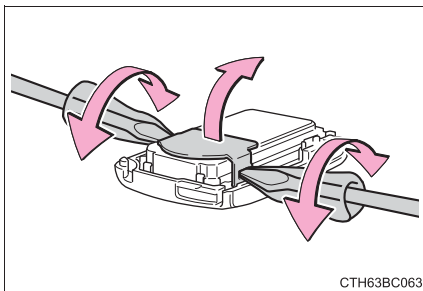
1 メカニカルキーを抜く



CTH63BC062

2 カバーをはずす

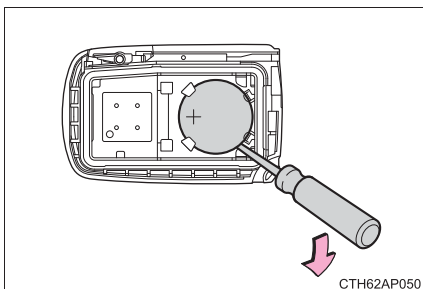
傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。



CTH63BC063

3 消耗した電池を取り出す

新しい電池は、+極を上にして取り付けます。



CTH62AP050

4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

 知識

■ リチウム電池の入手

電池はトヨタ販売店・時計店およびカメラ店などで購入できます。

- スマートエントリー&スタートシステム非装着車：CR1620
- スマートエントリー&スタートシステム装着車：CR2032

■ 電子キーの電池が消耗していると

次のような状態になります。

- スマートエントリー&スタートシステム・ワイヤレス機能が作動しない
- 作動距離が短くなる

 警告

■ 取りはずした電池と部品について

お子さまにさわらせないでください。

部品が小さいため、誤って飲み込むと、のどなどにつまらせ重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 注意

■ 交換後、正常に機能させるために

次のことを必ずお守りください。

- めれた手で電池を交換しない
錆の原因になります。
- 電池以外の部品に、ふれたり動かしたりしない
- 電極を曲げない

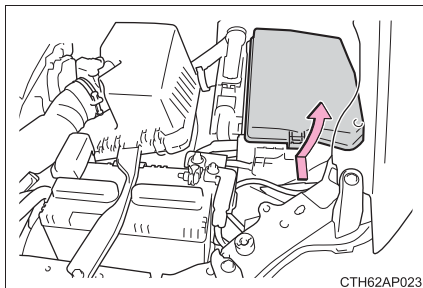
ヒューズの点検・交換

ランプがつかないときや電気系統の装置が働かないときは、ヒューズ切れが考えられます。ヒューズの点検を行ってください。

- 1 スマートエントリー＆スタートシステム非装着車：エンジンスイッチを“LOCK”にする。
スマートエントリー＆スタートシステム装着車：エンジンスイッチをOFFにする。
- 2 故障の状況から、点検すべきヒューズを「ヒューズの配置と負荷」(→ P. 266)で確認する
- 3 ヒューズボックスを開ける

▶ エンジンルーム

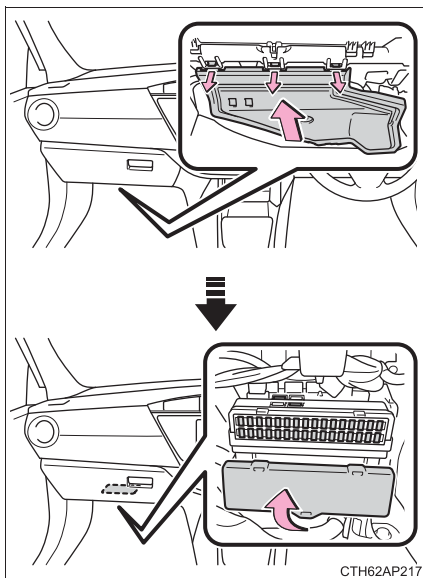
ツメを押しながら、カバーを持ち上げる



CTH62AP023

▶ 助手席足元

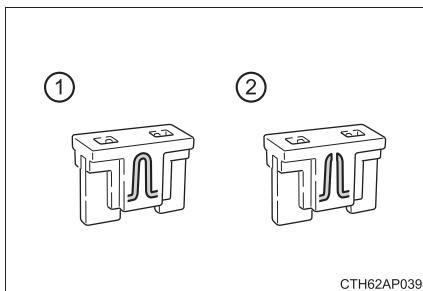
足元のカバー★を取りはずし、
ヒューズボックスのカバーを取りはずす



4 ヒューズが切れていないか点検する

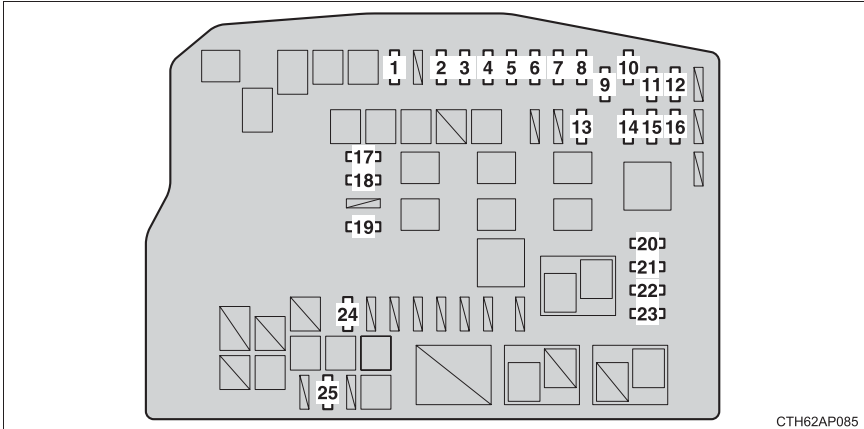
- ① 正常
- ② ヒューズ切れ

ヒューズボックスの表示に従い、規定容量のヒューズに交換します。



ヒューズの配置と負荷

■ エンジンルーム



CTH62AP085

ヒューズ名称		アンペア数	ヒューズの受け持つ主な装置名称
1	ST	30 A	始動系
2	INJ/EFI-B ※ ²	15 A	EFI システム
3	IG2	15 A	メーター、EFI システム、SRS エアバッグシステム
4	TURN&HAZ	10 A	メーター、方向指示灯、非常点滅灯
5	ETCS	10 A	EFI システム
6	ICS/ALT-S	5 A	充電システム
7	EFI-MAIN	20 A ※ ¹	EFI システム、EFI NO.1、EFI NO.2、 フューエルポンプ
		25 A ※ ²	
8	HORN	10 A	ホーン
9	D/C CUT	30 A	DOME、ECU-B NO.1、RADIO
10	AM2	7.5 A	EFI システム、Stop&Start システム、 始動系、IG2
11	ECU-B NO.3	5 A	エレクトリックパワーステアリング
12	ECU-B NO.2	10 A	エアコン、パワーウインドウ、スマート エントリー&スタートシステム、ド アミラー、メーター
13	DEICER	20 A	フロントワイパーデアイサー
14	RADIO	20 A	オーディオ

ヒューズ名称		アンペア数	ヒューズの受け持つ主な装置名称
15	DOME	7.5 A	室内灯、パニティランプ、ラゲージルームランプ、メインボデー ECU
16	ECU-B NO.1	10 A	ワイヤレスリモコン、メインボデー ECU、VSC、スマートエントリー&スタートシステム、時計
17	EFI NO.2	10 A	EFI システム
18	EFI NO.1	10 A	EFI システム、Stop&Start システム
19	MIR-HTR	10 A	EFI システム、ミラーヒーター
20	H-LP RH-LO	10 A ※ 3	右側ヘッドランプ（ロービーム）
		15 A ※ 4	
21	H-LP LH-LO	10 A ※ 3	左側ヘッドランプ（ロービーム）、光軸調整ダイヤル
		15 A ※ 4	左側ヘッドランプ（ロービーム）
22	H-LP RH-HI	7.5 A	右側ヘッドランプ（ハイビーム）
23	H-LP LH-HI	7.5 A	左側ヘッドランプ（ハイビーム）、メーター
24	STRG LOCK	20 A	ステアリングロックシステム
25	S-HORN	10 A	—

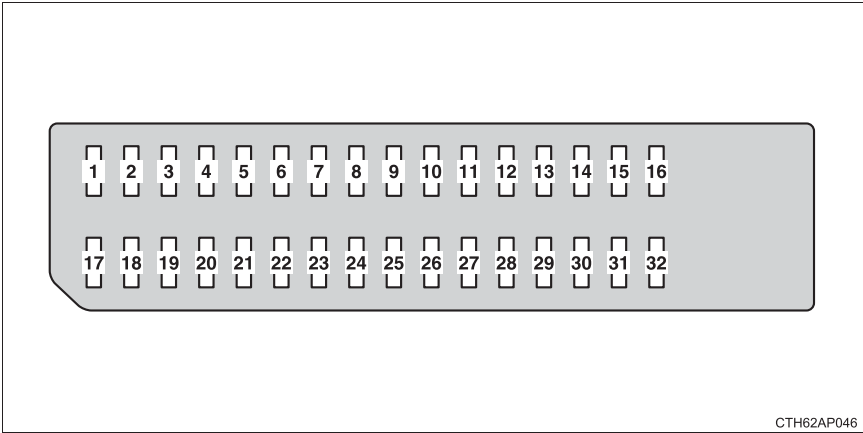
※ 1 : 1NZ-FE エンジン装着車

※ 2 : 2ZR-FAE エンジン装着車

※ 3 : ハロゲンヘッドランプ装着車

※ 4 : ディスチャージヘッドランプ装着車

■ 助手席足元



CTH62AP046

ヒューズ名称		アンペア数	ヒューズの受け持つ主な装置名称
1	P/OUTLET	15 A	—
2	OBD	7.5 A	ダイアグノーシスコネクター
3	STOP	7.5 A	制動灯、EFI システム、ハイマウントストップランプ、ABS、VSC、シフトロックシステム
4	FOG RR	7.5 A	メーター
5	D/L NO.3	20 A	パワードアロックシステム
6	S/ROOF	20 A	パノラマルーフシェード
7	FOG FR	7.5 A	フロントフォグランプ、メーター
8	AM1	5 A	IG1 RLY、ACC RLY
9	D/L NO.2	10 A	バックドアシステム
10	DOOR NO.2	20 A	パワーウインドウ
11	DOOR R/R	20 A	パワーウインドウ
12	DOOR R/L	20 A	パワーウインドウ
13	WASHER	15 A	ウォッシャー
14	WIPER NO.2	25 A	—
15	WIPER RR	15 A	リヤワイパー
16	WIPER NO.1	25 A	フロントワイパー
17	CIG	15 A	アクセサリースocket

ヒューズ名称		アンペア数	ヒューズの受け持つ主な装置名称
18	ACC	7.5 A	ドアミラー、オーディオ、メインボデー ECU、時計、ETC、Stop&Start システム、充電システム
19	SFT LOCK-ACC	5 A	シフトロックシステム
20	TAIL	10 A	車幅灯、尾灯、番号灯、フロントフォグランプ
21	PANEL	7.5 A	スイッチ照明、室内灯、メインボデー ECU
22	WIPER-S	5 A	EFI システム、充電システム
23	ECU-IG NO.1	7.5 A	冷却ファン、AFS、充電系、VSC、ABS、ヒルスタートアシストコントロール
24	ECU-IG NO.2	7.5 A	尾灯、EFI システム、オーディオ、AFS
25	ECU-IG NO.3	7.5 A	EFI システム、インナーミラー、パノラマルーフシェード、シフトロックシステム、AFS
26	HTR-IG	7.5 A	エアコン、リヤウインドウデフォッガー、フロントワイパーデアイサー、Stop&Start システム、PTC ヒーター
27	ECU-IG NO.4	7.5 A	4WD システム、メインボデー ECU、助手席シートベルト非着用警告灯、ドアミラー
28	ECU-IG NO.5	5 A	エレクトリックパワーステアリング、Stop&Start システム
29	IGN	7.5 A	スマートエントリー&スタートシステム、EFI システム、ステアリングロックシステム
30	S/HTR	15 A	—
31	METER	5 A	メーター、Stop&Start システム
32	A/BAG	7.5 A	SRS エアバッグシステム

 知識

■ ヒューズを交換したあとは

- 交換してもランプ類が点灯しないときは、電球を交換してください。
(→ P. 271)
- 交換しても再度ヒューズが切れる場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

■ バッテリーからの回路に過剰な負荷がかかると

配線が損傷を受ける前にヒューズが切れるように設計されています。

■ 電球（バルブ）を交換するとき

この車両に指定されているトヨタ純正品のご使用をおすすめします。一部の電球は過電流を防止する専用回路に接続されているため、この車両指定のトヨタ純正品以外は使用できない場合があります。

 警告

■ 車の故障や、車両火災を防ぐために

次のことをお守りください。

お守りいただかないと、車の故障や火災、けがをするおそれがあります。

- 規定容量以外のヒューズ、またはヒューズ以外のものを使用しないでください。
- 必ずトヨタ純正ヒューズか同等品を使用してください。
- ヒューズやヒューズボックスを改造しないでください。

 注意

■ ヒューズを交換する前に

ヒューズが切れた原因が電気の過剰負荷だと判明したときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

電球（バルブ）の交換

次に記載する電球は、ご自身で交換できます。電球交換の難易度は電球によって異なります。部品が破損するおそれがあるので、トヨタ販売店で交換することをおすすめします。

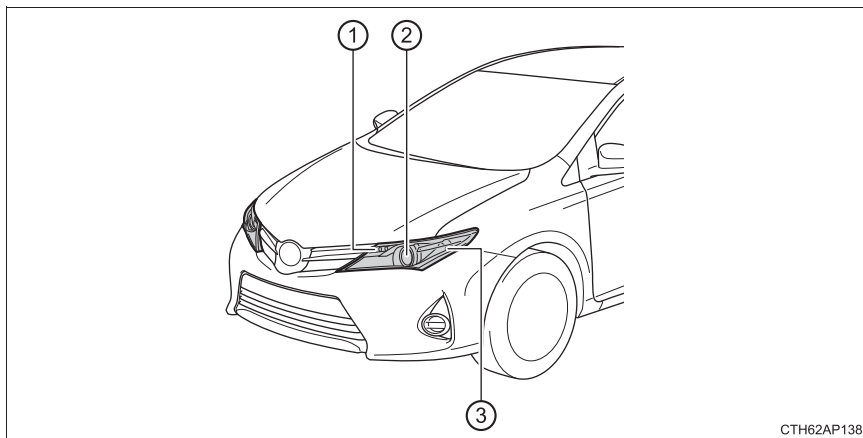
電球の用意

切れた電球の W（ワット）数を確認してください。（→ P. 362）

バルブ位置

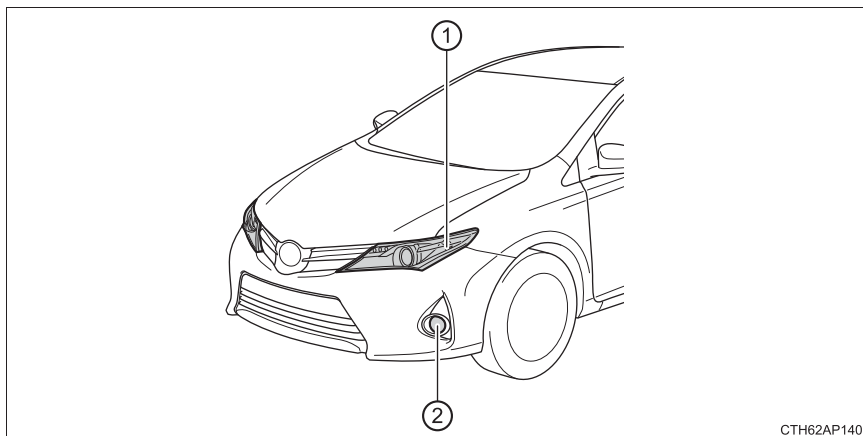
■ フロント

▶ ハロゲンヘッドランプ装着車



- ① 車幅灯
- ② ヘッドランプ
- ③ フロント方向指示灯／非常点滅灯

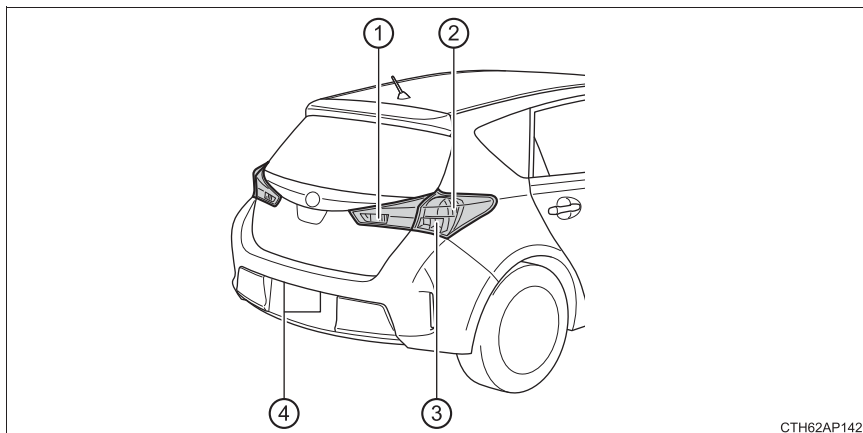
▶ ディスチャージヘッドランプ装着車



CTH62AP140

- ① フロント方向指示灯／非常点滅灯
- ② フロントフォグランプ★

■ リヤ



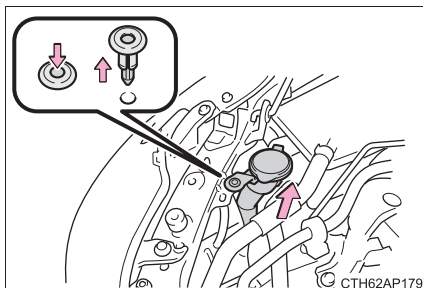
CTH62AP142

- ① 後退灯
- ② 尾灯／制動灯
- ③ リヤ方向指示灯／非常点滅灯
- ④ 番号灯

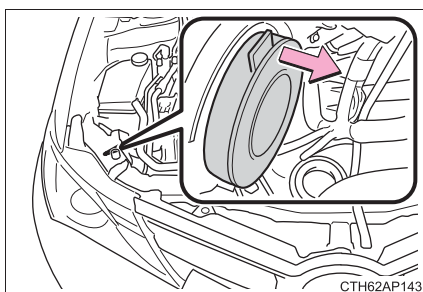
★：仕様により異なる装備やオプション装備

電球交換のしかた**■ ヘッドランプ（ハロゲンヘッドランプ装着車）**

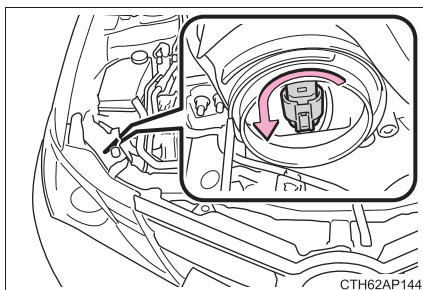
- 1** 固定クリップをはずし、ウォッシャー液補給口を引き出す（右側の電球交換時のみ）



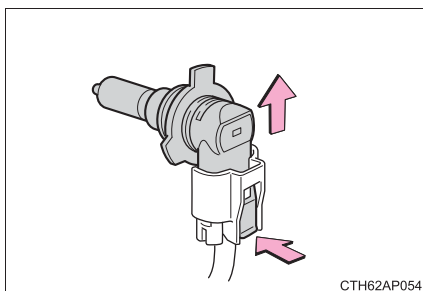
- 2** カバーをはずす



- 3** ソケットをまわして取りはずす

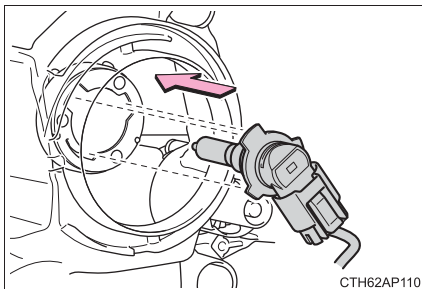


- 4** 電球を取りはずす



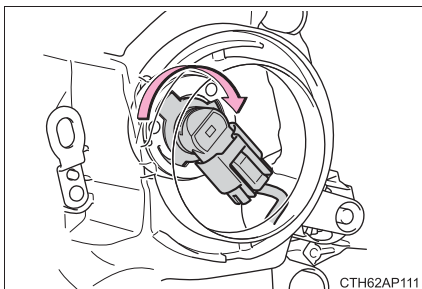
5 電球を交換し、ソケットを取り付ける

取り付け部と電球のツメ（3か所）を合わせて挿し込みます。



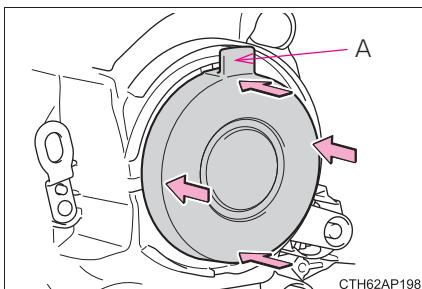
6 ソケットをまわして固定する

ソケットを軽くゆさぶってぐらつきがないことを確認し、いったんヘッドランプを点灯させ、ソケットの取り付け部からランプの光がもれてないことを目視確認してください。

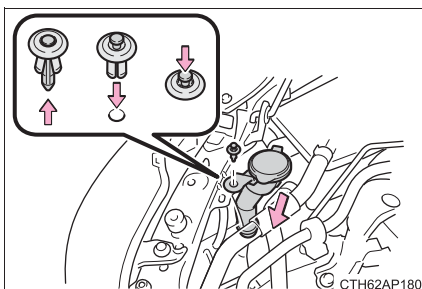


7 カバーを取り付ける

カバー（A 部）を上にし取り付け、外周をしっかりと押し込む



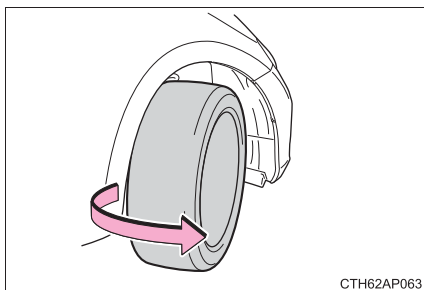
8 ウォッシャー液補給口を取り付け、固定クリップを取り付ける（右側の電球交換時のみ）



■ フロントフォグランプ★

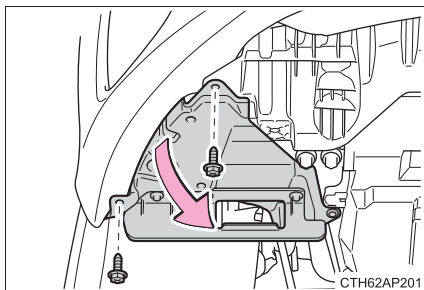
- 1 交換するランプの反対側へハンドルをまわし、タイヤの向きをかえる

手が十分入る程度にハンドルをまわしてください。



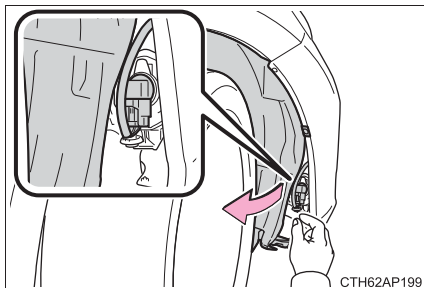
CTH62AP063

- 2 スクリュー(2本)をはずし、フェンダーライナーをはずす



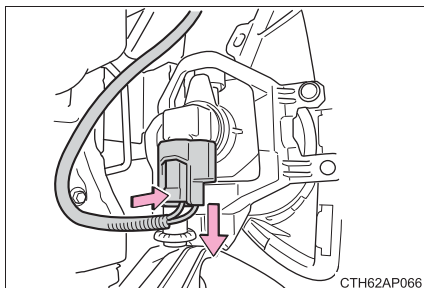
CTH62AP201

- 3 電球が見える位置までフェンダーライナーをめくる



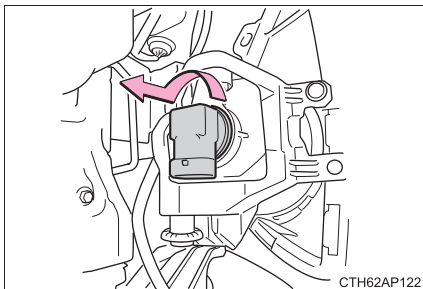
CTH62AP199

- 4 ツメを押し、コネクターを取りはずす



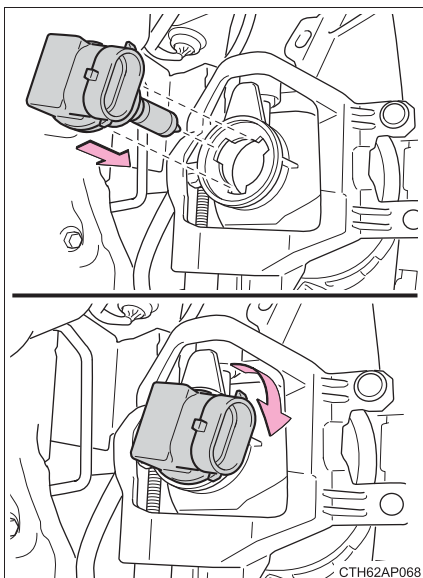
CTH62AP066

5 電球をまわして取りはずす



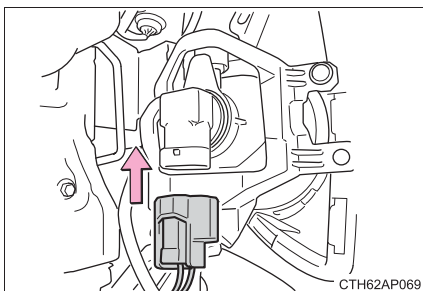
6 電球を交換し取り付ける

取り付け部と電球のツメ（3ヶ所）をあわせて挿し込み、右にまわして固定します。



7 コネクターを取り付ける

コネクターを軽くゆさぶってぐらつきがないことを確認し、いったんフロントフォグランプを点灯させ、ランプの取り付け部からランプの光がもれてないことを目視確認してください。

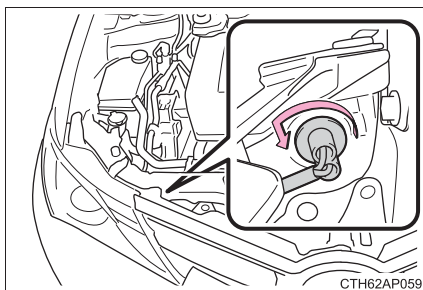


8 フェンダーライナーを取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付け

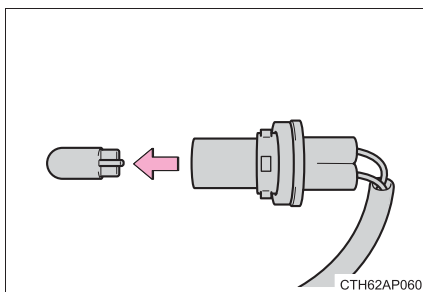
フェンダーライナーがバンパー内側にある事を確認してください。

■ 車幅灯（ハロゲンヘッドランプ装着車）

- 1 ソケットをまわして取りはずす



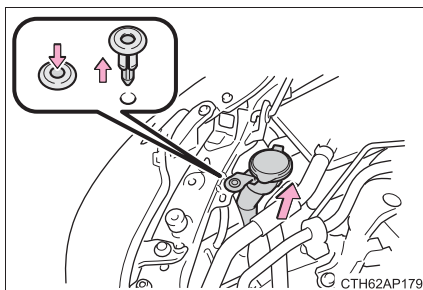
- 2 電球を取りはずす



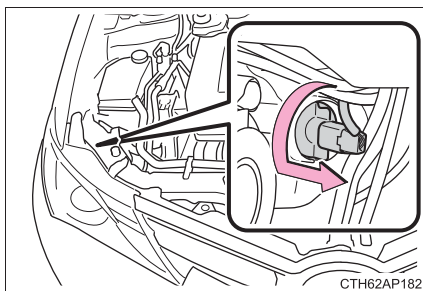
- 3 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

■ フロント方向指示灯／非常点滅灯

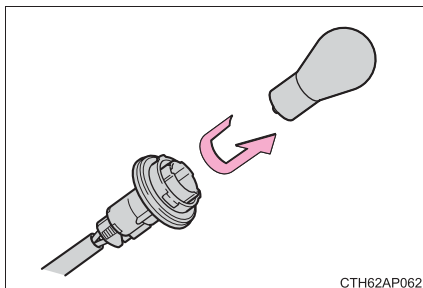
- 1 固定クリップをはずし、ウォッシャー液補給口を引き出す（右側の電球交換時のみ）



- 2 ソケットをまわして取りはずす

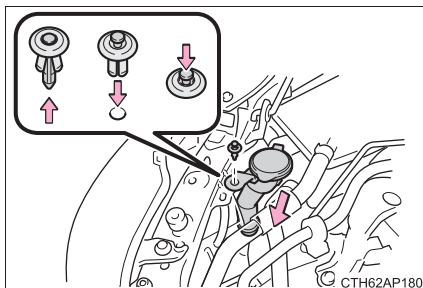


- 3 電球を取りはずす



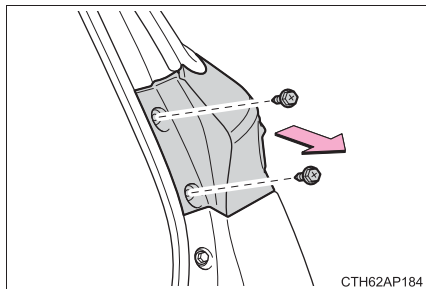
- 4 電球とソケットを取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

- 5 ウォッシャー液補給口を取り付け、固定クリップを取り付ける（右側の電球交換時のみ）

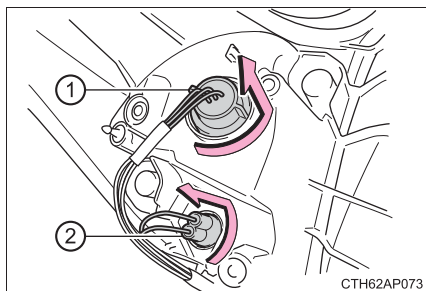


■ 尾灯／制動灯、リヤ方向指示灯／非常点滅灯

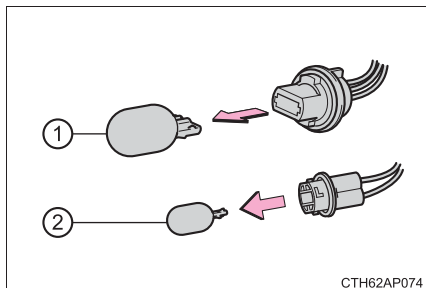
- 1** バックドアを開け、スクリュー（2本）をはずし、ランプ本体をまっすぐ後方に引き、取りはずす



- 2** ソケットをまわして取りはずす
- ① 尾灯／制動灯
 - ② リヤ方向指示灯／非常点滅灯

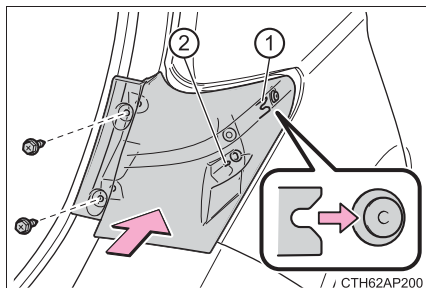


- 3** 電球を取りはずす
- ① 尾灯／制動灯
 - ② リヤ方向指示灯／非常点滅灯



- 4** 電球とソケットを取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

- 5** ランプ本体を取り付け、スクリュー（2本）を取り付ける
- 外側のツメ（①）とクリップを合わせてからピン（②）を合わせて取り付けてください。

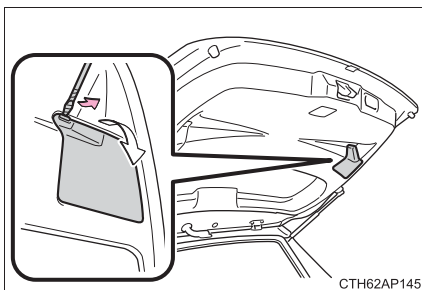


■ 後退灯

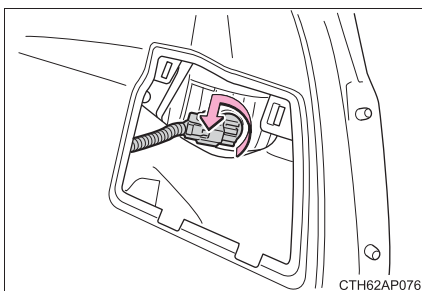
- 1 バックドアを開け、カバーを取りはずす

マイナスドライバーなどを上の穴に挿し込み、図のように取りはずす

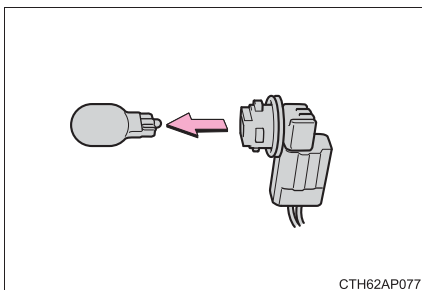
傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端にテープなどを巻いて保護してください。



- 2 ソケットをまわして取りはずす



- 3 電球を取りはずす



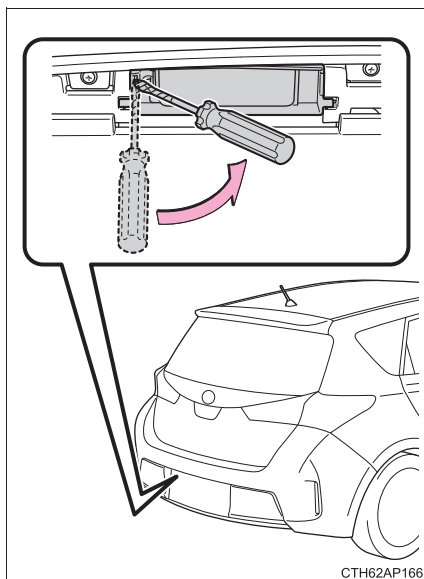
- 4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

■ 番号灯

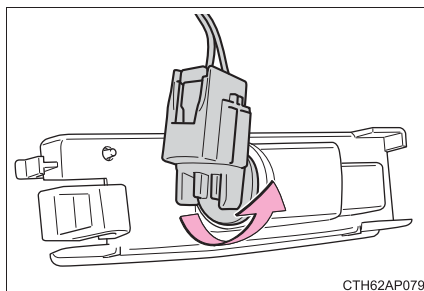
1 ランプ本体を取りはずす

マイナスドライバーなどをランプ横の穴に挿し込み、図のように取りはずします。

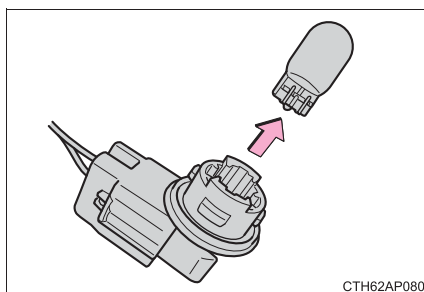
傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端にテープなどを巻いて保護してください。



2 ソケットをまわして取りはずす



3 電球を取りはずす



4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

■ 次の電球を交換するには

次のランプが切れたときは、トヨタ販売店で交換してください。

- ヘッドランプ（ディスチャージヘッドランプ装着車）
- 車幅灯（ディスチャージヘッドランプ装着車）
- サイド方向指示灯／非常点滅灯
- ハイマウントストップランプ

知識

■ ディスチャージヘッドランプの作動（ディスチャージヘッドランプ装着車）

作動電圧範囲をはずれると、ランプが消灯したり、点灯しなくなります。
電圧が正常にもどると再点灯します。

■ LED ランプについて

車幅灯（ディスチャージヘッドランプ装着車）、ハイマウントストップランプは、数個の LED で構成されています。もし LED がひとつでも点灯しないときは、トヨタ販売店で交換してください。

■ レンズ内の水滴と曇り

次のようなときは、トヨタ販売店にご相談ください。ただし、レンズ内の一時的な曇りは、機能上問題ありません。

- レンズ内側に大粒の水滴が付いている
- ランプ内に水がたまっている

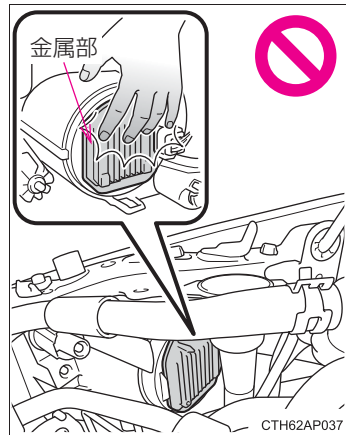
■ 電球（バルブ）を交換するとき

→ P. 270

⚠ 警告

■電球を交換するとき

- ランプは消灯してください。消灯直後は高温になっているため、交換しないでください。やけどをすることがあります。
- 電球のガラス部を素手でふれないでください。
プラスチック部または金属ケース部を持ってください。また、電球を傷付けたり、落下させたりすると球切れや破裂することがあります。
- 電球や電球を固定するための部品はしっかり取り付けてください。取り付けが不十分な場合、発熱や発火、またはヘッドランプ内部への浸水による故障や、レンズ内に曇りが発生することがあります。
- ディスチャージヘッドランプ装着車：
ヘッドランプの点灯中および消灯直後はヘッドランプ裏の金属部が高温となっているため、さわらないでください。
やけどをすることがあります。



■ディスチャージヘッドランプについて（ディスチャージヘッドランプ装着車）

- 交換するとき（電球交換含む）は、必ずトヨタ販売店にご相談ください。
- 点灯中は、高電圧ソケットにふれないでください。
瞬間的に 3 万ボルトの電圧が発生するため、感電により重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 電球・ソケット・電気回路、および構成部品を、修理または分解しないでください。
感電により重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■お車の故障や火災を防ぐために

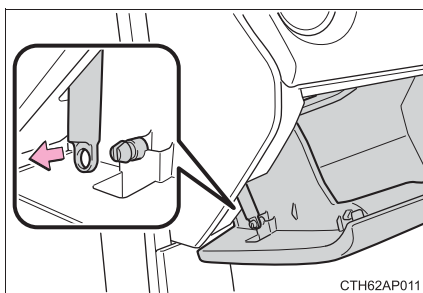
電球が正しい位置にしっかりと取り付けられていることを確認してください。

エアコンフィルターの交換

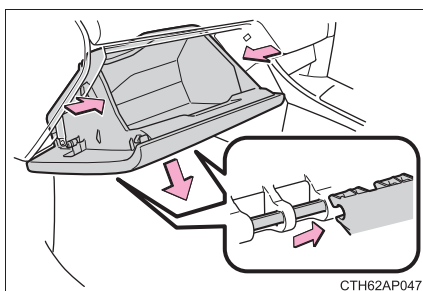
エアコンを快適にお使いいただくために、エアコンフィルターを定期的に清掃、または交換してください。

■ 交換のしかた

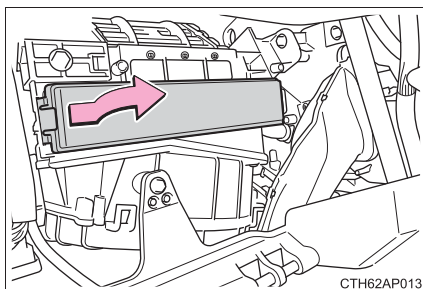
- 1 スマートエントリー＆スタートシステム非装着車：エンジンスイッチを“LOCK”にする。
スマートエントリー＆スタートシステム装着車：エンジンスイッチをOFFにする。
- 2 グローブボックスを開き、ダンパーステーのピンをはずす



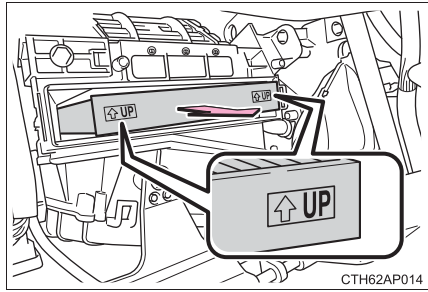
- 3 グローブボックス側面を内側に押して上部のツメを片側ずつはずし、下部のツメをはずして取りはずす



- 4 フィルターカバーを取りはずす



- 5 フィルターを取りはずし、新しいフィルターと交換する
 「↑ UP」マークの矢印が上を向くように取り付けます。



知識

■ エアコンフィルターの清掃・交換について

エアコンフィルターは下記の時期を目安に交換してください。

交換：15,000 km [7,500 km ※] ごと

※大都市や寒冷地など、交通量や粉じんの多い地区

■ エアコンの風量が減少したときは

フィルターの目詰まりが考えられますので、フィルターを交換してください。

⚠ 注意

■ エアコンを使用するときの注意

フィルターを装着せずにエアコンを使用すると、故障の原因となることがあります。必ずフィルターを装着してください。

万一の場合には

7

7-1. まず初めに

故障したときは.....	288
非常点滅灯 （ハザードランプ）.....	289
発炎筒.....	290
車両を緊急停止するには.....	292

7-2. 緊急時の対処法

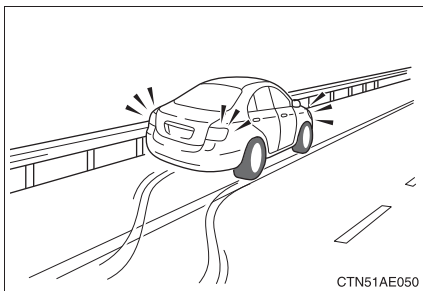
けん引について.....	294
警告灯がついたときは.....	299
警告メッセージが 表示されたときは.....	305
パンクしたときは （応急用タイヤ装着車）.....	316
パンクしたときは （タイヤパンク応急 修理キット装着車）.....	328
エンジンが かからないときは.....	342
シフトレバーが シフトできないときは.....	344
電子キーが正常に 働かないときは.....	345
バッテリーが あがったときは.....	347
オーバーヒート したときは.....	351
スタックしたときは.....	353

故障したときは

故障のときはすみやかに次の指示に従ってください。

非常点滅灯（→ P. 289）を点滅させながら、車を路肩に寄せ停車する

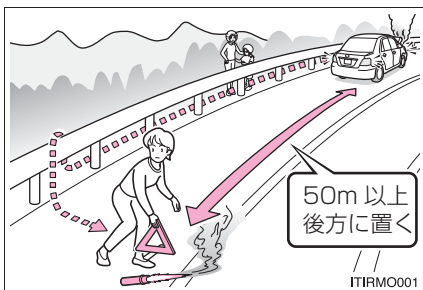
非常点滅灯は、故障などでやむを得ず路上駐車する場合、他車に知らせるため使用します。



CTN51AE050

高速道路や自動車専用道路では、次のことに従う

- 同乗者を避難させる
- 車両の50m 以上後方に発炎筒（→ P. 290）と停止表示板を置くか、停止表示灯を使用する
 - ・ 見通しが悪い場合はさらに後方に置いてください。
 - ・ 発炎筒は、燃料もれの際やトンネル内では使用しないでください。
- その後、ガードレールの外側などに避難する

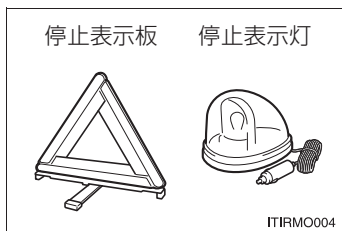


ITIRMO001

知識

■ 停止表示板・停止表示灯について

- 高速道路や自動車専用道路でやむを得ず駐車する場合は、停止表示板または停止表示灯の表示が、法律で義務付けられています。
- 停止表示板・停止表示灯のご購入については、トヨタ販売店にお問い合わせください。



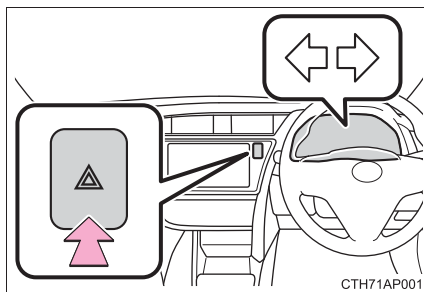
ITIRMO004

非常点滅灯（ハザードランプ）

事故などでやむを得ず路上駐車する場合、他車に知らせるために使用してください。

スイッチを押す

すべての方向指示灯が点滅します。
もう一度押すと消灯します。



知識

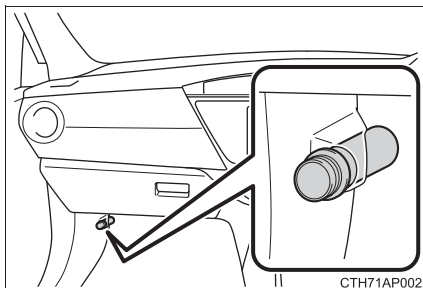
■ 非常点滅灯について

エンジン停止中に非常点滅灯を長時間使用すると、バッテリーがあがるおそれがあります。

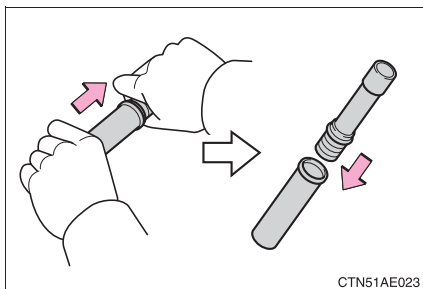
発炎筒

高速道路や踏切などでの故障・事故時に非常信号用として使用します。
(トンネル内や可燃物の近くでは使用しないでください)
発炎時間は約 5 分です。非常点滅灯と併用してください。

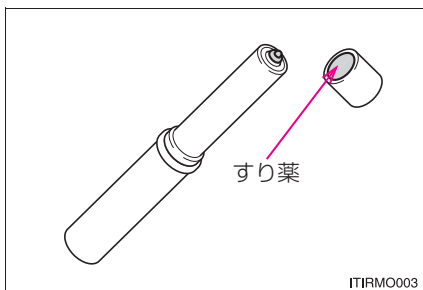
- 1 助手席足元の発炎筒を取り出す



- 2 本体をまわしながら抜き、本体を逆さにして挿し込む



- 3 先端のフタを取り、すり薬で発炎筒の先端をこすり、着火させる
必ず車外で使用してください。
着火させる際は、筒先を顔や体に向けないでください。



 知識

■ 発炎筒の有効期限

本体に表示してある有効期限が切れる前に、トヨタ販売店で求めください。有効期限が切れると、着火しなかったり、炎が小さくなる場合があります。

 警告

■ 発炎筒を使用してはいけない場所

次の場所では、発炎筒を使用しないでください。
煙で視界が悪くなったり、引火するおそれがあるため危険です。

- トンネル内
- ガソリンなど可燃物の近く

■ 発炎筒の取り扱いについて

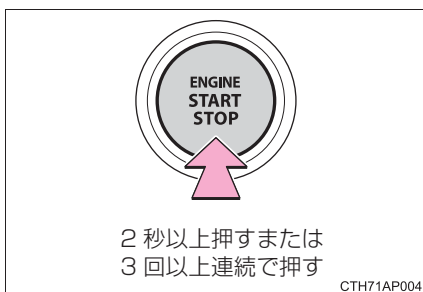
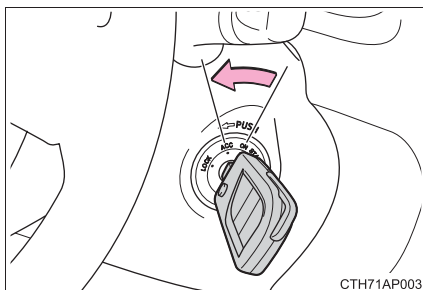
次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

- 使用中は、発炎筒を顔や体に向けたり、近付けたりしない
- 発炎筒は、お子さまにさせない

車両を緊急停止するには

万一、車が止まらなくなったときの非常時のみ、次の手順で車両を停止させてください。

- 1 ブレーキペダルを両足でしっかりと踏み続ける
ブレーキペダルをくり返し踏まないでください。通常より強い力が必要となり、制動距離も長くなります。
- 2 シフトレバーを N に入れる
▶ シフトレバーが N に入った場合
- 3 減速後、車を安全な道路脇に停める
- 4 エンジンを停止する
▶ シフトレバーが N に入らない場合
- 3 ブレーキペダルを両足で踏み続け、可能な限り減速させる
- 4 スマートエントリー&スタートシステム非装着車：エンジンスイッチを“ACC”にして、エンジンを停止する
- 4 スマートエントリー&スタートシステム装着車：エンジンスイッチを 2 秒以上押し続けるか、素早く 3 回以上連続で押してエンジンを停止する
- 5 車を安全な道路脇に停める



 警告**■ 走行中にやむを得ずエンジンを停止するとき**

- ブレーキの効きが悪くなると共にハンドルが重くなるため、車のコントロールがしにくくなり危険です。エンジンを停止する前に、十分に減速するようにしてください。
- スマートエントリー&スタートシステム非装着車：キーを抜くとハンドルがロックされるため、キーは絶対に抜かないでください。

けん引について

けん引は、できるだけトヨタ販売店または専門業者にご依頼ください。

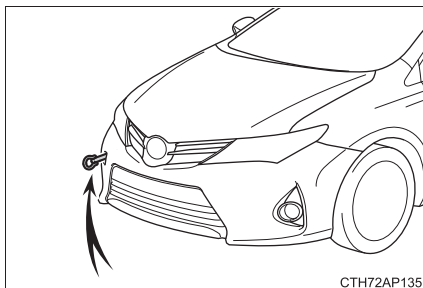
けん引される前に

次の場合は、駆動系の故障が考えられるため、トヨタ販売店へご連絡ください。

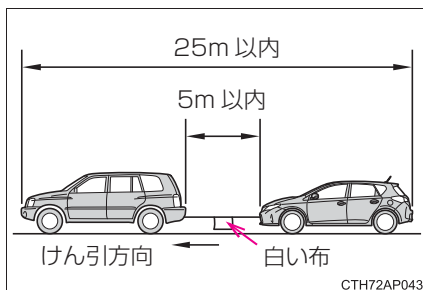
- エンジンが回っているのに車が動かない
- 異常な音がする

けん引されるとき

- 1 車体に傷が付かないようにロープをけん引フックにかける
前進方向でけん引してください。



- 2 ロープの中央に白い布を付ける
布の大きさ：
0.3m 平方 (30cm × 30cm) 以上



3 エンジンを始動する

スマートエントリー & スタートシステム非装着車：

エンジンがかからないときは、エンジンスイッチを“ACC”または“ON”にしてください。

スマートエントリー & スタートシステム装着車：

エンジンがかからないときは、エンジンスイッチをアクセサリモードまたはイグニッション ON モードにしてください。

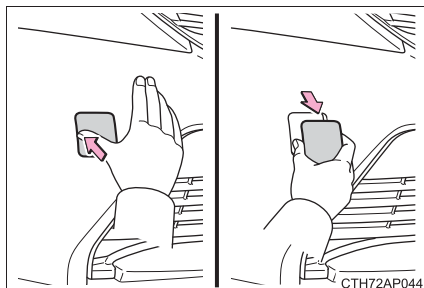
4 けん引される車両のシフトレバーを N にしてから、パーキングブレーキを解除する

けん引中は、ロープがたるまないよう、減速時なども前の車の速度に合わせてください。

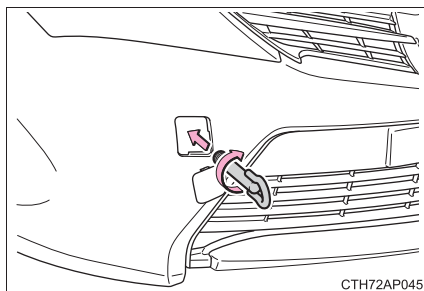
けん引フックの取り付け方

1 けん引フックを取り出す (→ P. 317, 329)

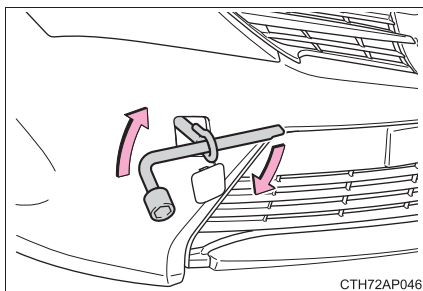
2 フタを押してははずす



3 けん引フックを穴に挿し込んでまわし、軽く締める



- 4 ホイールナットレンチを使い確実に取り付ける



知識

■けん引フックの使用目的

けん引フックはけん引されるときに使うものであり、他車をけん引するためのものではありません。

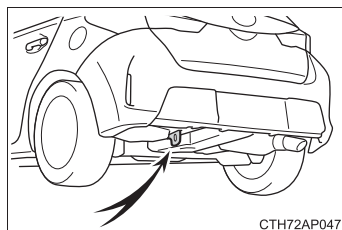
■けん引されるときに

エンジンが停止しているとブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が通常より重くなったりします。

固縛用フック（リヤ）

リヤの固縛用フックを緊急用フックとしても使用できます。

雪の吹きだまりなどでスタックして走行できなくなったときに緊急的に他車に引っ張り出してもらうときに使用するものです。他車をけん引することはできません。



⚠ 警告

次のことを必ずお守りください。

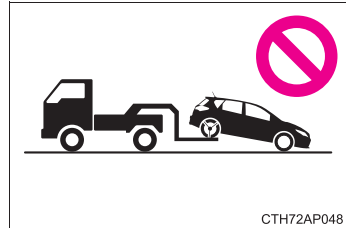
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■けん引するとき

次のことを必ずお守りください。

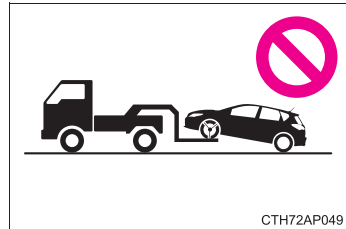
お守りいただかないと駆動装置が損傷したり、車が台車から飛び出すおそれがあります。

FF 車：前輪が地面に付いた状態でうしろからけん引しない



CTH72AP048

4WD 車：前輪または後輪のいずれかの車輪が地面に付いた状態でけん引しない



CTH72AP049

■けん引中の運転について

- けん引を行うときは、細心の注意を払ってください。

けん引フックやロープに過剰な負荷をかける急発進は避けてください。

けん引フックやロープが破損し、その破片が周囲の人などにあたるおそれがあります。

- スマートエントリー& スタートシステム非装着車：エンジンスイッチを“LOCK”にしないでください。

スマートエントリー & スタートシステム装着車：エンジンスイッチを OFF にしないでください。

ハンドルがロックされハンドル操作ができなくなるおそれがあります。

■けん引フックを車両に取り付けるとき

指定の位置にしっかりと取り付けてください。

指定の位置にしっかりと取り付けていないとけん引時にフックがはずれるおそれがあります。

 注意**■車両の損傷を防ぐために**

- けん引するときは次のことを必ずお守りください。
 - ・ワイヤーロープは使用しない
 - ・速度は 30km/h 以下、距離は 80km 以内でけん引する
 - ・前進方向でけん引する
 - ・サスペンション部などにロープをかけない
- この車両で他車やボート（トレーラー）などをけん引しないでください。

■Stop & Start システム装着車をけん引するときは（Stop & Start システム装着車）

4 輪すべてを接地した状態でけん引しないでください。4 輪とも持ち上げた状態で運搬するか、前輪だけを持ち上げた状態でけん引してください。

警告灯がついたときは

警告灯が点灯または点滅したままの場合は、落ち着いて次のように対処してください。なお、点灯・点滅しても、その後消灯すれば異常ではありません。ただし、同じ現象が再度発生した場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

ただちに停車してください。走行を続けると危険です。

次の警告はブレーキの故障のおそれがあることを意味します。ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。

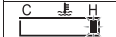
警告灯	警告灯名・警告内容
	ブレーキ警告灯（警告ブザー）※ ・ ブレーキ液の不足 ・ ブレーキ倍力システムの異常 パーキングブレーキが解除されていないときも点灯します。解除後、消灯すれば正常です。

※ パーキングブレーキ未解除走行時警告ブザー：

パーキングブレーキをかけたまま、車速が5 km/h 以上になると警告ブザーが鳴ります。

ただちに停車してください。

次の警告は、お車へのダメージや思わぬ危険を招くおそれがあることを意味します。ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。

警告灯	警告灯名・警告内容
	充電警告灯★ 充電システムの異常
	油圧警告灯★ エンジンオイルの圧力異常
 	高水温警告灯★ ガソリンエンジン冷却水温の異常（→P. 351）

★：仕様により異なる装備やオプション装備

ただちに点検を受けてください。

次の警告は、放置するとシステムが正しく働かず、思わぬ危険や故障を招くおそれがあることを意味します。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

警告灯	警告灯名・警告内容
	エンジン警告灯 ・ エンジン電子制御システムの異常 ・ 電子制御スロットルの異常 ・ トランスミッション電子制御システム★の異常
	SRS エアバッグ／プリテンショナー警告灯 ・ SRS エアバッグシステムの異常 ・ プリテンショナー付きシートベルトシステムの異常
	ABS & ブレーキアシスト警告灯 ・ ABS の異常 ・ ブレーキアシストの異常
	パワーステアリング警告灯 EPS（エレクトリックパワーステアリング）の異常
 (点灯)	スリップ表示灯 ・ VSC システムの異常 ・ TRC システムの異常 ・ ヒルスタートアシストコントロールシステム★の異常 上記のシステムの作動時には、点滅します。 (→P. 174, 178)
 (点滅)	AFS OFF 表示灯★ AFS（アダプティブフロントライティングシステム）の異常
 (点灯)	4WD 警告灯★ 4WD システムの異常（点滅したとき →P. 301）
 (点滅)	Stop & Start キャンセル表示灯★ Stop & Start システムの異常 （Stop & Start システム非作動時は点灯します。→P. 170）
 (15 秒間黄色点滅)	スマートエントリー&スタートシステム表示灯★ スマートエントリー&スタートシステムの異常時に警告ブザーとともに 15 秒間黄色に点滅します。

★：仕様により異なる装備やオプション装備

ただちに処置してください。

次の警告はそれぞれの対処方法に従って処置し、警告灯が消灯するのを確認してください。

警告灯	警告灯名・警告内容	対処方法
	半ドア警告灯★（警告ブザー※¹） いずれかのドアが確実に閉まっていない	全ドアを閉める
	燃料残量警告灯 燃料の残量が約 7.5L 以下になった	燃料を補給する
	シートベルト非着用警告灯（警告ブザー※²） 運転席・助手席シートベルトの非着用	シートベルトを着用する
	マスターウォーニング★ システムの異常時にブザーと共に点灯・点滅し、マルチインフォメーションディスプレイ上に警告メッセージを表示します。	→ P. 305
	4WD 警告灯★ 駆動系の発熱（点灯のみのとき→ P. 300）	スピードを落として低速走行するまたはエンジンをかけたまま停車する。

※¹ 半ドア走行時警告ブザー：
各ドアが確実に閉まっていない状態のまま、車速が 5 km/h 以上になると警告ブザーが鳴ります。

※² 運転席・助手席シートベルト非着用警告ブザー：
運転席・助手席シートベルト非着用のまま車速が約 20 km/h 以上になると警告ブザーが 1 回鳴ります。その後も運転席・助手席シートベルト非着用のまま 30 秒を経過すると、30 秒間断続的に鳴り、さらにブザーの音がかわり 90 秒間鳴ります。

★：仕様により異なる装備やオプション装備

ただちに処置してください（スマートエントリー&スタートシステム装着車）

それぞれの対処方法に従って処置し、警告灯が消灯するのを確認してください。

警告ブザー		警告灯	警告灯名・警告内容	対処方法
車内	車外			
連続音	連続音	 (黄色点滅)	スマートエントリー&スタートシステム表示灯（オートマチック車） シフトレバーが P 以外の状態で、エンジンスイッチを OFF にせずに電子キーを持ち出したまま運転席ドアが開閉された	・ シフトレバーを P にする ・ 電子キーを車内にもどす
1 回	3 回	 (黄色点滅)	スマートエントリー&スタートシステム表示灯（オートマチック車） シフトレバーが P の状態で、エンジンスイッチを OFF にせずに、運転席ドアが開閉され電子キーを持ち出した	エンジンスイッチを OFF にしたあと、電子キーを車内から持ち出す
			スマートエントリー&スタートシステム表示灯 エンジンスイッチが OFF 以外の状態で運転席以外のドアが開閉され同乗者が電子キーを持ち出した	電子キーを車内にもどす

警告ブザー		警告灯	警告灯名・警告内容	対処方法
車内	車外			
1 回	連続音 (5 秒間)	 (黄色点滅)	スマートエントリー&スタートシステム表示灯 エンジンスイッチをOFF にせずに、電子キーを持ち出してスマートエントリー&スタートシステムでドアを施錠しようとした	エンジンスイッチをOFF にしたあと、再度施錠する
1 回	—	 (15 秒間黄色点滅)	スマートエントリー&スタートシステム表示灯 電子キーを携帯していない状態でエンジンを始動しようとした	電子キーを携帯してエンジンを始動する
9 回	—	 (黄色点滅)	スマートエントリー&スタートシステム表示灯 電子キーが車室内にない状態で走行をはじめた	車室内に電子キーがあるか確認する
1 回	—	 (15 秒間黄色点滅)	スマートエントリー&スタートシステム表示灯 電子キーの電池残量が少ない	新しい電池と交換する (→ P. 261)
1 回	—	 (15 秒間緑色に速点滅)	スマートエントリー&スタートシステム表示灯 エンジンスイッチを押してから約3秒以内にステアリングロックが解除できなかった	ブレーキを踏んでハンドルを左右にまわしながらエンジンスイッチを押す (→ P. 135)

警告ブザー		警告灯	警告灯名・警告内容	対処方法
車内	車外			
1 回	—	 (30 秒間 黄色点滅)	スマートエントリー&スタートシステム表示灯 ・メカニカルキーで解錠してエンジンスイッチを押したとき、車室内で電子キーを検知できなかった ・エンジンスイッチを押したとき、車室内で電子キーを検知できないことが2回連続で続いた	ブレーキペダルを踏みながら電子キーで、エンジンスイッチにふれる (→ P. 345)

 知識

■ シートベルト非着用警告灯の乗員検知センサーの作動について

- 助手席に乗員がいなくても、シートに荷物などを置くと、センサーが重量を検知して警告灯が点滅することがあります。
- 助手席に座布団などを敷くと、センサーが乗員を検知せず警告灯が作動しないことがあります。

■ パワーステアリング警告灯／警告ブザーについて

バッテリーの充電が不十分な場合、または一時的に電圧が下がった場合に警告灯が点灯し、警告ブザーが鳴ることがあります。

 警告

■ パワーステアリング警告灯が点灯したとき

ハンドルが非常に重くなることがあります。
ハンドル操作が通常より重いときは、ハンドルをしっかりと持ち、通常より強く操作してください。

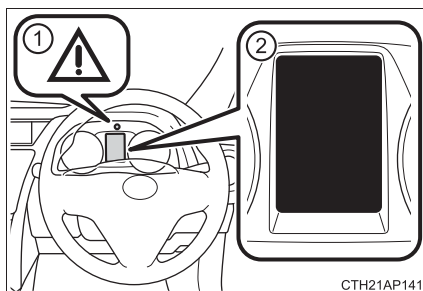
警告メッセージが表示されたときは（マルチインフォメーションディスプレイ装着車）

マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示された場合は、落ち着いて次のように対処してください。

① マスターウォーニング

マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示されているとき、点灯・点滅します。

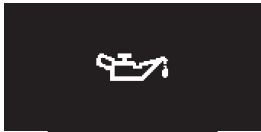
② マルチインフォメーションディスプレイ



処置後に再度メッセージが表示されたときは、トヨタ販売店へご連絡ください。

ただちに停車してください。

警告ブザーと共に警告メッセージが表示されます。次の警告は、お車への損傷や思わぬ危険を招くおそれがあることを意味します。ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。

警告メッセージ	警告内容
	エンジンオイル圧力の異常 - エンジンオイルの圧力が異常に低いと表示されます。 - 警告ブザーが鳴ります。
	充電系統の異常

ただちに点検を受けてください。

警告ブザーと共に警告メッセージが表示されます。次の警告は、放置すると、システムが正しく働かず、思わぬ危険や故障を招くおそれがあることを意味します。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

警告メッセージ	警告内容
4WD システムチェック 	4WD システム★の異常 警告ブザーが鳴ります。
AHB システムチェック 	オートマチックハイビームシステム★の異常 警告ブザーが鳴ります。
スマートエントリー & スタートシステム チェック  (点滅)	スマートエントリー&スタートシステムの異常 警告ブザーが鳴ります。

★：仕様により異なる装備やオプション装備

ただちに処置してください。

警告ブザーと共に警告メッセージが表示されます。次の警告はそれぞれの対処方法に従って処置し、警告メッセージが消灯するのを確認してください。

警告メッセージ	警告内容	対処方法
   	各ドアが確実に閉まっていない 開いているドアが表示されます。 各ドアが確実に閉まっていない状態のまま、車速が5 km/hをこえたときには警告ブザーが鳴ります。	各ドアを閉める
	バックドアが確実に閉まっていない バックドアが確実に閉まっていない状態のまま、車速が5 km/hをこえたときには警告ブザーが鳴ります。	バックドアを閉める
パーキングブレーキを解除して下さい 	パーキングブレーキが解除されていない ・パーキングブレーキをかけたまま、車速が5 km/hをこえたときには  が点滅します。 ・警告ブザーが鳴ります。	パーキングブレーキを解除する

警告メッセージ	警告内容	対処方法
ライトが 点灯しています  (点滅)	車幅灯点灯時に、運転席 ドアを開けた 警告ブザーが鳴りま す。	車幅灯を消灯する。
Pレンジに 入れて下さい  (点滅) (オートマチック車)	シフトレバーがP以外の 状態で、運転席ドアが開 いた 警告ブザーが鳴りま す。	シフトレバーをPにする
4WD システム過熱 2WDに 切替えました  (点滅)	4WD システム★の過熱 警告ブザーが鳴りま す。	スピードを落として低速 走行するまたはエンジ ンかけたまま停車する。
4WD システム過熱  (点滅)	4WD システム★の過熱 警告ブザーが鳴りま す。	スピードを落として低速 走行するまたはエンジ ンかけたまま停車する。

★：仕様により異なる装備やオプション装備

ただちに処置してください。

それぞれの対処方法に従って処置し、警告メッセージが消灯するのを確認してください。

車内 警告 ブザー	車外 警告 ブザー	警告メッセージ	警告内容	対処方法
1 回	なし		電子キーを携帯していないか、電子キーが正常に作動しない状態でエンジンを始動しようとした	電子キーを携帯してエンジンを始動する
1 回	3 回		エンジンスイッチが OFF 以外の状態で運転席以外のドアが開閉され同乗者が電子キーを持ち出した	電子キーを車内にもどす
			シフトレバーがPの状態でエンジンスイッチを OFF にせずにキーを持ち出したまま運転席ドアが開閉された	エンジンスイッチを OFF にするまたは電子キーを車内にもどす

車内 警告 ブザー	車外 警告 ブザー	警告メッセージ	警告内容	対処方法
1 回	連続音	キーが 見つかりません 電源を OFFして下さい (交互に表示)  (点滅) (オートマチック車)	シフトレバーがPの状態 でエンジンスイ ッチを OFF にせ ずに、電子キー を外に持ち出し てドアを施錠し ようとした	エ ン ジ ン ス イ ッチ を OFF にしたあと、再 度施錠する
9 回	なし	キーが 見つかりません  (点滅)	正 規 の 電 子 キーが車室内 に無い状態で 走行をはじめ た	車室内に電子 キーがあるか 確認する
連続音	なし	Pレンジに 入れて下さい  (点滅) (オートマチック車)	シフトレバー がP以外の状態 で、エンジンス イッチを OFF にせずに運転 席ドアが開いた	シフトレバー をPにする

車内 警告 ブザー	車外 警告 ブザー	警告メッセージ	警告内容	対処方法
連続音	連続音	Pレンジに 入れて下さい キーが 見つかりません (交互に表示)  (点滅) (オートマチック車)	シフトレバーがP以外の状態でエンジンスイッチをOFFにせずにキーを持ち出したまま運転席ドアが開閉された	・シフトレバーをPにする ・電子キーを車内に入れる
なし	連続音	車室内に キーがあります  (点滅)	車内に電子キーを置いたまま、スマートエントリー&スタートシステムでドアを施錠しようとした	車内から電子キーを取り出したあと、再度施錠する
1回	連続音	車室内に キーがあります  (点滅)	車内に電子キーを置いたまま、フロントドアを開き、ロックレバーを施錠側にし、ドアハンドルを引いたままドアを閉めて施錠しようとした	車内から電子キーを取り出したあと、再度施錠する

車内 警告 ブザー	車外 警告 ブザー	警告メッセージ	警告内容	対処方法
1 回	なし	ブレーキを 踏みながら キーで エンジンスイッチに 触れて下さい  (点滅) (オートマチック車)	・メカニカル キーで解錠 してエンジ ンスイッチ を押した際、 車 室 内 で キーを検出 できなかつ た ・エンジンス イッチを押 したとき車 室内でキー を検出でき ないことが2 回連続で続 いた	ブレーキを踏 みながら電子 キーでエンジ ンスイッチに ふれる
		クラッチを 踏みながら キーで エンジンスイッチに 触れて下さい  (点滅) (マニュアル車)	・メカニカル キーで解錠 してエンジ ンスイッチ を押した際、 車 室 内 で キーを検出 できなかつ た ・エンジンス イッチを押 したとき車 室内でキー を検出でき ないことが2 回連続で続 いた	クラッチを踏 みながら電子 キーでエンジ ンスイッチに ふれる

車内 警告 ブザー	車外 警告 ブザー	警告メッセージ	警告内容	対処方法
1 回	なし	始動時は Pレンジに 入れて下さい  (点滅) (オートマチック車)	エンジン始動 不可能なシフ トレバー位置 でエンジンを 始動しようと している	シフトレバー をPにしてから エンジンを始 動させる
なし	なし	バッテリー保護 の為 自動電源OFF しました	自動電源 OFF 機能が作動し た	次回エンジン 始動時にエン ジン回転数を 少し高めにし、 約5分間その回 転数を保持し バッテリーを 充電する
1 回	なし	キーバッテリー 残りわずか 	電子キーの電 池残量が少な い	新しい電池と 交換する (→ P. 261)

車内 警告 ブザー	車外 警告 ブザー	警告メッセージ	警告内容	対処方法
1 回	なし	始動時はブレーキを踏みながらエンジンスイッチを押して下さい  (点滅) (オートマチック車)	エンジンスイッチが OFF の状態で運転席のドアを開閉してからエンジンを始動せずにエンジンスイッチをアクセサリモードに2回した	ブレーキを踏んでエンジンスイッチを押す
			電子キーが正常に働かないときのエンジンの始動の方法(→ P. 345)でエンジンスイッチに電子キーをふれた	ブザーが鳴ってから10秒以内にエンジンスイッチを押す
1 回	なし	始動時はクラッチを踏みながらエンジンスイッチを押して下さい  (点滅) (マニュアル車)	エンジンスイッチが OFF の状態で運転席のドアを開閉してからエンジンを始動せずにエンジンスイッチをアクセサリモードに2回した	クラッチを踏んでエンジンスイッチを押す
			電子キーが正常に働かないときのエンジンの始動の方法(→ P. 345)でエンジンスイッチに電子キーをふれた	ブザーが鳴ってから10秒以内にエンジンスイッチを押す

車内 警告 ブザー	車外 警告 ブザー	警告メッセージ	警告内容	対処方法
1 回	なし	ステアリングロック 未解除  (点滅) (オートマチック車)	エンジンスイッチを押してから約3秒以内にステアリングロックが解除できなかった	ブレーキを踏んでハンドルを左右にまわしながらエンジンスイッチを押す (→ P. 135)
1 回	なし	Pレンジに 入れて下さい  (点滅) (オートマチック車)	シフトレバーが P または N 以外の状態でエンジンスイッチを OFF にした	シフトレバーを P にする
1 回	なし	電源を OFFして下さい  (点滅) (オートマチック車)	シフトレバーがP以外でエンジンスイッチを OFF にしたあとシフトレバーをPにした	エンジンスイッチを OFF にする

知識

■ 警告ブザーについて

状況によっては、外部の騒音やオーディオの音などにより、ブザー音が聞こえない場合があります。

パンクしたときは（応急用タイヤ装着車）

パンクしたタイヤを、備え付けの応急用タイヤと交換してください。
（タイヤについての詳しい説明は P. 257 を参照してください）

⚠ 警告

■ タイヤがパンクしたときは

パンクしたまま走行しないでください。

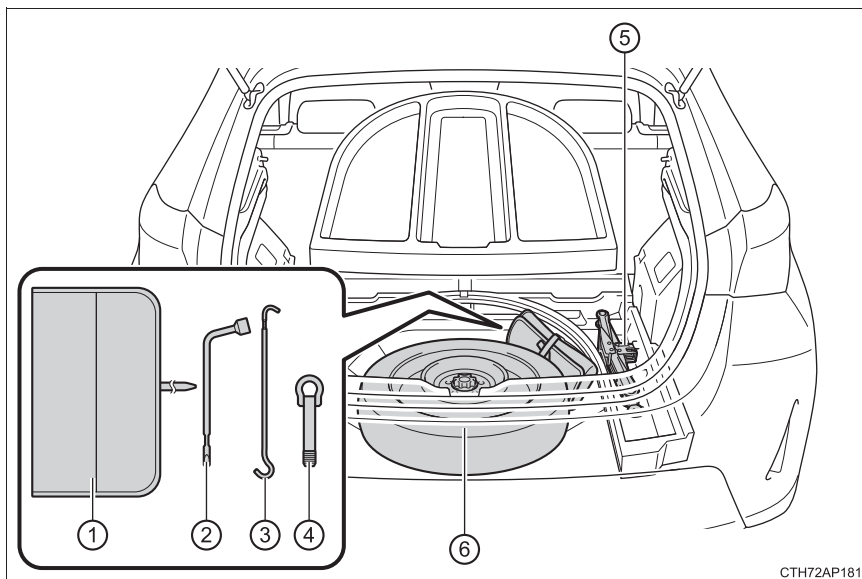
短い距離でも、タイヤとホイールが修理できないほど損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

ジャッキで車体を持ち上げる前に

- 地面が固く平らな場所に移動する
- パーキングブレーキをかける
- シフトレバーを P（オートマチック車）もしくは R（マニュアル車）にする
- エンジンを停止する
- 非常点滅灯を点滅させる

工具とジャッキの位置

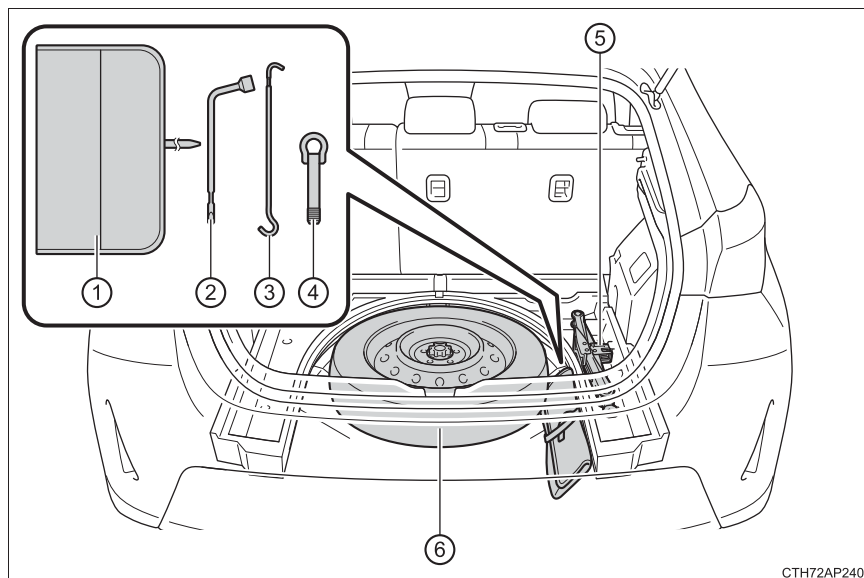
▶ FF 車



CTH72AP181

- | | |
|--------------|----------|
| ① ツールバッグ | ④ けん引フック |
| ② ホイールナットレンチ | ⑤ ジャッキ |
| ③ ジャッキハンドル | ⑥ 応急用タイヤ |

▶ 4WD 車



CTH72AP240

- | | |
|--------------|----------|
| ① ツールバッグ | ④ けん引フック |
| ② ホイールナットレンチ | ⑤ ジャッキ |
| ③ ジャッキハンドル | ⑥ 応急用タイヤ |

 警告**■ ジャッキの使用について**

次のことをお守りください。

ジャッキの取り扱いを誤ると、車が落下して重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ジャッキはタイヤ交換・タイヤチェーン取り付け・取りはずし以外の目的で使
用しない
- 備え付けのジャッキは、お客様の車にしか使うことができないため、他の車に
使ったり他の車のジャッキをお客様の車に使用したりしない
- ジャッキはジャッキセット位置に正しくかける
- ジャッキで支えられている車の下に体を入れない
- 車がジャッキで支えられている状態で、エンジンを始動したり車を走らせない
- 車内に人を乗せたまま車を持ち上げない
- 車を持ち上げるときは、ジャッキの上または下にものを置かない
- 車を持ち上げるときは、タイヤ交換できる高さ以上に上げない
- 車の下にもぐり込んで作業する場合は、ジャッキスタンドを使用する
- 車を下げるときは、周囲に人がいないことを確認し、人がいるときは声をかけ
てから下げる

ジャッキの取り出し方

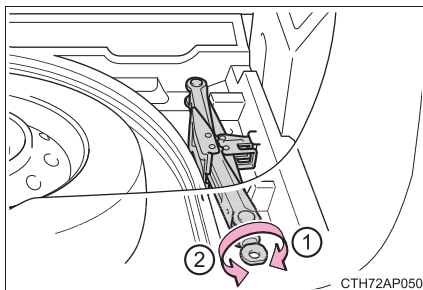
1 フロアボードを取りはずす (→ P. 229)

2 ジャッキをゆるめて取りはずす

① 締まる

② ゆるむ

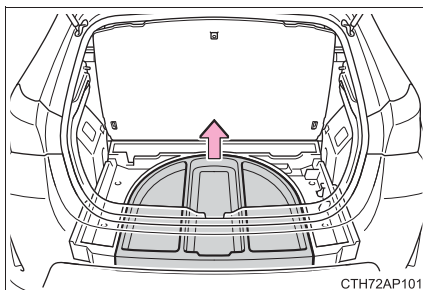
ジャッキを収納するときは、ジャッキを締めてトレイへ押し付けてください。



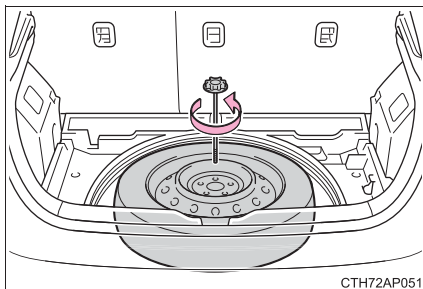
応急用タイヤの取り出し方

1 フロアボードを取りはずす (→ P. 229)

2 FF 車のみ：ラゲージアンダートレイを取りはずす



3 留め具をはずし、スペアタイヤを取り出す



警告

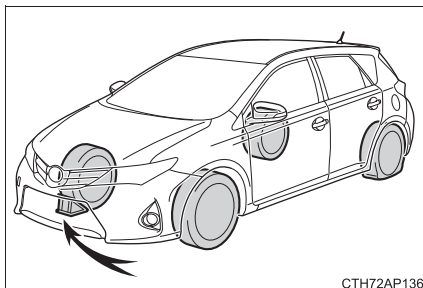
■ 応急用タイヤを収納するとき

ボディと応急用タイヤとのあいだに、指などを挟まないように注意してください。

パンクしたタイヤの交換

1 輪止め※をする

※ 輪止めは、トヨタ販売店で購入することができます。

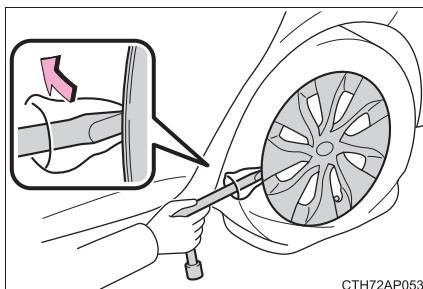


CTH72AP136

パンクしたタイヤ		輪止めの位置
前輪	左側	右側後輪うしろ
	右側	左側後輪うしろ
後輪	左側	右側前輪前
	右側	左側前輪前

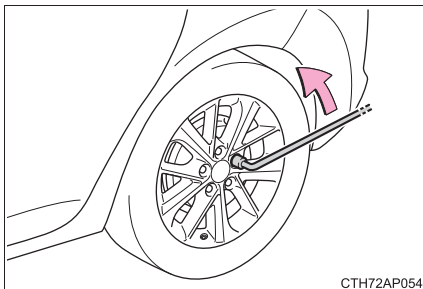
2 ホイールキャップをはずす (スチールホイールのみ)

傷が付くのを防ぐため、ホイールナットレンチの先端に布などを巻いて保護してください。



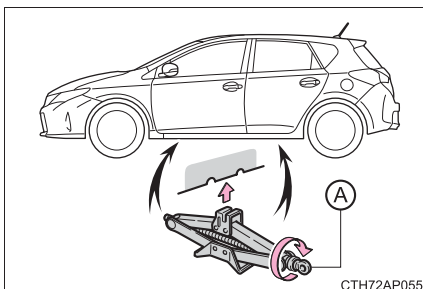
CTH72AP053

- 3 ナットを少し（約 1 回転）ゆるめる



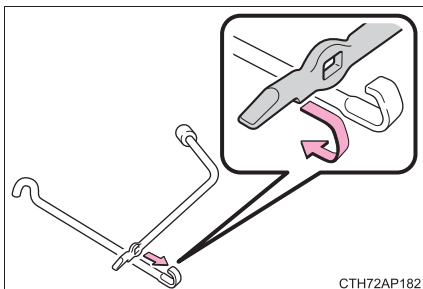
CTH72AP054

- 4 ジャッキの A 部を手でまわして、ジャッキ溝をジャッキセット位置にしっかりかける



CTH72AP055

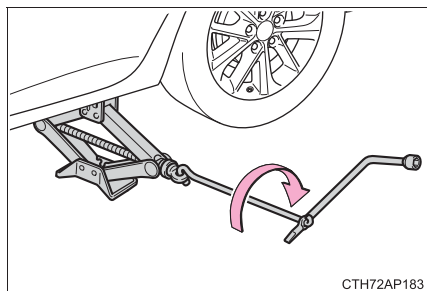
- 5 FF 車のみ：ホイールナットレンチをジャッキハンドルに組み付ける。



CTH72AP182

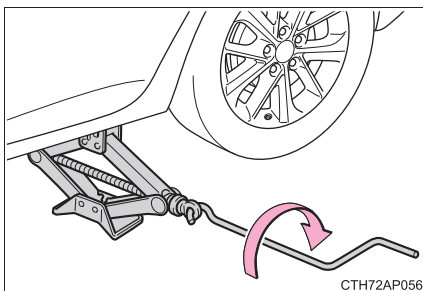
- 6 タイヤが地面から少し離れるまで、車体を上げる

▶ FF 車



CTH72AP183

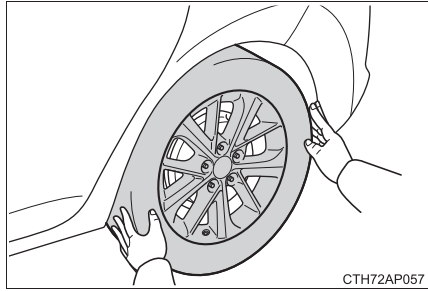
▶ 4WD 車



CTH72AP056

7 ナットすべてを取りはずし、タイヤを取りはずす

タイヤを直接地面に置くときは、ホイールの表面に傷が付かないよう表面を上にします。



CTH72AP057

⚠ 警告

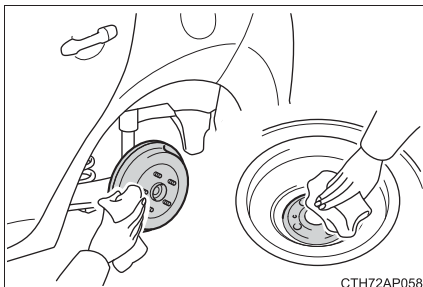
■ タイヤ交換について

- 走行直後、ディスクホイールやブレーキまわりなどにはふれないでください。走行直後のディスクホイールやブレーキまわりは高温になっているためタイヤ交換などで手や足などがふれると、やけどをするおそれがあります。
- 次のことをお守りいただかないとナットがゆるみ、ホイールがはずれ落ち、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
 - ・ ねじ部にオイルやグリースを塗らない
ナットを締めるときに必要以上に締め付けられ、ボルトが破損したり、ディスクホイールが損傷するおそれがあります。またナットがゆるみホイールが落下するおそれがあります。オイルやグリースがねじ部に付いている場合はふき取ってください。
 - ・ ホイールの交換後は、すぐに $103\text{N} \cdot \text{m}$ ($1050\text{kgf} \cdot \text{cm}$) の力でナットを締める
 - ・ タイヤの取り付けには、使用しているホイール専用のナットを使用する
 - ・ ボルトやナットのねじ部や、ホイールのボルト穴につぶれや亀裂などの異常がある場合は、トヨタ販売店で点検を受ける

応急用タイヤの取り付け

- 1 ホイール接触面の汚れをふき取る

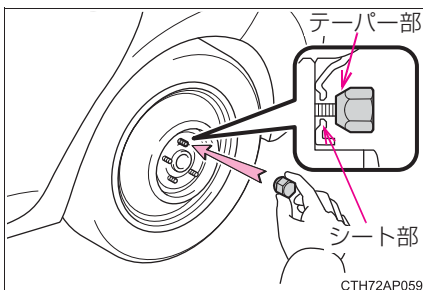
ホイール接触面が汚れていると、走行中にナットがゆるみ、タイヤがはずれのおそれがあります。



CTH72AP058

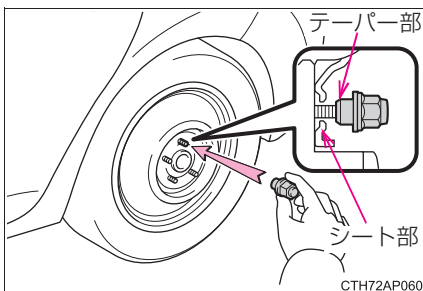
- 2 応急用タイヤを取り付け、タイヤががたつかない程度まで手でナットを仮締めする

スチールホイールから応急用タイヤにかえるとき：
ナットのテーパー部がホイールのシート部に軽くあたるまでまわす



CTH72AP059

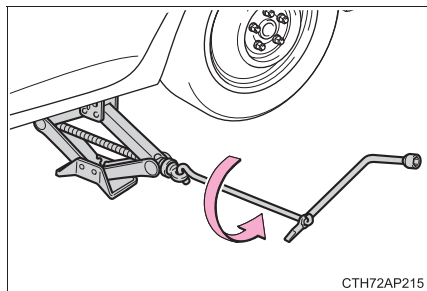
アルミホイールから応急用タイヤにかえるとき：
ナットのテーパー部がホイールのシート部に軽くあたるまでまわす



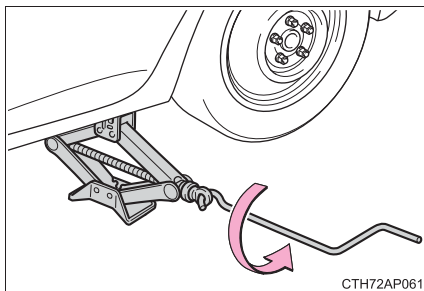
CTH72AP060

3 車体を下げる

▶ FF 車

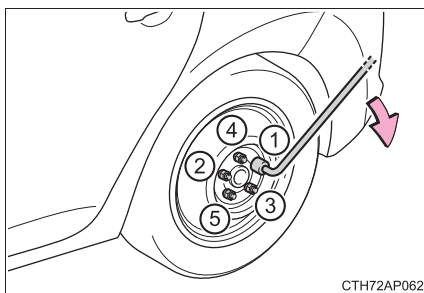


▶ 4WD 車

**4** 図の番号順でナットを 2、3 度
しっかり締め付ける

締め付けトルク：

103N・m (1050kgf・cm)

**5** すべての工具・ジャッキ・パンクしたタイヤを収納する

 知識

■ 応急用タイヤについて

- タイヤの側面に TEMPORARY USE ONLY と書かれています。応急用にのみ使用してください。
- 空気圧を必ず点検してください。(→ P. 361)

■ 応急用タイヤを装着しているとき

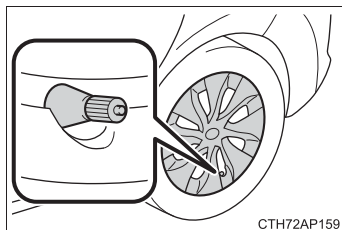
標準タイヤ装着時にくらべ車高が低くなっています。

■ 雪道・凍結路で前輪がパンクしたとき

- 1 後輪を応急用タイヤに交換する
- 2 パンクした前輪をはずした後輪に交換する
- 3 タイヤチェーンを前輪に装着する

■ ホイールキャップを取り付ける時は（スチールホイール装着車）

タイヤのバルブ（空気口）に切り欠きを合わせてホイールキャップを確実に取り付けてください。



 警告**■ 応急用タイヤを使用するとき**

- お客様の車専用になっているため、他の車には使用しないでください。
- 同時に 2 つ以上の応急用タイヤを使用しないでください。
- できるだけ早く通常のタイヤと交換してください。
- 急加速・急ハンドル・急ブレーキやシフト操作による急激なエンジンブレーキの使用は避けてください。

■ 応急用タイヤを装着しているとき

正確な車両速度が検出できない場合があります、次のシステムが正常に作動しなくなるおそれがあります。

- ・ ABS
- ・ ブレーキアシスト
- ・ VSC
- ・ オートマチックハイビーム★
- ・ TRC
- ・ AFS ★
- ・ EPS

また、次のシステムは、性能が十分に発揮できないばかりでなく、駆動系部品に悪影響を与えるおそれがあります。

- ・ 4WD システム★

■ 応急用タイヤ使用時の速度制限

応急用タイヤを装着しているときは、100km/h 以上の速度で走行しないでください。

応急用タイヤは、高速走行に適していないため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

 注意**■ タイヤチェーンの装着について**

応急用タイヤには、タイヤチェーンを装着しないでください。

タイヤチェーンが車体にあたり、車を損傷したり走行に悪影響をおよぼしたりするおそれがあります。

パンクしたときは (タイヤパンク応急修理キット装着車)

タイヤパンク応急修理キット装着車には、スペアタイヤが搭載されていません。

タイヤがパンクしたときは、タイヤパンク応急修理キットで応急修理することができます。釘やネジなどが刺さった程度の軽度なパンクを応急修理できます。(パンク補修液 1 本につき、応急修理できるタイヤは 1 本です)

タイヤパンク応急修理キットで応急修理したタイヤの修理・交換については、トヨタ販売店にご相談ください。

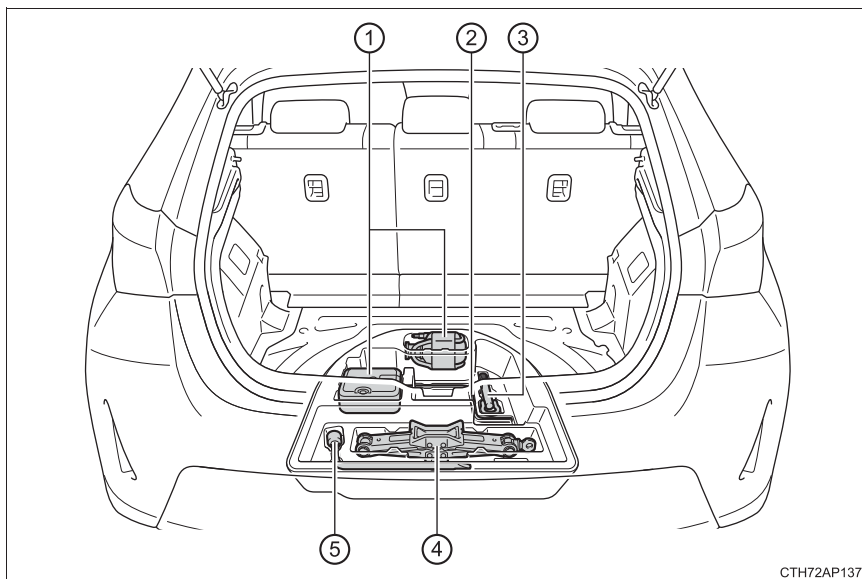
警告

■ パンクしたままの走行について

タイヤがパンクした状態で走行を続けしないでください。
短い距離の運転でも、タイヤとホイールが修理できないほど損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

応急修理する前に

- 地面が固く平らな場所に移動する
- パーキングブレーキをかける
- オートマチック車はシフトレバーを P にする
マニュアル車はシフトレバーを N に入れる
- エンジンを停止する
- 非常点滅灯を点滅させる

タイヤパンク応急修理キット・工具の搭載位置

① タイヤパンク応急修理キット

④ ジャッキ※

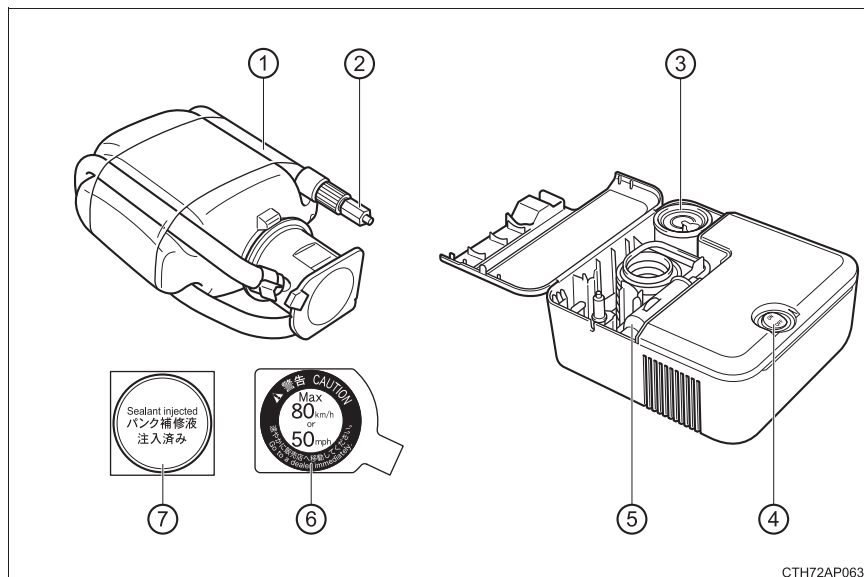
② ジャッキハンドル

⑤ ホイールナットレンチ

③ けん引フック

※ ジャッキの使い方 (→ P. 321)

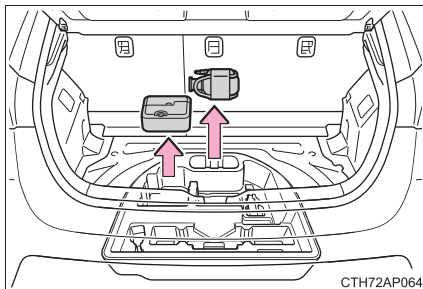
タイヤパンク応急修理キットの内容／各部の名称



- | | |
|-------------|-----------------|
| ① ホース | ⑤ 電源プラグ |
| ② 空気逃がしキャップ | ⑥ 速度制限ラベル |
| ③ 空気圧計 | ⑦ パンク補修液注入済みラベル |
| ④ 電源スイッチ | |

応急修理キットの取り出し方

- 1 アジャスタブルデッキボード装着車：アジャスタブルデッキボードを持ち上げ、固定する（→ P. 229）
- 2 フロアボードを取りはずす（→ P. 229）
- 3 応急修理キットを取り出す

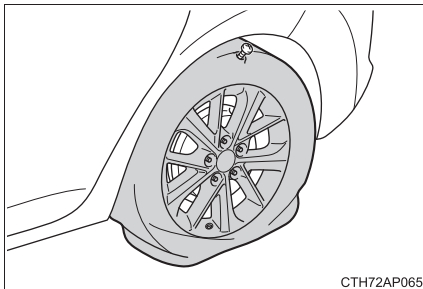


応急修理する前に

タイヤの損傷程度を確認してください。

釘やネジなどが刺さっている場合のみ、タイヤを応急修理してください。

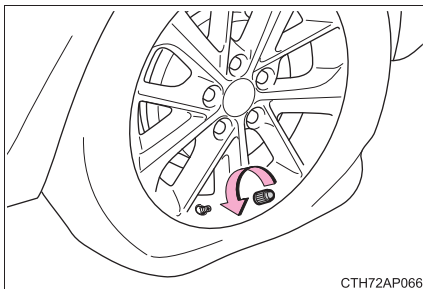
- ・タイヤに刺さっている釘やネジなどは抜かないでください。抜いてしまうと穴が大きくなりすぎ、応急修理ができなくなることがあります。
- ・パンク補修液がもれないようにするため、パンク箇所が分かっている場合は、パンク箇所が上になるように車両を移動してください。



CTH72AP065

応急修理するとき

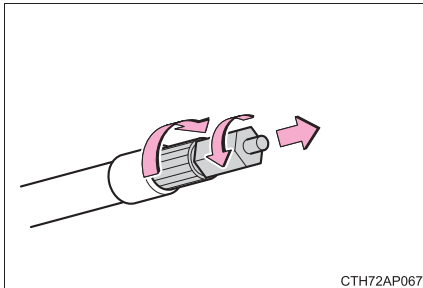
- 1 応急修理キットを取り出す
- 2 パンクしたタイヤのバルブからバルブキャップを取りはずす



CTH72AP066

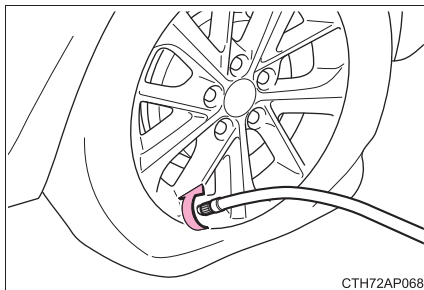
- 3 ボトルの保護フィルムをはがし
ホースをのばす
ボトルのホースから空気逃がし
キャップを取りはずす

ボトルに同封されているパンク補修液注入済ラベルは指定の位置へ貼り付けます。(9へ) 空気逃がしキャップは再度使用するため、なくさないように保管してください。

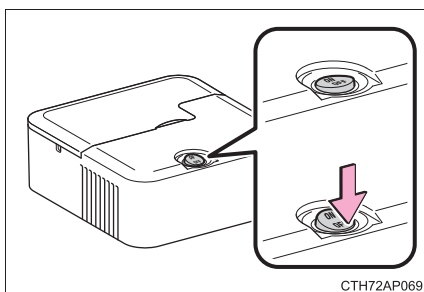


CTH72AP067

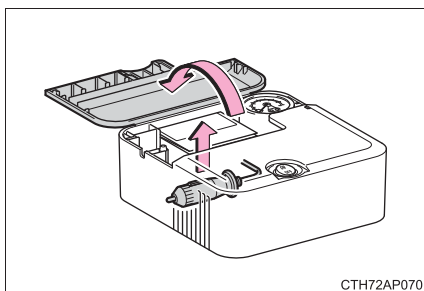
- 4 ボトルのホースをパンクしたタイヤのバルブに接続する
ホース先端を時計まわりにまわして
しっかりと最後までねじ込む。



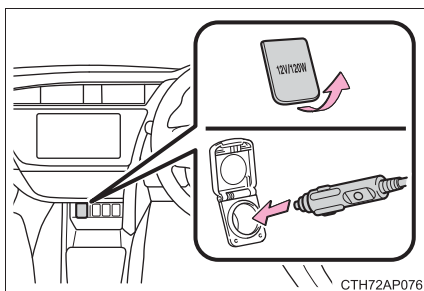
- 5 コンプレッサーのスイッチが
OFFであることを確認する

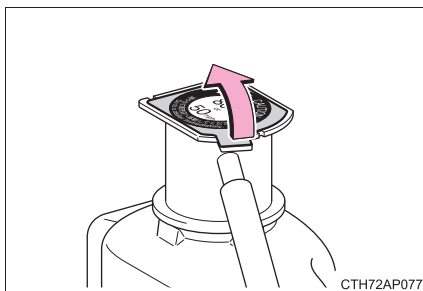


- 6 フタを開けてコンプレッサーの
電源プラグをはずす

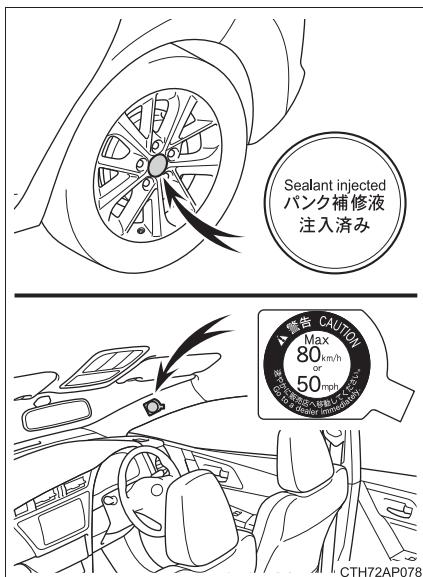


- 7 コンプレッサーの電源プラグを
アクセサリースOCKETに挿し込
む (→P. 237)



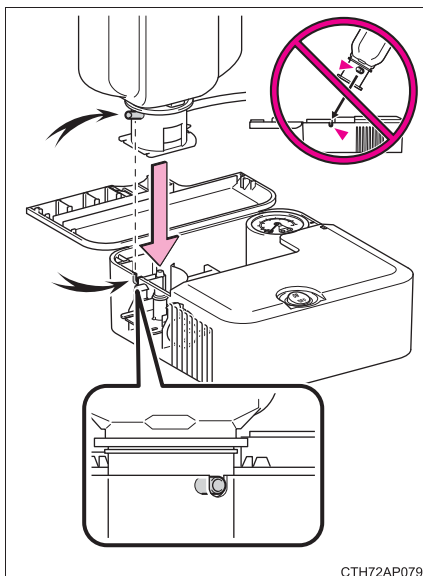
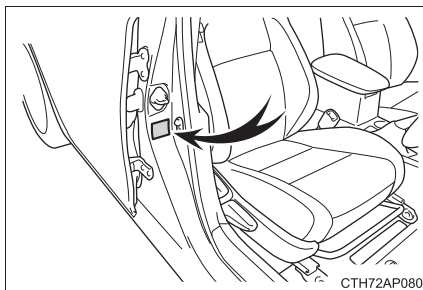
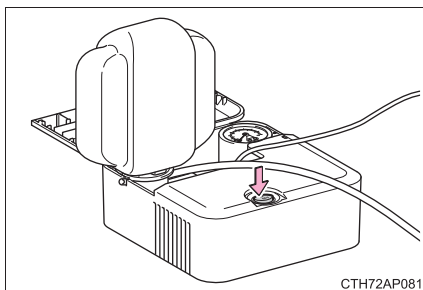
8 速度制限ラベルをはがす**9** 付属のラベル2枚を図のようにそれぞれ貼り付ける

ホイールの汚れや水分を十分に拭き取ってからラベルを貼り付けてください。ラベルを貼り付けることができない場合は、トヨタ販売店にてタイヤを修理・交換するときにパンク補修液注入済であることを必ずお伝えください。



10 ボトルをコンプレッサーに接続する

左の図のように、ボトルをまっすぐコンプレッサーに挿入・接続し、ボトルの突起がケースの溝にしっかり合っているか確認してください。

**11** タイヤの指定空気圧を確認する
運転席側の空気圧ラベルを確認することができます。(→P. 258)**12** エンジンを始動する**13** コンプレッサーのスイッチをONにし、パンク補修液と空気を充填する

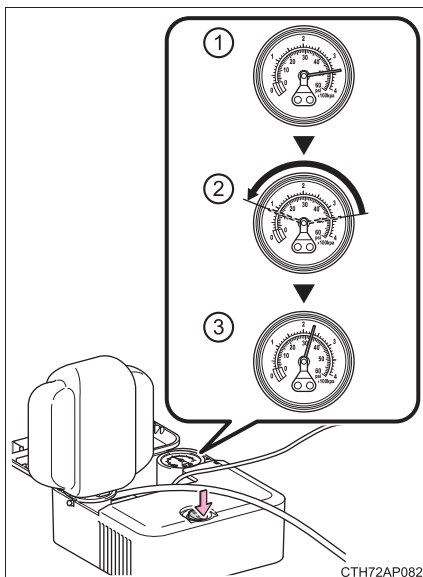
14 空気圧が指定空気圧になるまで空気を充填する

- ① スイッチ ON 直後は、パンク補修液を注入するため、一時的に空気圧計が上昇する
- ② 1 分程度（低温の場合は 5 分程度）で実際の空気圧表示になる
- ③ 指定空気圧になるまで充填する

空気圧は、コンプレッサーのスイッチを OFF にして確認してください。空気の入れすぎに注意して、指定空気圧になるまで充填・確認をくり返してください。

35 分以上充填しても指定空気圧にならない場合は、応急修理できません。トヨタ販売店にご連絡ください。

空気を入れすぎたときは、指定空気圧になるまで空気を抜いてください。（→P. 258, 361）



CTH72AP082

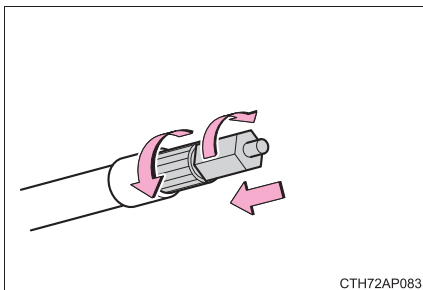
15 コンプレッサーのスイッチが OFF であることを確認した上で、アクセサリソケットから電源プラグを抜く バルブからボトルのホースを取りはずす

ホースを取りはずすときにパンク補修液が漏れる可能性があります。

16 バルブキャップを応急修理したタイヤのバルブに取り付ける

17 ボトルのホース先端に空気逃がしキャップを取り付ける

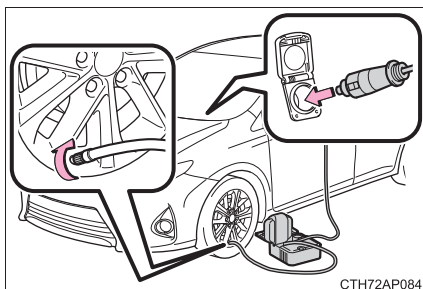
空気逃がしキャップを取り付けないとパンク補修液が漏れ、お車が汚れる可能性があります。



CTH72AP083

18 いったん、ボトルとコンプレッサーを接続したままラゲージルームに収納する

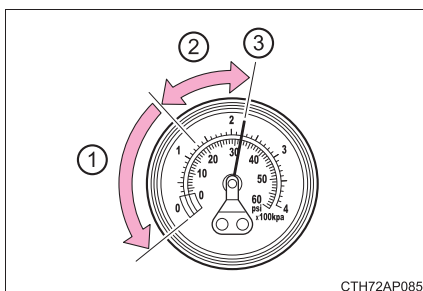
- 19** タイヤ内のパンク補修液を均等に広げるために、ただちに約 5 km、安全に走行する（速度 80 km/h 以下）
- 20** 走行後、ボトルのホースから空気逃がしキャップを取りはずし、再度応急修理キットを接続する



CTH72AP084

- 21** コンプレッサーのスイッチを約 5 秒間 ON にし、OFF にしてから空気圧を確認する

- ① 空気圧が 130 kpa (1.3 kg/cm²) 未満の場合：応急修理できません。トヨタ販売店にご連絡ください。
- ② 空気圧が 130 kpa (1.3 kg/cm²) 以上、指定空気圧未満の場合： **22** へ
- ③ 空気圧が指定空気圧 (→P. 361) の場合： **23** へ



 知識**■ 応急修理キットで修理できないパンク**

次の場合は、応急修理キットでは応急修理できません。トヨタ販売店にご連絡ください。

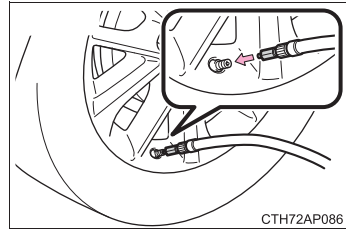
- タイヤ空気圧が不十分な状態で走行してタイヤが損傷しているとき
- タイヤ側面など、接地面以外に穴や損傷があるとき
- タイヤがホイールから明らかにはずれているとき
- タイヤに 4mm 以上の切り傷や刺し傷があるとき
- ホイールが破損しているとき
- 2 本以上のタイヤがパンクしているとき
- 1 本のタイヤに 2 箇所以上の切り傷や刺し傷があるとき

■ 応急修理キットについて

- パンク補修液には有効期限があります。有効期限は容器に表示されています。有効期限が切れる前に交換してください。交換については、トヨタ販売店にご相談ください。
- 応急修理キットのパンク補修液は、1 本のタイヤを一度だけ応急修理できます。使用したパンク補修液の交換は、トヨタ販売店にご相談ください。
- 外気温度が -30℃～60℃のときに使用できます。
- 応急修理キット搭載車両の装着タイヤ専用です。指定タイヤサイズ以外のタイヤや、他の用途には使用しないでください。
- パンク補修液が衣服に付着すると、シミになる場合があります。
- パンク補修液がホイールやボデーに付着した場合、放置すると取れなくなるおそれがあります。ぬれた布などですみやかにふき取ってください。
- 応急修理キット作動中は、大きな音がしますが故障ではありません。

■ 空気を入れすぎてしまったとき

- 1 タイヤからホースを取りはずす
- 2 ホース先端に空気逃がしキャップをかぶせ、キャップの突起部をタイヤのバルブに押しあてて空気を抜く



- 3 ホースから空気逃がしキャップを取りはずし、ホースを再接続する
- 4 コンプレッサーのスイッチを ON にして数秒間経過後、スイッチを OFF にして空気圧計を確認する
指定空気圧より低いときは、再度、コンプレッサーのスイッチを ON にし、指定空気圧になるまで空気を充填してください。

 警告**■パンク補修液について**

- 誤って飲み込むと健康に害があります。その場合はできるだけたくさん水を飲み、ただちに医師の診察を受けてください。
- もし目に入ったり、皮膚に付着したりした場合には、水でよく洗い流してください。それでも異常を感じたときは、医師の診察を受けてください。

■パンクしたタイヤを応急修理するとき

- 車両を安全で平坦な場所に停止させてください。
- タイヤを車両に取り付けた状態で、バルブとホースをしっかりと接続してください。
- 接続が不十分な場合、空気がもれたり、パンク補修液が飛散したりするおそれがあります。
- 充填中にホースがはずれると、圧力でホースが急に動くおそれがあり危険です。
- 充填後、ホースを取りはずすときや空気を抜くときにパンク補修液が飛散する場合があります。
- 破裂の危険があるので、応急修理キットの作動中は補修中のタイヤから離れてください。タイヤに亀裂や変形が発生している場合、ただちにキットのスイッチを OFF にし、修理を中止してください。
- 応急修理キットは、長時間作動させると過熱する可能性があります。10 分以上連続で作動させないでください。
- 応急修理キットの作動中は、部分的に熱くなります。使用中、または使用後の取り扱いには注意してください。
- 速度制限ラベルは指定位置以外に貼らないでください。ハンドルのパッド部分などの SRS エアバッグ展開部に貼ると、SRS エアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。

■補修液を均等に広げるための運転について

- 低速で慎重に運転してください。特にカーブや旋回時には注意してください。
- 車がまっすぐ走行しなかったり、ハンドルをとられたりする場合は、停車し、次のことを確認してください。
 - ・ タイヤを確認してください。タイヤがホイールからはずれている可能性があります。
 - ・ 空気圧を確認してください。130kPa 未満の場合は、タイヤが大きなダメージを受けている可能性があります。

 注意**■ 応急修理をするとき**

- タイヤに刺さった釘やネジを取り除かずに応急修理を行ってください。取り除いてしまうと、応急修理キットでは応急修理ができなくなる場合があります。
- 応急修理キットに防水機能はありません。降雨時などは、水がかからないようにして使用してください。
- 砂地などの砂ぼこりの多い場所に直接置いて使用しないでください。砂ぼこりなどを吸い込むと、故障の原因になります。

■ 応急修理キットについて

- 応急修理キットは DC12V 専用です。他の電源での使用はできません。
- 応急修理キットにガソリンがかかると、劣化するおそれがあります。ガソリンがかからないようにしてください。
- 応急修理キットは指定の位置に収納し、お子さまが誤って手をふれないようご注意ください。
- 分解・改造などは絶対にしないでください。また、圧力計などに衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

エンジンがかからないときは

正しいエンジンのかけ方（→ P. 127, 130）に従っても、エンジンがかからないときは、次のことを確認してください。

スターターは正常にまわっているのにエンジンがかからない場合

次の原因が考えられます。

- 燃料が入っていない可能性があります。
給油してください。
- 燃料を吸い込みすぎている可能性があります。
再度、正しい手順（→ P. 127, 130）に従って、エンジンをかけてください。
- エンジンイモビライザーシステムに異常がある可能性があります。
（→ P. 54）

スターターがゆっくりまわる／室内灯・ヘッドランプが暗い／ホーンの音が小さい、または鳴らない場合

次の原因が考えられます。

- バッテリーあがりの可能性があります。（→ P. 347）
- バッテリーのターミナルがゆるんでいる可能性があります。

スターターがまわらない場合（スマートエントリー&スタートシステム装着車）

電子キーの電池切れやヒューズ切れなど、電気系統異常の可能性があります。異常の種類によっては、エンジンを一時的な処置でかけることができます。

（→ P. 343）

スターターがまわらない／室内灯・ヘッドランプが点灯しない／ホーンが鳴らない場合

次の原因が考えられます。

- バッテリーのターミナルがはずれている可能性があります。
- バッテリーあがりの可能性があります。（→ P. 347）
- ステアリングロックシステムに異常がある可能性があります。

対処の方法がわからないとき、あるいは対処をしてもエンジンがかからないときは、トヨタ販売店にご連絡ください。

緊急始動機能（スマートエントリー&スタートシステム装着車）

通常のエンジン始動操作でエンジンが始動しないときは、次の手順でエンジンが始動する場合があります。

緊急時以外は、この方法で始動させないでください。

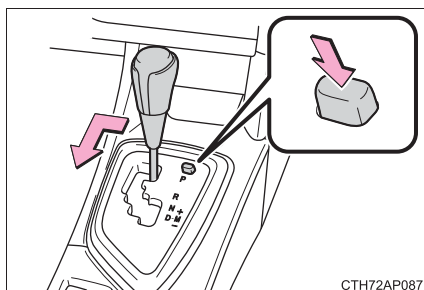
- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- 2 シフトレバーがオートマチック車は P、マニュアル車は N の位置にあることを確認する
- 3 エンジンスイッチをアクセサリモードにする
- 4 オートマチック車はブレーキペダル、マニュアル車はクラッチペダルをしっかりと踏んでエンジンスイッチを約 15 秒以上押し続ける

上記の方法でエンジンが始動しても、システムの故障が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

シフトレバーがシフトできないときは (オートマチック車)

ブレーキペダルを踏んだ状態でシフトレバーがシフトできない場合、シフトロックシステム（シフトレバーの誤操作を防ぐ装置）などの故障が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
ただし一時的な処置として、次の方法でシフトレバーをシフトすることができます。

- 1 パーキングブレーキをかける
- 2 スマートエントリー&スタートシステム非装着車：エンジンスイッチを“ACC”にする
スマートエントリー&スタートシステム装着車：エンジンスイッチをアクセサリモードにする
- 3 ブレーキペダルを踏む
- 4 シフトロック解除ボタンを押す
ボタンを押しているあいだは、レバーをシフトできます。



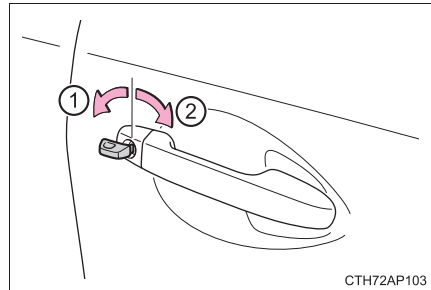
電子キーが正常に働かないときは (スマートエントリー&スタートシステム装着車)

電子キーと車両間の通信がさまたげられたり (→ P. 86)、電子キーの電池が切れたときは、スマートエントリー&スタートシステムとワイヤレスリモコンが使用できなくなります。このような場合、次の手順でドアを開けたり、エンジンを始動したりすることができます。

ドアの施錠・解錠

メカニカルキー (→ P. 79) を使って次の操作ができます。

- ① 全ドア解錠
- ② 全ドア施錠



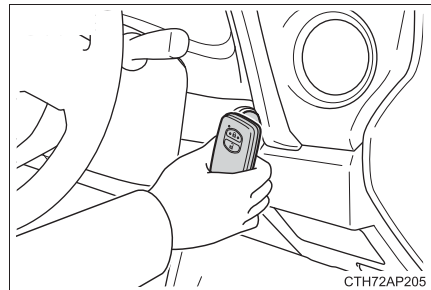
エンジン始動の方法

- ① オートマチック車：シフトレバーがPの状態ブレーキペダルを踏む
マニュアル車：シフトレバーがNの状態クラッチペダルを踏む

- ② 電子キーのトヨタエンブレム面で、エンジンスイッチにふれる

電子キーを認識するとブザーが鳴り、イグニッション ON モードへ切りかわります。

車両カスタマイズ機能でスマートエントリー&スタートシステムの設定が非作動になっているときは、アクセサリーモードへ切りかわります。



- 3 ドライブモニターディスプレイ装着車：オートマチック車はブレーキペダル、マニュアル車はクラッチペダルをしっかりと踏み込んで、スマートエントリー&スタートシステム表示灯が緑色に点灯していることを確認する

マルチインフォメーションディスプレイ装着車：オートマチック車はブレーキペダル、マニュアル車はクラッチペダルをしっかりと踏み込

んで、マルチインフォメーションディスプレイに  が表示されて

いることを確認する

- 4 エンジンスイッチを押す

処置をしても作動しないときは、トヨタ販売店にご連絡ください。



知識

■ エンジンの停止方法

通常のエンジンの停止方法と同様に、シフトレバーをオートマチック車はP、マニュアル車はNにしてエンジンスイッチを押します。

■ 電池交換について

ここで説明しているエンジンの始動方法は一時的な処置です。電池が切れたときは、ただちに電池の交換をおすすめします。(→ P. 261)

■ モードの切りかえ

エンジン始動方法の手順3で、オートマチック車はブレーキペダル、マニュアル車はクラッチペダルから足を離してエンジンスイッチを押すと、エンジンが始動せず、スイッチを押すごとにモードが切りかわります。

(→ P. 132)

■ 電子キーが正常に働かない場合

- 車両カスタマイズ機能でスマートエントリー&スタートシステムの設定を確認し、非作動になっている場合には、作動可能に設定変更してください。

(→ P. 363)

- 電子キーが節電モードに設定されていないことを確認してください。

設定されている場合は解除してください。(→ P. 85)

バッテリーがあがったときは

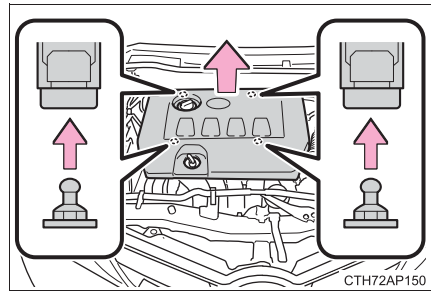
バッテリーがあがった場合、次の手順でエンジンを始動することができます。

ブースターケーブルと 12V のバッテリー付き救援車があれば、次の手順に従って、エンジンを始動させることができます。

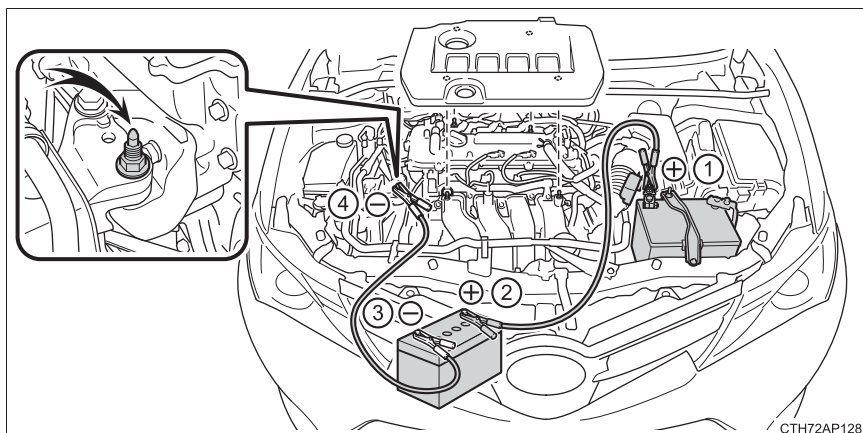
1 ボンネットを開ける (→ P. 251)

2 2ZR-FAE エンジン搭載車：
エンジンカバーをはずす

後方のクリップをはずしてから、前方のクリップをはずす



- 3 バッテリーの+端子のカバーをはずし、ブースターケーブルを次の順につなぐ



- ① 赤色のブースターケーブルを自車のバッテリーの+端子につなぐ
 - ② 赤色のブースターケーブルのもう一方の端を救援車のバッテリーの+端子につなぐ
 - ③ 黒色のブースターケーブルを救援車のバッテリーの-端子につなぐ
 - ④ 黒色のブースターケーブルのもう一方の端を、未塗装の金属部（図に示すような固定された部分）につなぐ
- 4 救援車のエンジンをかけ、回転を少し高めにして、約 5 分間自車のバッテリーを充電する
- 5 エンジンスイッチが OFF の状態でいずれかのドアを開閉する（スマートエントリー&スタートシステム装着車）

- 6 スマートエントリー&スタートシステム非装着車：救援車のエンジン回転を維持したまま、エンジンスイッチをいったん“ON”にしてから自車のエンジンをかける
スマートエントリー&スタートシステム装着車：救援車のエンジン回転を維持したまま、エンジンスイッチをいったんイグニッション ON モードにしてから、自車のエンジンをかける
- 7 エンジンが始動したら、ブースターケーブルをつないだときと逆の順ではずす

エンジンが始動しても、早めにトヨタ販売店で点検を受けてください。

知識

■ バッテリーあがり時の始動について

この車両は、押しがけによる始動はできません。

■ バッテリーあがりを防ぐために

- エンジンが停止しているときは、ランプやオーディオの電源を切ってください。
- 渋滞などで長時間止まっているときは、不必要な電装品の電源を切ってください。

■ バッテリーの充電について

バッテリーの電力は、車両を使用していないあいだも、一部の電装品による消費や自然放電のために、少しずつ消費されています。そのため、車両を長期間放置すると、バッテリーがあがってエンジンを始動できなくなるおそれがあります。（バッテリーは走行中に自動で充電されます）

■ バッテリーあがり時や取りはずし時など（スマートエントリー&スタートシステム装着車）

- バッテリー脱着直後はスマートエントリー&スタートシステムによるドアの解錠ができない場合があります。解錠できなかった場合はワイヤレスリモコン、またはメカニカルキーで解錠・施錠を実施してください。
- バッテリー脱着後、最初の始動操作ではエンジンがかからないことがあります。が異常ではありません。再度始動操作を行ってください。
- 車両は常に電源の状態を記憶しています。バッテリー脱着時、車両はバッテリーをはずす前の状態に復帰します。バッテリーを脱着する際は、エンジンスイッチをOFFにしてから行ってください。
バッテリーがあがる前の状態が不明の場合、バッテリー接続時は特に注意してください。

 警告**■ バッテリーの引火または爆発を防ぐために**

バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険ですので、火や火花が発生しないよう、次のことをお守りください。

- ブースターケーブルは正しい端子以外に接続しない
- +端子に接続したブースターケーブルの先を付近のブラケットや未塗装の金属部に接触させない
- ブースターケーブルは+側と-側の端子を絶対に接触させない
- バッテリー付近では、喫煙したりマッチやライターなどで火を起こさない

■ バッテリーの取り扱いについて

バッテリー内には有毒で腐食性のある酸性の電解液が入っており、また関連部品には鉛または鉛の混合物を含んでいるので、取り扱いに関し、次のことを必ずお守りください。

- バッテリーを取り扱うときは保護メガネを着用し、液（酸）が皮膚・衣服・車体に付着しないようにする
- 必要以上、顔や頭などをバッテリーに近付けない
- 誤ってバッテリー液が体に付着したり目に入ったりした場合、ただちに大量の水で洗い、すぐに医師の診察を受ける
また、医師の診察を受けるまで、水を含ませたスポンジや布を患部にあてておく
- 誤ってバッテリー液を飲み込んだ場合、多量の水を飲んで、すぐに医師の診察を受ける
- バッテリーの支柱・ターミナル・その他の関連部品の取り扱い後は手を洗う
- お子さまをバッテリーに近付けない

 注意**■ ブースターケーブルの取り扱いについて**

ブースターケーブルを接続したり、取りはずすときは、冷却ファンやベルトに巻き込まれないように十分注意してください。

オーバーヒートしたときは

- 1 車を安全な場所に止め、エアコンを止める
- 2 エンジンルームから蒸気が出ているか確認する

蒸気が出ている場合：

エンジンを停止する。蒸気が出なくなったら、注意してボンネットを開け、エンジンを再始動する

蒸気が出ていない場合：

エンジンをかけたまま、注意してボンネットを開ける

- 3 ラジエーター冷却用のファンが作動しているか確認する

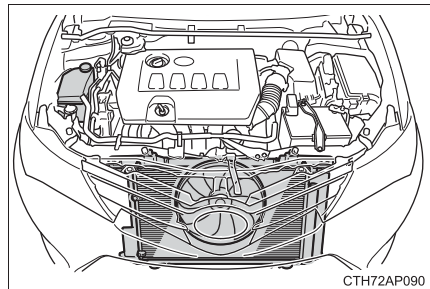
ファンが作動している場合：

水温計の針が下がってきってからエンジンを停止する

ファンが作動していない場合：

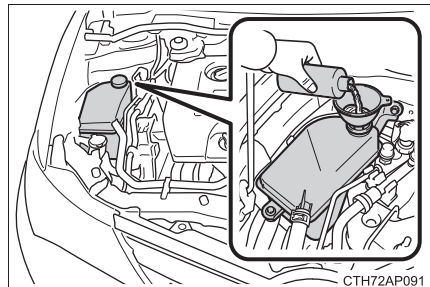
すぐにエンジンを停止して、トヨタ販売店に連絡する

- 4 エンジンが十分に冷えてから、冷却水の量やラジエーターコア部（放熱部）の冷却水もれを点検する



- 5 冷却水が不足している場合は、冷却水を補給する（→ P. 359）

冷却水がない場合は、応急処置として水を補給してください。



早めに最寄りのトヨタ販売店で点検を受けてください。

 知識

■ オーバーヒートとは

オーバーヒートのとき、車に次のような症状が現れます。

- ドライブモニターディスプレイ装着車：高水温警告灯が点灯する
- マルチインフォメーションディスプレイ装着車：水温計の針がレッドゾーンに入る
- エンジン出力が低下する
- エンジンルームから蒸気が出る

 警告

■ エンジンルームを点検しているとき

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

- エンジンルームから蒸気が出ている場合は、蒸気が出なくなるまでボンネットを開けないでください。エンジンルーム内が高温になっています。
- エンジンがかかっているときは、手や着衣をファンやベルトから離してください。
- エンジンおよびラジエーターが熱いうちはラジエーターリザーバータンクキャップを開けないでください。
高温の蒸気や冷却水が圧力によって噴き出すおそれがあり危険です。

 注意

■ 冷却水を入れるとき

エンジンが十分に冷えてからゆっくり入れてください。

エンジンが熱いときに急に冷たい冷却水を入れると、エンジンが損傷するおそれがあります。

■ 冷却システムの故障を防ぐために

次のことをお守りください。

- 異物（砂やほこりなど）を冷却水に混入させない
- 市販の冷却水用添加剤を使用しない

スタックしたときは

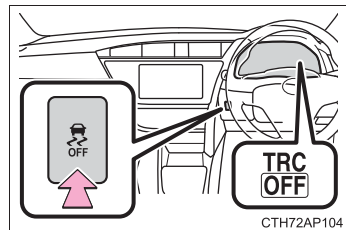
ぬかるみや砂地・雪道などでタイヤが空転したり埋まり込んで動けなくなったときは次の方法を試みてください。

- 1 パーキングブレーキをかけシフトレバーをオートマチック車は P、マニュアル車は N にして、エンジンを停止する
- 2 タイヤ周辺の土や雪などを取り除く
- 3 タイヤの下に木や石などをあてがう
- 4 FF 車：エンジンを再始動する
4WD 車：エンジンを再始動し、4WD オートモードになっていることを確認する (→ P. 172)
- 5 シフトレバーをオートマチック車は D または R、マニュアル車は 1 または R に入れ、パーキングブレーキを解除して注意しながらアクセルペダルを踏む

知識

■脱出しにくいとき

VSC OFF スイッチを押して TRC を OFF にしてください。



 警告**■ 脱出するとき**

前進と後退をくり返してスタックから脱出する場合、他の車・ものまたは人との衝突を避けるため周囲に何も無いことを確認してください。

スタックから脱出するとき、車が前方または後方に飛び出すおそれがありますので、特に注意してください。

■ シフトレバーを操作するとき

オートマチック車はアクセルペダルを踏み込んだまま操作しないように気を付けてください。

車が急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 注意**■ トランスミッションやその他の部品への損傷を避けるために**

- タイヤが空転するのを避け、必要以上にアクセルペダルを踏まないでください。

- 上記の方法で脱出できなかった場合、けん引による救援が必要です。

8-1. 仕様一覧

メンテナンスデータ (指定燃料・ オイル量など)	356
--------------------------------------	-----

8-2. カスタマイズ機能

ユーザーカスタマイズ 機能一覧	363
--------------------------	-----

メンテナンスデータ（指定燃料・オイル量など）

使用するオイルや液類の品質により、お車の寿命は著しく左右されます。お車には、最も適した弊社純正オイル・液類（以下、「指定銘柄」といいます）のご使用をおすすめします。

指定銘柄以外を使用される場合は、指定銘柄に相当する品質のものをご使用ください。

燃料

指定燃料	容量 [L]（参考値）
▶ オートマチック車 無鉛レギュラーガソリン ▶ マニュアル車 無鉛プレミアムガソリン（無鉛ハイオク）	50

エンジンオイル

指定銘柄	容量 [L] (参考値※ ¹)		
	エンジン	オイルのみ交換	オイルとオイルフィルター交換
トヨタキャッスルモーターオイル SN 0W-20 ※ ² —API SN, RC/ILSAC GF-5, SAE 0W-20	1NZ-FE	3.4	3.7
トヨタキャッスルモーターオイル SN 5W-20 —API SN, RC/ILSAC GF-5, SAE 5W-20			
トヨタキャッスルモーターオイル SN 5W-30 —API SN, RC/ILSAC GF-5, SAE 5W-30	2ZR-FAE	3.9	4.2
トヨタキャッスルモーターオイル SN 10W-30 —API SN, RC/ILSAC GF-5, SAE 10W-30			

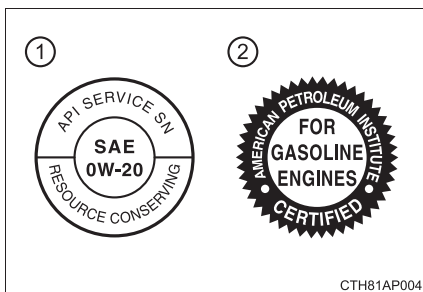
※¹ エンジンオイルの容量は交換する際の目安です。オイル量の確認は、エンジンを暖機後に停止し、5分以上経過してからレベルゲージで行ってください。

※² 0W-20 は新車時に充填されており、上の表の中では、省燃費性に優れるオイルです。

■ 指定エンジンオイル

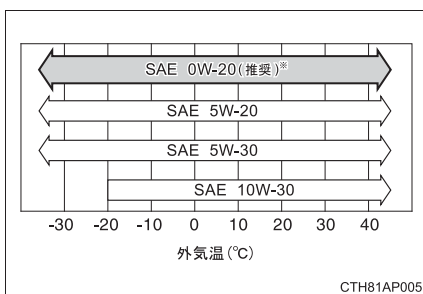
API 規格 SN/RC、SM/EC か、ILSAC 規格合格油をおすすめします。
 なお、ILSAC 規格合格油の缶には ILSAC CERTIFICATION（イル
 サックサーティフィケーション）マークが付いています。

- ① API マーク
- ② ILSAC CERTIFICATION
マーク



■ エンジンオイル推奨粘度

下記表に基づき、外気温に適した粘度のものをご使用ください。



※ 0W-20 は新車時に充填されており、上図に示す中では、省燃費性に優れるオイルです。

オイル粘度について（例として 0W-20 で説明します）：

- ・ 0W-20 の 0W は、低温時のエンジン始動特性を示しています。W の前の数値が小さいほど冬場や寒冷時のエンジン始動が容易になります。
- ・ 0W-20 の 20 は、高温時の粘度特性を示しています。
 粘度の高い（数値が大きい）オイルは、高速または重負荷走行に適しています。

ラジエーター

指定銘柄	エンジン	容量 [L] (参考値)
トヨタ純正スーパーロングライフクーラント 凍結保証温度 濃度 30% - 12°C 濃度 50% - 35°C	1NZ-FE	5.5
	2ZR-FAE (オートマチック車)	5.8
	2ZR-FAE (マニュアル車)	5.6

オートマチックトランスミッション

指定銘柄	エンジン	駆動方式	容量 [L] (参考値)
トヨタ純正 CVT フルード FE	1NZ-FE	FF 車	7.47
		4WD 車	7.88
	2ZR-FAE	FF 車	8.01

トランスファー (4WD 車のみ)

オイルタイプ・推奨粘度	容量 [L] (参考値)
トヨタ純正ハイポイドギヤオイル SX (API GL-5 SAE 85W-90)	0.45

リヤディファレンシャル (4WD 車のみ)

オイルタイプ・推奨粘度	容量 [L] (参考値)
トヨタ純正ハイポイドギヤオイル SX (API GL-5 SAE 85W-90)	0.5

マニュアルトランスミッション

オイルタイプ・推奨粘度	容量 [L] (参考値)
トヨタ純正 MT ギヤオイル LV 75W (API GL-4 SAE 75W)	2.4

クラッチ

■ クラッチフルード

指定銘柄
トヨタ純正ブレーキフルード 2500H

■ クラッチペダル

項目	基準値 [mm]
遊び	5 ～ 15
切れたときの床板とのすき間※	25 以上

※ クラッチが切れた位置からクラッチペダルを床いっぱいまで踏み込んだ位置までの動き量

ブレーキ

■ ブレーキフルード

指定銘柄
トヨタ純正ブレーキフルード 2500H

■ ブレーキペダル

項目	基準値 [mm]
遊び	1 ～ 6
踏み込んだときの床板とのすき間※	75 以上

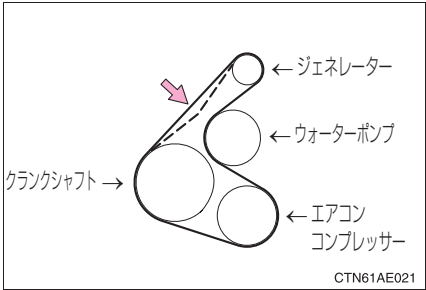
※ エンジン回転時に 294 N (30 kgf) の踏力をかけたときの床板とのすき間の最小値

■ パーキングブレーキ

項目	基準値 (回数)
引きしろ 操作力 200 N (20.4 kgf) のときのノッチ※数	6 ～ 9

※ ノッチとは、パーキングブレーキをかけるときの節度（“カチッ”という音）のことです

V リブドベルト

項目	エンジン	基準値 [mm]
たわみ量  押力 98 N (10 kgf) (冷間時)	1NZ-FE (FF 車)	自動調整式
	1NZ-FE (4WD 車)	12.5 ~ 13.5
	2ZR-FAE	自動調整式

ウォッシャータンク

容量 [L] (参考値)
2.5

タイヤ・ホイール

タイヤサイズ		ホイール サイズ	タイヤが冷えて いるときの空気圧 kPa (kg/cm ²)	
			前輪	後輪
標準タイヤ	195/65R15 91S	15 × 6J	230 (2.3)	
	205/55R16 91V	16 × 6 1/2J		
	225/45R17 91W	17 × 7J		
応急用タイヤ★	T125/70D17 98M	17 × 4T	420 (4.2)	

★：仕様により異なる装備やオプション装備

電球（バルブ）※

電球		W（ワット）数
車外	ヘッドランプ ハロゲンヘッドランプ装着車 （バルブタイプ：HIR2）	55
	ディスチャージヘッドランプ装着車 （バルブタイプ：D4S）	35
	車幅灯（ハロゲンヘッドランプ装着車）	5
	フロントフォグランプ★（バルブタイプ：H16）	19
	フロント方向指示灯／非常点滅灯	21
	サイド方向指示灯／非常点滅灯	5
	リヤ方向指示灯／非常点滅灯	16
	制動灯／尾灯	21/5
	後退灯	16
車内	番号灯	5
	フロントインテリアランプ／パーソナルランプ	8
	リヤインテリアランプ★	8
	リヤパーソナルランプ★	8
	バニティランプ★	5
	ラゲージルームランプ	5

※ 表に記載のないランプは LED を採用しています。

車両仕様

型式	エンジン	駆動方式
NZE181H	1NZ-FE (1.5L ガソリン)	FF（前輪駆動）
NZE184H		4WD（4 輪駆動）
ZRE186H	2ZR-FAE (1.8L ガソリン)	FF（前輪駆動）

★：仕様により異なる装備やオプション装備

ユーザーカスタマイズ機能一覧

お車には、設定を変更することが可能な数多くの装備が付いています。トヨタ販売店で作動などをご希望の設定に変更することができます。

車両カスタマイズ設定一覧

機能によっては、他の機能と連動して設定がかわるものもあります。詳しくはトヨタ販売店へお問い合わせください。

項目	機能の内容	初期設定	変更後
スマートエントリー&スタートシステム★ (→ P. 81)、 ワイヤレスドアロック (→ P. 91) 共通	作動の合図 (非常点滅灯)	あり	なし
	解錠後、ドアを開けなかった ときの自動施錠までの時間	30 秒	60 秒
			120 秒
	作動の合図 (ブザー) ※	あり	なし
	作動の合図 (ブザー音量調整) ※	レベル 5	レベル 0 ~ 7
	半ドア警告ブザー※	あり	なし
スマートエントリー&スタートシステム★ (→ P. 81)	スマートエントリー & スタートシステム	あり	なし
	連続してできる施錠操作の 回数	2 回	無制限
ワイヤレス ドアロック (→ P. 91)	ワイヤレス機能	あり	なし
ランプ自動点灯・消 灯システム (→ P. 148)	ライトセンサーの感度調整	標準	- 2 ~ 2
	ライトを点灯するまでの時 間	標準	長め
	オートマチックハイビーム★	作動	非作動

※ スマートエントリー & スタートシステム装着車

★：仕様により異なる装備やオプション装備

項目	機能の内容	初期設定	変更後
イルミネーション (→ P. 220)	室内灯の消灯までの時間	15 秒	7.5 秒
			30 秒
	エンジンスイッチ OFF 後の作動	あり	なし
	解錠時の照明の点灯	あり	なし
	接近時の照明の点灯 (スマートエントリー & スタートシステム装着車)	あり	なし

 知識

■ 車両カスタマイズについて

解錠後、ドアを開けなかったときの自動施錠が作動したときの合図は、「作動の合図 (非常点滅灯)」・「作動の合図音量 (ブザー音量調整)」の設定に依存します。

さくいん

こんなときは (症状別さくいん)	366
車から音が鳴ったときは (音さくいん)	371
アルファベット順さくいん	372
五十音順さくいん	373

こんなときは（症状別さくいん）

お困りの際は、トヨタ販売店にご連絡いただく前にまず次のことを確認してください。

施錠／解錠／ドアの開閉ができない



キーをなくした

- キーまたはメカニカルキーをなくした場合、トヨタ販売店でトヨタ純正の新しいキーまたはメカニカルキーを作ることができます。（→ P. 79）
- キーまたは電子キーをなくすと盗難の危険性が極めて高くなるため、ただちにトヨタ販売店にご相談ください。（→ P. 80）



施錠・解錠できない

- キーの電池が消耗、または電池が切れていませんか？（→ P. 261）
- スマートエントリー & スタートシステム装着車
エンジンスイッチがイグニッション ON モードになっていませんか？
施錠するときは、エンジンスイッチを OFF にしてください。（→ P. 132）
- スマートエントリー & スタートシステム装着車
電子キーを車内に置き忘れていませんか？
施錠するときは、電子キーを携帯していることを確認してください。
- 電波状況により、機能が正常に働いていない可能性があります。
（→ P. 86）



リヤドアが開かない

- チャイルドプロテクターがかかっていますか？
チャイルドプロテクターがかかっていると車内からは開きません。いったん車外から開けて、チャイルドプロテクターを解除してください。
（→ P. 95）

故障かな？と思ったら**エンジンがかからない
（スマートエントリー & スタートシステム非装着車）**

- マニュアル車
クラッチペダルをしっかりと踏みながらエンジンスイッチをまわしていますか？（→ P. 127）
- オートマチック車
シフトレバーはPになっていますか？（→ P. 134）
- ステアリングロックされていませんか？（→ P. 135）
- バッテリーがあがっていませんか？（→ P. 347）

**エンジンがかからない
（スマートエントリー & スタートシステム装着車）**

- オートマチック車
ブレーキペダルをしっかりと踏みながらエンジンスイッチを押していますか？（→ P. 130）
- マニュアル車
クラッチペダルをしっかりと踏みながらエンジンスイッチを押していますか？（→ P. 127）
- オートマチック車
シフトレバーはPになっていますか？（→ P. 134）
- キーが車内の検知される場所にありますか？（→ P. 83）
- ステアリングロックされていませんか？（→ P. 135）
- キーの電池が消耗、または電池が切れていませんか？
このときは、一時的な方法でエンジンをかけることができます。
（→ P. 345）
- バッテリーがあがっていませんか？（→ P. 347）



ブレーキペダルを踏んでもシフトレバーが P から動かない (オートマチック車)

- スマートエントリー & スタートシステム非装着車
エンジンスイッチの位置が“ON”になっていますか？
エンジンスイッチの位置が“ON”でブレーキを踏んでも解除できないときは（→ P. 344）を参照してください。
 - スマートエントリー & スタートシステム装着車
エンジンスイッチはイグニッション ON モードになっていますか？
エンジンスイッチがイグニッション ON モードでブレーキを踏んでも解除できないときは（→ P. 344）を参照してください。
-



エンジンを停止したあとにハンドルがまわせなくなった

- スマートエントリー & スタートシステム非装着車
盗難防止のため、キーをエンジンスイッチから抜くとロックされます。
（→ P. 127）
 - スマートエントリー & スタートシステム装着車
盗難防止のため、自動的にロックされます。（→ P. 135）
-



パワーウィンドウスイッチを操作してもドアガラスが開閉しない

- ウィンドウロックスイッチが押されていませんか？
ウィンドウロックスイッチが押されていると、運転席以外のパワーウィンドウは操作できなくなります。（→ P. 112）



エンジンスイッチが自動的に OFF になった （スマートエントリー & スタートシステム装着車）

- 一定時間アクセサリモードまたはイグニッション ON モード（エンジンがかかっていない状態）にしておくと、自動電源 OFF 機能が作動します。（→ P. 134）



警告音が鳴りだした

- 警告音が鳴りだしたときは、「車から音が鳴ったときは（音さくいん）」（→ P. 371）をご確認ください。



警告灯や警告メッセージ★が表示されたとき

- 警告灯や警告メッセージ★が表示されたときは、P. 299、305 をご確認ください。

トラブルが発生した



タイヤがパンクした

- 応急用タイヤ装着車

車を安全な場所に停め、パンクしたタイヤを応急用タイヤに交換してください。（→ P. 316）

- タイヤパンク応急修理キット装着車

車を安全な場所に停め、タイヤパンク応急修理キットでパンクしたタイヤを応急修理してください。（→ P. 328）



立ち往生した

- めかるみ・砂地・雪道などで動けなくなったときの脱出方法を試してください。（→ P. 353）

車から音が鳴ったときは（音さくいん）

次の状況のとき、車の状態や誤操作などをお知らせするために警告音が鳴ります。

車に乗るとき／降りるとき

状況	原因	詳細
ドアを開閉したとき	電子キー★を車内に置き忘れている	P. 311
	エンジンスイッチにキーが挿してある	P. 128
	シフトポジションがP以外になっている	P. 311
エンジンを停止したとき	電子キー★の電池残量が少なくなっている	P. 261
施錠しようとしたとき （施錠できないとき）	いずれかのドアが確実に閉まっていない	P. 84
	電子キー★を車内に置き忘れている	P. 309
	シフトポジションがP以外になっている	

走行しているとき

状況	原因	詳細
走り出したとき	いずれかのドア・バックドアが確実に閉まっていない	P. 307
	パーキングブレーキが解除されていない	P. 307
	運転席・助手席のシートベルトを着用していない※	P. 301
シフトダウンしたとき	シフトダウン制限をこえて操作した★	P. 141
ブレーキペダルを踏んだとき （きしみやひっかき音）	ブレーキパッドが摩耗しているおそれがある	P. 121

※ 助手席に荷物を置いている場合にもブザーが鳴ることがあります。

★：仕様により異なる装備やオプション装備

アルファベット順さくいん

4WD

(4 ホイールドライブ) 172, 300, 306

A/C

(エアコン) 184, 189

ABS

(アンチロックブレーキシステム) 173, 300

ACC

(アクセサリ) 127

AFS

(アダプティブフロントライティングシステム) 151, 300

AHB

(オートマチックハイビーム) 153, 306

DISP

(ディスプレイ) 60, 65

EDR

(イベントデータレコーダー) 8

EPS

(エレクトリックパワーステアリング) 173

FF

(フロントエンジンフロントドライブ) 362

ILSAC CERTIFICATION

(イルサックサーティフィケーション) 358

ISOFIX

(アイソフィックス／イソフィックス) 39, 47

SRS

(サブリメンタルレストRAINTシステム) 30, 300

TRC

(トラクションコントロール) 173

VSC

(ビークルスタビリティコントロール) 173

五十音順さくいん

あ

アースポイント (バッテリー あがりの処置)	347
アームレスト (リヤアームレスト)	238
アウターミラー (ドアミラー) ...	109
操作	109
アクセサリーソケット	237
アクセサリーモード	132
アシストグリップ	239
アジャスタブルデッキボード	227
アダプティブフロントライティング システム (AFS)	151
アンチロックブレーキシステム (ABS)	173
アンテナ (スマートエントリー& スタートシステム)	83

い

イグニッションスイッチ (エンジンスイッチ)	127, 130
位置交換 (タイヤローテーション)	257
イベントデータレコーダー (EDR)	8
イモビライザーシステム	54
イルミネーテッドエントリー システム	220
インジケーター (表示灯)	58
インテリアランプ	218
インナーミラー	107

う

ウインカー (方向指示灯)	145
方向指示レバー	145
ワット数	362
ウインドウ	112
ウォッシャー	158
パワーウインドウ	112
リヤウインドウ デフォッガー	196
ウインドウロックスイッチ	112
ウォーニングランプ (警告灯)	299
ウォッシャー	158
液の補給	255
スイッチ	158
タンク容量	361
冬の前の準備・点検	180
動けなくなったときは (スタック)	353
運転	116
運転を補助する装置	173
寒冷時の運転	180
正しい運転姿勢	24
手順	116

え

エアコン	184, 189
エアバッグ	30
SRS エアバッグ警告灯	300
作動条件	34
配置	30
エコドライブインジケーター	72
エレクトリック	
パワーステアリング (EPS)	173
機能	173
パワーステアリング警告灯 ...	300
エンジン	
エンジンイモビライザー	
システム	54
エンジン回転計	
(タコメーター)	60, 65
エンジンがかからない	
(エンジンが	
始動できない)	342
エンジン警告灯	300
エンジンスイッチ	127, 130
エンジンの始動方法	127, 130
オーバーヒート	351
ボンネット	251
エンジンオイル	357
警告メッセージ	305
冬の前の準備・点検	180
メンテナンスデータ	357
エンジンスイッチ	127, 130
エンジンフード (ボンネット) ...	251
開け方	251
エンジンルーム	
エンジンルームから	
蒸気が出ている	351

お

オーディオ	199
オートマチックハイビーム	153
オートレベリングシステム	
(ヘッドランプ)	152
オーバーヒート	351
オープナー	
ボンネット	251
オイル (エンジンオイル)	357
応急用タイヤ	316
空気圧	361
交換方法	316
お子さまを乗せるとき	38
ウインドウロックスイッチ	112
お子さまの安全のために	38
子供専用シート	39
シートベルトの着用	27
チャイルドシートの取り付け ...	47
チャイルドプロテクター	95
オドメーター	60, 65
機能	60, 65
表示の切りかえ・	
リセットボタン	60, 65

か

カーテンシールドエアバッグ	30
カーペット	248
洗浄	249
フロアマットの取り付け方	22
外気温度表示	235
外装の電球（バルブ）	271
交換要領	271
ワット数	362
買い物フック	228
カスタマイズ機能	363
型式	362
カップホルダー	225
カメラ	
オートマチックハイビーム	156
ガラスの曇り止め	
（リヤウインドウ	
デフォッガー）	196
ガレージジャッキ	253
冠水路走行	125
寒冷時の運転	180

き

キー	78
エンジンが始動できない	345
キーナンバープレート	78
キーの構成	78
キーレスエントリー	81, 91
キーをなくした	79, 80
正常に働かない	345
施錠・解錠ができない	345
電子キー	78
電池が切れた	261, 345
メカニカルキー	79
ワイヤレスリモコン	91
キーレスエントリー	81, 91
スマートエントリー&	
スタートシステム	81
ワイヤレスドアロック	91
給油	162
給油のしかた	162
緊急時シートベルト固定機構	27

緊急時の対処

エンジンが始動できない.....	342
オーバーヒートした	351
キーの電池が切れた	261, 345
警告灯がついた	299
警告メッセージが	
表示された	305
けん引.....	294
故障したときは	288
シフトレバーが	
シフトできない	344
車両を緊急停止する	292
スタックした	353
電子キーが正常に動かない....	345
発炎筒.....	290
バッテリーがあがった.....	347
パンクした.....	316, 328

く

空気圧 (タイヤ).....	361
メンテナンスデータ	361
区間距離計	
(トリップメーター)	60, 65
機能	60, 65
切りかえ・	
リセットボタン	60, 65
曇り取り	
ミラーヒーター	196
リヤウインドウ	
デフォグガー	196
クラクション (ホーン)	147
クリアランスランプ (車幅灯) ...	148
スイッチ.....	148
電球 (バルブ) の交換.....	271
ワット数	362

クリップ

フロアマット	22
グローブボックス	222

け

警告器 (ホーン)	147
計器類 (メーター)	60, 65
照度調整	64, 68
ドライブモニター	
ディスプレイ	60
マルチインフォメーション	
ディスプレイ	65
メーター	60, 65
警告灯.....	57
ABS & ブレーキアシスト.....	300
SRS エアバッグ	300
アダプティブフロント	
ライティングシステム	
(AFS)	300
エンジン	300
シートベルト非着用	301
充電	299
スリップ表示灯.....	300
燃料残量	301
パーキングブレーキ	299
パワーステアリング	300
半ドア	301
プリテンショナー	300
ブレーキ	299
マスターウォーニング	301

警告ブザー

シートベルト非着用	301
シフトダウン制限	141
パーキングブレーキ	
未解除走行時	307
半ドア	84, 91
半ドア走行時	307
リバース	141
警告メッセージ	305
化粧ミラー (バニティミラー) ...	233
けん引	294
けん引のしかた	294
フック	295

こ**交換**

キーの電池	261
タイヤ	316
電球 (バルブ)	271
ヒューズ	264
工具 (ツール)	317, 329
航続可能距離	69
後退灯 (バックアップランプ)	
電球 (バルブ) の交換	271
ワット数	362
子供専用シート	39
選択方法	39
取り付け方	47
小物入れ	226
コンソールボックス	223
コンライト	
(自動点灯・消灯装置)	148

さ

サイドエアバッグ	30
サイド方向指示灯	145
電球 (バルブ) の交換	271
方向指示レバー	145
ワット数	362
サイドミラー (ドアミラー)	109
操作	109
サンバイザー	233

し

シート.....	101
子供専用シート.....	39
正しい運転姿勢.....	24
調整.....	101
手入れ.....	248
ヘッドレスト.....	104
シートベルト.....	26
お子さまの着用.....	27
緊急時シートベルト固定機構.....	27
シートベルト非着用警告灯.....	301
高さ調整.....	26
正しく着用するには.....	26
着け方・はずし方.....	26
手入れ.....	249
妊娠中の方の着用.....	28
シートベルト非着用警告灯.....	301
シートベルトプリテンショナー.....	27
機能.....	27
プリテンショナー警告灯.....	300
室内灯（インテリアランプ）.....	218
始動のしかた.....	127, 130
シフトポジション.....	138

シフトレバー.....	138, 143
シフトレンジの	
切りかえ.....	138, 143
シフトロックシステム	
（解除ボタン）.....	344
操作.....	138, 143
リバース警告ブザー.....	141
シフトレバーが	
シフトできないときは.....	344
締め付けトルク（ホイール）.....	325
ジャッキ	
ガレージジャッキ.....	253
車載ジャッキ.....	317, 329
ジャッキハンドル.....	317, 329
車幅灯.....	148
電球（バルブ）の交換.....	271
ランプスイッチ.....	148
ワット数.....	362
車両型式.....	362
車両仕様（スペック）.....	356
車両データの記録.....	7
車両を緊急停止するには.....	292
ジュニアシート.....	40
瞬間燃費.....	68
仕様（車両仕様）.....	356

す

水温計 60, 65

スイッチ

イグニッション 127, 130

ウインドウロック 112

ウォッシャー 158

AFS OFF 151

エンジンスイッチ 127, 130

オーディオ 199

オートマチックハイビーム 153

シート調整 101

ドアミラー 109

ドアロック 93

パーキングブレーキ 146

パドルシフト 139

パノラマルーフシェード 240

パワーウインドウ 112

ハンドル位置調整 106

非常点滅灯

(ハザードランプ) 289

VSC OFF 174

フォグランプ 157

方向指示レバー 145

ホーン (警音器) 147

ランプ 148

リヤウインドウ

デフォグガー 196

ワイパー 158

スタック 353

ステアリングホイール

(ハンドル) 106

位置調整 106

ステアリングロック 135

解除できないとき 135

警告メッセージ 315

ストップランプ (制動灯)

緊急ブレーキシグナル 173

電球 (バルブ) の交換 271

ワット数 362

スノータイヤ (冬用タイヤ) 180

スピードメーター 60, 65

スペアタイヤ (応急用タイヤ) 316

空気圧 361

交換方法 316

スペック (車両仕様) 356

スマートエントリー&

スタートシステム 81

アンテナの位置 83

エンジンの始動 130

カスタマイズ設定 363

警告ブザー 84

警告メッセージ 306

作動範囲 83

正常に働かないとき 345

節電機能 85

電波がおよぼす影響について 90

ドアの解錠・施錠 82

バックドアの解錠 82

スモールランプ (車幅灯) 148

電球 (バルブ) の交換 271

ランプスイッチ 148

ワット数 362

せ

清掃	244, 248
アルミホイール	245
外装	244
シートベルト	249
内装	248
制動灯	
緊急ブレーキ信号	173
電球（バルブ）の交換	271
ワット数	362
積算距離計	
（オドメーター）	60, 65
機能	60, 65
表示の切りかえ・	
リセットボタン	60, 65
セキュリティインジケータ	54
センサー	
インナーミラー	108
オートマチックハイビーム	156
ライトセンサー	152
洗車	244
前照灯（ヘッドランプ）	148
電球（バルブ）の交換	271
ライトセンサー	152
ランプ消し忘れ防止機能	152
ランプスイッチ	148
ワット数	362

そ

走行モード	
（ドライブモード）	139
速度計	
（スピードメーター）	60, 65

た

ターンシグナルランプ	
（方向指示灯）	145
電球（バルブ）の交換	271
方向指示レバー	145
ワット数	362
タイヤ	257
応急用タイヤ	316
空気圧	361
交換	316
締め付けトルク	325
低扁平タイヤ	260
点検	257
パンク応急修理キット	328
パンクしたときは	316, 328
ホイールサイズ	361
ローテーション	
（位置交換）	257
タイヤが空まわりする	
（スタックした）	353
タイヤチェーン	180

ち

チェーン（タイヤチェーン）	180
チャイルドシート	39
ISOFIX バーでの取り付け	49
シートベルトでの固定	48
選択方法	39
チャイルドプロテクター	95
駐車ブレーキ	
（パーキングブレーキ）	146
警告メッセージ	307
操作	146
パーキングブレーキ警告灯	299
未解除走行時警告ブザー	299
メンテナンスデータ	360

つ

通算平均燃費	68, 70
ツール (工具)	317, 329

て

ディスチャージヘッドランプ	
オートレベリングシステム	152
電球 (バルブ) の交換	282
ランプスイッチ	148
ワット数	362
ディファレンシャル	359
低扁平タイヤ	260
手入れ	244, 248
アルミホイール	245
外装	244
シートベルト	249
内装	248
テールランプ (尾灯)	148
電球 (バルブ) の交換	271
ランプスイッチ	148
ワット数	362
デッキフック	227
デフォッガー (リヤウインドウ	
デフォッガー)	196
電球 (バルブ)	
交換要領 (外装バルブ)	271
ワット数	362
点検基準値	
(メンテナンスデータ)	356
電子キー	78
作動範囲	83
正常に働かないとき	345
節電機能	85
電池が切れた	345
電池交換	261
電池交換 (キー)	261

と

ドア	93
警告メッセージ	307
スマートエントリー&	
スタートシステム	81
チャイルドプロテクター	95
ドアガラス	112
ドアロックスイッチ	93
半ドア警告灯	301
半ドア走行時警告ブザー	307
ロックレバー	94
ワイヤレスリモコン	91
ドアミラー	109
操作	109
盗難防止装置	
エンジンイモビライザー	
システム	54
時計	234
トップテザーアンカー	47
ドライブモニター	
ディスプレイ	60
トラクションコントロール	
(TRC)	173
トランスミッション	138, 143
シフトダウン	
制限警告ブザー	141
操作	138, 143
パドルシフトスイッチ	139
メンテナンスデータ	359
トリップ	
インフォメーション	62, 67
トリップメーター	62, 67
機能	62, 67
切りかえ・	
リセットボタン	60, 65

な

内装	
収納装備	221
手入れ	248

に

荷物	
積むときの注意	126
バックドア	97

ぬ

ぬかるみにはまった (スタック)	353
---------------------------	-----

ね

燃料	356
給油	162
種類	356
燃料残量警告灯	301
容量	356
燃料計	60, 65

は

パーキングブレーキ	146
警告メッセージ	307
操作	146
ブレーキ警告灯	299
未解除走行時警告ブザー	299
メンテナンスデータ	360
パーソナルランプ	219
排気ガス	53
ハイビーム (ヘッドランプ)	149
オートマチックハイビーム	153
電球 (バルブ) の交換	271
ランプスイッチ	148
ワット数	362
ハイマウントストップランプ	
電球 (バルブ) の交換	282
ハザードランプ (非常点滅灯)	289
スイッチ	289
電球 (バルブ) の交換	271
ワット数	362
挟み込み防止機能	
パノラマルーフシェード	240
パワーウインドウ	113
発炎筒	290
バックアップランプ (後退灯)	
電球 (バルブ) の交換	271
ワット数	362
バックドアオープナー	97

バッテリーがあがった	347
パドルシフトスイッチ	139
バニティ（化粧用）ミラー	233
バニティランプ	219
装備について	219
ワット数	362
パノラマルーフシェード	240
操作	240
挟み込み防止機能	240
バルブ（電球）	
交換要領（外装のバルブ）.....	271
ワット数	362
パワーウィンドウ	112
ウインドウロックスイッチ	112
閉めることができないときは	113
操作	112
挟み込み防止機能	113
パワーステアリング	173
パワーステアリング警告灯	300
パンクした	
応急用タイヤ装着車	316
タイヤパンク応急修理キット	
装着車	328
番号灯	
（ライセンスプレートランプ）...	148
電球（バルブ）の交換	271
ランプスイッチ	148
ワット数	362
ハンドル	
（ステアリングホイール）	106
位置調整	106

ひ

ビークルスタビリティ	
コントロール（VSC）.....	173
ヒーター	
オートエアコン	189
マニュアルエアコン	184
非常点滅灯（ハザードランプ）	289
スイッチ	289
電球（バルブ）の交換	271
ワット数	362
尾灯（テールランプ）	148
電球（バルブ）の交換	271
ランプスイッチ	148
ワット数	362
ヒューズ	264
表示灯	58
日よけ（サンバイザー）	233
ヒルスタートアシスト	
コントロール	178

ふ

ブースターケーブルの

つなぎ方 347

フォグランプ 157

スイッチ 157

電球（バルブ）の交換 271

ワット数 362

ブザー

シートベルト非着用警告 301

シフトダウン制限警告 141

パーキングブレーキ未解除

走行時警告 299

半ドア走行時警告 301

ブレーキ警告 299

リバース警告 141

フック

買い物フック 228

けん引フック 295

フロアマット固定フック 22

フューエルメーター

（燃料計） 60, 65

フューエルリッド（給油口） 162

給油のしかた 162

冬の前の準備（寒冷時の運転）... 180

冬用タイヤ 180

ブレーキ

パーキングブレーキ 146

ブレーキ警告灯 299

メンテナンスデータ 360

ブレーキアシスト 173

ABS & ブレーキアシスト

警告灯 300

機能 173

ブレーキ付近からキーキー音が

聞こえる 121

ブレーキフルード 360

フロアボード 229

フロアマット 22

フロントシート 101

正しい運転姿勢 24

調整 101

手入れ 248

ヘッドレスト 104

フロントパーソナルランプ 219

フロントフォグランプ 157

スイッチ 157

電球（バルブ）の交換 271

ワット数 362

フロント方向指示灯 145

電球（バルブ）の交換 271

方向指示レバー 145

ワット数 362

フロントワイパーデアイサー 198

へ

平均車速	69
平均燃費	68, 70
ヘッドランプ	148
電球（バルブ）の交換	271
ライトセンサー	152
ランプ消し忘れ防止機能	152
ランプスイッチ	148
ワット数	362
ヘッドランプオートレベリング	
システム	152
ヘッドレスト	104
ベビーシート	40

ほ

ホイール	
交換（タイヤ）	316
メンテナンスデータ	361
方向指示灯	145
電球（バルブ）の交換	271
方向指示レバー	145
ワット数	362
ホーン（警音器）	147
保証	9
ボンネット	251
開け方	251

ま

マスターウォーニング	301
マルチインフォメーション	
ディスプレイ	65
警告メッセージ	305
トリップ	
インフォメーション	67

み

ミラー	
インナーミラー	107
ドアミラー	109
バニティミラー	233

め

メーター（計器類）	60, 65
警告灯	299
照度調整	64, 68
表示灯	58
マルチインフォメーション	
ディスプレイ	65
メカニカルキー	79
メンテナンスデータ	356

ゆ

ユーザーカスタマイズ機能	363
雪道ですべて動けない （スタックした）	353
油脂類	356

ら

ライセンスプレートランプ （番号灯）	148
電球（バルブ）の交換	271
ランプスイッチ	148
ワット数	362
ラゲージアンダートレイ	228
ラゲージサイドトレイ	228
ラゲージルーム	97
ラゲージルームランプ	98
ラジエーター オーバーヒート	351
メンテナンスデータ	359
ランプ 室内灯	217
電球（バルブ）の交換	271
パーソナルランプ	219
非常点滅灯 （ハザードランプ）	289
フロントフォグランプ	157
ヘッドランプ（前照灯）	148
方向指示灯（ターンシグナル ランプ／ウインカー）	145
ライトセンサー	152
ランプ消し忘れ防止機能	152
ワット数	362
ランプ消し忘れ防止機能	152

り

リヤアームレスト	238
リヤウインドウデフォグガー スイッチ	196
リヤパーソナルランプ	220
リヤ方向指示灯	145
電球（バルブ）の交換	271
方向指示レバー	145
ワット数	362

る

ルームミラー （インナーミラー）	107
---------------------------	-----

れ

冷却水	359
水温計	60, 65
冬の前の準備	180
メンテナンスデータ	359
冷却装置（ラジエーター）	359
オーバーヒート	351
メンテナンスデータ	359
レバー シフト	138, 143
方向指示	145
ボンネット解除	251
ロック（ドア）	94

ろ

ロック

ウインドウロック	112
シフトロック	344
スマートエントリー& スタートシステム.....	81
チャイルドプロテクター	95
ドア	93
ワイヤレスリモコン	91

わ

ワイパー & ウォッシャー.....	158
ワイパーブレード（寒冷地用）...	181
ワイヤレスリモコン	91
作動の合図.....	91
操作	91
電池の交換.....	261
半ドア警告ブザー	91
ワックス	244
ワット数	362

ガソリンスタンドでの情報

給油や交換などの際に必要になる項目をまとめてあります。

ボンネットフック P. 251	給油口 P. 163
--------------------	---------------

CTHPIAP001

ボンネット解除レバー P. 251	給油口オープナー P. 162	タイヤ空気圧 P. 361
----------------------	--------------------	------------------

燃料の容量（参考値）	50L
燃料の種類	P. 356
タイヤが冷えている ときの空気圧	P. 361
エンジンオイル容量 （参考値）	オイルのみ交換時 1NZ-FE エンジン車： 3.4L 2ZR-FAE エンジン車： 3.9L オイルとフィルター交換時 1NZ-FE エンジン車： 3.7L 2ZR-FAE エンジン車： 4.2L
エンジンオイルの種類	トヨタキヤッスルモーターオイル ・ SN 0W-20（API SN, RC/ILSAC GF-5, SAE 0W-20） ・ SN 5W-20（API SN, RC/ILSAC GF-5, SAE 5W-20） ・ SN 5W-30（API SN, RC/ILSAC GF-5, SAE 5W-30） ・ SN 10W-30（API SN, RC/ILSAC GF-5, SAE 10W-30）

お問い合わせ、ご相談は
下記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター
全国共通・フリーコール

 **0800-700-7700**

オープン時間 365日 9:00～18:00

所在地 〒450 - 8711 名古屋市中村区名駅4丁目7番1号

「個人情報保護方針」については、
<http://www.toyota.co.jp/>にて掲載しております。

トヨタ自動車株式会社
<http://toyota.jp>

